

サービス部品取替手順動画一覧

機種	内容	動画	内容	動画	内容	動画
FZ	リップゴム交換		ベース組交換 取替手順説明 P186		ボールタップ交換	
	ボールタップ スピンドル交換		ボールタップ ストレーナー掃除		バルブエレメント 交換 取替手順説明 P187	
	ノズル取替え		ロータンク 手洗付きから 手洗なしへ交換		ロータンク 手洗なしから 手洗付きへ交換	
	バルブケース表組 取替え (F8-DG) 取替手順説明 P187		ストレーナー掃除 (F8-DG)		起動弁掃除 (F8-DG)	
	ベース組交換 取替手順説明 P188					
	洗浄便座取替え					

ホームページでも動画をご覧頂けます。

<http://www.daiwakasei.co.jp/products/toilet/repair/>



取替手順説明

FZシリーズ ベース組交換(A90212 ベース組新タイプ)



1
止水栓を閉めます。



11
便器本体を外します。



21
10mmボックスを使いナットを均等に締めていきます。



2
モンキースパナを使いナットを緩め配管を外します。



12
マイナスドライバー2本を使い広げるようにしてEピンを外します。



22
ロッドを取り付けEピンを仮止め後、ラジオベンチを使いEピンを取り付けます。



3
ロータンのフタを外します。
※手洗付きのフタの外し方は「ロータン手洗付きから手洗なしへ交換」の動画をご確認ください。



13
10mmボックスを使いベースを固定しているナット3ヶ所を外します。



23
便器本体固定のボルトが通るように便器本体を置きます。



4
オーバーフロー管を外しタンク内の水を抜きます。



14
ドライバーの柄を使い、こじるようにしてベースを取り外します。



24
ワッシャーとナットを取り付け、13mmスパナを使いナットを増し締めします(便器両側)



5
タンクを固定している蝶ナットを緩めて外します(便器両側)



15
ラジオベンチを使いガスケットを取り外します。



25
継ぎ足し管を差し込みます。



6
割りピンを抜きロッドを外します。



16
ボルト3ヶ所を取り外します。



26
ロータンク本体を取り付け蝶ナットを締めロータンクを固定します(便器両側)



7
ロータンク本体を外します。



17
カッターの刃を使い削るようにしてシリコンを除去します。



27
割りピンを通しロッドを固定します。



8
便座を外します。
※取り外し方法は各説明書に従ってください。



18
新たにシリコンを塗布します。



28
パッキンを入れナットを締め、モンキースパナを使いナットを増し締めして配管を固定します。



9
13mmスパナを使いナットを外します(便器両側)



19
溝に引っ掛けるようにしてボルト3ヶ所を取り付けます。



29
タンクのフタを取り付け、止水栓を開きます。



10
継ぎ足し管を外します。



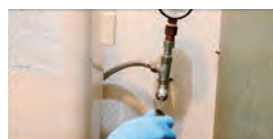
20
ボルト位置に合わせて新しいベースを置き、ワッシャーとナットを取り付けます。



30
便座を取り付けます。
※取り付け方法は各説明書に従ってください。

取替手順説明

FZシリーズ バルブエレメント交換(A96011)



1

止水栓を閉めます。



2

ロータンクのフタを開けます。
手洗のレバーを回しボールタップから
水が出ていない事を確認して下さい。



3

オーバーフロー管を外しタンク内の水を
抜きます。



4

タンクの底に付いているバルブを取り外
します。



5

バルブエレメントを鎖から外し、新しい
バルブエレメントを鎖に取り付けます。



6

バルブとオーバーフロー管を取付けま
す。



7

タンクのフタを元の位置に戻し閉じます。



8

止水栓を開きます。

取替手順説明

F8-DG バルブケース表組取替(A96601)



1

止水栓を閉めます。



2

プラスドライバーを使ってバルブケース
両サイドのネジを外します。



3

表組部分を外します。



4

コネクタを外します。



5

新しい表組のコネクタを取り付けます。



6

表組をかぶせます。



7

プラスドライバーを使ってネジを締めま
す。



8

止水栓を開けます。



9

ボタンを押して水が流れるか確認しま
す。

取替手順説明

F8 ベース組交換 (A90210)



1

止水を閉めます。



2

モンキースパナを使いナットをゆるめて配管を外します。



3

13mmスパナを使いナットをはずします。(便器両側)



4

便座を外します。
※取り外し方法は各説明書に従ってください。



5

便器本体を取り外します。



6

10mmボックスを使いベースを固定しているナット(3ヶ所)とワッシャーを取り外します。



7

ドライバーの柄を使いこじるようにしてベースを取り外します。



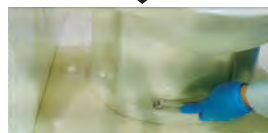
8

便器にシリコンを塗付し新しいベース組を取り付け、10mmボックスを使いナットを均等に締めていきます。



9

便器本体固定のボルトが通るように便器本体を置きます。



10

ワッシャーとナットを取りつけ13mmスパナを使いナットを増し締めします。(便器両側)



11

パッキンを入れナットをしめます。



12

モンキースパナを使いナットを増し締めして配管を固定します。



13

便座を取り付けます。
※取り付け方法は各説明書に従ってください。



14

止水栓を開けます。

施工説明書

FP (FRP浴槽)	P204
DSP-75H	P206
RTN-3	P210
RTN3-BR200S (RTN-3用壁固定金具)	P211
FAI	P212
SAI	P218
DKB5、DKB4	P223
DKB (圧送ポンプの施工)	P226
FZ500、FZ400、FZ300、FZ50T	P232
FZに他社製便座を取付ける場合	P238
FA-5T	P239
F8-DG	P245
F8-CFG、F8-CF	P249
GT-5、GT-3、GT-2	P251
JZ、J8-DG	P253
JT	P257
J8-CFG、J8-CF	P259
FC7	P261
ロータンクフタ固定金具	P263
HW-5、HW-3	P263
APH-Z80	P265
APH-Z81	P266
BCV24	P266
BCV25	P267
APH-Z71	P268
便槽施工上の注意事項 (共通)	P269
NV-R、VE-R	P270
TS、TS-G	P271
TF	P273
TRG	P274

取扱説明書

FP (FRP浴槽)	P275
DSP-75H	P276
RTN (雨水槽)	P282
FAI	P283
SAI	P287
FZ500、FZ400、FZ300、FZ50T	P291
FA-5T	P296
F8-DG	P301
F8-CFG、F8-CF	P306
S-7、SW-7	P307
GT-5、GT-3、GT-2	P309
JZ、J8-DG	P310
JT	P315
J8-CFG、J8-CF	P317
FC7	P318
HW-5、HW-3	P319
洗浄ガン	P321

図面

FP-1280W	P323
FP-1280	P324
FP-1280Y	P325
FP-1480W	P326
FP-1480	P327
FP-1476	P328
FP-1482	P329
FP-1612	P330
FP-2016	P331
FP-2016N	P332
GFP-2816	P333
DSP-75H	P334
RTN-3B、RTN-8B	P334
RTN-20B、RTN-40B、RTN-60B	P335
DP-5S	P335
DP-7S	P336
FAI、SAI	P336
DKB5、DKB4、DAP-B、DAP-SP	P337
FZ500、FZ400	P338
FZ300	P339
FZ50T、FA-5T	P339
F8-DG、F8-CFG、F8-CF	P340
S-7、SW-7	P340
DCW-KB31、DCW-KA31	P340
DCW-KB32、DCW-EA24	P341
GT-5、GT-3	P341
JZ	P341
JT	P342
J8-DG、J8-CFG、J8-CF	P342
FC7	P342
GT-2	P343
DC-166、GU-5、GU-3	P343
HW-5、HW-3	P343
APH-Z80、APH-Z81	P344
BCV24、BCV25	P344
AP-200、AP-210	P344
AP-201、AP-211	P345
NV-R (共通)	P345
VE-R66、VE-R80	P345
VE-R100	P346
TS、TS-G (共通)	P346
TF-800、TF-1000、TF-1500、TF-2000	P346
TF浮上防止ワイヤー推奨位置	P347
TRG浮上防止ワイヤー推奨位置	P348
ZFRP (共通)	P348
NP-R6	P348

ホームページでも資料を
ご覧頂けます。



<https://www.daiwakasei.co.jp/download/manual>

特に注意していただきたいこと

お客様に事故のないよう、施工上の注意点をあげております。
施工前に、よくお読みの上正しく施工してください。
この説明書は、以下のように注意事項を区分して各々意味があります。

用語及び記号の説明



注意 …… 守らないと、ケガをしたり、家財に損害を与えることがあります。



…… 「してはけません」 (一般的な禁止記号)



…… 「指示通りにしない」 (一般的な行動指示記号)

注意

浴槽を運ぶ時は、すべり止め等の付いた手袋を着用し、フランジ部を持って運んでください。 浴槽は重量物の為、素手で持ち運ぶと思わぬケガをする恐れがあります。	階上設置の場合は、床の防水工事を必ず行ってください。 漏水すると、家財を濡らす原因となります。
浴槽に穴あけた後、切り口のエッジやバリには、素手でさわらないでください。 素手でさわると、ケガをする恐れがあります。	浴槽をモルタルやタイルに直接埋め込まないでください。 浴槽は熱により膨張・収縮する為、直接埋め込むとタイルや浴槽に割れが発生する恐れがあります。

このようなこともご注意ください

浴槽を運ぶ時、ブロックや壁に当たったり、引きずらないでください。 浴槽が割れる恐れがあります。	土足で浴槽に乗ったり、脚立等を浴槽内に立てたりしないでください。 浴槽表面に傷がつく恐れがあります。
浴槽に金づち・ドライバー等の工事道具を落とさないでください。 浴槽表面に傷がつく恐れがあります。	浴槽にモルタルやタイルのくず、ベンジン・シンナー等の有機溶剤を付着させないでください。 浴槽をいためる恐れがあります。
浴槽に溶接の火花やトーチランプの火、火のついたタバコ等を当てないでください。 浴槽表面にこげ跡がつく恐れがあります。	2穴式自然循環風呂釜、高温追い焚き釜、高温差し湯式給湯機、貯湯式電気温水機は使用を避けてください。 80℃以上の湯を直接注入すると、浴槽をいためる恐れがあります。

施工の前に

■ 浴槽の穴あけ・据付を行う前に必ず次のことを確認してください。

- 浴槽に傷が入っていないか確認してください。
- 排水金具等がしっかり締まっているか確認してください。
- 必ず搬入経路を確保してください。

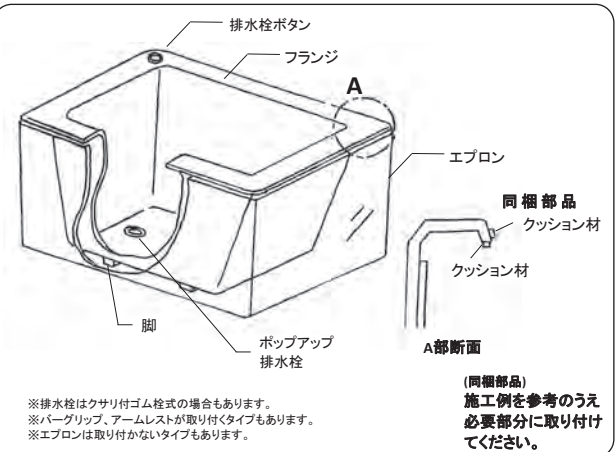
■ 工事が完了するまで、浴槽全体を段ボール等で十分保護し、浴槽表面に貼ってある保護フィルムは工事完了まで絶対にはがさないでください。

■ 浴槽とエプロンは固定した状態で出荷し、取り外しはできません。

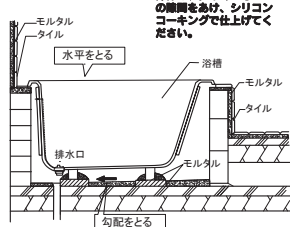
■ FRP浴槽を処分する場合、許可を受けている処理業者に依頼するか、粉砕のうえ許可された処理場にて処理してください。

■ 浴槽の交換等では、浴槽の材質をご確認ください。

各部の名称

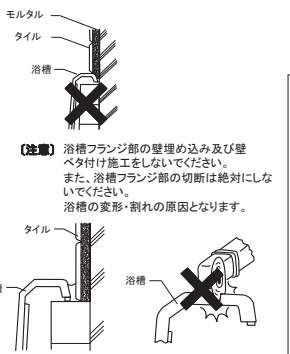


施工例



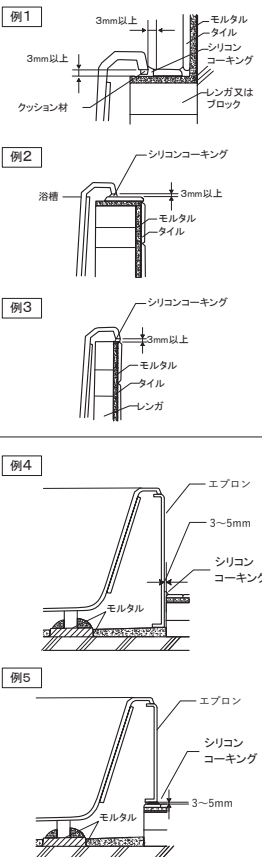
注意

浴槽本体・フランジ部をモルタルやタイルに埋め込まないでください。あとでタイルや浴槽に割れを生じたり、浴槽の交換・修理ができなくなります。



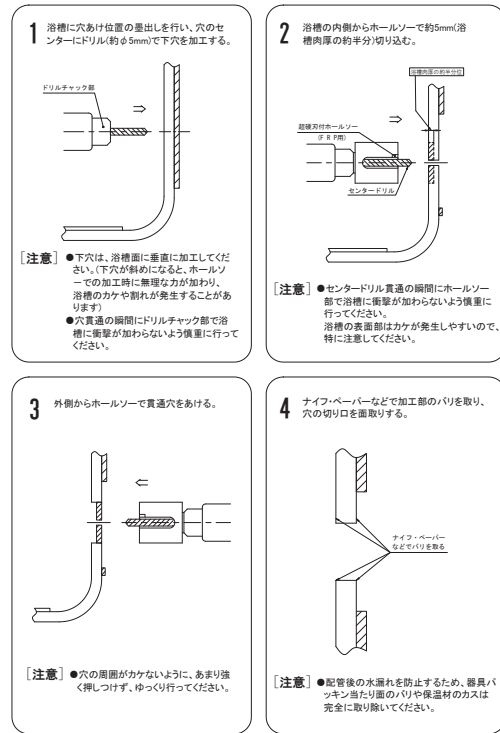
●エプロン付きの場合

壁と浴槽との隙間は3～5mmとり、全周シリコンコーキングにて埋める。

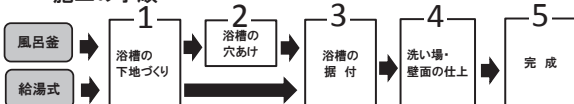


穴あけ要領 (風呂釜の接続が必要な場合)

※浴槽本体の穴あけは、手順1～4に従い、必ず両面から加工してください。(片面から無理に加工すると、浴槽本体にカケや割れが発生することがあります)
※ホールソーは、FRP用超硬刃付で、よく切れるものを使用してください。



■ 施工の手順



1 浴槽の下地づくり

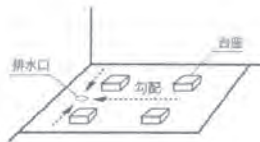
●浴槽据付床は、必ず排水勾配をとってください。

●浴槽脚部はコンクリートブロックやモルタル等で台座を設けてください。台座の位置は、寸法図の脚位置を参照してください。

●台座は上面が水平で、全て同じレベルになるように固定してください。

●コンクリートブロックの空洞は、モルタルで埋めてください。

●排水は間接排水とし、排水口はφ75mm以上の穴を設けてください。



⚠ 注意

2階以上の階に施工する場合は、床の防水工事を必ず行ってください。漏水すると、家財を濡らす原因となります。

2 浴槽の穴あけ

※浴槽への穴あけは、穴あけ要領をよく読み、慎重に行ってください。
※風呂釜使用の場合は1穴強制循環タイプが標準です。

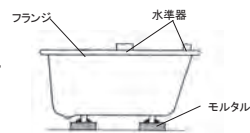
●穴あけ位置は、寸法図の穴あけ範囲内で行ってください。穴あけ位置が曲面部にかかると、水漏れの原因となります。



●空焚き防止のため、できるだけ穴あけ範囲内の下方に穴をあけてください。

3 浴槽の据付

●水準器を使用し、浴槽フランジ面が水平になるように設置してください。
●浴槽の脚部は、モルタルでしっかりと固定してください。



[注意]

1) フランジ部だけで支える施工は絶対にしないでください。

2) 浴槽周囲にモルタル・砂などを絶対に詰めてください。



4 洗い場・壁面の仕上

※洗い場・壁面のタイル仕上は、施工例1-5をご覧くださいのうえ正しく施工してください。

⚠注意 浴槽とタイルが接触する部分は、少なくとも3mmの隙間を明け、シリコンコーキングで仕上ってください。隙間をあけないと、浴槽が熱により膨張したときにタイルや浴槽が割れることがあります。

5 完成

●配管工事後は釜や水道配管から鉄分が流出しますので十分水洗いしてください。

●浴槽と循環金具の接続部から水漏れの無いことを確認してください。

●工事完了後、中性洗剤で十分水洗いしてください。水洗い後、乾いた布で拭き、水分は完全に取り除いてください。

工事完了後
取扱説明書を必ずお客様にお渡しください。
保証書は必要事項を記入してお渡しください。

ディスポーザー DSP-75T 型 施工説明書

▲ 警告

この説明書を読んで理解するまでは、ディスポーザの取付けおよび試運転を行わないでください。

この説明書は、ディスポーザの操作または保守・点検を行う場合、いつでも読まれるように大切に保管してください。

保証の限定

- 保証期間中、正常なご使用にもかかわらず、ダイワ化成(株)が納入した機械の原料、または工作の不備が原因で故障、破損が発生した場合に限り、その部分について無償で修理または交換をします。
- 前項による補償範囲は、不具合部分の機械的保証率とし、その故障に起因する種々の出費およびその他の損害は補償しません。
- 以下の故障、破損の修理は有償とさせていただきます。
 - (1) 故障、破損が当社の納入していない機器が原因で発生した場合
 - (2) 保証期間経過後の故障、破損
 - (3) 火災、突如地震等の災害および不可抗力による故障、破損
 - (4) 当社に承諾なしで実施された修理、改造による故障、破損
 - (5) 指定品以外の部品をご使用された場合の故障、破損
- ディスポーザの誤用や乱用が原因で発生した損害についての責任は全く無いものとします。また、このことによる技術員の派遣費用は有償とさせていただきます。
- 不具合の原因が不明確な場合は協議の上、処置を決定することとします。

1. 安全について

1. 1 警告用語の種類と意味

据付説明書では、危険度の高さ(または事故の大きさ)に従って、次の2段階に分類しています。

以下の警告用語が持つ意味を理解し、本書の内容(指示)に従ってください。

警告用語	意味
▲ 警告	潜在する危険な状態を示し、手順や指示に従わないと、死亡もしくは重傷を負うかもしれません。
▲ 注意	潜在する危険な状態を示し、手順や指示に従わないと、中・軽症を負う場合または機器・装置が損傷する場合に使用されます。

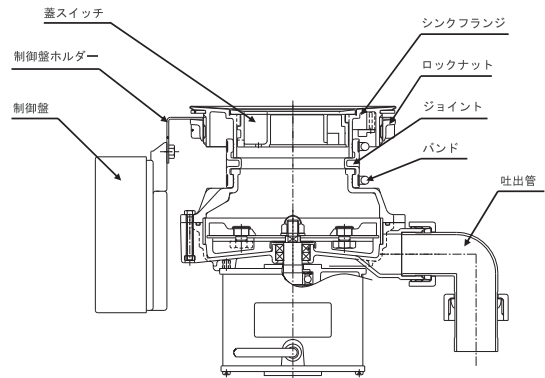
1. 2 安全に関する順守事項

	順守事項
▲ 警告	<ul style="list-style-type: none"> • 据付けは、お買い上げの販売店または専門業者に依頼してください。ご自分で据付工事をされ不備があると漏電・感電・火災の原因になります。 • 据付けは、据付説明書に従って確実に行ってください。据付けが不完全な場合は、感電・火災・故障の原因になります。 • 電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」、および据付説明書に従って、電気工事士などの有資格者が施工してください。 • ケーブル類に無理な力をかけたり、加工したりしないでください。漏電・感電・火災の原因になります。 • アース線の接続を必ず行ってください。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアースに接続しないでください。感電の原因になります。 • ディスポーザ本体や制御盤をぬらさないでください。漏電・感電の原因になります。 • ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電の原因になります。

▲ 警告	<ul style="list-style-type: none"> • ディスポーザ内部に手を入れるときは、下記に従ってください。 <ol style="list-style-type: none"> ①電源プラグをコンセントから抜く。 ②運転が停止していることを確認する。 ③厚手の手袋を着用する。 • 設置終了後は、設置・配線が確実にできているか確認してください。設置が不完全な場合は、本体の落下などによるけが、火災・感電・水漏れなどの原因になります。
▲ 注意	<ul style="list-style-type: none"> • シンクには40℃以上のお湯を連続的に流さないでください。配管の変形・劣化により水漏れの原因になります。 • ディスポーザの蓋は乱暴に扱わないでください。また落とすと破損することがあります。 • 配管内にごみを残さないでください。配管の詰まりの原因になります。 • 電源供給元には、必ず漏電遮断器を設置してください。漏電遮断器が取付けられていないと感電の原因になることがあります。 • 通水後は、必ず各部の水漏れ確認をしてください。

2. ディスポーザの構成

2. 1 各部の名称



3. 据付け

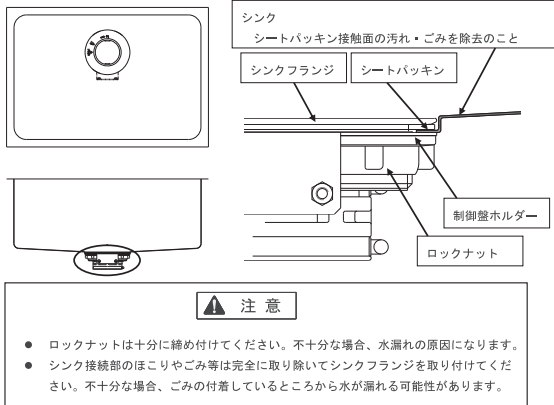
ディスボーザ本体の据付けは以下の手順で行ってください。

3. 1 準備する工具

- (1) ロックナット締付工具
推奨品：丸一株式会社 [2640]BK締め具 樹脂（ナチュラル）…品目番号 524662
- (2) プラスドライバー
- (3) ウエス
- (4) 毛布などの養生シート

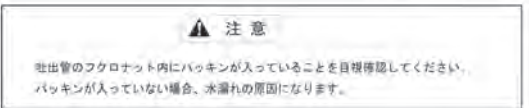
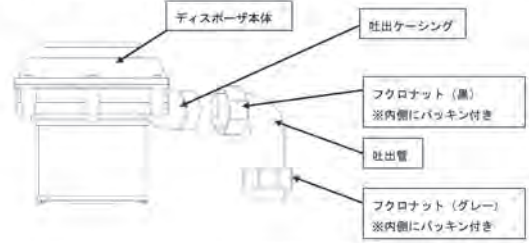
3. 2 シンクフランジの取り付け

- (1) ジョイントの下側のバンドを緩めて、ディスボーザ本体からシンクフランジとジョイントを取り外してください。
- (2) シンクの汚れやごみをウエス等で拭き取ってください。
- (3) シンクフランジからロックナットを取り外してください。
- (4) シンクフランジにシートパッキンが付いていることを確認し、シンク排水口に差し込んでください。
- (5) シンク下からシンクフランジのねじ部に制御盤ホルダーを入れて、ロックナットをねじ込んでください。（制御盤ホルダーはシンクとロックナットで挟み込む）
- (6) シンクフランジの「ON」の印がシンク正面奥、制御盤ホルダーの取付部が手前を向くように調整し、ロックナットをロックナット締付工具で締め付けてください。



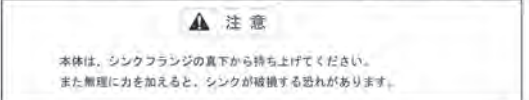
3. 3 吐出管の取付け

- (1) 吐出管のフクロナット内にパッキンが入っていることを確認してください。
- (2) 吐出管（黒色ナットが付いている方）をディスボーザ本体の吐出ケーシングに押し込み、フクロナットを手締めで固定してください。

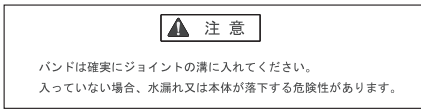
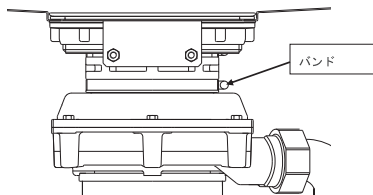


3. 4 本体の取付け

- (1) ディスボーザ本体をシンクフランジ真下から持ち上げ、吸込ケーシングをジョイント部に差し込んでください。このとき下図のO印の突起部がはまるように取付け、吸込ケーシングとジョイントに隙間ができないようにしてください。



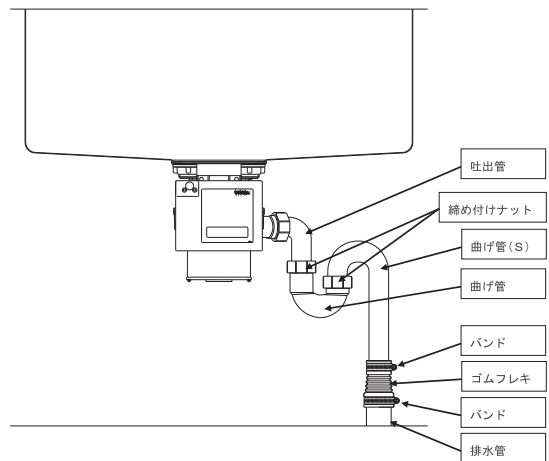
- (2) 吐出管の向きを決めて、バンドを締付けてください。このとき、バンドが全周ジョイントの溝に入っていることを確認してください。



3. 5 トラップの取付け

3. 5. 1 Sトラップの場合

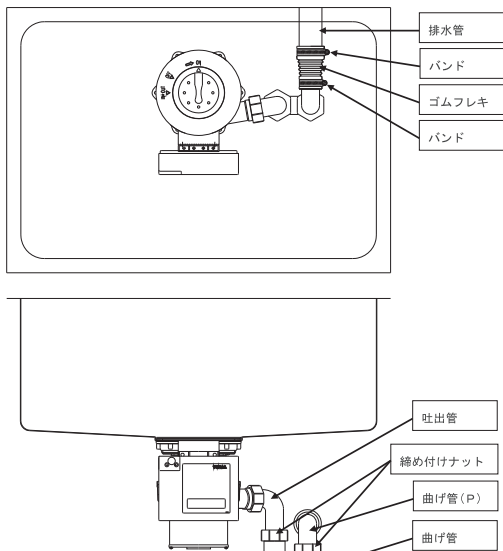
- (1) ゴムフレキを排水管（VP40A）に差し込んでください。
- (2) トラップの曲げ管（S）をゴムフレキに差し込んでください。
- (3) ディスボーザの吐出管にトラップの曲げ管を差し込み、締め付けナットをかるく固定してください。
- (4) トラップの曲げ管と曲げ管（S）を接続し、締め付けナットをかるく固定してください。
- (5) ディスボーザ、配管に無理な力がかからないように向きを調整して、締め付けナットをしっかり締め付けてください。
- (6) ゴムフレキのバンド（トラップ接続側、排水管接続側）を締め付けてください。



Sトラップの取付け例

3. 5. 2 Pトラップの場合

- (1) ゴムフレキを排水管（VP40A）に差し込んでください。
- (2) トラップの曲げ管（P）をゴムフレキに差し込んでください。
- (3) ディスボーズの吐出管にトラップの曲げ管を差し込み、締め付けナットをかるく固定してください。
- (4) トラップの曲げ管と曲げ管（P）を接続し、締め付けナットをかるく固定してください。
- (5) ディスボーズ、配管に無理な力が加からないように向きを調整して、締め付けナットをしっかり締め付けてください。
- (6) ゴムフレキのバンド（トラップ接続側、排水管接続側）を締め付けてください。

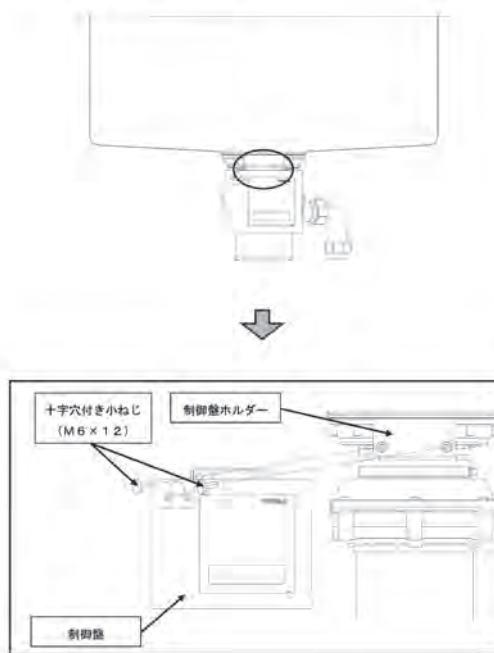


Pトラップの取付け例

10

3. 5 制御盤の取付け

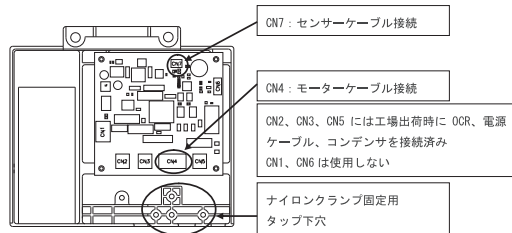
- (1) 下図のように、シンクに固定された制御盤ホルダーに付属の十字穴付き小ねじ（M6×12）を用いて制御盤を取付けてください。



11

3. 7 配線の接続

- (1) センサーケーブルの接続
制御盤カバーを外し、センサーケーブルのコネクタを、基板のコネクタ（CN7）に差し込んでください。
- (2) モーターケーブルの接続
モーターケーブルのコネクタを基板のコネクタ（CN4）に差し込んでください。
- (3) ケーブルの固定
コネクタに接続後、各ケーブルをナイロンランプとタッピングネジで制御盤ホルダー（タップ下穴）に固定してください。



警告

- ・制御盤カバーを外す際は、コンセントは抜いてください。感電の恐れがあります。
- ・配線は確実に行ってください。不十分な場合、製品の破損、火災等の恐れがあります。

- (5) 制御盤カバーの取付け
制御盤カバーを、付属のビスで固定してください。ネジ締めは確実に行ってください。ただし締めすぎると、制御盤カバーが破損する恐れがあります。また、制御盤カバーを閉める時にケーブルを挟まないで、カバーがきちんとはまるよう気をつけてください。

- (6) アース線の接続
電動機から出ているアース線は、アース付コンセントに接続して下さい。

12

4. 試運転

4. 1 試運転前の確認

- (1) ディスボーズ内部に異物が入っていないことを確認してください。
- (2) アース線が接続されていることを確認してください。
- (3) ロックナット、バンド、吐出管のボルト、トラップの締め付けナットがしっかり締まっていることを確認してください。
- (4) 本体に傾き、揺れ、がたつき等ないこと、破損、傷等がないことを確認してください。

注意

工事が終わりましたら、必ず試運転を行ってください。この時、据付け、配管工事、配線工事が「据付説明書」通りになっているか確認のうえ実施してください。

4. 2 試運転方法

- (1) ディスボーズの電源プラグをコンセントに差し込んでください。アース線の接続前に電源プラグをコンセントに差し込みますと、感電の原因になります。
- (2) ディスボーズを運転させて以下のことを確認してください。

- ① 裏を『IN・OUT』位置に入れる。
この時は運転しない。

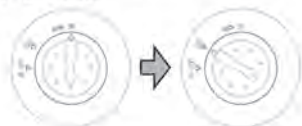


- ② 裏を『ON』位置に合わせるとブザー音が2回鳴り、運転を開始する。



13

- ③ 運転中に蓋を『OFF』位置に戻すと停止する。
停止時、プザー音が3回鳴る。



- ④ 再度蓋を『ON』位置に合わせてとプザー音が2回鳴り、運転を開始する。

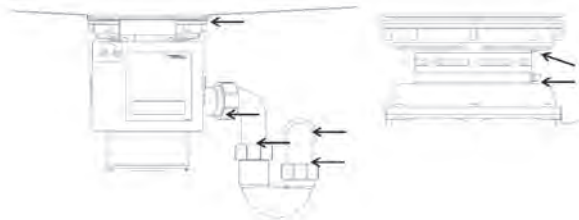


- ⑤ 運転を始めて1分間で自動的に停止する。
停止時、プザー音が3回鳴る。

- ⑥ 運転中に異常音・異常振動がない。

- (3) 次の方法で水漏れのないことを確認してください。

- ① 平ゴム等で排水口をふさぎシンクに10cmほど水を溜め5分以上保持する。
排水後、下図の矢印周辺から水漏れがないことを確認する。
- ② 水を流しながらディスボアを運転し、シンクフランジ接続部、ジョイント接続部、吐出管接続部、トラップ接続部から水漏れがないことを確認する。



雨水槽RTN-3 施工説明書

特に注意していただきたいこと

お客様に事故のないよう、施工前に必ずこの説明書をよくお読みの上正しく施工してください。

用語及び明記の説明

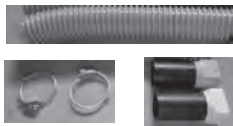
警告 守らないと、火災や重症を負うことがあります。
注意 守らないと、火災や重症を負うことがあります。怪我をしたり家財に損害を与えることがあります。
 「禁止」「してはいけません。」「遵守」「指示通りしてください。」

注意	
<p>槽本体の据付は専用の基礎を設けてください。水準器等で基礎の水平を確認し、槽本体にガタツキが無いようにしてください。</p> <p>これを怠ると槽本体転倒事故を生ずる恐れがあります。</p>	<p>槽本体は別売り部品の固定金具で固定するか、転倒防止を行なって下さい。</p> <p>これを怠ると槽本体転倒事故を生ずる恐れがあります。</p>
<p>水の溜まるような場所へのポンプの設置は避けてください。</p> <p>漏電・火災の原因となります</p>	<p>散水用として使用される場合は誤って飲用しないように表示を行ってください。</p> <p>飲用に用いると健康を損なう恐れがあります。</p>
<p>水道水給水管は凍結防止の保温材を設けてください。</p> <p>冬季に凍結破損の恐れがあります。</p>	<p>ポンプの基礎は本体のスラブにつなげないでください。</p> <p>又、寝室等の近くには設置しないでください。</p> <p>騒音が気になる事があります。</p>
<p>ポールタップへの水道水給水管の接続や既存水道配管の盛替は管工士の資格を有する専門業者に委託してください。</p> <p>法律に反します。</p>	<p>トイレ洗浄水として使用する場合、温水洗浄便座配管には接続しないでください。 (温水洗浄便座には水道水を使用ください) 温水洗浄便座一体式便器には使用しないでください。</p>
<p>オーバーフロー配管は雨水配水管に接続してください。汚水配管へは接続しないでください。</p> <p>法律に反します。</p>	<p>ポンプ、切替弁、フロート等の分解、改造は行わないでください。</p> <p>発火して火災や感電の原因となります。また故障の原因となります。</p>

施工手順

1. 外観検査

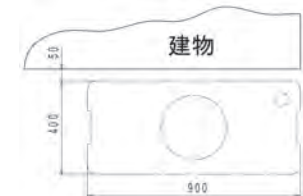
工事に入る前に槽本体の外観に、傷や亀裂等がない十分に確認してください。工場出荷時には製品検査を十分に行っていますが搬送中の衝撃等でも亀裂が生じる可能性がありますので再度ご確認ください。



- | | |
|----------------|----|
| シャワーホースφ60×L50 | 1本 |
| 角トイ継ぎ手2種類 | 2個 |
| ホースバンド | 2個 |
| 雨樋短管(φ60×L10) | 2本 |

2. 設置場所選定

取水する雨樋縦管を選定して、設置する場所を決定してください。雨水槽は壁や建物から50mm以上離して設置ください。次に同梱された接続部品が雨樋のサイズと合うかを確認ください。φ60の丸トイの場合は接続ジャバラ、角トイの場合は2種類の角トイ継ぎ手になります。その他の特殊な形状、寸法の場合は弊社並びに設備店に御相談ください。また、ポンプ等の設置は寝室等、騒音の気になる場所は避けてください。



- ※下記のような場所への設置は避けてください
- ぬかるみや地盤の柔らかい場所
 - 地盤が平坦でない場所
 - 水が溜まるような場所
 - 芝生、落ち葉などの上
 - (芝生、落ち葉を除去してください)
 - ウッドデッキ等、構造物の上
 - 玉砂利、敷石の敷かれている上
 - インターロッキングの上
 - 勾配の急な場所。
- このような場所は、設置工事が困難なうえ、雨水槽の転倒や、傾き等が生じ、危険です。安全・快適にご使用いただくため、設置場所の選定にはご考慮ください。

Wタイプ、Aタイプはポンプの電源が必要です。(100V)
 設置場所付近に電源がない場合は専門の業者に依頼して電源を設けてください。

警告・注意

<p>据付工事に際して槽本体の急激な吊り上げ、吊り下ろしは絶対に行わないでください。</p> <p>破損し、傷害事故、家財の破損が生ずる恐れがあります</p>	<p>可燃物の近くにポンプを設置しないでください。</p> <p>引火して火災や感電の原因となります。</p>
<p>工事の際、素手で本体に触れないでください。</p> <p>思わぬ怪我をすることがあります。</p>	<p>槽本体の据付は基礎コンクリートが完全に固まってから行ってください。</p> <p>槽が陥没したり、槽本体、接続配管に破損を生ずる恐れがあります。</p>
<p>槽の吊り下げ、据付作業には玉掛けを確実に実施し、槽下には立ち入らないようにしてください。</p> <p>槽本体の落下による事故の生ずる恐れがあります。</p>	<p>ポンプの電源は屋外型の防水コンセントを用いてください。</p> <p>また、電源工事は電気工事が資格者に委託してください。</p>

施工の前に

●設置場所の選定及び放流先の確認

- 設置場所は地盤強度：長期許容耐力0.5以上保持していることを確認してください。
- 設置場所はトイレや散水栓とできるだけ最短距離で維持管理の容易な場所を選定してください。屋内や床下等は避けてください。
- 建屋雨樋からの雨水配水管の末端に配置するように配管勾配等をレイアウトしてください。
- 各雨水配管と雨水槽本体及び、オーバーフロー接続先の配管レイアウト及び配管勾配を考慮してください。
- 設置場所は槽本体の搬入、残土搬出及び埋設工事に必要なスペースを確保してください。

●特殊埋設工事の場合

- 次のような場所に設置する場合は特殊埋設工事となりますので弊社にお問い合わせください。
- 軟弱地盤の地域、地盤が水位より低い地域

●製品、部品の確認

- 施工前に必ず梱包内容を確認してください。
- 槽本体 (1基)、ポンプ(H、W、Aタイプ)、接続ジャバラ管×1本、角トイ継手(三菱)×1、角トイ継手(タキロン)×1、ホースバンド×2、丸トイ短管×2 (槽本体同梱部品：施工説明書、使用説明書)

●別途にご用意していただくもの

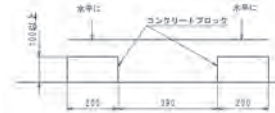
- コンクリートブロック(高さ100mm以上)
- 塩ビ配管 VP20(ポンプオーバーフロー配管) VP13(給水配管)、同継手類・塩ビ接着剤

●必要な工具

- スコップ、ツルハシ等の掘削工具
- スケール、水準器等の測定工具
- 水巻き用ホースリール
- プラスチックバレー、モンキレンチ、カッター、鋸
- 電動ドリル、ドリル刃(φ6mm)

3. ブロック敷設

- 雨水槽設置位置にブロックを設置してください。
- 下図の寸法で、ブロックの上面が水平になるように設置してください。



必ず確認してください

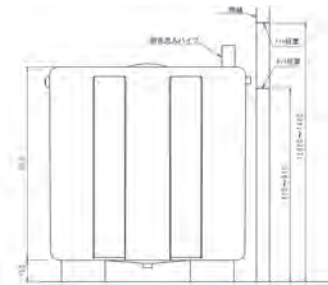
- ブロックのレベルは水準器等で正確に確認してください。
- 砂地や泥地などの地盤が不安定な場所への設置は避けてください。

4. 雨トイの切断

取水する雨樋のカット位置を決定したら、次に雨樋の切断位置を右図のようにマーキングします。

上側は雨水槽を設置する場所の地上面より1000~1400mmの範囲でカット位置を書き、下側は立上りが本体のオーバーフロー位置より100~200mm下で書き書きます。

マーキングが済みましたら雨樋を塩ビ用の鋸でカットしてください。カットする際は雨樋が振動しないように手でしっかり固定してください。



5. 雨水槽の据付

- ブロック上に雨水槽本体を据付し、設置位置を決定します。
- 流入管、放流管、オーバーフロー管、ポンプ配管等の接続が可能か、十分に確認してください。
- 据付時、雨水槽本体にガタツキがないことを確認してください。
- 据付完了しましたら、同梱の取水蛇口を本体の蛇口取り付け部に取り付けください。
- 取り付け時は蛇口のネジ部にシールテープを巻きつけておいてください。

雨水槽本体をブロック上に据付しましたら、本体の安定と、設置場所の地盤の確認のため、雨水槽内に水を入れてください。本体の3分の1程度まで、雨水槽内に水を入れたら、再度、本体のガタツキが無い事を確認してください。

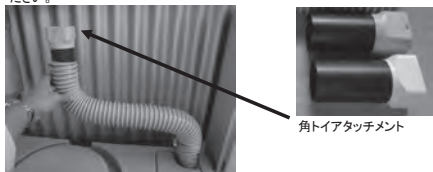
必ず確認してください

- ブロック上に小石等の異物がないことを確認してください。
- 槽を据付の際、本体を引きずったり、ぶつけたり、衝撃を与えたりしないでください。

6. 配管接続

両端継手の接続

槽本体の流入パイプ部に付属のジャバラホースの一端を差込み、ホースバンドで固定します。
 両端がφ60mmの丸パイプであれば、ジャバラホースの另一端を両端に差込み、ホースバンドで固定します。
 両端が角パイプの場合は付属のアタッチメントをジャバラホースに差し込み、ホースバンドで固定してから元の両端に接着してください。
 ※両端によっては付属のアタッチメントで接続できない場合があります。その場合は弊社までご相談ください。

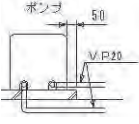


水道水給水管の接続(Aタイプのみ)

本体の接続口に給水バルブソケット、もしくは給水バルブエルボを取り付けてから、槽本体の給水接続口(13A)に水道水配管を接続します。
 給水管はHVP13を使用してください。
 ※槽本体の接続前に止水バルブ(13A)を開けてください。
 ※接続した配管に凍結防止のための保温材を取り付けてください。

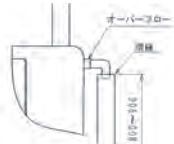
送水ポンプ設置・接続(Aタイプのみ)

ポンプは通気、防湿、騒音等を考慮した場所で雨水槽より3メートル以内になるように設置してください。
 振動防止のため、コンクリート基礎を打ち、機器の重量や振動に耐える構造としてください。
 また建物基礎と雨水槽本体の上部スラブと直接つなげることなく、GLより100mm以上高く、機器類の外形より50mm大きくしてください。



本体の接続口(20A)にポンプ吸込側配管を接続します。HVP20を使用してください。
 ※ポンプの吸込側、送水側に止水バルブ(20A)を設けることをお勧めします。
 ※配管に凍結防止のための保温材を取り付けてください。

オーバーフローの接続

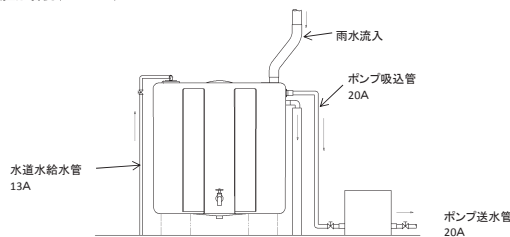


オーバーフロー接続口(20A)も必要であれば配管を接続します。配管はVP20(別途)を使用してください。
 カットした両端の下側部分に20Aの配管が入り込むように配管しますと、オーバーフローした雨水は両端を通じて排水されます。
 接続しない場合は降雨時に、オーバーフロー部からオーバーフローした雨水が流出しますが、機能上、問題はありません。

必ず確認してください

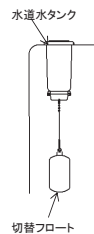
- ・ポンプは運転時に熱を持つためカバーをかぶせたり風通しの悪い場所や可燃物、危険物の近くへの設置は避けてください。
- ・屋根からの雨水がかからないようにしてください。
- ・第三種設置工事(アース工事)を行ってください。電気工事は有資格の専門業者に依頼してください。

設置配管例(RTN-3A)



7. 部品取り付け

・本体の点検口より梱包部品の切替フロートをセットします。切替フロートを水道水タンク下のチェーンに、吊り下げようとしてください。出荷時に切替フロートの鎖は調整してありますので、鎖の長さは調整不要です。



8. 試運転

- ・雨水槽本体に水をため、本体の漏水がないか、オーバーフローやドレンの排水に異常はないかを確認します。
- ・雨水槽に水を溜めます。
- ・ポンプに呼水を入れます。(Aタイプのみ)
- ・水中ポンプ、ポンプの電源を入れます。(W, Aタイプのみ)
- ・放水栓、トイレへの給水が正常に行われているかを確認します。
- ・槽本体の水位低下時に水道水切替タンクから槽本体に水道水が給水されることを確認します。(Aタイプのみ)
- ・設置完了時には別紙工事竣工チェックリストで竣工検査を行ってください。

9. 竣工検査

・工事完了後は、下記の工事竣工チェックリストで検査確認を行ってください。

チェック内容		結果
1	槽本体の据付にガタツキはないか	無 ・ 有
2	使用先(トイレ、放水等)へ確実に配管されているか	良 ・ 否
3	雨水流入パイプへの接続は確実にされているか	良 ・ 否
4	給口から確実に水が出るか	良 ・ 否
5	手動ポンプ作動に異常はないか(Hタイプ)	無 ・ 有
6	雨水槽から手動ポンプの接続に異常はないか(Hタイプ)	無 ・ 有
7	水中ポンプのスイッチを入れると水中ポンプが正常に作動するか(Wタイプ)	良 ・ 否
8	スイッチの作動に異常はないか(Wタイプ)	無 ・ 有
9	雨水槽から加圧ポンプへの配管接続に異常はないか(Aタイプ)	無 ・ 有
10	加圧ポンプの作動に異常はないか(Aタイプ)	良 ・ 否
11	水道水配管の接続に異常はないか(Aタイプ)	無 ・ 有
12	ポンプの取り付けにガタツキはないか(W, Aタイプ)	無 ・ 有
13	ポンプの運転音が気にならないか(W, Aタイプ)	無 ・ 有
14	ポンプ電源は屋外用防水コンセントになっているか(W, Aタイプ)	良 ・ 否

10. 引渡し

・検査完了後、設置者に取扱説明書、保証書を手渡し、使用方法や注意事項を説明してください。

雨水槽RTN-3固定金具設置要領

雨水槽RTN-3固定金具の取付にあたって

- ・雨水槽施工の際に雨水槽の壁からの距離を30~120mm以内としてください。この範囲以外だと金具が雨水槽本体に取りつかない可能性があります。

雨水槽RTN-3固定金具設置要領

- ・雨水槽の壁からの距離が30~130mm以内であることを確認してください。

1. 部品の確認

- ・施工の前に部品の確認、工具の準備を行います。

雨水槽RTN-3本体固定金具部品
セット内容

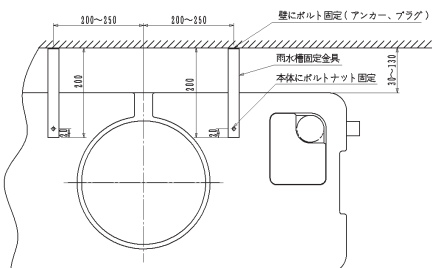
部品名	数量	
1 固定金具本体	2	
2 M6×25(5)スチールナット	2	
3 本体固定ボルト類	2	
4 M6ワッシャー	2	
5 M6ワット	2	
6 コンクリート用 M6×45オールアンカー	2	
7 壁固定 ナベ小ネジφ6×40	2	
8 ボルト類 M6ワッシャー(大)	2	
	プラグT G95	2

必要な工具

電動ドリル・ドライバー、コンクリートドリルキリφ6.5、ドリルキリφ6.5、φ8ハンマー、プラスドライバー、モンキーレンチ

2. 金具取付位置の決定

- ・雨水槽の壁からの距離が30~130mm以内であることを確認してください。
- ・雨水槽の中心から200~250mmの位置に固定金具本体を配置し、壁の状態を確認してください。加工取付の障害となるものがないか、壁の強度に問題がないか確認してください。



- ・金具の位置が決まったら、雨水槽本体と壁に固定金具の穴位置をマーキングしてください。

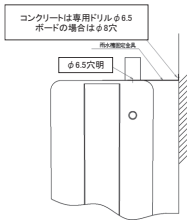
取付穴加工

- ・雨水槽本体に取付穴を開けます。マーキングした位置に穴明け加工を行います。ドリル径は6.5mmをご使用ください。

建物壁に取付穴を開けます。マーキングした位置に穴明け加工を行います。

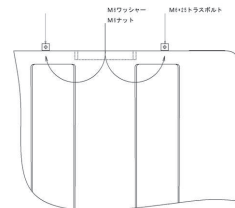
壁がコンクリートの場合は専用の工具で穴明け加工を行います。ドリル径は6.5mmをご使用ください。

壁がボードの場合はφ8mmで穴明け加工を行います。



金具取り付け

- ・雨水槽本体に固定金具を取り付けます。本体に開けた取付穴に固定金具を合わせ、②M6×25(5)スチールナットを上から差し込みます。本体の点検蓋を開け雨水槽内側より③M6ワッシャーと④M6ナットを②M6×25(5)スチールナットに取り付けます。取り付けたボルト、ナットを締め上げて固定します。



- ・固定金具を壁に取り付けます。

○ 壁がコンクリートの場合

固定金具と壁の取付穴に⑤M6×45オールアンカーを差し込みます。オールアンカーをハンマーで叩き入れ固定します。

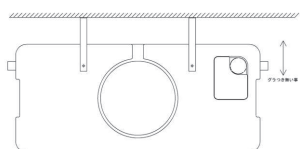


○ 壁がボード等の場合

壁の取付穴にプラグT G95を差し込みます。プラグは2つ折りにして差し込みます。固定金具を壁の取付穴に合わせ、⑦M6ワッシャー(大)を通して⑧ナベ小ネジφ6×40を差し込み電動ドライバー等で固定します。

固定確認

- ・雨水槽本体が固定金具で壁にグラツキ無くしっかり固定されているか確認します。



FAI オート洗浄簡易水洗便器 施工説明書

お客様に事故のないよう、施工前に、必ずこの説明書をよくお読みのうえ正しく施工してください。

特に注意していただきたいこと	
△ 警告	守らないと、重傷を負うことがあります。
△ 注意	守らないと、ケガをしたり、家財に損害を与えることがあります。

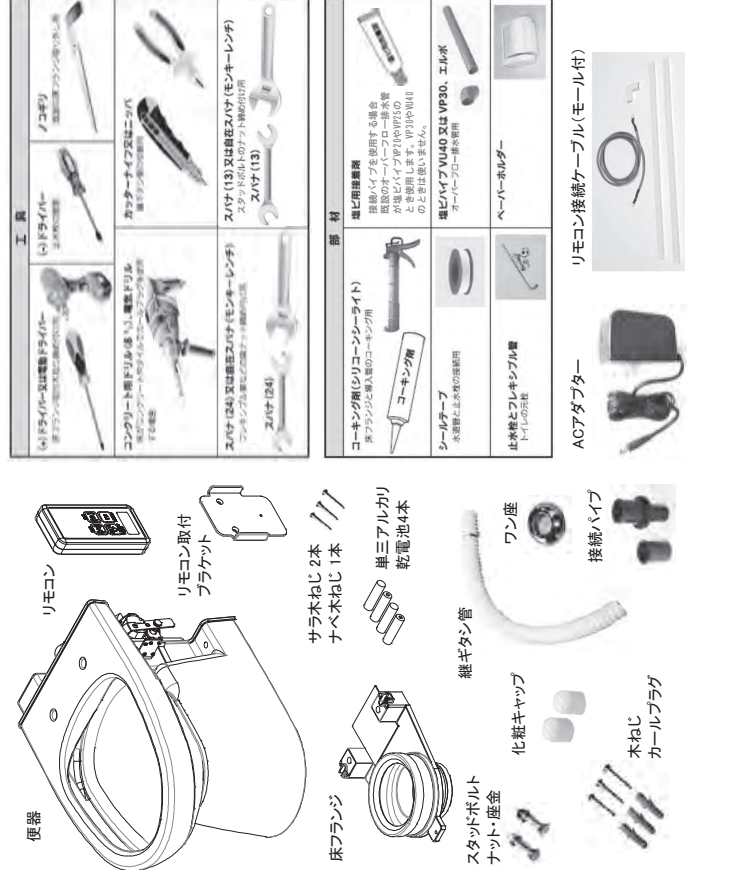
用語および記号の説明	
⊗	「禁止」「してはいけません。」
①	「遵守」「指示通りしてください。」
⊙	「風呂、シャワーなどの水場での使用禁止」

△ 注意	浴室内の水のかかる場所や壁面に水害が生じるとなると、設置しないでください。火災や感電の原因となります。また、電池ハルバが故障したり、乾電池が液漏れする恐れがあります。
⊗	便器の汚水配管は、必ず便槽に接続してください。
⊗	簡易水洗便器は、便槽に接続する便器です。
⊗	施工後、便器や排水配管からの漏水がないことを点検してください。
⊗	漏水すると、床が水浸しになり家財を濡らす原因となります。
①	工事の進め方、手順、養生等は、必ず専門の電気工事店で行ってください。
①	室内配線など適切な処理を行ってください。
①	便器は濡れるものです。施工前に電源ケーブルの接続と着工時の液漏れがないかを点検してください。
①	破損部でケガをしたたり、漏水して家財を濡らす原因となります。

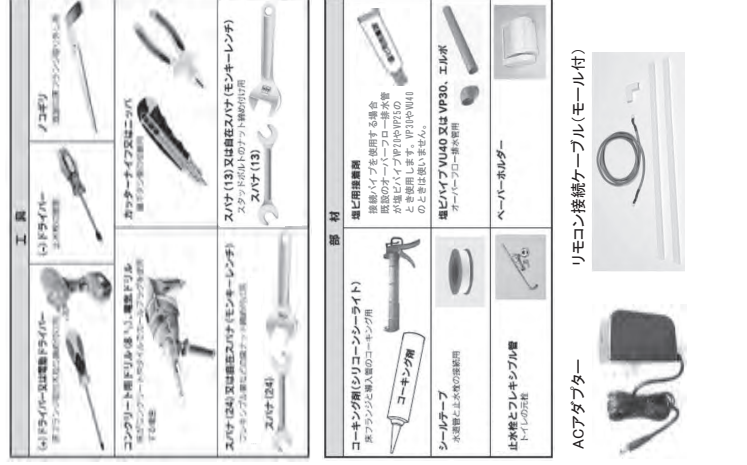
温水洗浄便座、暖房便座等を取り付けの場合は、各々の説明書をお読みください。

施工の前に

● 梱包内容をお確かめください。



必要な工具、別途必要なもの



■ 設置場所トイレの水圧と流量確認

給水の水圧は、0.2~0.75MPaで設置してください。(流量20リットル/分以上) 便器を設置するトイレの給水の流量を下記の要領で確認できます。

- ・バケツ(目盛付きの10リットル以上)
- ・フレキシブル管(300ミリ程度)
- お持ちの長さのものでも結構です。
- フレキシブル管が無い場合はホースなどを利用してください。
- ・時計又はストップウォッチ
- ・止水栓の開閉についてはマイナーストライパー確認方法
 - ① 止水栓にフレキシブル管を接続してください。
 - ② その片方をバケツに受けてください。
 - ③ 時計又はストップウォッチを準備してください。
 - ④ 止水栓を全開にしてバケツに水を入れてください。
 - ⑤ 20秒で止水栓を締めてください。
 - ⑥ バケツの水の水量を確認してください。
 - ⑦ その水量の3倍が流量リットル/分です。
 - 例えば、バケツに7リットルあれば、流量が21リットル/分になります。
 - ⑧ 流量が20リットル/分以上の場合、洗浄力が弱くなる可能性があります。
- その時は、ロータンク式の便器をお勧めします。

■ コンセント

交流100Vのアース付き2口コンセントが必要です。ACアダプターのコード長さは1.5mです。これが届く位置にコンセントを設けてください。

■ 配管上の注意事項

- 配管材料は、JIS K6741に準じた硬質塩化ビニル管を使用してください。
- 肉厚：汚水管(導水管)・・・1.5mm以上(フロア成形品継手類1.2mm以上)
- 汚水管(導水管)は、VUI00を使用してください。
- 汚水管(導水管)は、汚水の流下に変質のない形状、構造を有するものを使用してください。
- 構造で汚物が引っ掛かるような継手は使用しないでください。
- 構造で汚物が引っ掛かるような継手は使用しないでください。
- 排気管(臭気管)
- 次の場合は必ず臭気管を設置してください。
- ① 階配管など汚水管の長さが1.5m以上の場合
- ② 小部屋を設置する場合
- 排気管の先端に排気トップ(臭気ファン、ベンチレーター等)を設けてください。
- 排気トップは、防臭機能に支障のない性能のものを使用してください。
- 排気トップの下端は、建物の出入り口、窓、換気口等の上端から600mm以上の高さに取り付けてください。
- 臭気ファンの風量は、70m³/分以下のもの(当社臭気ファン)を使用してください。
- 臭気ファンを完了後、約10%の水を流して配管接合部からの漏水がないか確認してください。
- 水道配管
- 水道配管工事は、各自自治体水道局の指定店で行ってください。
- 水圧配管
- 水圧配管はしっかりと固定してください。
- 階以上や地下室のある階に設置する場合は、万一のことを考えトイレルームの防水や床に排水口の設置をお勧めします。
- オートフロ一層外配管からの臭気上りについて

■ 便槽の容量

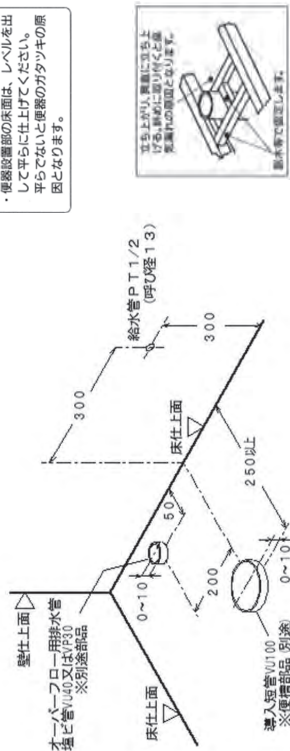
1人1ヶ月で約100~150リットルを計画してください。但し、来客や家族が増えることを考慮して少し大きめのものをご使用ください。最低でも500リットル以上の容量のものをご使用ください。

家族数	便槽容量
4人以下	580リットル
6人以下	760リットル
8人以下	950リットル

施工の手順 1 から 11 までの手順で行ってください。

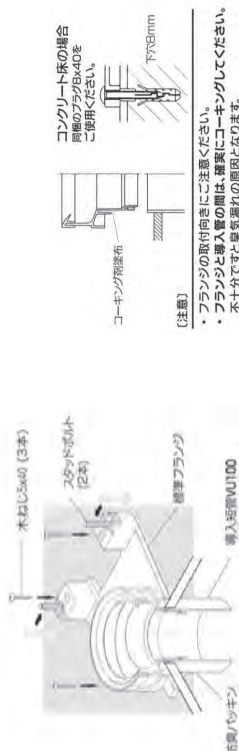
1 給排水管の位置決めと床フランジの取付

止水栓(元栓)を確実に締実に締めてください。
下図に従って、導入短管・給水管の位置を決めてください。



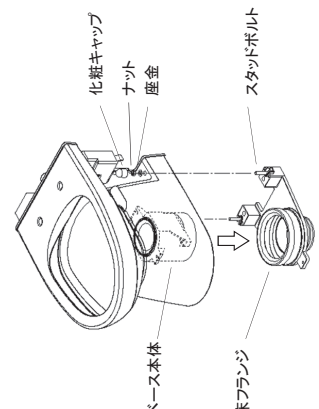
2 床フランジの取付

標準フランジの導入短管差込部にたぶりとコーキング材を塗って床フランジを取り付けてください。



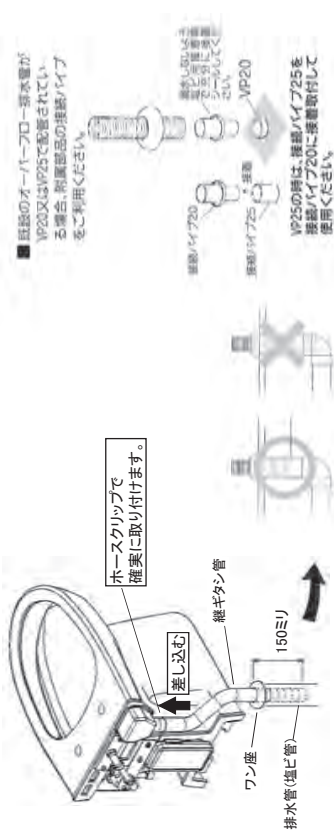
3 便器本体の据付

スタッドボルトを床フランジに立て、ベース本体を床フランジの中に差し込みます。便器が確実に据え付けられたことを確認してから座金を入れ、ナットを締め付け、化粧キャップをかませてください。



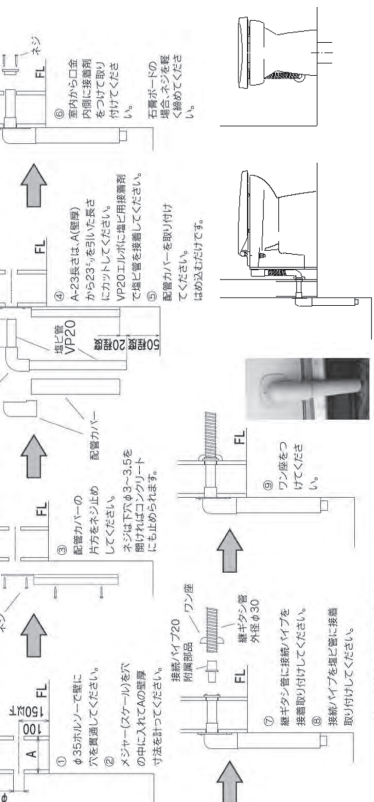
4 オーバーフロー管の接続

継ギタシ管を便器に差し込み、ホースクリップで止めてください。
次に、継ギタシ管に必要な長さに切断し、ワン座を入れて、オーバーフロー排水管に差し込んでください。

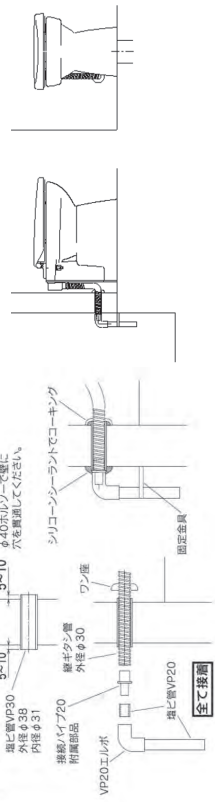


壁にオーバーフロー排水管を新設する場合

【例1】オプション部品の壁オーバーフロー排水部品セット/AP-800を使って施工する場合

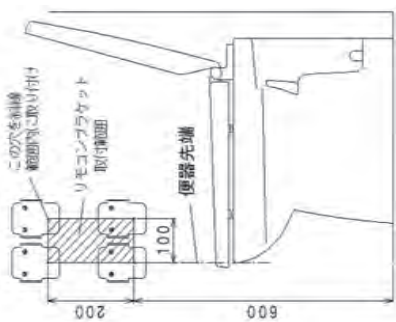


【例2】埋込管を露出配管して施工する場合



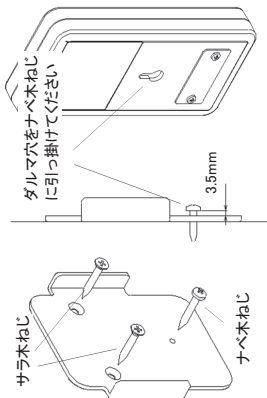
5 リモコンの取付

リモコンブラケットを左右どちらかの壁に取り付け、リモコンを引っ掛けてください。



リモコンは、壁から便器中心までの距離を400～450ミリで取り付けてください。
それ以外の寸法でセンサーが反応しないときは、同梱のリモコン接続ケーブル(有線)をお使いください。
また、450ミリを超える寸法で自動洗浄を設定したとき、反成しない場合があります。そのときは、リモコンの押しボタン操作してください。

リモコンブラケットを木ねじで壁に取り付けてください。



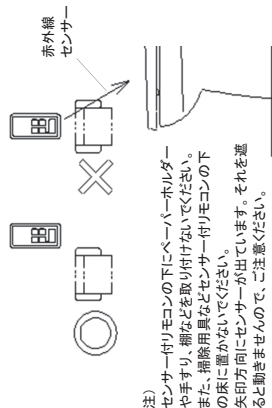
リモコンの取付位置が決まっています。

必ず、取付範囲内に取り付けてください。

リモコンで動かなかったり、自動洗浄が誤動作する原因になります。

(注)

- ①リモコンから本体に送るセンサーの感度が悪くなると、リモコンボタンを押しても動作しないことがあります。同梱のリモコン接続ケーブル(有線)を使用してください。
O床や壁が黒っぽい又は黒い色のとき
Oリモコンが施工取付範囲外になるとき(自動洗浄も使えません)
- ②洗浄便座KB22・21など便座横に操作部がある便座を取り付けたとき、リモコンボタンを押しても作動しないことがあるので座って左壁にリモコンを取り付けてください。
右壁に取り付ける場合はリモコン接続ケーブル(有線)を使用してください。



付属の単三アルカリ乾電池4本を入れてください。
リモコン接続ケーブル(有線)を使用する場合は、乾電池不要です。



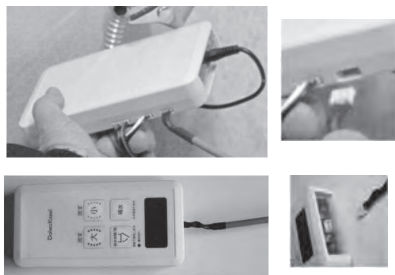
- (注)
- ・乾電池の(+)(-)を確認して正しく入れてください。
 - ・間違えて逆に入れて入れると乾電池が発熱したり、破裂したり、故障したりする恐れがあります。
 - ・新しい乾電池と使用済乾電池や使いかけ乾電池、他の種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。正しく入れないと、回路基板を壊す恐れがありますので、注意してください。

リモコン接続ケーブル(有線)を使用する場合

お客様に有線・無線どちらにするか確認をお願いします。

リモコン接続ケーブル(有線)を使用すると、リモコンの乾電池が不要になります。高齢者や障害者の方など乾電池の交換ができない方や面倒な方にお勧めします。施工時にお客様に取付を確認してください。

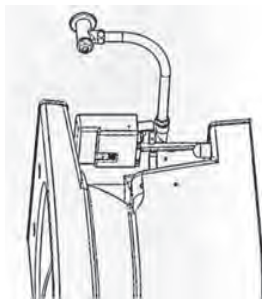
床や壁の色が黒っぽい場合や所定の位置にリモコンを取り付けられない場合、リモコン接続ケーブル(有線)を使用してください。
但し、所定の位置にリモコンを取り付けられない場合は自動洗浄の人感センサーが反応しないため、自動洗浄OFFでご使用ください。



6 給水管の接続

止水栓を取り付け、フレッドフレキ管で接続してください。
一般的なフレキ管を使うと、洗浄水を流した後、異音が生じる場合があります。また、水圧が低くて洗浄力が弱い時は、フレキ管にすると洗浄力が上がります。

エルボの中にストレーナーがあります。
止水栓を閉じ何度か試運転して漏水したあと、ストレーナーを掃除してしてください。



7 電源の接続

付属のAOアダプターを接続してください。
通電すると、フラッパが1回開閉して通電したことをお知らせします。



電源を入れると、排出弁(フラッパ)が「1回開閉」します。
それ以外の動作をしたときは、配線が外れている可能性があります。確認してください。



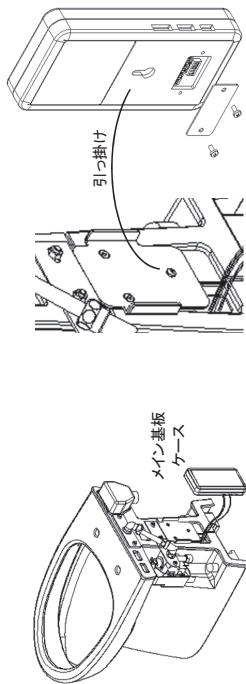
8 洗浄水量調整

工場出荷時、水道圧0.4MPaで調整しています。

流量の確認方法

下記の方法で現場の水道の流量を確認してください。

- ① 補水(前洗浄・ポリウム最大(時計回りに最大まで))にします。
- ② 排出弁開閉ボタンを押してフラッパ→溜水をゼロにします。
- ③ 補水ボタンを1回押します。
- ④ 溜水の深さを測定します。
- ⑤ 表から流量を判定します。
- ⑥ 便器背面にあるメイン基板ケースを外してください。
- ⑦ そのケースの裏フタを外してください。
- ⑧ 測定高さに応じて下表で調整してください。



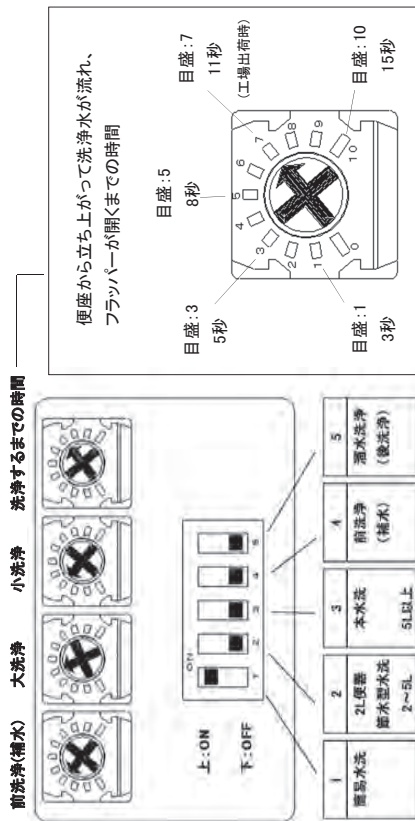
ねじを2本外して
裏フタを外してください。

調整方法

前洗浄(補水)・大洗浄・小洗浄・溜水時の水量調整

水量を増やしたいときは、時計回り

水量を減らしたいときは、半時計回りに回して調整してください。



測定深さ	水道圧 (目安)	調整			
		前洗浄	大洗浄	小洗浄	溜水洗浄
76ミリ以下	0.15MPa以下	流量不足、洗浄力不足となるため、ロータンク式を選択してください。			
77 ~ 88ミリ	0.16 ~ 0.25MPa	ポリウム目盛 3	ポリウム目盛 5	ポリウム目盛 4	なし
89 ~ 96ミリ	0.26 ~ 0.35MPa	ポリウム目盛 2	ポリウム目盛 4	ポリウム目盛 2.5	なし
97ミリ以上	0.36MPa以上	測定深さが97ミリになるように止水栓を絞って調整ください。ポリウムは工場出荷時のまま			

工場
出荷時

便器の水洗方法の切り替え



前洗浄と溜水洗浄の切り替え

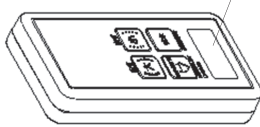


使用後、フラッパの溜水が少ない時、設定してください。

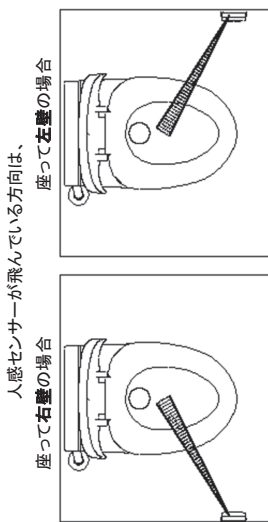
9 自動洗浄の設定

自動洗浄にする場合は、下記の手順で設定を行ってください。

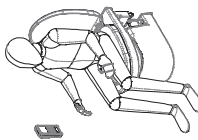
人感センサーの説明



人感センサー
(濃い茶色部分)



人感センサーが飛んでいる方向は、
座って右壁の場合
座って左壁の場合



自動洗浄の動作について便座に座って

6秒以下	洗浄しません
6秒～30秒	小便と判断します
30秒以上	大便と判断します

便座から立ち上がった後洗浄するまでの時間は、工場出荷時1秒に設定しています。変更するときは、前ページの「洗浄するまでの時間」の調整を行ってください。

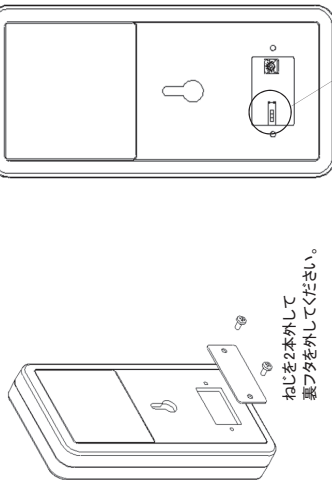
注) 「洗浄するまでの時間」を短くすると座っている途中で流れることがあります。その時は工場出荷時の時間に戻してください。

1. 左右壁取付位置の確認

壁取付位置は、**便座に座った状態**です。図は、右壁取付です。工場出荷時は、これで設定しています。

2. 左壁取付の切り替え

便座に座って左壁取付の場合、切り替えスイッチを左壁にしてください。



ねじを2本外して裏フタを外してください。

便器自動洗浄の切り替えスイッチ

便器自動洗浄	ON	OFF	ON
壁取付位置	左壁	-	右壁
スイッチの位置			

3. 人感センサーのテストモードによる感知距離の調整

自動洗浄を使うとき、テストモードにすることで感知距離の確認ができます。

①テストモードの入り方

リモコンの排水弁開/閉ボタンと補水ボタンを5秒以上同時押しするとテストモードに入り、同時押しなので、排水弁開/閉が補水のどちらかが動作しますが、問題ありません。テストモードに入ると、人感センサーが感知すると「電池切れ」赤ランプが点灯します。

②人感センサー感知距離の確認と調整方法

白紙(A4サイズ程度)を人感センサーの10cm程度前のところにかざして赤ランプが点灯することを確認してください。

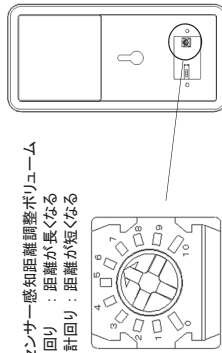
点灯しないときは、テストモードに入っていないか、自動洗浄切替スイッチがOFFになっています。人感センサーは、斜め方向に出ています。

その方向の便器中心付近に白紙を当て前後に移動しながら赤ランプを見てください。電池切れ赤ランプが切れる場所が感知距離になります。

便フタを感知しないように少し手前のところになるよう人感センサーの感知距離調整をポリューム調整してください。(図示)

調整後、便座に座り上半身を動かしても「電池切れ」赤ランプが点灯しているか確認してください。

テストモード中は、リモコンボタン操作はできません。



人感センサー感知距離調整ポリューム
時計回り : 距離が長くなる
半時計回り : 距離が短くなる



白紙を当て赤ランプが点灯・消灯するところが感知距離です。

自動洗浄の感知距離

③テストモードの解除方法

以下のいずれかの方法でできます。

- ・リモコンの排水弁開/閉ボタンと補水ボタンを5秒以上同時押しすると、テストモードを解除します。
- ・5分以上経過すると、自動解除します。
- ・乾電池を外して入れ直すと、リセットされ解除されます。

(注) トイレに窓や明かり取りがあり、日光が入る場合、前洗浄は「OFF」にしてください。

誤動作することがあります。

注意事項

誤動作が生じないよう、取付前に必ず確認してください。

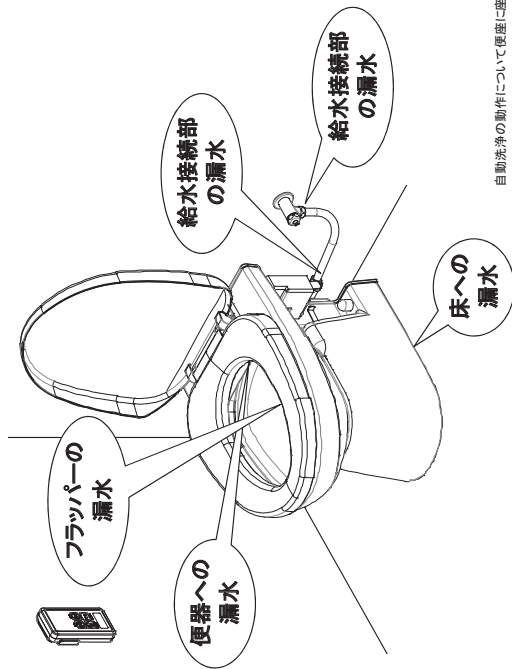
- ・自動洗浄で誤動作がある場合、自動洗浄をOFFにご使用ください。
- ・濃い色の上着のとき自動洗浄のセンサーの感度が悪くなり反応しないときがあります。そのときは押しボタンで操作してください。
- ・人感センサー感知距離範囲内に障害物がないようにしてください。
- ・トイレに窓や明かり取りがあり、日光が入る場合、誤動作(誰もいないのに動く)ことがあります。そのときは、窓をカーテンやブラインドなどで遮光するか自動洗浄をOFFにしてください。また、前洗浄は「OFF」にしてください。
- ・リモコン取付けの反射鏡がタイルなど反射しやすい素材のときは、自動洗浄を「OFF」で使用してください。
- ・人感センサーの濃い茶色部分を傷つけたり汚したりしないでください。
- ・水がかかると濡れる場所には設置しないでください。
- ・人感センサーが感知し続ける状態が続くと、乾電池の消耗が早くなります。
- ・ドアの閉閉で自動洗浄することがあります。そのときは、リモコンの取付位置や感知距離調整を行ってください。それでも解消しないときは、自動洗浄をOFFにして押しボタンで使用してください。

10 便座の取付

便座を取り付けてください。
取付方法は、便座に付いている説明書を読んでください。

11 点検

止水栓(元栓)を開き、リモコンの各ボタンを操作してフラッパーの開閉や洗浄水の流れ、各部の漏水の有無を点検してください。
自動洗浄設定の場合は、便座に座って下表の動作を確認してください。



自動洗浄の動作について便座に座って

6秒以下	洗浄しません
6秒～30秒	小便と判断します
30秒以上	大便と判断します

便座から立ち上がり洗浄するまでの時間は、工場出荷時11秒に設定しています。
変更するときは、前ページの「洗浄するまでの時間」の調整を行ってください。

注)
「洗浄するまでの時間」を短くすると座っている途中で流れることがあります。
その時は工場出荷時の時間に戻してください。

正常に動かないとき

リモコンボタンを押しても動かないときや異常な動作をした時はACアダプターの電源を抜いて5秒後に電源を入れてください。
リセットされて正常に戻ります。

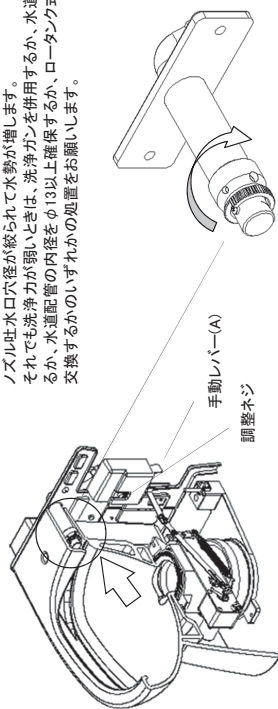
各調整

①洗浄力が弱いとき

流量が20リットル/分以下の時、洗浄力が弱くなります。
便器ボール面側から手を入れてノズルの先端のキザキザ部分を時計回りの90度回してください。

ノズル吐水口穴径が狭られて水勢が弱くなります。

それでも洗浄力が弱いときは、洗浄ガンを併用するか、水道圧を上げるか、水道配管の内径をφ13以上確保するか、ロータンク式の便器に交換するかのをいずれかの処置をお願いします。

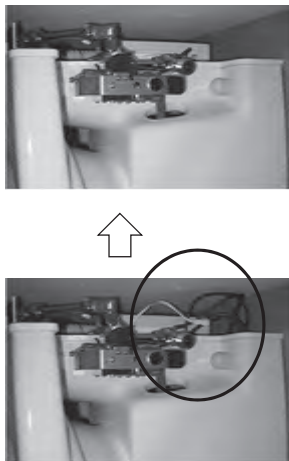


②便器オーバーフローの吐出量の調整

手動レバー(A)を押して便器ボール面を満水にしてから更に30秒以上押し続けて便器からオーバーフローさせてください。
便器からあふれたとき、マイナスイラストライバーで調整ネジを緩めて便器からあふれなないように調整してください。

③コードの格納

便器背面のメイン基板ケースから出ているコードを便器内部に押し込んでください。
出し放しにすると、リモコンのセンサーが反応しないことがあります。



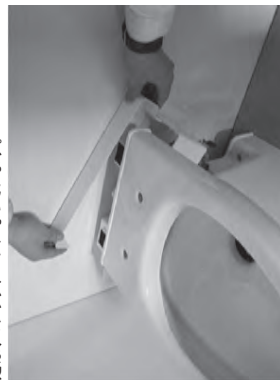
凍結のおそれのあるとき

トイレ内が0℃以下になると、水が凍結して器具が破損するおそれがあります。
室内暖房により、トイレ室内を暖めてください。

施工後、お客様へ説明のとき、下記の説明をおねがいします。
濃い色の上着のとき自動洗浄のセンサーの感度が悪くなり反応しないときがあります。
そのときは手動ボタンで操作してください。

背面カバーの外し方、取り付け方

背面カバーを外したり取り付けたりする場合は、下図のように斜め方向から行ってください。
固定は、マシクナーテープになっています。



SAI オート洗浄 水洗便器 施工説明書

お客様に事故のないよう、施工前に、必ずこの説明書をよくお読みの上正しく施工してください。

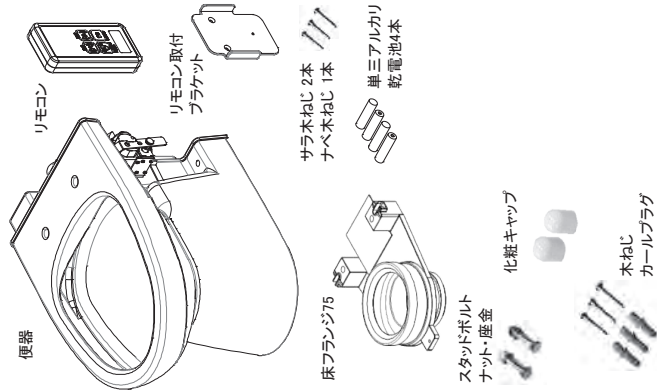
特に注意していただきたいこと	
⚠ 警告	守らないと、重傷を負うことがあります。
⚠ 注意	守らないと、ケガをしたり、家財に損害を与えます。
Ⓧ 注意	Ⓧ 使用禁止事項

Ⓧ 注意	
浴室内の水のかかる場所や壁面に水漏れが生じるとなると、設置しないです。	
火災や感電の原因となります。また、電池ハルバが故障したり、乾電池が液漏れする恐れがあります。	
Ⓧ	この施工説明書以外の改造はしないでください。
Ⓧ	故障や漏水の原因となります。
Ⓧ	床に設置を止めず、必ず専用の電気工事店で行ってください。
Ⓧ	電気配線は、必ず専門の電気工事店で行ってください。
Ⓧ	資格のない人が電気工事をするのは法的に認められていません。
Ⓧ	電気配線は、必ず専門の電気工事店で行ってください。
Ⓧ	電気配線は、必ず専門の電気工事店で行ってください。
Ⓧ	電気配線は、必ず専門の電気工事店で行ってください。

温水洗浄便座、暖房便座等を取り付ける場合は、各々の説明書をお読みください。

施工の前に

■ 梱包内容をお確かめください。



■ 必要な工具、別途必要なもの

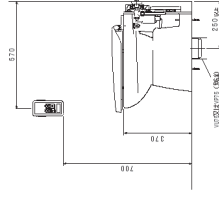
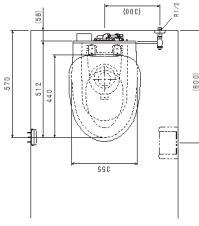
工具	
ノコギリ 電動ノコギリ(切断用)	ドライバー 十字・六角
スパスパ (13) 又は 調整スパスパ (モンキーレンチ) スタッドボルトのナット締め	スパナ (13)
コンクリート用下目金 (入) 電動ドリル 電動ドリル(穴あけ用)	スパナ (24)
スパナ (24) 又は 調整スパナ (モンキーレンチ) フランジボルトのナット締め	
部材	
コーキング剤(シリコンシーラント) 床フランジに注入用のコーキング用	ペーパーホルダー
シールテープ 水漏れ防止用の接着剤	
止水栓とフレキシブル管 トイレの接続	

■ 設置場所トイレの水圧と流量確認

給水の水圧は、0.2~0.75MPaで設置してください。(流量20リットル/分以上) 便器を設置するトイレの給水の流量を下記の要領で確認できます。

- ・バケツ(目盛付きの10リットル以上)
- ・フレキシブル管(300ミリ程度)
- お持ちの長さのものでも結構です。
- フレキシブル管が無い場合はホースなどを利用してください。
- ・時計又はストップウォッチ
- ・止水栓の開閉についてはマイナーストライパーを確認方法

- 止水栓にフレキシブル管を接続してください。
- その片方をバケツに受けてください。
- 時計又はストップウォッチを準備してください。
- 止水栓を全開にしてバケツに水を入れてください。
- 20秒で止水栓を締めてください。
- 止水栓の開閉は素早く行ってください。
- バケツの水の量を確認してください。
- その水量が3倍が流量リットル/分です。
- 例えば、バケツに7リットルあれば、流量が21リットル/分になります。
- 流量が20リットル/分以下の場合は、洗浄力が弱くなる可能性があります。
- その時は、ロータンク式の便器をお勧めします。



■ コンセント

交流100Vのアース付き2口コンセントが必要です。ACアダプターのコード長さは1.5mです。これが届く位置にコンセントを設けてください。

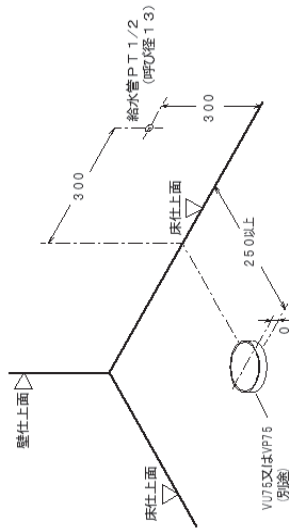
■ 配管上の注意事項

- 配管材料は、JIS K6741に準じた硬質塩化ビニル管を使用してください。
- 肉厚:汚水管(導水管)...2mm以上(成形品継手類1.6mm以上)
- 配管工事完了後、約10分の水を流して配管接合部からの漏水がないか確認してください。
- 水道配管
- 水道配管工事は、各自営体水道局の指定店で行ってください。
- 水道配管はしっかりと固定してください。
- 水漏れ作用(ウォーターハンマー)の原因となります。
- 2階以上や地下室のある1階に設置する場合は、万が一のことを考えトイレルームの防水や床に排水口の設置をお勧めします。

施工の手順 1 から 10 までの手順で行ってください。

1 給排水管の位置決めと床フランジの取付

止水栓(元栓)を確実に締めてください。
下図に従って、導入短管・給水管の位置を決めてください。

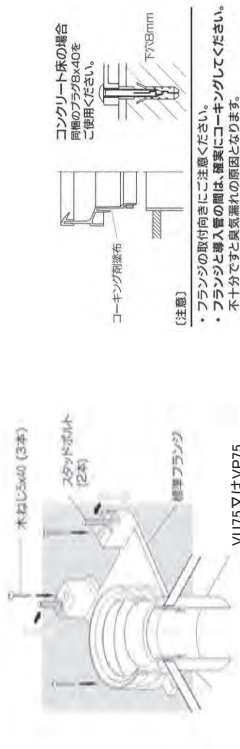


【注意】
 ・便器設置部の床面は、レベルを出して平らに仕上げてください。
 ・平らでないで便器のカットツキの原因となります。



2 床フランジの取付

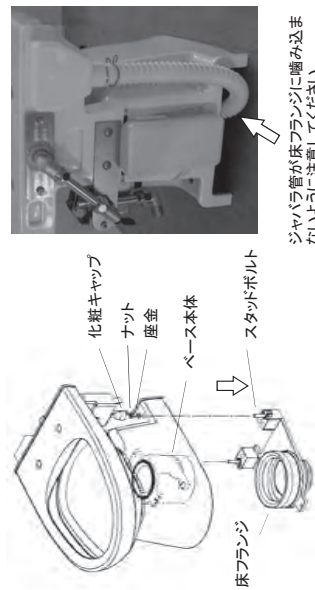
標準フランジの導入短管差込部にたがりコークキング材を塗り、床フランジを取り付けてください。



【注意】
 ・フランジの取付向きにご注意ください。
 ・フランジと導入短管の間は、確実にコーキングしてください。
 ・不十分だと臭気漏れの原因となります。

3 便器本体の据付

スタッドボルトを床フランジに立て、ベース本体を床フランジの中に差し込みます。便器が確実に据え付けられたことを確認してから座金を入れ、ナットを締め付け、化粧キャップをかませてください。

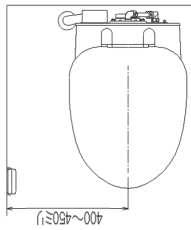
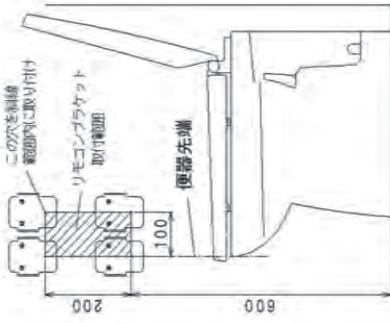


ジャバラ管が床フランジに噛み込まないように注意してください。

【注意】
 ・ベース本体を確実にフランジに差し込んでください。
 ・不十分だと臭気漏れや便器のガタツキの原因となります。
 ・ベース本体とフランジを接触した際、便器をモルタル等で埋め込み、だりしないようにしてください。
 ・メンテナスができてくなくなり、ナットを締め付けると、床の付け過ぎに注意してください。
 ・簡易が割れる恐れがあります。

4 リモコンの取付

リモコンブラケットを左右どちらかの壁に取り付け、リモコンを引っ掛けてください。



リモコンは、壁から便器中心までの距離を400~450ミリで取り付けてください。
 それ以外の寸法でセンサーが反応しないときは、同梱のリモコン接続ケーブル(有線)をお使いください。
 また、450ミリを超える寸法で自動洗浄を設定したとき、反応しない場合があります。そのときは、リモコンの押しボタン操作してください。

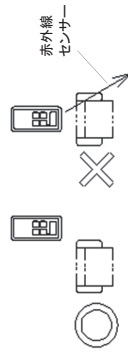
リモコンの取付位置が決まっています。必ず、取付範囲内に取り付けてください。

リモコンで動かなかったり、自動洗浄が誤動作する原因となります。

【注】

① リモコンから本体に送るセンサーの感度が悪くなると、リモコンボタンを押しても動作しないことがあります。
 下記の場合は、同梱のリモコン接続ケーブル(有線)を使用してください。
 ○床や壁が黒っぽい又は濃い色のとき
 ○リモコンが施工取付範囲外になるとき(自動洗浄も使えません)

② 洗浄便座KB22・21など便座側に操作部がある便座を取り付けたとき、リモコンボタンを押しても作動しないことがあるので座って左壁にリモコンを取り付けてください。
 右壁に取り付ける場合はリモコン接続ケーブル(有線)を使用してください。

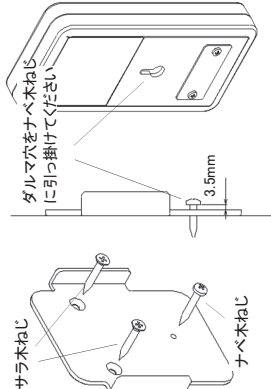


【注】
 センサー付リモコンの下にペーパーホルダーや手すり、棚などを取り付けないでください。
 また、掃除用車などセンサー付リモコンの下の床に置かないでください。
 矢印方向にセンサーが出ています。それを避ると動きませんので、ご注意ください。

付属の単三アルカリ乾電池4本を入れてください。
 リモコン接続ケーブル(有線)を使用する場合は、乾電池不要です。



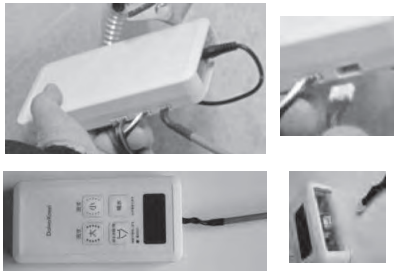
リモコンブラケットを木ねじで壁に取り付けてください。



リモコン接続ケーブル(有線)を使用した場合 お客様に有線・無線どちらにするか確認をお願いします。

リモコン接続ケーブル(有線)を使用すると、リモコンの乾電池が不要になります。高齢者や障害者の方など乾電池の交換ができない方や面倒な方にお勧めします。施工時にお客様に取付を確認してください。

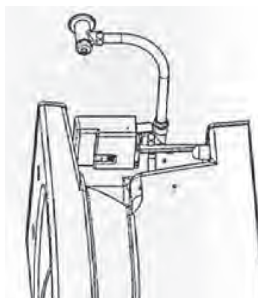
床や壁の色が異なったり場合や所定の位置(リモコンを取り付けられない場合、リモコン接続ケーブル(有線)を使用してください。)
但し、所定の位置にリモコンを取り付けられない場合は自動洗浄のセンサーが反応しないため、自動洗浄OFFをご使用ください。



5 給水管の接続

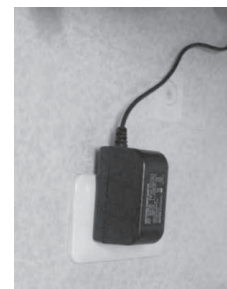
止水栓を取り付け、フレッドフレキ管で接続してください。一般的なフレキ管を使うと、洗浄水を流した後、異音が生ずる場合があります。また、水圧が低くて洗浄力が弱い時は、フレキ管にすると洗浄力が上がります。

エルボの中にストレーナーがあります。止水栓を付け何度が試運転して通水したあと、ストレーナーを掃除してしてください。



6 電源の接続

付属のACアダプターを接続してください。通電すると、フラッパーが1回開閉して通電したことをお知らせします。



電源を入れると、排出弁(フラッパー弁)が「1回閉閉」します。それ以外の動作をしたときは、配線が外れている可能性があります。配線が外れを確認してください。

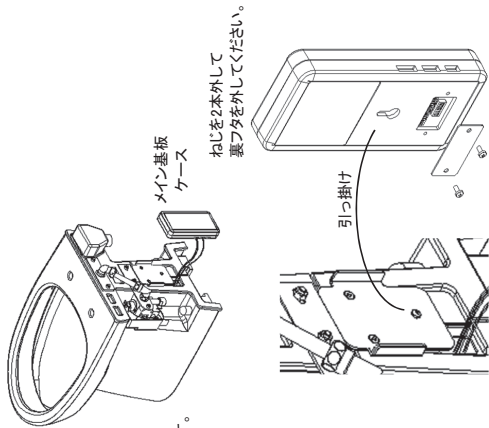
7 洗浄水量調整

工場出荷時、水道圧0.4MPaで調整しています。

流量の確認方法

下記の方法で現場の水道の流量を確認してください。

- ① 補水(前洗浄)ポリューム最大(時計回りに最大まで)にします。
- ② 排出弁開閉ボタンを押してフラッパー溜水をゼロにします。
- ③ 補水ボタンを1回押します。
- ④ 溜水の深さを測定します。
- ⑤ 表から流量を判定します。
- ⑥ 便器背面にあるメイン基板ケースを外してください。
- ⑦ そのケースの裏フタを外してください。
- ⑧ 測定高さに応じて下表で調整してください。



測定深さ	水道圧(目安)	切替スイッチ		ポリューム目盛位置			
		前洗浄	大洗浄	小洗浄	溜水洗浄	大洗浄	小洗浄
70mm以下	0.15MPa以下	3	3	3.5	10	なし	なし
77 ~ 86mm	0.16 ~ 0.25MPa	2	3	3	7	10	なし
88 ~ 96mm	0.26 ~ 0.35MPa	2	3	3	6	10	なし
97mm以上	0.36MPa以上	2	3	3	6	10	なし

測定深さが97mmになるように止水栓を絞って調整ください。ポリュームは工場出荷時のままにしてください。

前洗浄(補水)・大洗浄・小洗浄の水量調整

水量を増やしたいときは、時計回り水量を減らしたいときは、半時計回りに回して調整してください。

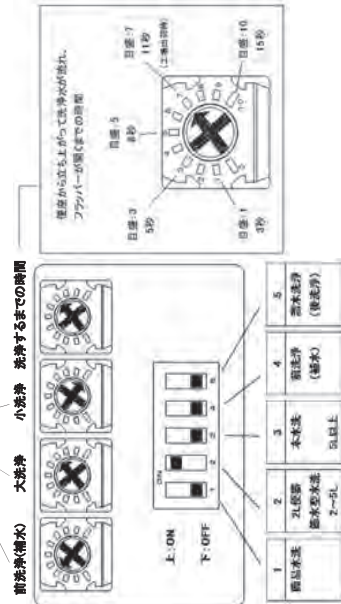
便器の水流方法の切り替え



前洗浄と溜水洗浄の切り替え



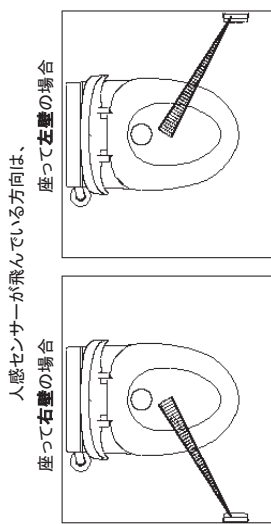
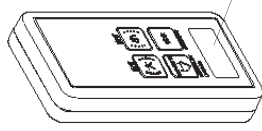
後付機、フラッパーの部材がない機、要していません。



8 自動洗浄の設定

自動洗浄にする場合は、下記の手順で設定を行ってください。

人感センサーの説明

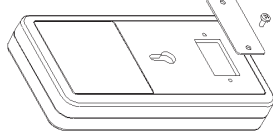


1. 左右壁取付位置の確認

壁取付位置は、**便座に座った状態**です。図は、右壁取付です。工場出荷時は、これで設定しています。

2. 左壁取付の切り替え

便座に座って左壁取付の場合、切り替えスイッチを左壁にしてください。



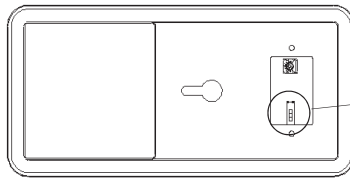
ねじを外して裏フタを外してください。

自動洗浄の動作について便座に座って

6秒以下	洗浄しません
6秒～30秒	小便と判断します
30秒以上	大便と判断します

便座から立ち上がった後洗浄するまでの時間は、工場出荷時11秒に設定しています。変更するときは、前ページの「洗浄するまでの時間」の調整を行ってください。

注) 「洗浄するまでの時間」を短くすると座っている途中で流れることがあります。その時は工場出荷時の時間に戻してください。



便器自動洗浄の切り替えスイッチ

便器自動洗浄	ON	OFF	ON
壁取付位置	左壁	-	右壁
スイッチの位置			

3. 人感センサーのテストモードによる感知距離の調整

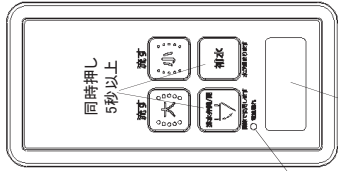
自動洗浄を使うとき、テストモードにすることで感知距離の確認ができます。

①テストモードの入力方

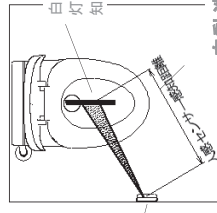
リモコンの排水弁開/閉ボタンと補水ボタンを5秒以上同時押しするとテストモードに入ります。同時押しなので、排水弁開/閉が補水のどちらか動作しますが、問題ありません。テストモードに入ると、人感センサーが感知すると「電池切れ」赤ランプが点灯します。

②人感センサー感知距離の調整方法

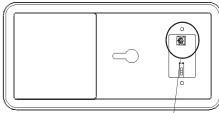
白紙(A4サイズ程度)を人感センサーの10cm程度前のかざして赤ランプが点灯することを確認してください。人感センサーは、斜め方向に出ています。その方向の便器中心付近に白紙を当て前後に移動しながら赤ランプを見てください。赤ランプが切れる場所が感知距離になります。便フタを感知しないように少し手前になるように調整してください。(図示)調整後、便座に座り上半身を動かしても「電池切れ」赤ランプが点灯しているか確認してください。テストモード中は、リモコンボタン操作はできません。



人感センサー



自動洗浄の感知距離



人感センサー感知距離調整ボリウム
時計回り：距離が長くなる
半時計回り：距離が短くなる

(注) トイレに窓や明かり取りがあり、日光が入る場合、前洗浄は「OFF」にしてください。誤動作することがあります。

③テストモードの解除方法

- 以下のいずれかの方法でできます。
 - ・リモコンの排水弁開/閉ボタンと補水ボタンを5秒以上同時押しすると、テストモードを解除します。
 - ・5分以上経過すると、自動解除します。
 - ・乾電池を外して入れ直すと、リセットされ解除されます。

注意事項

- 誤動作が生じないよう、取付前に必ず確認してください。
- ・自動洗浄で誤動作がある場合、自動洗浄をOFFにてご使用ください。
- ・濃い色の上着のとき自動洗浄のセンサーの感度が悪くなり反応しないときがあります。そのときは押しボタンで操作してください。
- ・人感センサー感知距離範囲内に障害物がないようご注意ください。
- ・トイレに窓や明かり取りがあり、日光が入る場合、誤動作(誰もいないのに動く)することがあります。
- そのときは、窓をカーテンやブラインドなどで遮光するか自動洗浄をOFFにしてください。
- また、前洗浄は「OFF」にしてください。
- ・リモコン取付けの反対壁がタイルなど放射しやすい素材のときは、自動洗浄を「OFF」で使用してください。
- ・人感センサーの濃い茶色部分を傷つけたり汚したりしないでください。
- ・水がかかると場所には設置しないでください。
- ・人感センサーが感知し放し状態が続くと、乾電池の消費が早くなります。
- ・ドアの閉鎖で自動洗浄することがあります。そのときは、リモコンの取付位置や感知距離調整を行ってください。
- それでも解消しないときは、自動洗浄をOFFにして押しボタンで使用してください。

9

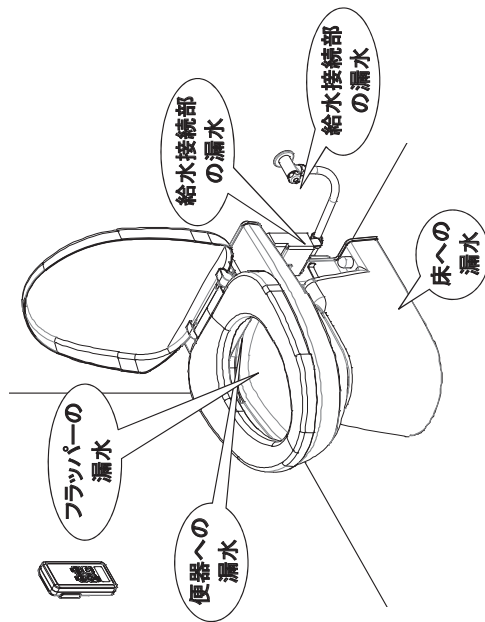
便座の取付

便座を取り付けてください。
取付方法は、便座についている説明書を読んでください。

10

点検

止水栓(元栓)を開き、リモコンの各ボタンを操作してフラッパーの開閉や洗浄水の流れ、各部の漏水の有無を点検してください。
自動洗浄設定の場合は、便座に座って下表の動作を確認してください。



自動洗浄の動作について便座に座って

6秒以下	洗浄しません
6秒～30秒	小便と判断します
30秒以上	大便と判断します

便座から立ち上がってから洗浄するまでの時間は、工場出荷時1秒に設定されています。
変更するときは、前ページの「洗浄するまでの時間」の調整を行ってください。

注)
「洗浄するまでの時間」を短くすると座っている途中で遊れることがあります。
その時は工場出荷時の時間に戻してください。

正常に動かないとき

リモコンボタンを押しても動かないときや異常な動作をした時はAOアダプターの電源を抜いて5秒後に電源を入れてください。
リセットされて正常に戻ります。

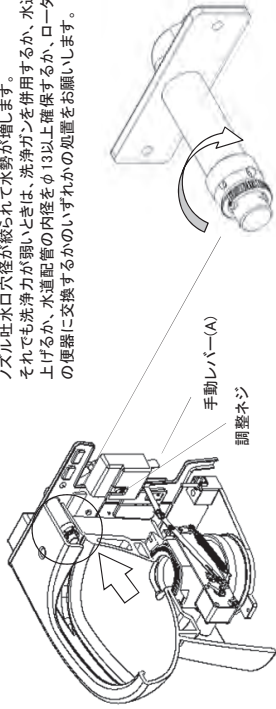
各調整

①洗浄力が弱いとき

流量が20リットル/分以下の時、洗浄力が弱くなります。
便器ボール面側から手を入れてノズルの先端のギザギザ部分を時計回りの90度回してください。

ノズル吐水口穴径が絞られて水勢が増します。

それでも洗浄力が弱いときは、洗浄ガンを併用するか、水圧を上げるか、水道配管の内径をφ13以上確保するか、ロータンク式の便器に交換するかのいずれかかの処置をお願いします。



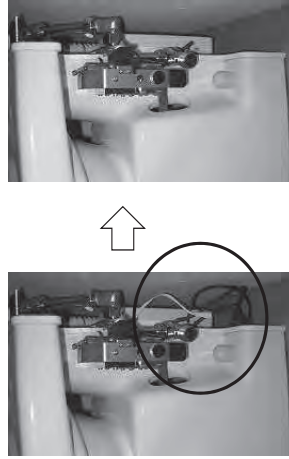
②便器オーバーフローの排出量の調整

手動レバー(A)を押し続けて便器ボール面を満水にしてから更に30秒以上押し続けて便器からオーバーフローさせてください。

便器からあふれたとき、マイナストライバーで調整ネジを絞って便器からあふれないように調整してください。

③コードの格納

便器背面のメイン基板ケースから出ているコードを便器内部に押し込んでください。
出っ放しにすると、リモコンのセンサーが反応しないことがあります。



凍結のおそれのあるとき

トイレ内が0℃以下になると、水が凍結して器具が破損するおそれがあります。
室内暖房により、トイレ室内を暖めてください。

施工後、お客様へ説明のとき、下記の説明をおねがいたします。
濃い色の上着のとき自動洗浄のセンサーの感度が悪くなり反応しないときがあります。
そのときは手動ボタンで操作してください。

背面カバーの外し方、取り付け方

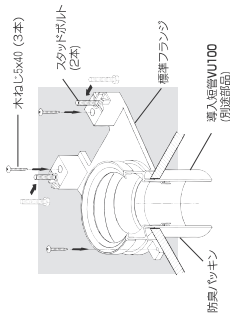
背面カバーを外したり取り付けたりする場合は、下図のように斜め方向から行ってください。
固定は、マジックテープになっています。



2 床フランジの取付

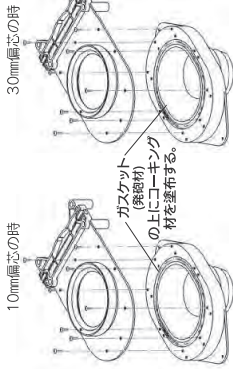
標準フランジ又は改造フランジを床に取り付けてください。

標準フランジ



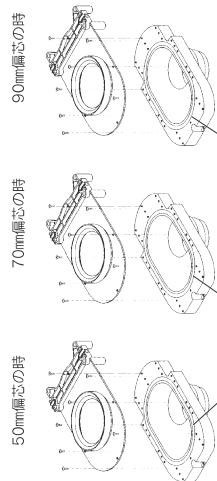
改造フランジ13 品番:APH-Z80

改造フランジの偏心量を決めてください。
偏心量を求めた後、漏水防止としてフランジ上と下の間にコーキング材（シリコーンシーラーラント）を充填してからネジを止めてください。
床の平面が出ていないときフランジが反って漏水する恐れがあります。



改造フランジ579 品番:APH-Z81

改造フランジの偏心量を決めてください。
偏心量を求めた後、漏水防止として、フランジ上と下の間にコーキング材（シリコーンシーラーラント）を充填してからネジを止めてください。
床の平面が出ていないときフランジが反って漏水する恐れがあります。



ガスケット、充填材の上にコーキング材を塗布する。

注) 改造フランジ579は、改造フランジ13のように反転できません。

共通事項

コンクリート床の場合
厚さのフタ8x40を
ご使用ください。

下穴φ25mm

コーキング剤塗布

ナット

化粧キャップ

フランジ

ベース本体

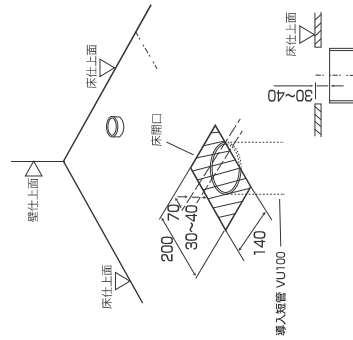
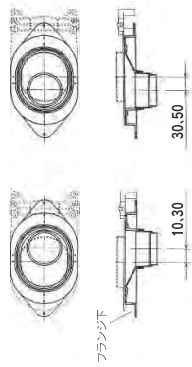
スタッドボルト

（注意）

- フランジの取付向きにご注意ください。
- フランジと導入管の間は、確実にコーキングしてください。不十分ですと臭気漏れの原因となります。

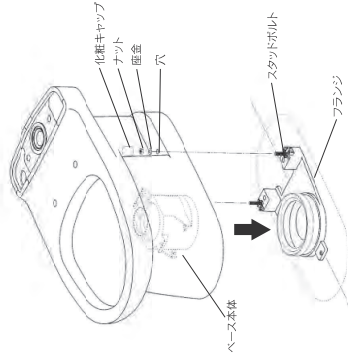
スタッドボルト(2本) 木ねじ5x40 (5本)

改造フランジ13は、フランジ下を反転すれば逆方向にも偏心できます。



3 便器本体の据付

スタッドボルトと穴を合わせながらベース本体をフランジの中に差し込みます。
便器が確実に指え付けられたことを確認してから座金を入れ、ナットを締め付け、化粧キャップをかぶせてください。

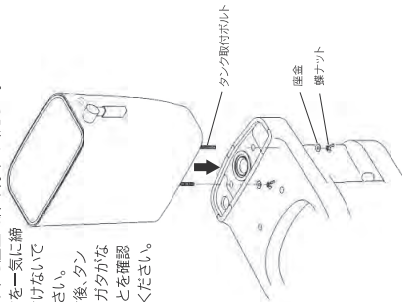


【注意】

- ベース本体を確実にフランジに差し込んでください。
- 不十分ですと臭気漏れや便器のガタツキの原因となります。
- ベース本体とフランジを接着したり、便器をモルタル等で埋め込んだりしないでください。
- メンテナスができなくなります。
- ナットを締め付けるとき、締め付け過ぎに注意してください。
- 陶器が割れる恐れがあります。

4 ロータンクの取付

- ①便器にタンクをのせてください。
②緊ナットと座金を締め付けてください。
片方を一気に締め付けないで、め付けないでください。



- ③締め付け後、タンクにガタがないことを確認してください。

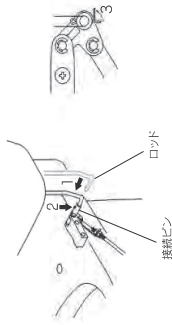
【注意】

- タンクの締め付けは、ロータンクを軽く動かしてガタツキがなくなるまで締め付けてください。締め付けが強いと漏水して床を濡らす原因となります。
- 必要以上に締め付け過ぎると、陶器が割れる場合がございます。
- ロータンクの取付ボルトを便器に差し込みとき、ボルトを便器に当てないようにゆつくりと差し込んでください。陶器が破損する恐れがあります。

5 ロッドの接続

接続ピンの穴とロッドの穴を合わせながらロッドを接続ピンに差し込み、割りピンを穴に入れて抜けないように先を広げてください。

- ①ロッドと接続ピンの穴を合わせてください。
- ②割りピンを穴に差し込んでください。
- ③割りピンの先端をプライヤー等で広げてください。

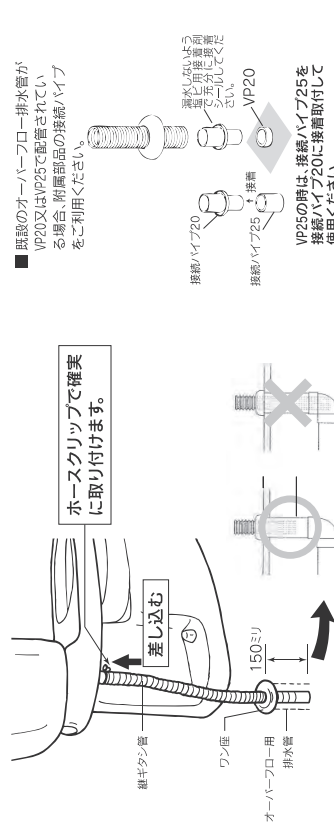


【注意】

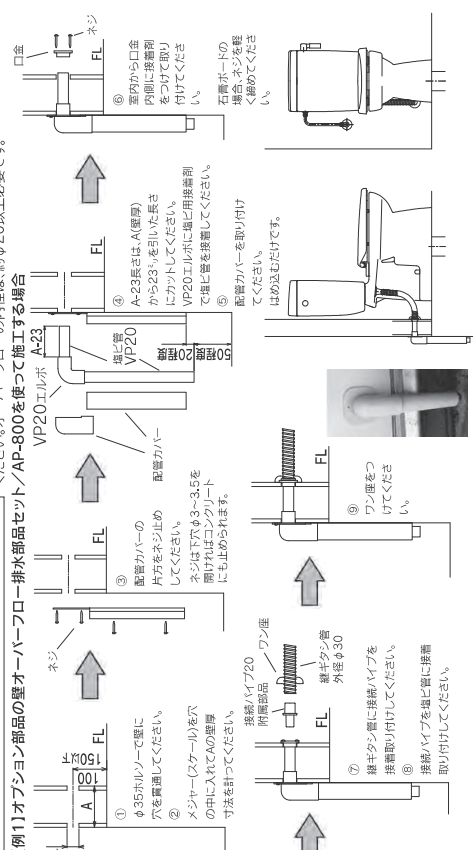
- 必ず、ロッドが抜けないことを確認してください。抜けると、レバーハンドルを操作してもフラップが動きません。

6 オーバーフロー管の接続

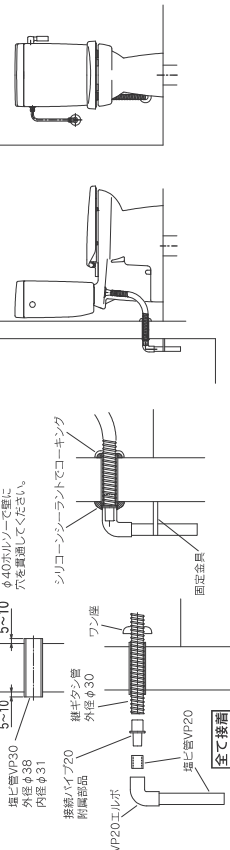
継ぎ管を便器に差し込み、ホースクリップで止めてください。
次に、継ぎ管を必要長さで切断し、ワン座を入れて、オーバーフロー排水管に差し込んでください。



【例1】オプション部品の壁オーバーフロー排水管を新設する場合

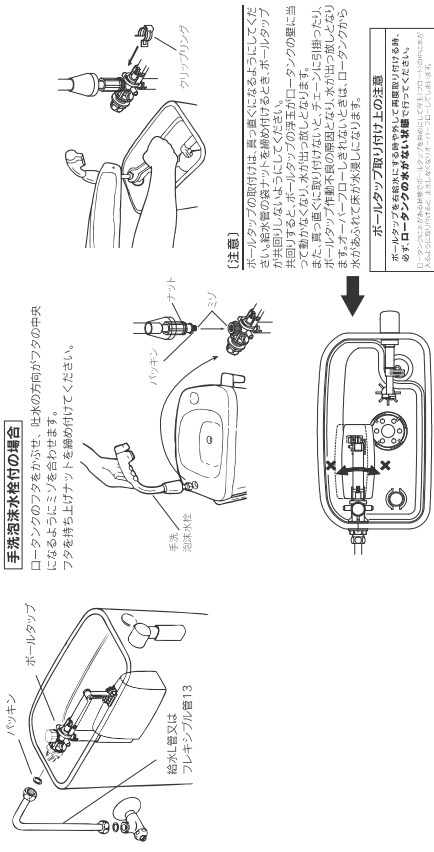


【例2】継ぎ管を露出設置して施工する場合



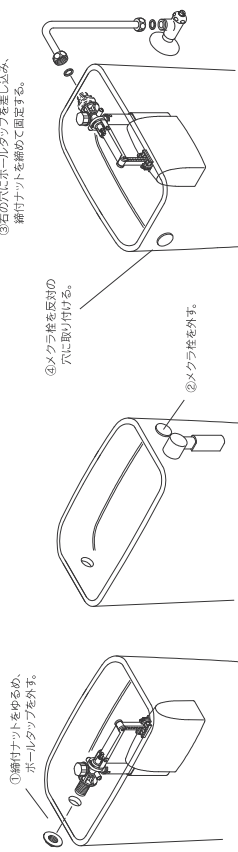
7 給水管の接続

アングル止水栓を取り付け、給水管をボールタップに接続してください。

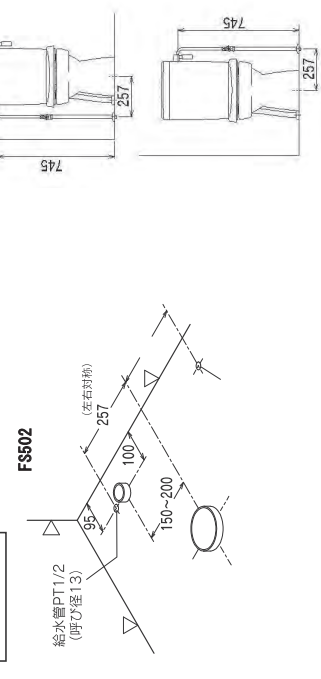


右給水の場合

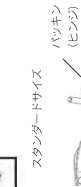
製品出荷状態は、左給水です。ボールタップを右に付け替えることで右給水にできます。



床給水の場合



8 普通便座・暖房便座の取付



1 便座の取り付け

- ① エロンゲートサイズ（ヒンジ）の向きを180度変えてください。
- ② バックキ（ヒンジ）とヒンジの凹凸を合わせてください。
- ③ 便座の便座取付穴にボルトを差し込んでください。
- ④ 下からバックキを入れ、便座ナットで締め付けてください。

※締め付けは、スナバ(19)でヒンジが動かない程度に締めてください。

2 電源プラグを差し込む

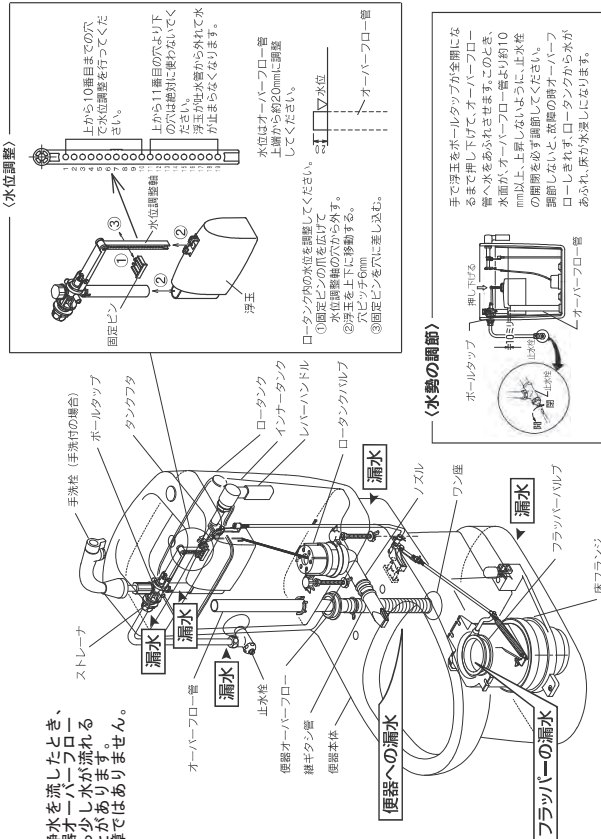
- ⚠ 警告 (SW-7の項) 交流100Vのコンセントに根元まで確実に差し込んでください。



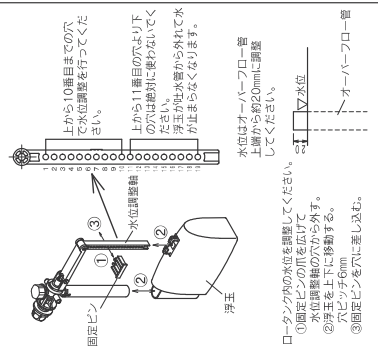
9 調整と点検

洗剤水を流したとき、便器オーバーフローから少し水が流れることがありません。故障ではありません。

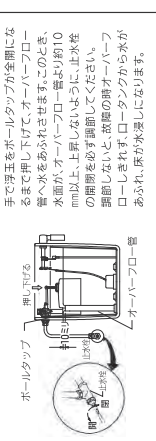
調整と点検
ボルトタップの水勢調整、止水栓でボールタップの水勢調整を行ってください。フラッパーの開閉や洗剤水の流れ状態、各部の漏水の有無を点検してください。



(水位調整)



(水勢の調節)



どこでもトイレ

施工手順書

はじめに

この度は本製品の取り扱い、組み立て、取り付け等につきまして、前にお知らせしておいた通り、施工前に必ずこの説明書をよくお読みください。この説明書の内容に基づき正しく取り付けてください。

安全に関するご注意

安全上の警告、注意事項を必ず守ってください。

- 警告** 電気工事を行うときは、必ず電源を切ってください。また、電気工事には、必ず電気工事士の資格が必要です。
- 注意** 製品の取り付け、組み立て、取り付け等には、必ずこの説明書をよくお読みください。この説明書の内容に基づき正しく取り付けてください。

- 注意** 製品の取り付け、組み立て、取り付け等には、必ずこの説明書をよくお読みください。この説明書の内容に基づき正しく取り付けてください。
- 注意** 製品の取り付け、組み立て、取り付け等には、必ずこの説明書をよくお読みください。この説明書の内容に基づき正しく取り付けてください。

注意

- 絶対に分解したり、修理・改造は行わない。分解や修理、取り付けの際は、必ずこの説明書をよくお読みください。
- 本製品は室内設置用です。屋外および傾斜のあるような設置場所、振動の激しい場所には取り付けてください。
- 電源コンセントは水や小水がかからない位置に設置する。給排水管及び吐出ホースの周りにコンセントを設置したり、給排水管及び吐出ホースと電線、配線の接触を避けてください。
- 給水管と吐出ホース、排水管接続部を接触させない。上向きに接続して、接続部が及ぼす圧力が加わらないようにしてください。

注意

- 専門業者以外の方は、施工を行わない。取組、分解、取り付けの際は、必ずこの説明書をよくお読みください。
- 吐出ホースを濡らさない。吐出ホースが濡れると、吐出ホースの寿命が短縮され、吐出ホースが破損する可能性があります。
- 吐出配管は、汚水、排水、浄化槽等の汚水系統に接続する。吐出配管は、吐出ホース、排水、浄化槽等の汚水系統に接続する。
- 吐出配管を別の排水口に接続しない。吐出配管を別の排水口に接続しない。吐出配管を別の排水口に接続しない。
- 必ず同梱の部品を使用し、正しく所定の位置に取り付ける。正しく取り付けられず、製品の性能が低下する可能性があります。

注意

- 電源はAC100Vのコンセントを使用し、アース工事（D種接地工事）を行う。火災や感電のおそれがあります。
- 水を流して清掃するときは、屋外など水がかかりやすい場所には設置しない。製品に水や洗剤をかける場合は、必ずこの説明書をよくお読みください。
- 消費電力に合った適切な配線を必ず行う。消費電力に合った適切な配線を必ず行う。
- 電源プラグは、必ず接地型にしてください。接地型でない電源プラグは、必ず接地型にしてください。

注意

- 吐出ホースと電源コードは人が通らない場所に設置する。吐出ホースと電源コードは、人が通らない場所に設置する。
- 工事完了後、本製品に流れる水は5分以上流し、本製品に接続されている大便器の水を5分以上流し、本製品が正常に動作し、便器の水が毎回正しく排出されることを確認する。またその際、本製品の吐出部・吐出配管の接続部、便器と本製品の接続部、吐出ホースの接続部、吐出ホースの接続部を確認する。
- 本製品に大便器以外の水まわり器具が接続されている場合は、全ての水まわり器具に十分な水を流し、本製品が正常に動作していることを確認する。またその際、本製品の吐出部・吐出配管の接続部、便器と本製品の接続部、吐出ホースの接続部、吐出ホースの接続部を確認する。

工事完了後
取扱説明書と保証書を必ずお客様にお渡しください。
保証書は必要事項を記入してお渡しください。

DaiwaKasei
ダイワ化成株式会社
本社 東京都中央区新富町1-1-1
工場 東京都中央区新富町1-1-1
TEL:03-5561-7888

施工上の注意

○上方、水平圧送拒絶を確認してください。
全体施工図(4ページ)を見てください。

H	L
7mの時	最大 40m
5mの時	最大 40m
5mの時	最大 40m
4mの時	最大 40m
3mの時	最大 40m
2mの時	最大 100m
1mの時	最大 100m

(例) 横引きする場合は最大50mまで

○排水配管は、土中埋設・露出配管を問わず、露出配管のとき、凍結防止として保温材を巻くなど対策を行ってください。

○接続できる排水は、「便器」「小便器」「洗面化粧台」「手洗器」の排水です。「便器」は、台所排水を流すと、油分が多いため故障の原因となります。浴室排水を流すと、大量の排水で圧送ポンプが連続運転となり、温度が上昇しポンプが停止するため流さないでください。

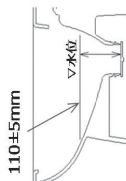


○電源プラグ
単相100Vの50Hzまたは60HzのAC電源が必要です。
2極アース付きプラグ、アース付きコンセントをご準備ください。
アースターミナル付きコンセントに接続の際は、変換アダプタが必要です。

○コンセントに置く位置にしてください。
電源は専用回路で漏電ブレーカーを付けてください。
電源コードの長さは1.5mです。コンセントは本体コード取出口から1.5m以内の壁面に設けてください。

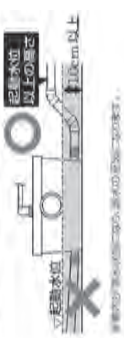


○便器の水量調整(20便器のみ)
どこでも2L便器の洗浄水量を確認してください。
ロット接続しない状態で1回のレバー操作をしたとき、ボール面に滑る水位が110mm±5mmになっているか確認してください。
ロータンの水位が低いと洗浄水量が少なくボール面に滑る水位も低くなります。ロータンの水位を確認してください。



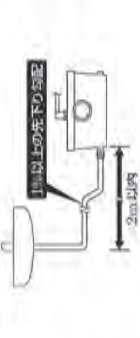
流入に関する注意

- 水まわり経路から本製品への流入配管には、適切な勾配が必要で、(1%以上の左下り勾配)
- 本製品経路の流入口を使用する場合は、吸引配管の高さを駆動水以上の高さとしてください

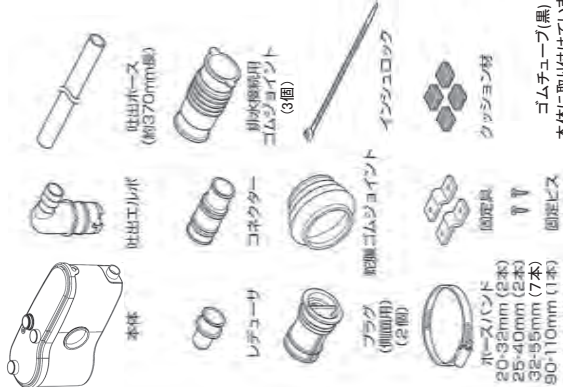


●水まわり経路と本製品の接続距離が2mを超えないようにしてください。

※この図はあくまで参考です。実際の施工には、必ず施工図を参照してください。



同梱部品



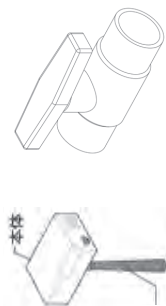
必要な工具



※床固定用のビス(2本)は同梱されていません。(床材質にあわせてご用意ください。)

別途必要なもの

- 塩ビ用接着剤
- 塩ビ継手 45度エルボ VP25 (VP20)
- 塩ビパイプ VP25 (VP20)



アラーム 塩ビ製ボールバルブ25

全体施工図

【施工上の注意】

- 接続できる排水は、
 ・便器
 ・小便器
 ・洗面化粧台
 ・手洗器 の排水です。



台所排水を流すと、油分が多いため故障の原因となります。
 浴室排水を流すと、大量の排水で圧送ポンプが連続運転となり
 温度が上昇しポンプが停止するため流さないでください。

**「簡易水洗便器」は、接続できません。
 必ず、「洗浄水量20以上の便器」にしてください。**

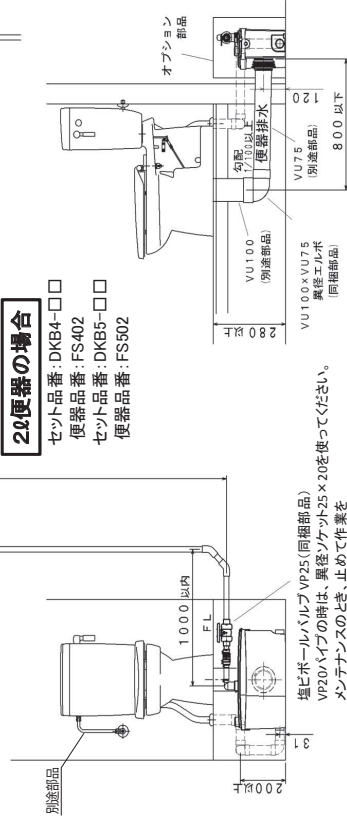
上方、水平圧送距離

事前に確認してください。

H	L
7m の時	最大 50m
6m の時	最大 60m
5m の時	最大 70m
4m の時	最大 80m
3m の時	最大 90m
2m の時	最大 100m
1m の時	最大 110m

(例) 圧送ポンプから5m上げ、そこから横引きする場合は最大70mまで

VP25 (別添部品)
 必要量をご用ください。
 VP20にもできます。

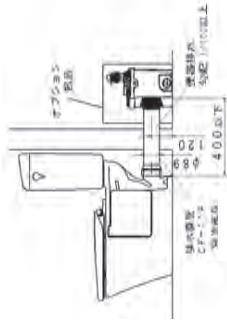


塩ビボールバルブ VP25 (同梱部品)
 VP20バルブの時は、異径ソケット25×20を併せてください。
 メンテナンスのとき、止めて作業を
 するため必ず取り付けてください。

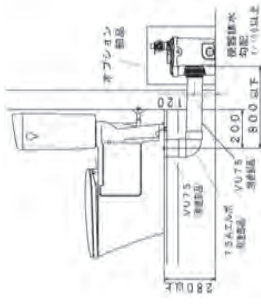
水洗便器の場合

※ 洗浄水量20以上であれば、他の便器も使用可能です。

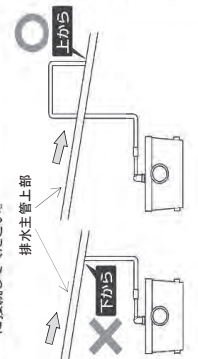
50便器 (壁排水)



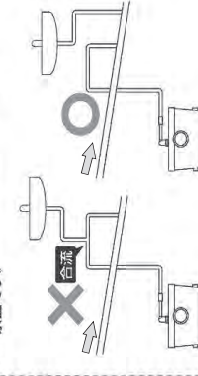
50便器 (床排水)



漏水による逆流防止のため、吐出管は排水主管上部に接続してください。



破封・逆流防止のため、他の衛生器具との合流は禁止です。



施工の手順

1 便器の施工

20便器、50便器、他社便器の施工説明書をお読みください。

2 便器から圧送ポンプへの配管

2-1 20便器

全体施工図(4ページ)を見て、便器から圧送ポンプへの配管をしてください。
 20便器は、オーバーフロー排水を配管してください。

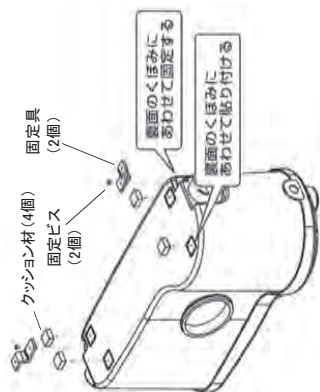
【注意】 20の洗浄水量を確保してください。

2-2 50便器(床排水)・(壁排水)

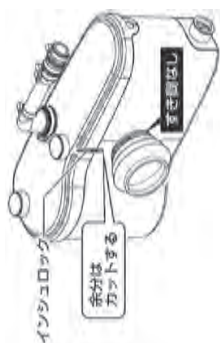
全体施工図(4ページ)を見て、便器から圧送ポンプへの配管をしてください。

3 クッション材、固定具の取り付け

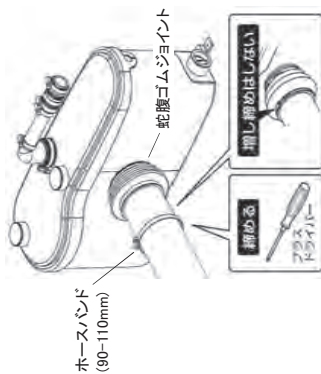
- クッション材の剥離紙をはがし、貼り付ける。
- 固定具を図の向きにビスで本体に固定する。



- インシュロックで締め付ける。
インシュロックの糸分な部分はカットする。



5 便器配管との接続

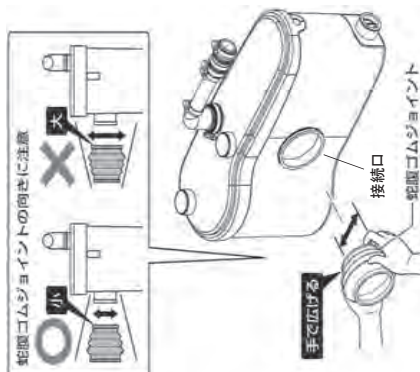


△注意

- ホースバンド(90-110mm)を締めすぎない
便器が割れるおそれがあります。

4 蛇腹ゴムジョイントの取り付け

- 蛇腹ゴムジョイントの径の小さい方を手でしっかりと広げポンプの口にかぶせる。



6 吐出部材の組立

吐出配管は、VP25にしてください。VP20にもできます。

※ VP25を推奨

吐出配管 VP25mm の場合

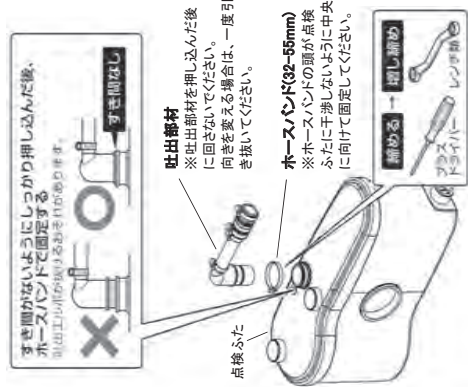
- コネクタを図の位置でカットする。
カット
- 吐出ホースを吐出エルボにしっかりと差し込み、ホースバンド(20-32mm)で固定する。
※接続部を水で濡らすと差し込みやすくなります。
- レデューサーを吐出ホースにしっかりと差し込み、ホースバンド(20-32mm)で固定する。
※接続部を水で濡らすと差し込みやすくなります。
- コネクタをレデューサーに差し込み、ホースバンド(25-40mm)で固定する。

吐出配管 VP20mm の場合

- 吐出ホースを吐出エルボにしっかりと差し込み、ホースバンド(20-32mm)で固定する。
※接続部を水で濡らすと差し込みやすくなります。
- レデューサーを吐出ホースにしっかりと差し込み、ホースバンド(20-32mm)で固定する。
※接続部を水で濡らすと差し込みやすくなります。
- コネクタをレデューサーに差し込み、ホースバンド(25-40mm)で固定する。

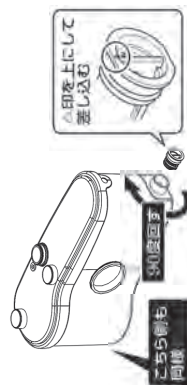
7 吐出部材の取り付け

吐出部材の向きを接続する配管の方向に応じてきめ、押し込む。



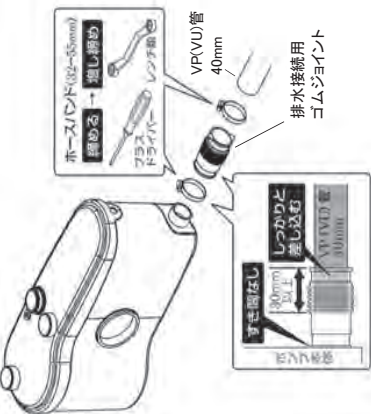
8 雑排水流入口の処理をする (横:2カ所)

雑排水を接続しない流入入口の処理。使用しない雑排水流入口にプラグを押し込み、90度回し閉止する。



9 ポンプの床固定

雑排水流入口に排水接続用ゴムジョイントをかぶせ、VP(VU)管40mmの配管を差し込み、ホースバンド(32-55mm)で固定する。

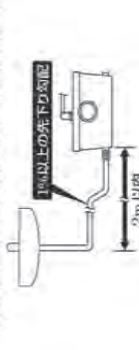


流入に関する注意

- 水まわり器具から本製品への流入配管には、適切な知識が必要です。(1%以上の先下り勾配)
- 本製品側の流入口を使用する場合は、排水は設置の高さを配管水位以上の高さとしてください。



- 水まわり器具と本製品の接続距離が2mを超えないようにしてください。
- 排水の流力が弱くなる可能性があります。排水の流力が弱くなる場合は、排水の取付位置を器具の取付位置から器具の取付位置までの距離を短くしてください。

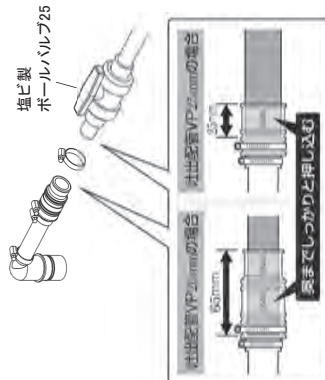
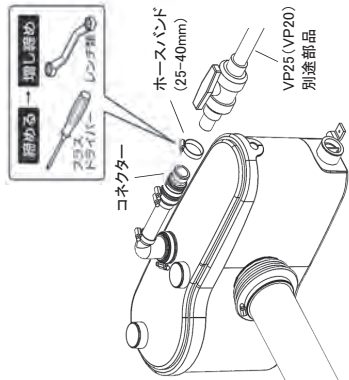


9 ポンプの床固定



10 配管接続

コネクタに配管を差し込み、ホースバンド(25-40mm)で固定する。
※吐出ホースは固曲しない範囲で曲けても構いません。

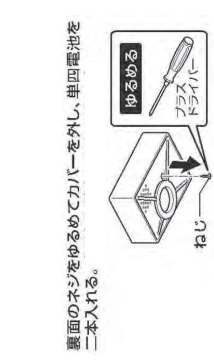


【注意】

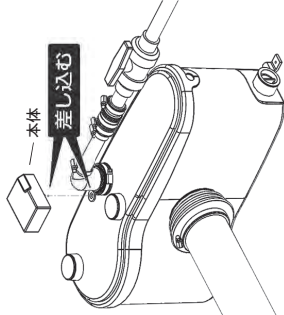
塩ビ製ポールバルブは、必ず付けてください。メンテナンスのとき、必要となります。

11 警報装置(アラーム)の取り付け

停電、故障時等に排水の吐出に不具合が生じた場合や注入排水量が過多となってポンプ内水位が異常に上昇した場合に警報でお知らせします。



アラーム本体の突起部分をゴムチューブ(ツバ部分)に差し込む。



側面のスイッチをONにする。(その際の初期警報が鳴れば正常です)

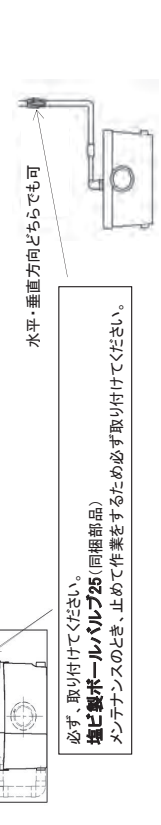
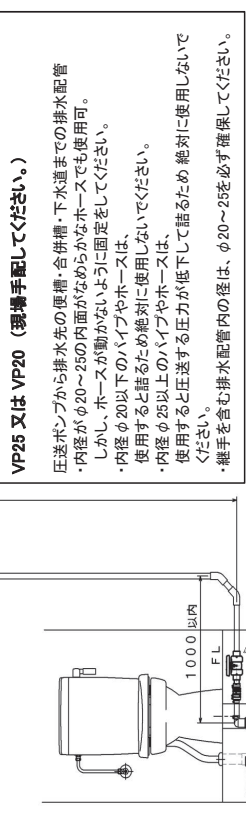
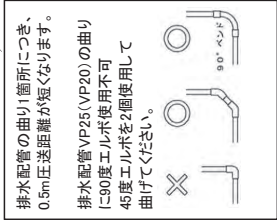
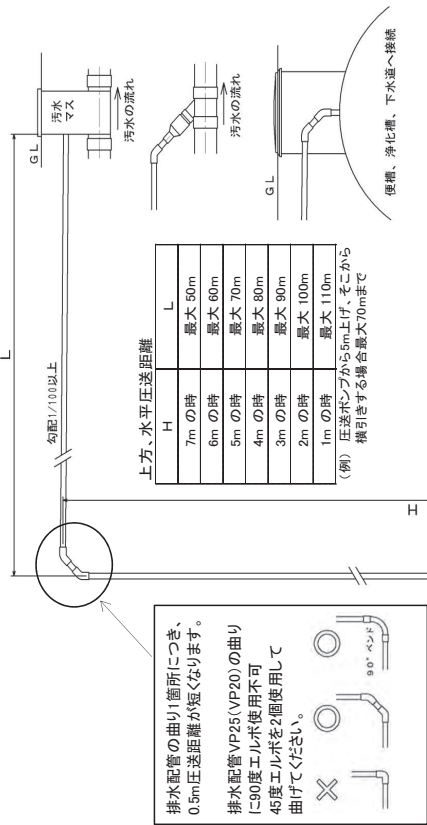


【注意】

- 側面のスイッチは必ずONの状態でお使いください。
- 電池は1年に1回交換してください。
- 警報が鳴った場合は、圧送ポンプに接続されている大便器を含む全ての器具の使用をやむやみに中止してください。

12 圧送ポンプから便槽・浄化槽・下水道への配管

圧送ポンプから便槽・浄化槽・下水道への配管をしてください。



【施工上の注意】
 ○排水配管は、土中埋設・露出配管できます。
 露出配管のとき、凍結防止として保温材を巻くなど対策を行ってください。
 ○10m以上の排水配管は、10m間隔で掃除口を設けてください。
 掃除口は、下記の2通りから選んでください。
 ・TSチャージャー継手にツマミ式VP管用掃除口を付ける。
 ・TS給水チャージャー継手にステンレスのメクラプラグをシールテープを巻いてねじ込む。

13 電源プラグの接続

プラグは2極アース付きです。アース付きコンセントをご準備ください。アーススターミナル付きコンセントに接続の際は、変換アダプタが必要です。



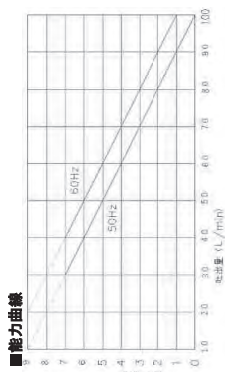
試運転

●本製品に通電し、本製品に接続されている大便器の水を5回以上流し、本製品が正常に作動し便器の排水がスムーズに排出すること。本製品の吐出配管の接合部から水漏れ等の異常がないか必ず確認してください。また、本製品に大便器以外の水まわり器具が接続されている場合は、それらに十分水を流し、排水が正常に行われているか、接合部から水漏れ等の異常がないか確認してください。

●本製品に同梱されている「異物投入禁止」のステッカーをトイレ内の良く見える場所に貼ってください。

■圧送ポンプの仕様

電源	AC100V(50Hz/60W/950W)
電源コード長	1.5m(電源プラグ:アース付き3Pプラグ)
投入口径	径40mm(排水口径:75mm)
吐出口径	径50.7mm(奥行204mm×高さ267mm)
重量	10kg
吸入最高水位	35℃
タンク容量	12ℓ



■圧送ポンプ屋外カバー

室内に圧送ポンプを設置した場合、圧送ポンプの音が気になることがありますので、屋外設置をお勧めします。圧送ポンプを屋外に設置する場合は、必ず屋外設置用のカバーを必ず取り付けます。取り付けの際は、必ず取扱説明書の「屋外設置」の項目を必ず読んでください。また、屋外カバーは必ず雨はたかさないようしっかりと固定してください。

DAP-08
■圧送ポンプ屋外カバー付属品

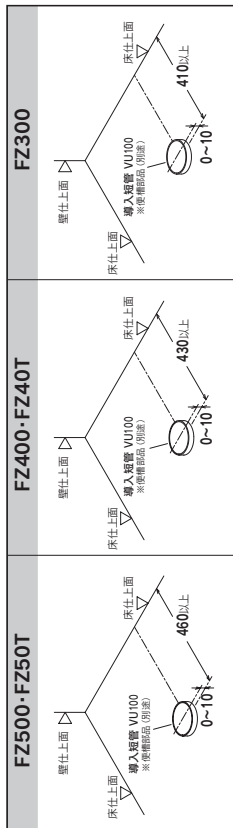
AP-850樹脂塗装製(アイボリー) 定価:76,500円
AP-851樹脂塗装製 定価:36,000円

2 導入短管の位置決め

該当する手順に沿って施工してください。

2-1 既設の洋式簡易水洗便器を取り替え 導入短管の位置がそのまま施工できる場合

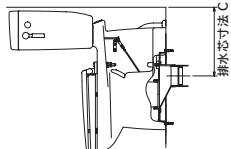
導入短管立上り位置を確認してください。



2-2 既設の洋式簡易水洗便器を取り替え 導入短管の位置が合わない場合

①のいずれかを測定してください。

- ①壁から導入短管立上り中心までの寸法(排水芯寸法C)が合わないとき、オプション部品の改造フランジIを使用し導入短管立上り位置をそのまま施工できます。
- ②便槽からの導入短管(構引き管VU100)をカットし延長してください。



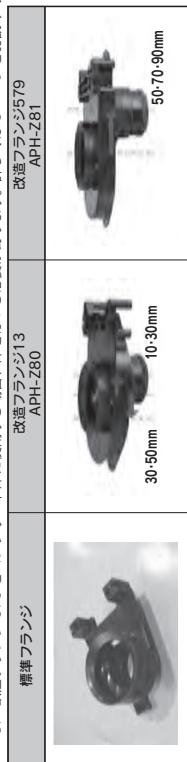
床フランジの種類	標準フランジ	改造フランジ13	改造フランジ13 (反転して使用)	改造フランジ579	改造フランジ281
FZ300	0	10	-30	50	70
FZ400-FZ40T	430以上	450以上	490以上	410以上	390以上
FZ500-FZ50T	460以上	480以上	510以上	440以上	420以上
FZ300	410以上	400以上	440以上	360以上	340以上
FZ400-FZ40T	420以上	380以上	460以上	380以上	370以上
FZ500-FZ50T	440以上	400以上	480以上	360以上	340以上

標準フランジは、同梱しています。
改造フランジは、別売です。

- 例1) 既設の排水芯寸法が400mmの場合
OFZ500 を設置するには、改造フランジ579 を使って70mm 備芯させて取り付けます。
OFZ400 を設置するには、改造フランジ13 を使って30mm 備芯させて取り付けます。
OFZ300 を設置するには、改造フランジ13 を使って10mm 備芯させて取り付けます。
- 例2) 既設の排水芯寸法が500mm、そのまま便器を設置するとロータータンクと壁との間が大きく開き、手前が狭くなる場合、OFZ500 を設置するには、改造フランジ13 を反転して使用し-30mm 備芯させて取り付けます。
OFZ400 を設置するには、改造フランジ13 を反転して使用し-50mm 備芯させて取り付けます。

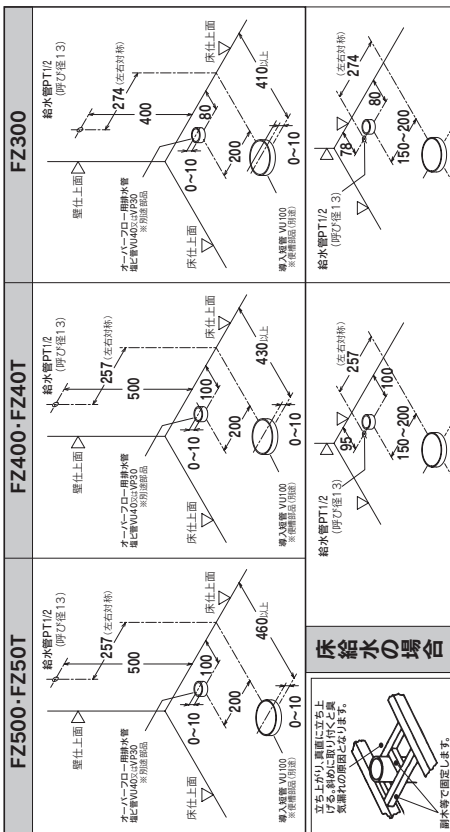
注) 1. 改造フランジをご使用になった場合、本水流への切替を行う際には配管位置変更の工事が必要になります。

2. 改造フランジ579は、反転できません。
3. 改造フランジ579をコンクリート床に使用する場合は、床をばつる必要が湧ります。詳しくは8ページをお読みください。



2-3 新築や増築で新たに配管する場合

導入短管・オーバーフロー排水管・給水管の位置を決めて配管してください。



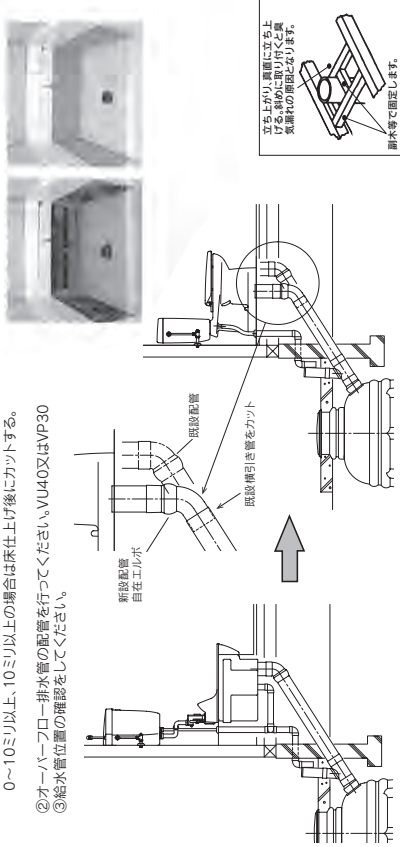
2-4 既設の和式簡易水洗便器を取り替える場合

下記の手順で施工を行ってください。

1. 既設便器の撤去
 - ①給水管を取り外してください。
 - ②トイレタンクの水を抜いてください。
 - ③洗剤管を取り外してください。
 - ④ロータータンクを取り外してください。
 - ⑤便器を取り外してください。
2. 床と腰壁の撤去
 - ①床と脚壁を撤去してください。
 - ②ロータータンクの水を抜いてください。
 - ③洗剤管を取り外してください。
 - ④ロータータンクを取り外してください。
 - ⑤便器を取り外してください。
3. 配管工事
 - ①導入短管の立上り位置と高さを確認してください。
 - 壁から導入短管中心位置(排水芯寸法)の確認
 - 排水芯寸法に合せて構引き管をカットし立上げ直してください。
 - 床仕切り面からの導入短管立上り高さの確認
 - 0~10ミリの場合: 10ミリ以上の場合は床仕上げ後にカットする。
 - ②オーバーフロー排水管の配管を行ってください。VU40又はVP30
 - ③給水管位置の確認を行ってください。

4. 床と腰壁の張り替え

下地、仕上材を張ってください。

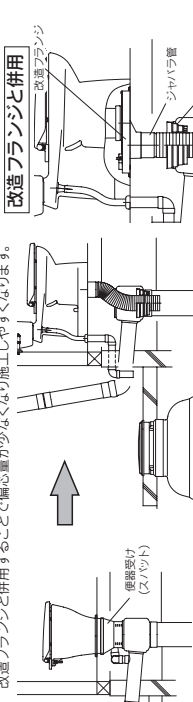


2-5 既設の洋式非水洗便器を取り替える場合

1. 既設便器の撤去

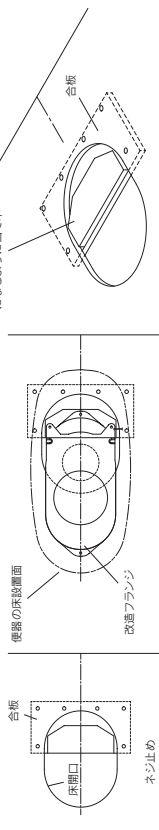
- ①便器を取り外してください。
- ②便器受け(スノボット)を取り外してください。

改設部品ジャバラセットB又は改設部品ジャバラセットCを使って無臭便槽配管と床フランジを接続してください。
改設フランジと併用することで備置量が少なくなり施工しやすくなります。



3. 床の工事

床の撤去、取り替えを行ってください。
又は、FZ500は、洋式非水洗便器の床開口が便器内に隠れます。
床開口の位置によっては、改設フランジを使えば床工事が不要になります。
但し、フランジを床に固定するための合板を取り付けてください。



2-6 既設の和式非水洗便器を取り替える場合

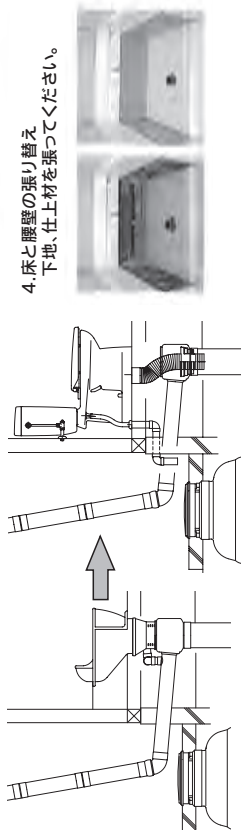
1. 既設便器の撤去

- ①便器を取り外してください。
- ②便器受け(スノボット)を取り外してください。

2. 床と腰壁を撤去してください。

3. 給排水配管

①汚水配管
改設部品ジャバラセットB又はCを使って無臭便槽配管と床フランジを接続してください。
改設フランジと併用することで備置量が少なくなり施工しやすくなります。
②オーバーフロー排水管の配管を行ってください。VU40又はVP30
③給水配管を行ってください。



4. 床と腰壁の張り替え

下地、仕上材を張ってください。

3 オーバーフロー排水管の位置決め

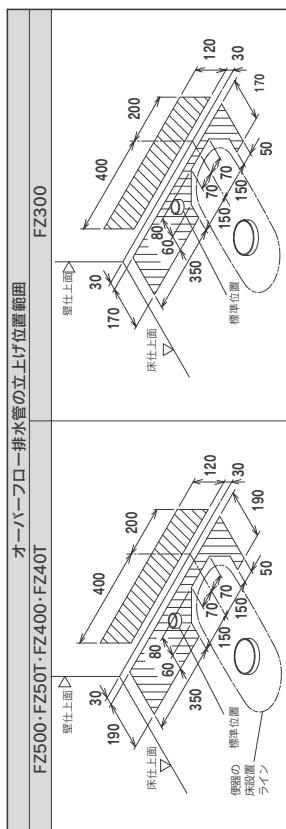
該当する手順に沿って、オーバーフロー排水管の位置を決めて施工してください。

3-1 既設の簡易水洗便器を取り替え

オーバーフロー排水管の位置がそのまま施工できる場合

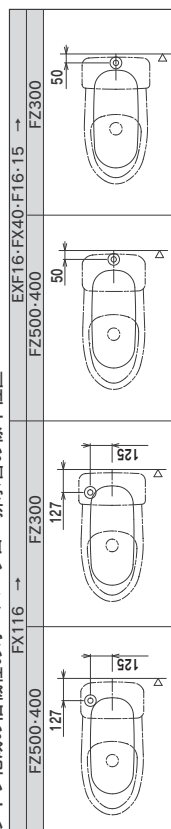
オーバーフロー排水管の位置を確認してください。

下図の斜線部の範囲内にオーバーフロー排水管の中心があれば、そのまま施工できます。
オーバーフロー排水管：塩ビ管VU40(外径φ48 内径φ44)又はVP30(外径φ38 内径φ31)



既設のオーバーフロー排水管の通じ管サイズが、VP25(外径φ32 内径φ25)やVP20(外径φ26 内径φ20)のとき、付属の接続パイプで施工してください。

ダイワ化成の旧機種オーバーフロー排水管の標準位置

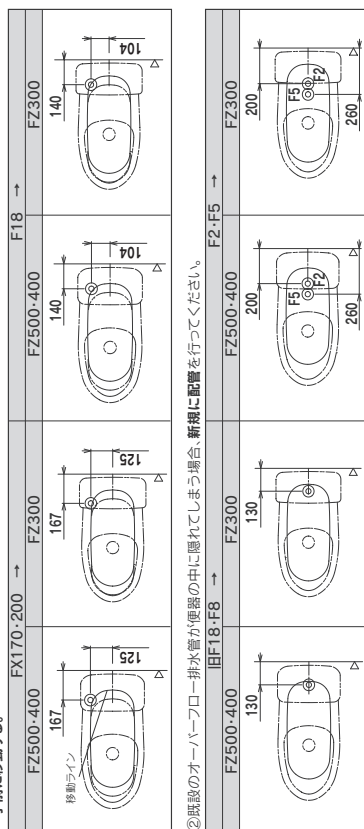


3-2 既設の簡易水洗便器を取り替え

オーバーフロー排水管の位置が合わない場合

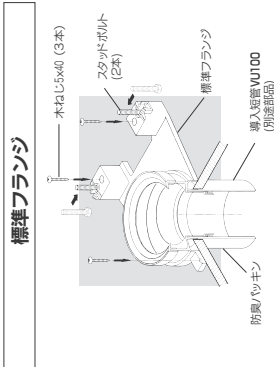
下記のいずれかを測定してください。

- ①既設のオーバーフロー排水管壁が便器に当たる場合、「改設フランジ」を使って便器を手前に移動する。
- ②既設のオーバーフロー排水管が便器の中に隠れてしまう場合、「新機に配慮」を行ってください。



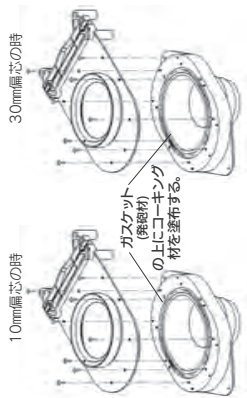
4 床フランジの取付

標準フランジ又は改造フランジを床に取り付けてください。



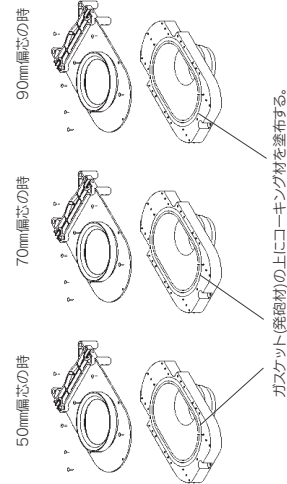
改造フランジ13 品番:APH-Z80

改造フランジの備芯量を決めてください。備芯量を決めた後、漏水防止として、フランジ上と下の間にコーキング材(シリコーンシーラント)を充填してからネジを止めてください。床の平面が出ていないときフランジが返って漏水する恐れがあります。



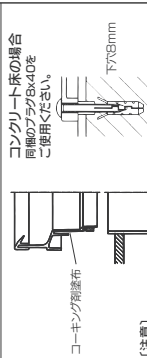
改造フランジ579 品番:APH-Z81

改造フランジの備芯量を決めてください。備芯量を決めた後、漏水防止として、フランジ上と下の間にコーキング材(シリコーンシーラント)を充填してからネジを止めてください。床の平面が出ていないときフランジが返って漏水する恐れがあります。



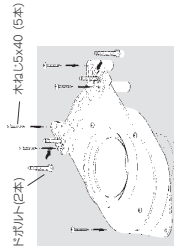
注) 改造フランジ579は、改造フランジ13のように取付できません。

共通事項

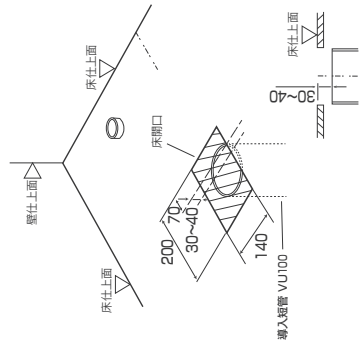
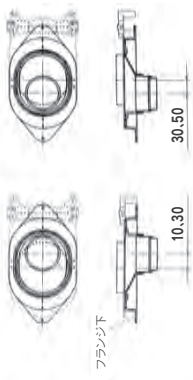


(注意)

・フランジの取付向きにご注意ください。
・フランジと導入管の間は、確実にコーキングしてください。不十分ですと臭気漏れの原因となります。

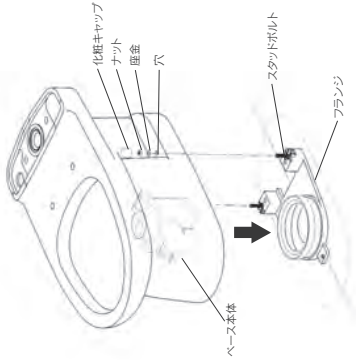


改造フランジ13は、フランジ下を反転すれば逆方向にも備芯できます。



5 便器本体の据付

スタッドボルトと穴を合わせながらベース本体をフランジの中に差し込みます。便器が確実に据え付けられたことを確認してから座金を入れ、ナットを締め付け、化粧キャップをかかせてください。



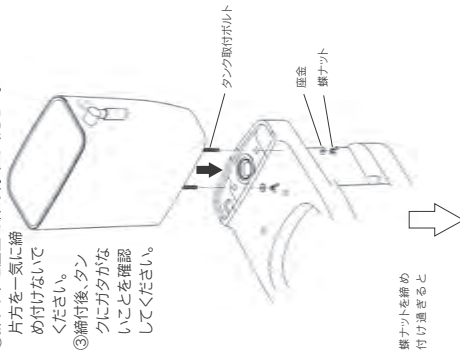
(注意)

- ・ベース本体を確実にフランジに差し込んでください。
- ・ナットを締め付けるとき、締め付け過ぎに注意してください。
- ・ナットを締め付けるとき、締め付け過ぎに注意してください。
- ・陶器が割れる恐れがあります。

6 ロータンクの取付

①便器にタンクをのせてください。
②蝶ナットと座金を締め付けてください。片方を一気に締め付けてください。

③締付後、タンクにガタがないことを確認してください。



(注意)

- ・タンクの締め付けは、ロータンクを軽く動かしてガタツキがなくなるまで締め付けてください。締め付けが弱いと漏水して床を濡らす原因となります。
- ・必要以上に締め付け過ぎると、陶器が割れる場合がございます。
- ・ロータンクの取付ボルトを便器に差し込みとき、ボルトを便器に当たらないようにゆっくりに差し込んでください。陶器が破損する恐れがあります。

7 ロットの接続

接続ピンとロッドの穴を合わせながらロッドを接続ピンに差し込み、割ピンを穴に入れて抜けないように先を広げてください。

- ①ロッドと接続ピンの穴を合わせてください。
- ②割りピンを穴に差し込んでください。
- ③割りピンの先端をプライヤー等で広げてください。

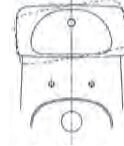


(注意)

- ・必ずロッドが抜けないことを確認してください。抜けると、レバーハンドルを操作してもフラッパーバルブが開きません。

(注意) FZ300

- ・取付後、必ずフタにガタツキがないことを確認してください。蝶ナットの締め付け過ぎによってタンクがゆがみ、フタが合わなくなります。



施工の手順

1 既設便器の撤去

リファームの場合、既設便器を取り外してください。



洋式便器のリフォームの場合

リファームの場合、既設便器を取り外してください。



床フランジの取り外し方

既設便器の床フランジが設置されていてそのまま取り外せないと、次の方法で外してください。

- ① マイナストライバーや/バルを床フランジと床の間に差し込んで床フランジを持ち上げるようにしてください。それでも、外れないときは、ハンマーで回転方向に叩いて外してください。
- ② 塩ビ管の内側に付いた部分に、④の手順で取り除いてください。



①で外れない又は②をお持ちでない方は、以下の手順で行ってください。

③機種やメーカーによって取り外し方が異なります。庫からノコギリで床フランジを切断します。

④塩ビ管 (VU100) の内側にある残材をマイナストライバーとハンマーで取り外します。



塩ビ管が欠けたり割れたりした場合は、漏水や臭気漏れしないように補修してください。

⑤新しい床フランジにシリコンシーラントを塗布して取り付けてください。塗布量は、太さ5～10ミリ程度

※既設の便器が和式の場合、2-4又は2-6から行ってください。

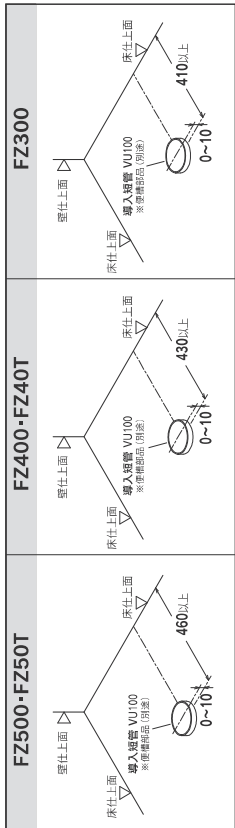
2 導入短管の位置決め

該当する手順に沿って施工してください。

2-1

既設の洋式簡易水洗便器を取り替え導入短管の位置がそのまま施工できる場合

導入短管立上り位置を確認してください。



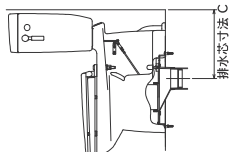
FA-5-FA-5TはFZ500、FA-4-FA-4TはFZ400、FA-3はFZ300を参照してください。

2-2

既設の洋式簡易水洗便器を取り替え導入短管の位置が合わない場合

①②のいずれかを選定してください。

- ①壁から導入短管立上り中心までの寸法(排水芯寸法C)が合わないとき、オプショナル部品の改造フランジIを使用して導入短管立上り位置をそのまま施工できます。
- ②便器からの導入管(横引き管VU100)をカットし延長してください。



床フランジの種類	FZ500-FZ50T	FZ400-FZ40T	FZ300
標準フランジ	0	460以上	430以上
改造フランジ13	10	450以上	420以上
APH-Z80	30	430以上	380以上
改造フランジ13 (反転して使用)	-30	400以上	360以上
	-50	460以上	440以上
	50	510以上	480以上
改造フランジ579	50	410以上	380以上
APH-Z81	70	390以上	340以上
	90	370以上	320以上

標準フランジは、同梱しています。FA-5-FA-5TはFZ500、FA-4-FA-4TはFZ400、FA-3はFZ300を参照してください。

例1) 既設の排水芯寸法が400mmの場合




- FZ500 を設置するには、改造フランジ579 を使って70mm 偏芯させて取り付けます。
- FZ400 を設置するには、改造フランジ13 を使って30mm 偏芯させて取り付けます。
- FZ300 を設置するには、改造フランジ13 を使って10mm 偏芯させて取り付けます。

- 例2) 既設の排水芯寸法が500mm、そのまま便器を設置するとロータングと壁との間が大きくなり、手前が狭くなる場合、○FZ500 を設置するには、改造フランジ13 を反転して使用し-30mm 偏芯させて取り付けます。
- FZ400 を設置するには、改造フランジ13 を反転して使用し-50mm 偏芯させて取り付けます。

注1) 改造フランジをご使用になった場合は、本水流への切替を行う際には設置位置変更の工事が必要になります。

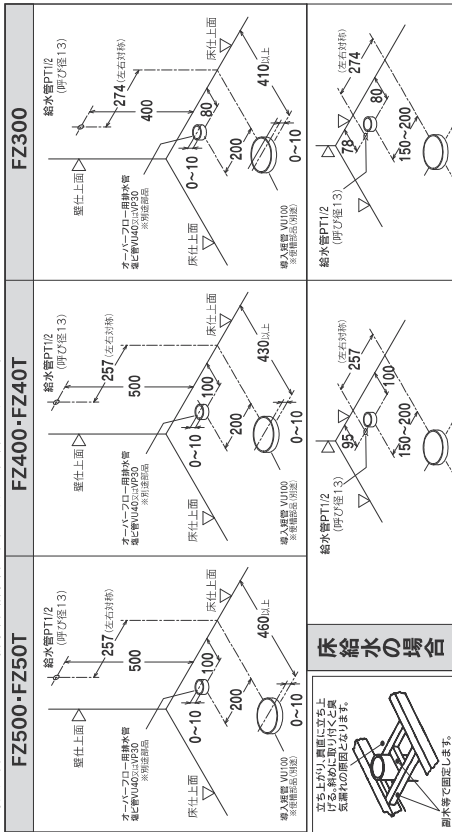
2. 改造フランジ579 は、反転できません。

3. 改造フランジ579 をコンクリート床に使用する場合は、床をはつる必要があり、詳しくは8ページをお読みください。

標準フランジ	改造フランジ13 APH-Z80	改造フランジ579 APH-Z81
		
	30・50mm	50・70・90mm

2-3 新築や増築で新たに配管する場合

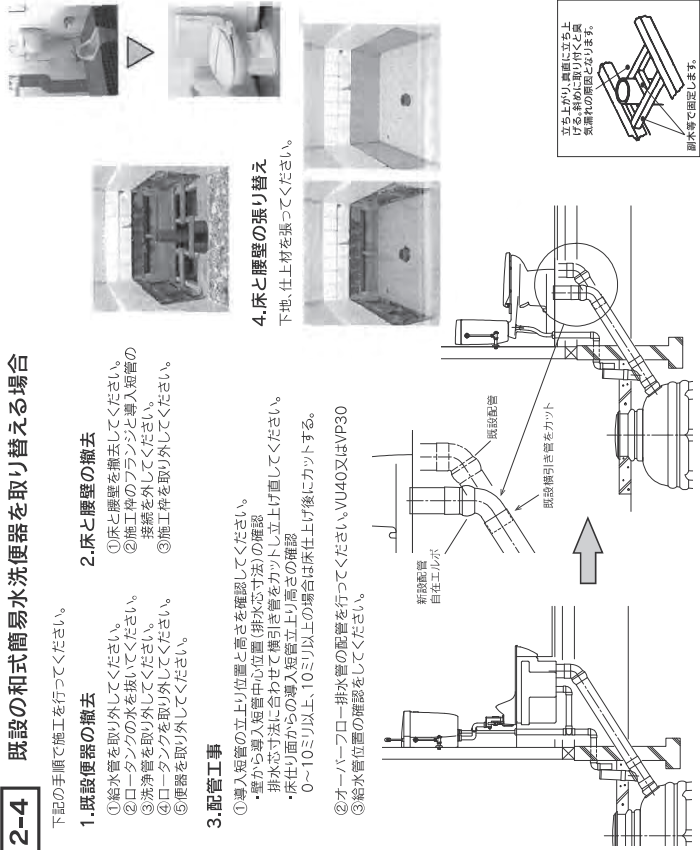
導入短管・オーバーフロー排水管・給水管の位置を決めて配管してください。



2-4 既設の和式簡易水洗便器を取り替える場合

下記の手順で施工を行ってください。

- 1. 既設便器の撤去**
 - 給水管を取り外してください。
 - ロータングの外を掛ってください。
 - 洗浄管を取り外してください。
 - ロータングを取り外してください。
 - 便器を取り外してください。
- 2. 床と腰壁の撤去**
 - 床と腰壁を撤去してください。
 - 施工後のフランジと導入短管の接続を外してください。
 - 施工管を取り外してください。
- 3. 配管工事**
 - 導入短管の立ち上がり位置と高さを確認してください。
 - 壁から導入短管中心位置(排水口法)の確認
 - 排水口法に合わせ導入短管をカチリと立上げ直してください。
 - 床仕上面からの導入短管立ち上がり高さの確認
 - ロータングを取り外し、10ミリ以上、10ミリ以上の場合は床仕上げ後にカットする。
 - オーバーフロー排水管の配管を行ってください。VU40又はVP30
 - 給水管位置の確認を行ってください。



2-5 既設の洋式非水洗便器を取り替える場合

1. 既設便器の撤去

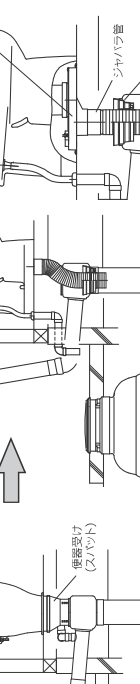
- 便器を取り外してください。
- 便器受け(スノウト)を取り外してください。

2. 汚水配管

改裝部品ジャバラセットB又は改裝部品ジャバラセットCを使って無臭便槽配管と床フランジを接続してください。

改裝フランジと併用することで備量が少ない施工になります。

改裝フランジと併用



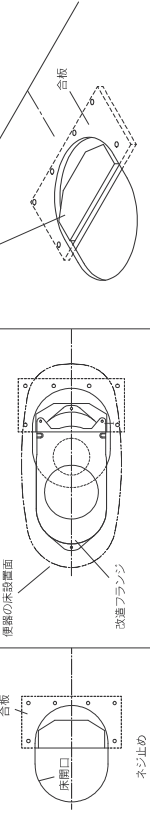
3. 床の工事

床の撤去、張り替えを行ってください。

又はFZ500は、洋式非水洗便器の床開口が便室内に隠れます。

床開口の位置によっては、改裝フランジを併用は床工事が必要になります。

但し、フランジを床に固定するための合板を取り付けてください。



2-6 既設の和式非水洗便器を取り替える場合

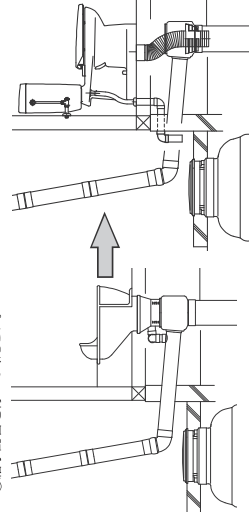
1. 既設便器の撤去

- 便器を取り外してください。
- 便器受け(スノウト)を取り外してください。

2. 床と腰壁を撤去してください。

3. 給排水配管

- 汚水配管
 - 改裝部品ジャバラセットB又はCを使って無臭便槽配管と床フランジを接続してください。
 - 改裝フランジと併用することで備量が少ない施工になります。
- オーバーフロー排水管の配管を行ってください。VU40又はVP30
- 給水配管を行ってください。



4. 床と腰壁の張り替え

下地、仕上材を張ってください。



3 オーバーフロー排水管の位置決め

該当する手順に沿って、オーバーフロー排水管の位置を決めて施工してください。

3-1 既設の簡易洗便器を取り替え

オーバーフロー排水管の位置を確認してください。

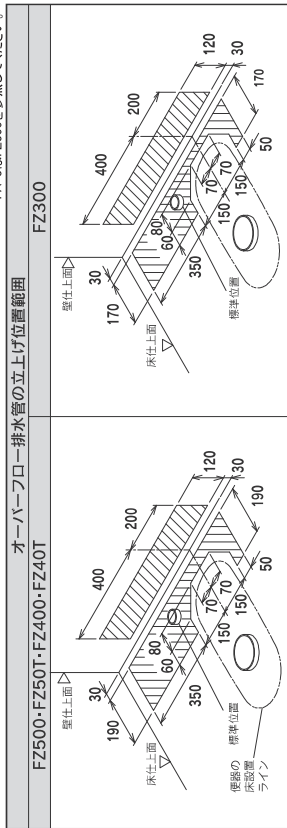
下図の斜線部の範囲内にオーバーフロー排水管の中心があれば、そのまま施工できます。

オーバーフロー排水管：埋込管VU140(外径φ48 内径φ44)又はVP30(外径φ38 内径φ31)

FA-5・FA-5TはFZ500

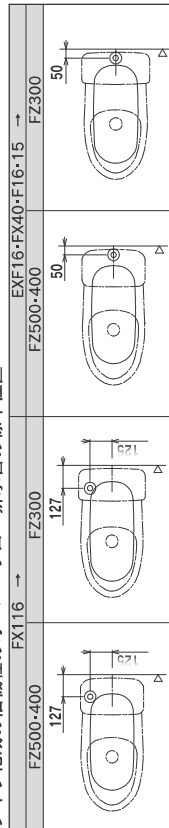
FA-4・FA-4TはFZ400

FA-3はFZ300を参照してください。



既設のオーバーフロー排水管の径と管サイズが、VP25(外径φ32 内径φ25)やVP20(外径φ26 内径φ20)のとき、付属の接続パイプを施工してください。

ダイワ化成の旧機種種のオーバーフロー排水管の標準位置



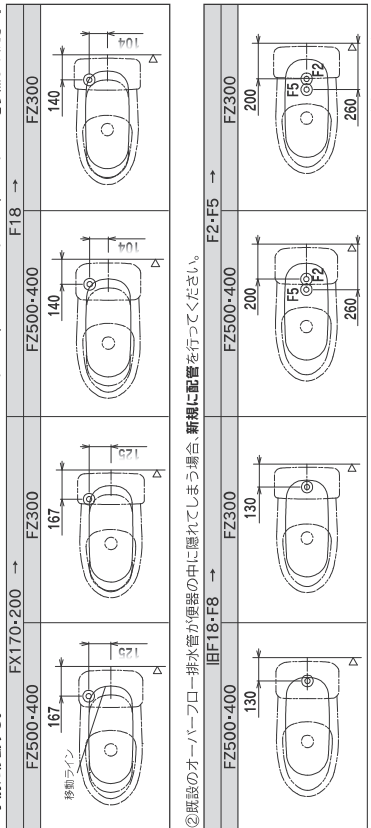
FA-5・FA-5TはFZ500、FA-4・FA-4TはFZ400、FA-3はFZ300を参照してください。

3-2 既設の簡易洗便器を取り替え

オーバーフロー排水管の位置が合わない場合

下記のいずれかを選定してください。

- 既設のオーバーフロー排水管が便器に当たる場合、「改造フランジ」を使って便器を手前へ移動する。
- 既設のオーバーフロー排水管が便器の中に隠れてしまう場合、新規に配管を行ってください。



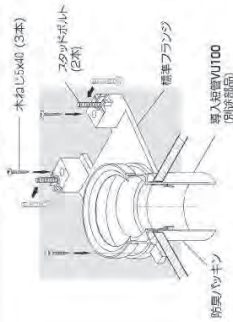
②既設のオーバーフロー排水管が便器の中に隠れてしまう場合、新規に配管を行ってください。

FA-5・FA-5TはFZ500、FA-4・FA-4TはFZ400、FA-3はFZ300を参照してください。

4 床フランジの取付

標準フランジ又は改造フランジを床に取り付けてください。

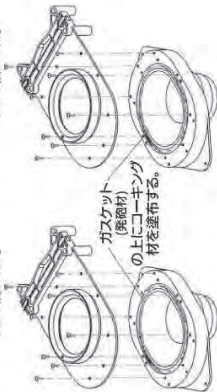
標準フランジ



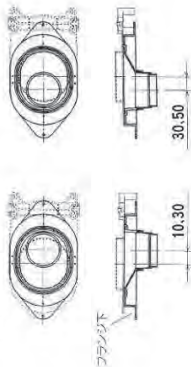
改造フランジ13 品番:APH-Z80

改造フランジの備芯量を決めてください。備芯量を決定した後、漏水防止として、フランジ上と下の間にコーキング材(シリコーンシーラント)を充填してからネジを止めてください。床の平面が出ていないときフランジが反って漏水する恐れがあります。

10mm備芯の時



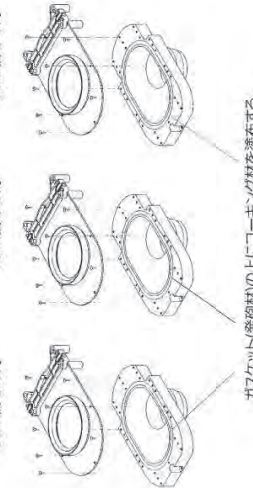
改造フランジ13は、フランジ下を反転すれば逆方向にも備芯できます。



改造フランジ679 品番:APH-Z81

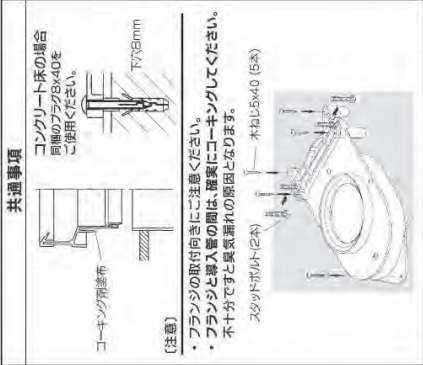
改造フランジの備芯量を決めてください。備芯量を決定した後、漏水防止として、フランジ上と下の間にコーキング材(シリコーンシーラント)を充填してからネジを止めてください。床の平面が出ていないときフランジが反って漏水する恐れがあります。

50mm備芯の時



ガスケット(樹脂材)の上にコーキング材を塗布する。

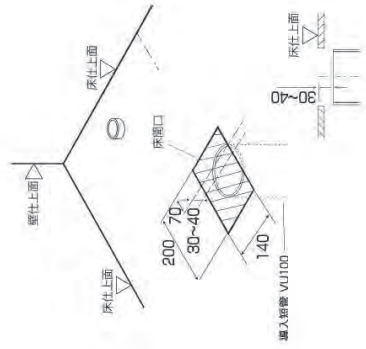
注) 改造フランジ679は、改造フランジ13のように反転できません。



(注意)

- フランジの取付向きにご注意ください。
- フランジと導入部の間は、確実にコーキングしてください。不十分ですと臭気漏れの原因となります。

スリット部(2本) 木ねじ5x40 (3本)



簡易水洗便器 F8-DG 施工説明書

特に注意していただきたいこと

お客様に事故のないよう、施工上の注意事項をあげております。
施工前に、よくお読みのうえ正しく施工してください。
この説明書は、以下のように注意事項を区分して各々意味があります。

用語および記号の説明

- ⊘ …… 「してはいけません」
(一般的な禁止記号)
- ⚠ **警告** …… 守らないと、重傷を負うことがあり
ります。
- ⚠ **注意** …… 守らないと、ケガをしたり、家財
に損傷を与えることがあります。
- ⊘ …… 「してはいけません」
(一般的な禁止記号)
- ⚠ **警告** …… 「指示通りにしないで」
(一般的な行動指示記号)
- ⚠ **注意** …… 「風品、シャワーなどの水場での
使用禁止」

⚠ 警告

浴室内の水のかかる場所や表面に水滴が生じるような湿度の高い場所では、暖房便座や温水洗浄便座、凍結防止ヒーター等の電気器具は設置しないでください。
⊘
火災や感電の原因となります。

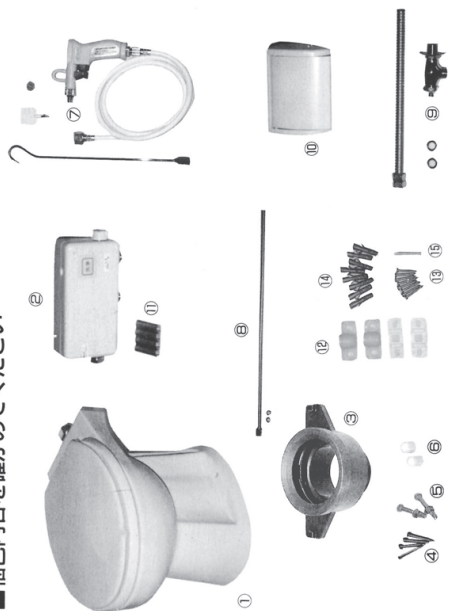
⚠ 注意

- 便器の汚水配管は、必ず便槽に接続してください。
⚠
便槽に接続する前提で建設大臣の認可を受けています。
資格がない人が電気工事をすることは法的に認められていません。
- ⚠
電気配線は、必ず専門の電気工事店で行ってください。
⚠
浴室内の水のかかる所や表面に水滴が生じるような湿度の高い場所では使用しないでください。
⊘
電気配線は、必ず専門の電気工事店で行ってください。
⚠
資格がない人が電気工事をすることは法的に認められていません。
- ⚠
最後に、便器や水道配管からの漏水がないことを点検してください。
⚠
漏水すると、床が水浸しになり家財を濡らす原因となります。

温水洗浄便座、暖房便座を取り付ける場合は、各々の説明書をよくお読みください。

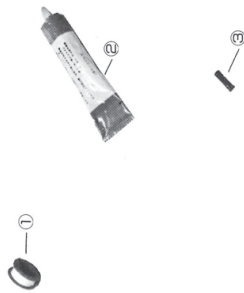
■ 施工の前に

■ 梱包内容を確認してください



①	品名	個数
①	便器本体	1
②	電磁バルブ	1
③	床フランジ	1
④	木ねじ5.8×63	4
⑤	スタッドボルト、ナット、 座金	各2
⑥	化粧キャップ	2
⑦	洗浄ガン	1
⑧	フレキシブル管(800mm)	1
⑨	止水栓 (フレキシブル管300mm付)	1
⑩	ペーパーホルダー	1
⑪	単3アルカリ乾電池	4
⑫	サドルバンド	2
⑬	木ねじ4.5×30	8
⑭	カールプラグ8×40	8
⑮	水量調整ドライバー	1
⑯	施工説明書	1
⑰	取扱説明書・保証書	1

■ 別途に用意していただくもの



①	品名	用途
①	シールテープ	水道管と止水栓の接続 用
②	コーキング材 (シリコーンシーラント)	床フランジと導入短管 のコーキング用
③	カールプラグ#14	床がタイル又はコンク リートの場合に使用

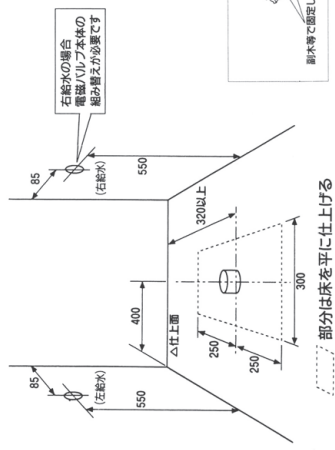
■ 必要な工具

- ドライバー(+)
ノコギリ
パイプレンチ
自在スパン(モンキーレンチ)
スパン(13)
コンクリート用ドリル(8ミリ)電氣ドリル…………… カールプラグ#14、8×40を使用する場合
- …………… 床フランジ取付木ねじ締め付け用、電磁バルブの取付用
- …………… 塩ビ管切断用
- …………… 止水栓と水道管の締め付け用
- …………… 各部の袋ナット締め付け用
- …………… スタッドボルト、ナット締め付け用

施工の手順

1 給排水管の位置決め

下図に従って、導入短管・給水管の位置を決めてください。



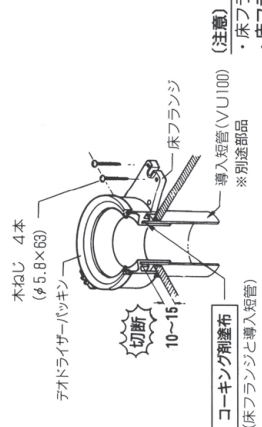
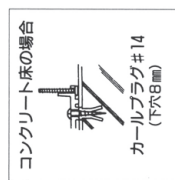
(注意)

- ・便器設置部の床面は、レベルを出して平らに仕上げてください。平らでないとう便器のガタツキの原因となります。



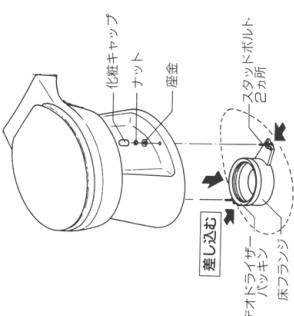
2 床フランジの取付

床フランジの導入短管差込部にたつぷりとコーキング剤を塗り込んで床フランジを取り付けてください。



3 便器本体の据付

スタッドボルトを床フランジに立て、ベース本体を床フランジの中に差し込みます。便器が確実に据え付けられたことを確認してから座金を入れ、ナットを締め付け、化粧キャップをかぶせてください。



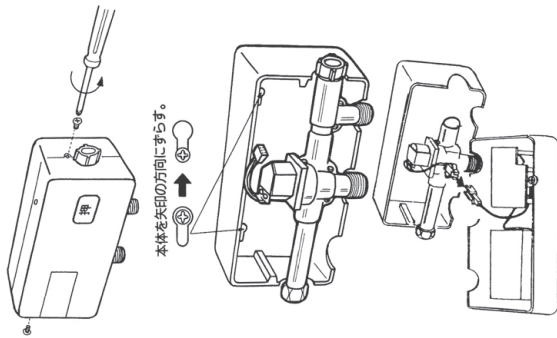
(注意)

- ・ベース本体を確実に床フランジに差し込んでください。
- ・臭気漏れや便器のガタツキの原因となります。
- ・ベース本体と床フランジを接合したり、便器をモルタル等で埋め込んだりしないでください。
- ・メンテナンスができなくなります。
- ・ナットを締め付けるとき、締め付け過ぎに注意してください。陶器が割れる恐れがあります。

4 電磁バルブの取付

電磁バルブを壁に取り付けて下さい。

①ナドライバーで左右2本のねじを外して、カバーを開いてください。

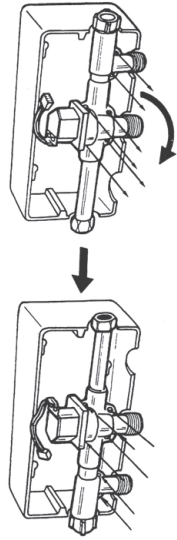


②電磁バルブを壁に木ねじで取り付けてください。取り付ける位置に電磁バルブを付けてマズック等で木ねじの位置に印を付け、先に木ねじ4本を3分の2位ねじ込んでおきます。次に、電磁バルブの穴を木ねじに通して右にずらした後、木ねじを完全に締め付けてください。

③基板と電磁弁の配線を接続して、カバーを取り付け左右2本のねじを付けてください。接続の際、差し込む方向が異なりますのでご注意ください。

右給水の場合

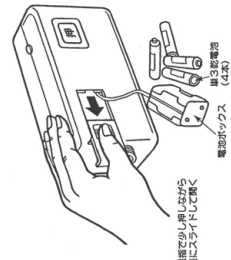
バルブ本体を固定している6本のねじを外し、バルブ本体を反転してねじを締め付けてください。



5 乾電池のセット

付属の単3アルカリ乾電池×4本を入れてください。

①電池フタを親指で少し押しながら横にスライドして開いてください。



②電池ボックスを手前に引き出してください。

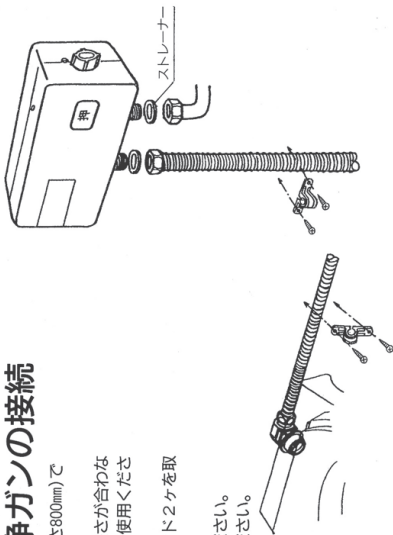


(注意)

- ・新しい乾電池と使用済乾電池を使い分け乾電池、他の種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ・乾電池の(+)(-)を確認して正しく入れてください。間違えて逆に入れると、乾電池が液漏れしたり、はれたりする恐れがあります。
- また、便器への水が放出になることがあります。

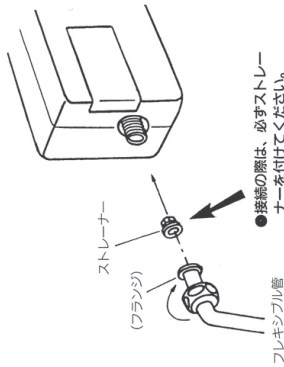
6 フレキシブル管と洗浄ガンの接続

- ①電磁バルブと便器をフレキシブル管(長さ600mm)で接続してください。
給水位置等の関係でフレキシブル管の長さが合わない場合は、長さに合った市販のものをご使用ください。
- ②フレキシブル管の振れ防止にサドルバンド2ヶを取り付けてください。
- ③電磁バルブに洗浄ガンを取り付けてください。
その時、必ずストレーナーを入れてください。



7 止水栓とフレキシブル管の接続

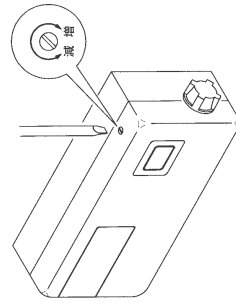
- ①止水栓にシールテープを巻いて水道配管の給水口に取付けてください。
- ②止水栓と電磁バルブをフレキシブル管(300mm)で接続してください。
給水位置等の関係でフレキシブル管の長さが合わない場合は、長さに合った市販のものをご使用ください。



(注意)
電磁バルブとフレキシブル管の間に必ずストレーナーを入れてください。

8 水量の調節

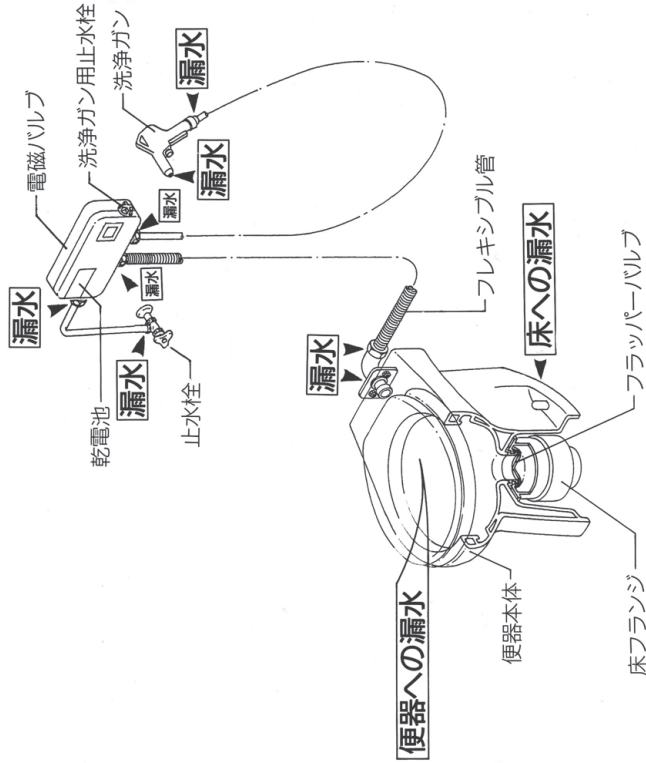
- 電磁バルブの水量は200cc/回にしていますが、設置場所の水道圧で洗浄水量が変わりますので、水量の多いときや少ないときは調節してください。
- 時計回り : 増
反時計回り : 減
- [注意]
ドライバーで強く押したり、回し過ぎると調節ねじが破損しますので、軽く回してください。



9 点検

取付完了後、次の点検を行ってください。

- 電磁バルブの押しボタンを押して
 - ①フラッパーの閉鎖状態
 - ②便器への洗浄水の流れ状態
 - ③各部の漏水の有無
 - 洗浄ガン用止水栓を開き、洗浄ガンのボタンを押して
 - ①洗浄ガンの水の有無
 - ②各部の漏水の有無
- ※点検後、洗浄ガン用止水栓を必ず閉めてください。



工事完了後
取扱説明書と保証書を必ずお客様にお渡しください。
保証書は必要事項を記入してお渡しください。

Daiwa Kasei
ダイワ化成株式会社
本社営業部 福岡市中央区白糸1-13-1
TEL 092 (52) 1800

簡易水洗便器 F8-CFG(洗浄ガン付) フラッシュバルブ式 F8-CF (洗浄ガン無)

お客様に事故のないよう、施工前に、必ずこの説明書をよくお読みの上、正しく施工してください。

特別に注意していただきたいこと	
△ 警告	守らないと、重傷を負うことがあります。「禁止」してはなりません。
△ 注意	守らないと、ケガをしたり、家財に損害を及ぼすことがあります。「禁止」(指示通り)してはなりません。「風呂、シャワー」などの水場での使用禁止
△ 注意	
浴室内の水のかかる場所や洗面に水漏れが生じような湿気の多い場所では、暖房便座や温水洗浄便座、凍結防止ヒーターや電熱バルブ等の電気器具は設置しないでください。	
便座の活配管等は、必ず屋簷に接続してください。この施工説明書以外の改造はしないでください。	
簡易水洗便器は、便槽に接続する便器です。故障や漏水の原因となります。	
施工後、便座や給排水配管からの漏水がないことを点検してください。床に便座を埋め込まないでください。	
点検の際は、濡らすと、床が水浸しになり家財を濡らす原因となります。	
便座は頼れぬものです。施工前に温水洗浄便座の構造と施工時の確認がないかを点検してください。	
室内配管など適切な処理を行ってください。	
便座が壊れたり、漏水して家財を濡らす原因となります。	
破損部でケガをしたり、漏水して家財を濡らす原因となります。	

温水洗浄便座、暖房便座等を取り付けの場合は、各々の説明書をお読みください。

施工の前に

■ 梱包内容をお確かめください。



※F8-CFは、⑥洗浄ガンと⑩分岐栓はありません。

別途で用意していただくもの

① シールテープ	水道管の給水口接続用
② コーキング材	床フランジと導入短管のコーキング用
③ カールブラグ#14	床がタイルやコンクリートの場合に使用

必要な工具

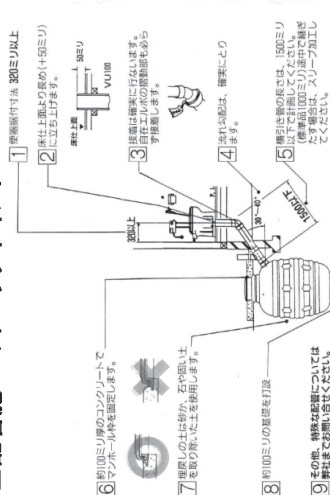
- ドライバー (+)、電動ドライバー
- スパナ(13)
- 自在スパナ(モンキーレンチ)
- ハイブリンチ
- コンクリート用ドリル(8mm)、電気ドリル

個数	品名
1	① 便器本体
1	② 床フランジ
4	③ 木ねじ5.8×63
各2	④ スカットボルト、ナット、皿金
2	⑤ 化粧キャップ
1	⑥ 洗浄ガン
1	⑦ ベーパーホルダー
2	⑧ サドルバンド
4	⑨ 木ねじ4.5×30
4	⑩ カールブラグ8×40
1	⑪ フラッシュバルブ
1	⑫ 分岐栓
1	⑬ フレキシブル管600mm
1	施工説明書(保証書付)

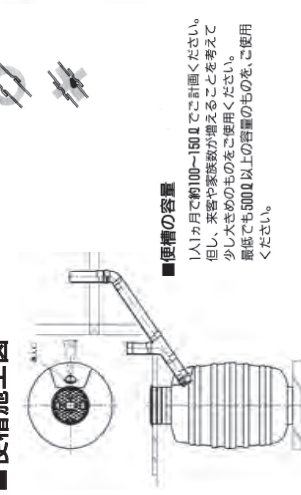
■ 配管上の注意事項

- 配管の外観、形状、材質は、JIS K6741に準じた硬質塩化ビニル管を使用してください。肉厚：汚水管(導入管)・・・2mm以上(フロロ成形品種手類1.6mm以上) 排水管(真鍮管)・・・1.5mm以上(フロロ成形品種手類1.2mm以上)
- 汚水管(導入管) 長さ：1.5m以内(標準は1m)、勾配：25°以上(標準は30°～40°)
- 汚水管(導入管) 管径：呼び径100以上
- 汚水管(導入管)に使用する継手は、汚水の落下に変換のない形状、構造を有するものを使用してください。
- 段差で汚物が引っ掛かるよう継手は使用しないでください。
- 横引配管途中には、絶対ニエル所を使用しないでください。
- 配管の継合部は確実に接着し、充分な耐久性と密着性を確保してください。
- 排水管(臭気管) 次の場合は必ず臭気管を設置してください。
 - ① 排水管など汚水管の長さ1.5m以上の場合
 - ② 小規模な浴室
 - ③ 排水管に排水ポンプ(臭気ファン、ベンチレーター等)を付けてください。
 - ④ 臭気ファン(臭気管)は、70cm以下のものを必ず臭気ファンを使用してください。
 - ⑤ それ以上の臭気管は、防臭機能と支障のない材質のものを使用してください。
 - ⑥ 排水管の下端は、建物の出入り口、窓、換気口等の上端から600mm以上の高さに取り付けてください。
- 配管が完了後、約10分の水を流して配管継合部からの漏水がないか確認してください。
- 既存排水管に取り付ける場合は、別途取付部品セットをお使いください。
- 最低必要水圧：0.15MPa以上(13L/分以上流動時) 0.04～0.15MPa(13L/分以上流動時)は、便器の洗浄が悪くなります。特に家庭用ポンプを使用する場合は、洗浄が使用できるようお客様にご説明をお願いします。
- 井戸水の使用の注意 水圧が0.7MPa以上では器具の破損や故障の原因となります。
- 井戸水の水質によっては、フラッシュバルブ内部が腐食して故障することがあります。保証の対象外となります。

■ 配管施工のチェックポイント



■ 便槽施工図



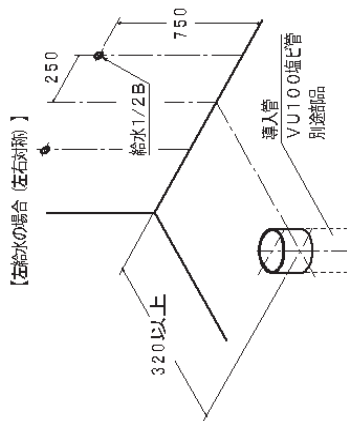
■ 便槽の容量

1人1ヶ月で約100～150Lで計画してください。但し、茶室や茶室が揃えることを考えて少し大きめのものをよく使用してください。最低でも500L以上の容量のものをご使用ください。

施工の手順

1 給排水管の位置決めと床フランジの取付

下図に従って、導入短管・給水管の位置を決めてください。



【給排水の場合 (左右対称)】

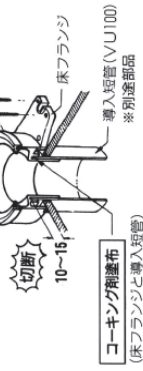
(注意)
・便器設置部の床面は、レベルを出して平らに仕上げてください。平らでないとう便器のガタツキの原因となります。



2 床フランジの取付

床フランジの導入短管差込部にたがりコーキング材を塗って床フランジを取り付けてください。

木ねじ 4本 (φ5.8×63)
アクリルサイザー・ワッペン
導入短管の立ち上り10~15ミリがなく、0(ゼロ)のときは、コーキングをたっぷり塗って確実に防臭と固定してください。

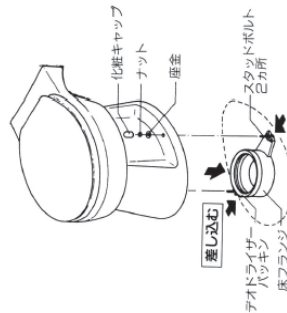


(注意)

- ・床フランジの取付向きにご注意ください。
- ・床フランジと導入短管の間は、確実にコーキングしてください。不十分ですと臭気漏れの原因となります。

3 便器本体の据付

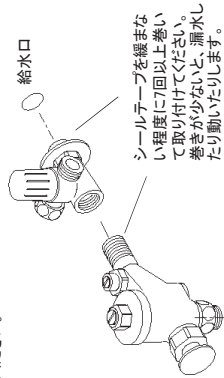
スタッドボルトを床フランジに立て、ベース本体を床フランジの中に差し込みます。便器が確実に揺るぎなく付けたことを確認してから座金を入れ、ナットを締め付け、化粧キャップをかぶせてください。



(注意)
・ベース本体を確実に床フランジに差し込んでください。
・臭気漏れや便器のガタツキの原因となります。
・ベース本体と床フランジを接合したり、便器をモルタル等で埋め込んだりしないでください。
・メンテナンスができません。締め付け過ぎに注意してください。
・ナットを締め付けるとき、締め付け過ぎに注意してください。
・腐食が割れる恐れがあります。

4 分岐栓とフラッシュバルブの取付

分岐栓とフラッシュバルブにシールテープを巻いて取り付けてください。



シールテープを緩まない程度に7回以上巻いて取り付けてください。巻きが少ないと、漏水したり動いたりします。

6 点検

取付完了後、次の点検と水量調節を行ってください。

- フラッシュバルブの押しボタンを押して
- ①便器の洗浄の状態
- ②各部の漏水点検
- 洗浄ガン用止水栓を操作して
- ①洗浄ガンの水の出力
- ②各部の漏水点検

※点検後、洗浄ガン用止水栓を閉めてください。

水量調整ネジ
時計回り 一減
反時計回り 一増

フラッシュバルブの止水栓
洗浄ガン用止水栓

漏水

漏水

漏水

漏水

水量調整ネジ
時計回り 一増
反時計回り 一減

漏水

漏水

漏水

漏水

漏水

漏水

漏水

漏水

漏水

漏水

漏水

漏水

漏水

漏水

漏水

漏水

漏水

漏水

漏水

5 フレキシブル管と洗浄ガンの接続

フラッシュバルブと便器をフレキシブル管(600φ)で接続してください。

フラッシュバルブの取付位置の関係で長さが合わない場合、長さにあった市販のものをご用意ください。

フレキシブル管をサドルバンド2個で固定してください。

洗浄ガンを取り付けてください。その時、必ずストレーナーとワッペンを入れてください。



注)ストレーナーとワッペンを必ず使用してください。ワッペンが締め付けられず、漏水します。

注)ストレーナーとワッペンを必ず使用してください。ワッペンが締め付けられず、漏水します。

注)ストレーナーとワッペンを必ず使用してください。ワッペンが締め付けられず、漏水します。

注)ストレーナーとワッペンを必ず使用してください。ワッペンが締め付けられず、漏水します。

注)ストレーナーとワッペンを必ず使用してください。ワッペンが締め付けられず、漏水します。

注)ストレーナーとワッペンを必ず使用してください。ワッペンが締め付けられず、漏水します。

注)ストレーナーとワッペンを必ず使用してください。ワッペンが締め付けられず、漏水します。

注)ストレーナーとワッペンを必ず使用してください。ワッペンが締め付けられず、漏水します。

注)ストレーナーとワッペンを必ず使用してください。ワッペンが締め付けられず、漏水します。

注)ストレーナーとワッペンを必ず使用してください。ワッペンが締め付けられず、漏水します。

注)ストレーナーとワッペンを必ず使用してください。ワッペンが締め付けられず、漏水します。

注)ストレーナーとワッペンを必ず使用してください。ワッペンが締め付けられず、漏水します。

注)ストレーナーとワッペンを必ず使用してください。ワッペンが締め付けられず、漏水します。

注)ストレーナーとワッペンを必ず使用してください。ワッペンが締め付けられず、漏水します。

注)ストレーナーとワッペンを必ず使用してください。ワッペンが締め付けられず、漏水します。

注)ストレーナーとワッペンを必ず使用してください。ワッペンが締め付けられず、漏水します。

注)ストレーナーとワッペンを必ず使用してください。ワッペンが締め付けられず、漏水します。

注)ストレーナーとワッペンを必ず使用してください。ワッペンが締め付けられず、漏水します。

注)ストレーナーとワッペンを必ず使用してください。ワッペンが締め付けられず、漏水します。

注)ストレーナーとワッペンを必ず使用してください。ワッペンが締め付けられず、漏水します。

注)ストレーナーとワッペンを必ず使用してください。ワッペンが締め付けられず、漏水します。

注)ストレーナーとワッペンを必ず使用してください。ワッペンが締め付けられず、漏水します。

注)ストレーナーとワッペンを必ず使用してください。ワッペンが締め付けられず、漏水します。

注)ストレーナーとワッペンを必ず使用してください。ワッペンが締め付けられず、漏水します。

注)ストレーナーとワッペンを必ず使用してください。ワッペンが締め付けられず、漏水します。

注)ストレーナーとワッペンを必ず使用してください。ワッペンが締め付けられず、漏水します。

注)ストレーナーとワッペンを必ず使用してください。ワッペンが締め付けられず、漏水します。

注)ストレーナーとワッペンを必ず使用してください。ワッペンが締め付けられず、漏水します。

注)ストレーナーとワッペンを必ず使用してください。ワッペンが締め付けられず、漏水します。

注)ストレーナーとワッペンを必ず使用してください。ワッペンが締め付けられず、漏水します。

注)ストレーナーとワッペンを必ず使用してください。ワッペンが締め付けられず、漏水します。

注)ストレーナーとワッペンを必ず使用してください。ワッペンが締め付けられず、漏水します。

注)ストレーナーとワッペンを必ず使用してください。ワッペンが締め付けられず、漏水します。

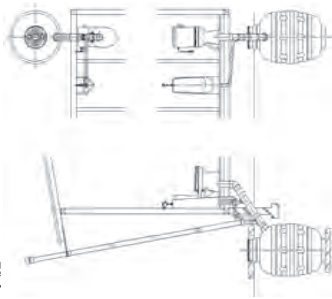
工事終了後
取扱説明書と保証書を必ずお客様にお渡しください。
保証書は必要事項を記入してお返しください。

Daiwa Kasei
タイワ化成株式会社
本社 東京都 相模原市中央区白雲 1-13-1
TEL 082 (521) 1800

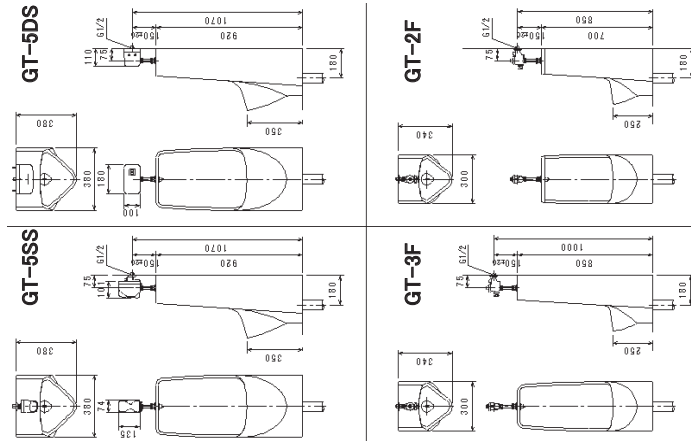
施工説明書

ストール小便器 GT-5(中型)・3(小型)・2(幼用)

■ 標準施工



■ 寸法図



お客様に事故のないよう、施工前に、必ずこの説明書をよくお

- ▲ 警告** 守らないと、重傷を負うことがあります。
- ▲ 注意** 守らないと、ケガをしたり、家財に損害を与えることがあります。
- 「禁止」「してはけません。」「遵守」「指示通りしてください。」「風呂、シャワーなどの水場での使用禁止」

▲ 注意

浴室内の水のかかる場所や壁面に水漏れが生じると、湿気の多い場所では、**蒸気防止ヒーターや電線ハルブ等の電気器具は設置しないでください。** 電線ハルブが故障したり、乾電池が液漏れする恐れがあります。

簡易水洗小便器の汚水配管は、必ず壁面に接続してください。

簡易水洗小便器は、便所に接続する機器です。

本水洗小便器の汚水配管は、必ず下水道か合併処理浄化槽に接続してください。

この施工説明書以外の改造はしないでください。

故障や漏水の原因となります。

施工後、小便器や給排水配管からの漏水がないことを点検してください。

漏水すると、床が水浸しになり家財を濡らす原因となります。

本製品の恐れのあるときは、注意してください。

室内脱脂など適切な処理を行ってください。

■ 配管上の注意事項

- 使用水圧 0.04~0.7MPa
 - フラッシュバルブ式 : 0.04~0.7MPa
 - 電線ハルブ式 : 0.04~0.7MPa
 - センサー式 : 0.04~0.7MPa
 - コーキン式 : 0.04MPa以下
- この範囲外で使用すると、止水不良の原因となります。
- 水圧0.1MPa以下では洗浄力が弱くなります。
 - 水道配管内の砂やゴミは取り除いてください。
 - ハルブの止水不良の原因となります。
 - 水道配管は、しっかり固定してください。
 - 水撃作用(ウォーターハンマー)の原因となります。
 - 床フランジと汚水配管の間は確実にシールしてください。
 - 臭気漏れの原因となります。
 - 配管の接合部は、確実に接着し充分な耐久性と気密性を確保してください。
 - 臭気の原因をお勧めします。
 - 配管工が完了した後、約10分の水を流して配管接合部からの漏水がないかを確認してください。
 - 井戸水の使用の注意
- 井戸水の水質によっては、バルブ内部が腐食して故障することがあります。保証対象外となります。

■ 梱包内容の確認

品名	数	品名	数
① 小便器本体	1	⑤ 電線ハルブ	1
② 排水トラップ	1	⑥ フラッシュバルブ	1
③ 目皿	1	⑦ センサー式自動水栓	1
④ 床フランジ(パッキン付)	1	⑧ カラン	1
		⑨ 木ねじ、カーンプラグ	各2

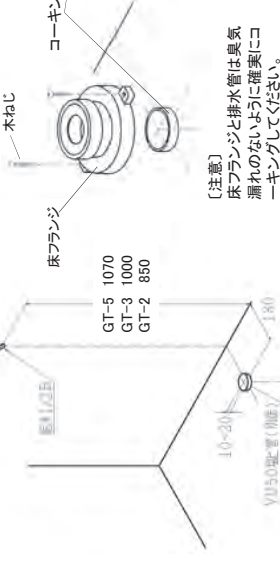
■ 別途に用意していただくもの

シールテープ、填付接着剤、小便管セット

施工の手順

① 給排水管の位置決めと床フランジの取付

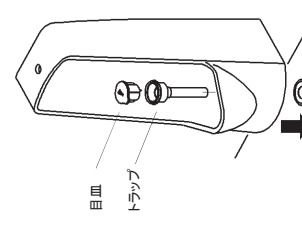
下図に従って、給排水管の位置を決めてください。



排水管 VU50・VU100・VU75・VU65・VU51*64が接続できる床フランジになっています。

② 小便器の据付

床フランジに差し込むように小便器を据え付けてください。



③ ノズルの取付

ノズルを取り付けてください。



ノズルの先端を壁面に押し付けるように当てて取り付けてください。

残水があまりますので、壁面に当たっていないと残水が水滴となって垂れます。

⑤ 点検、洗浄時間の調節

バルブを操作し、各部の漏れの有無を点検してください。

水量調節ネジで水量を調整してください。

水勢調節ネジで水の勢いを調整してください。

ときは出ないように調整してください。

水量調整ネジ 水量調整ネジ 時計回り・減 止水栓 逆時計回り・増

工率出荷時は節水設定の水圧0.05MPaにて水量が0.6本水洗時は、水量調整ネジを壁面に調整してください。

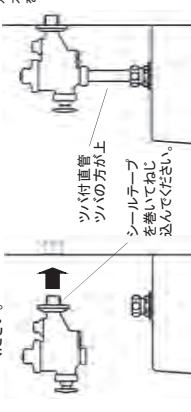
出荷時設定	洗浄時間
GT	1秒

ストレーナー

【注意】 押しボタンを連続して押さないでください。連続して押すと、洗浄水が出なくなることがあります。これは、異常ではありません。5秒経ってから押すと流れます。

④ フラッシュバルブ(又はカラン)の取付

フラッシュバルブ(又はカラン)を給水管に取り付けてください。

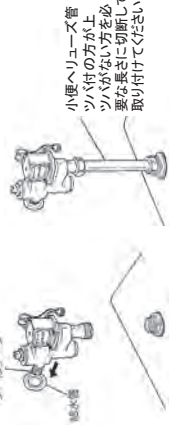


【カラン式】 洗浄水が小便器から飛び出すときは元栓を飛び出さないように調整するか、飛び出さないようにしてお使いください。

電機ハルプ式の場合

1 ハルプ本体の取付

ねじ部にシールテープを巻いて給水管に取り付けてください。その時、ハルプケース裏を合わせながらねじ込んでください。ハルプケース裏の取付はご注意ください。ねじ込み過ぎたり、ねじ込み不足になると、ハルプケースが取り付かなくなりますので、ご注意ください。



3 乾電池のセット

付属の単3アルカリ乾電池×4本をセットしていますので、確認してください。



【注意】乾電池の(+)(-)を確認して正しく入れてください。間違えて逆に入れると乾電池が液漏れしたり、破損したりする恐れがあります。また、便器へ水が放出しないよう確認してください。新しい乾電池と使用済乾電池や使いかけ乾電池、他の種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。

5 洗浄時間の調節

工場出荷時は、洗浄時間を最小の0.5秒に設定しています。水道圧で洗浄水量が変わりますので、水量の多いときや少ないときは、小さめの(-)ドライバで回して調節してください。本水洗の時は、最大の5秒に設定してください。

時計回り：増 反時計回り：減

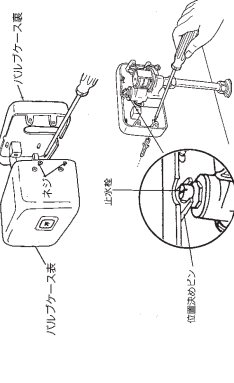
【注意】ドライバで強く押しすぎたり、回し過ぎると調節ねじが破損しますので、軽く回してください。

出荷時設定	洗浄時間
GT	0.5秒



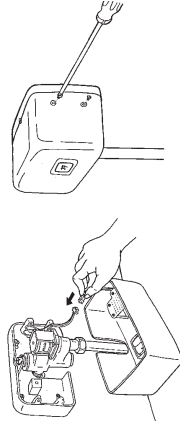
2 ハルプケース裏の取付

ドライバで左右4本のねじを外して、ハルプケースの裏と裏を開けてください。ハルプケース裏を壁に取付けてください。その時、位置決めピンを水栓に合わせてください。



4 配線の接続とハルプケース裏の取付

基板と電磁弁の配線を接続してハルプケース裏を取り付けてください。



6 点検

洗浄ボタンを押して洗浄水を流し、各部の漏れの有無を点検してください。

止水栓で水の勢いを調整してください。特に洗浄水が小便器から外に飛び出すときは出さないように調整してください。



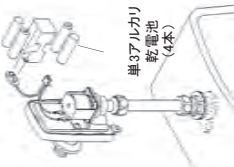
センサー式の場合

施工前の注意

誤動作が生じないように、取付前に必ず確認してください。
 ・センサー感知距離範囲内に障害物がないようにしてください。
 ・センサー正面がステンレス、鏡等、反射しやすい場所は避けてください。
 ・直射日光が当たる場所は避けてください。
 ・センサーの黒いセンサー対向しないようにしてください。
 ・水がかかるとセンサーが動作しないようにしてください。

2 乾電池のセット

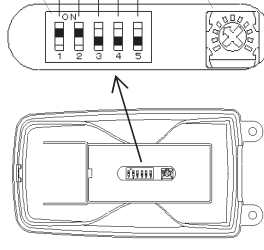
付属の単3アルカリ乾電池×4本をセットしていますので、確認してください。



【注意】乾電池の(+)(-)を確認して正しく入れてください。間違えて逆に入れると乾電池が液漏れしたり、破損したりする恐れがあります。また、小便器への水が放出しないよう確認してください。新しい乾電池と使用済乾電池や使いかけ乾電池、他の種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。以上は、回路基板を壊す恐れがあります。

4 洗浄時間、感知距離の変更方

工場出荷時は、洗浄時間を下記の時間に設定しています。必要に応じて変更してください。



出荷時設定	前洗浄	本洗浄
GT	0.5秒	1秒

洗浄時間(秒)	0.5	1	1.5	2	3	4	6	8
KLEO-2AMP時	105	200	280	350	500	600	1000	1500
洗浄水量(cc)	190	300	420	540	780	1000	1500	2000
KLEO-7AMP時	140	230	320	400	560	750	1100	1400

前洗浄の切り替え	OFF	ON	
ディップスイッチの番号	1	2	3

前洗浄の洗浄時間(秒)	0.5	1
ディップスイッチの番号	1	2

1 ハルプ本体の取付

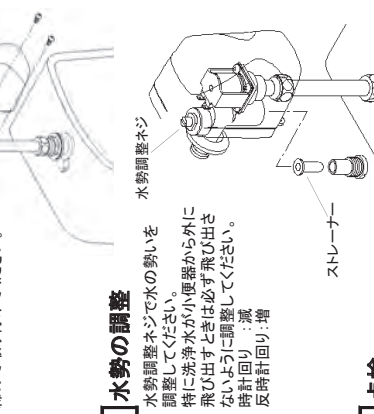
ねじ部にシールテープを巻いて給水管に取り付けてください。小便へリユース管の方を左にして、ツバがない方を必要に応じて切断して取り付けてください。



3 配線の接続とハルプケース裏の取付

コネクタを差し込み込んで接続してください。配線を無理に引っ張らないでください。

【注意】ハルプケース裏をねじ2本で軽く締めて取り付けてください。



5 水勢の調整

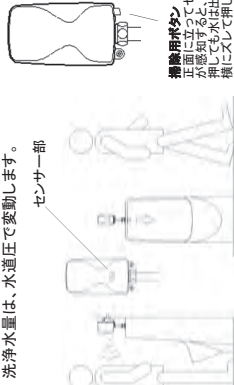
水勢調整ネジで水の勢いを調整してください。

特に洗浄水が小便器から外に飛び出すときは必ず飛び出さないように調整してください。時計回り：減 反時計回り：増

6 点検

動作の確認と各部からの漏水の有無を点検してください。40cm以内立ち、センサーが人を感じてから2秒以内に前洗浄を流し、5〜7秒後に本洗浄を自動で流します。その前に離れると本洗浄は流れません。

洗浄時間と感知距離を確認し、必要であれば調節してください。洗浄水量は、水道圧で変動します。



掃除用ボタンが感知するまでセンサーが感知するまで押し続けてください。

工事完了後
取扱説明書(保証書)を必ずお客様にお渡しください。
保証書は必要事項を記入してお渡しください。

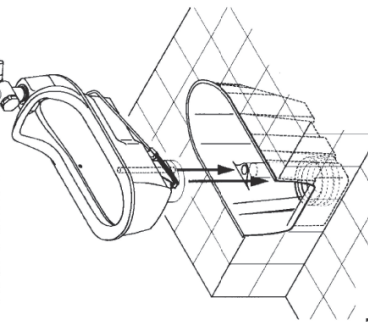
タイク化成株式会社
 本社営業部 福岡市中央区白金1-13-1
 TEL 092-521-1800

2012

JZ

3 便器本体の据付

便器オーバーフロー管を排水管に差し込み、ベース本体を床フランジに差し込んで便器本体を施工枠に挿入してください。

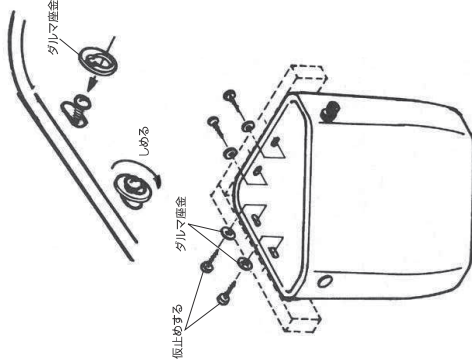


【注意】

- ベース本体を確実に床フランジに差し込んでください。臭気漏れや便器のガタツキの原因になります。
- ベース本体と床フランジを接合したり、便器をモルタル等で埋め込んだりしないでください。
- メンテナンスができません。

4 ローターankの取付

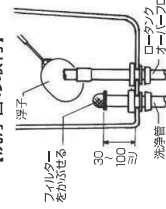
ロータंकを壁に取り付けてください。木ネジを片側2ヶ所仮止めし、ロータंकを掛けてからタリマ座金をはめ、木ネジを締め付けてください。残りの2ヶ所も締め付けてください。



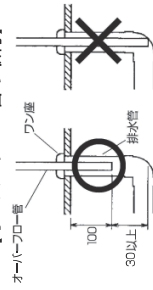
5 洗浄管・オーバーフロー管の接続

取付寸法に合わせて洗浄管・オーバーフロー管を切断し、各袋ナットを締めて接続してください。そのとき、バッキングとスリップ板を入れ忘れないようにしてください。洗浄管の構引き長さは、最大460mmです。長さが足りない場合は片アジャスタパイPAPH7を使用してください。

【洗浄管の取付】



【オーバーフロー管の取付】



【注意】

- 洗浄管は水平・垂直に取り付け、差し込みは最低30mm確保してください。
- 管切断後の切粉が管内に残らないように水洗いしてから取り付けてください。
- 給水リブの漏水の原因となります。

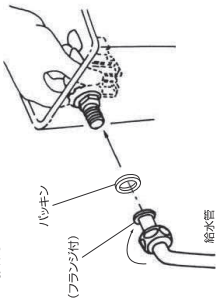
洗浄管をロータंकの中に突き出し、同梱のフィルターを洗浄管の上端にかぶせてください。ロータंकの浮子がスムーズに上下するかの確認してください。

【注意】

オーバーフロー管下端を排水管のエルボに当てないでください。オーバーフロー管の下端が凍結したり、排水しきれず床にあふれ被害を及ぼす原因となります。

6 給水管・手洗の接続

アングル止水栓を取り付け、給水管をボールタップに接続してください。

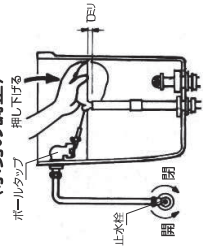


【注意】

給水管の袋ナットを締め付けると、ボールタップが共回りしないようご注意ください。ボールタップの浮玉がロータंकの壁に当たって動かなくなり水が放出しなくなります。ロータंकから水があふれて床が水浸しになります。



【水勢の調整】

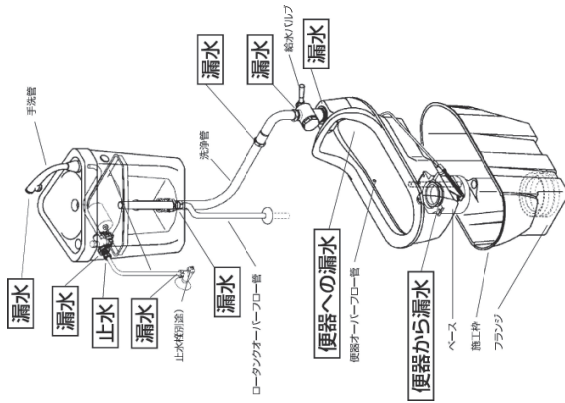


ボールタップが全開に吐水するまで手で浮玉を押し下げてオーバーフロー管へ水をあふれさせます。このとき、水面がオーバーフロー管より約10mm以上上昇しないよう止水栓を調節してください。

調整しないと、故障のときオーバーフローし、水があふれ床が水浸しになります。

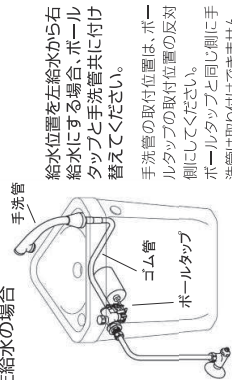
7 点検

ハンドルを操作し、フラップの開閉や洗浄水の流れの状態、各部の漏水の有無を点検してください。

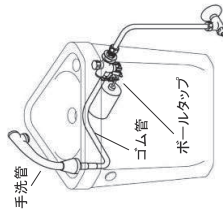


給水位置とボールタップ及び手洗管

左給水の場合



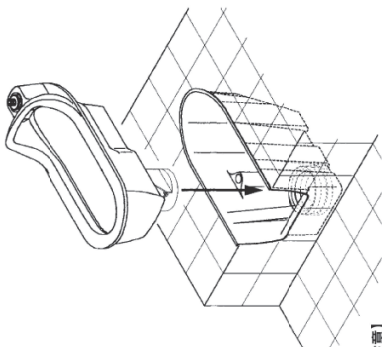
右給水の場合



J8-DG

3 便器本体の据付

ベース本体を床フランジに差し込んで便器本体を施工枠に挿入してください。



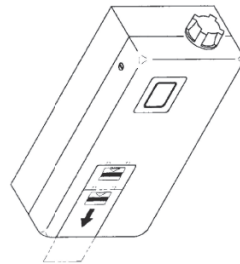
【注意】

- ベース本体を確実に床フランジに差し込んでください。臭気漏れや便器のガツツキの原因になります。
- ベース本体と床フランジを接合したり、便器をモルタル等で埋め込んだりしないでください。

5 乾電池のセット

付属の単3アルカリ乾電池4本をセットしていただきますので、確認してください。

- ① 右にスライドして電池フタを開けてください。
- ② 電池ボックスを手前に引き出してください。
- ③ 単3アルカリ乾電池が4本とも(+) (-) が間違っていないかを確認してください。

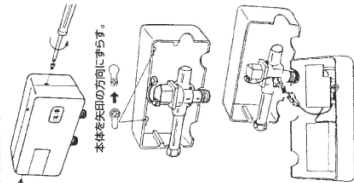


【注意】

- ・新しい乾電池と使用済乾電池や使いかけ乾電池、他の種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ・乾電池の(+) (-) を確認して正しく入れてください。間違えて逆に入れると、乾電池が液漏れしたり、破裂したりする恐れがあります。また、便器の水が取出しになることがあります。

4 電磁バルブの取付

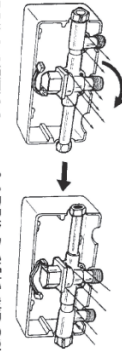
電磁バルブを壁に取り付けてください。



- ① ドライバーで左右2本のねじを外して、カバーを開いてください。
- ② 電磁バルブを壁に木ねじで取り付けてください。取り付ける位置に電磁バルブを付けてマジック等で木ねじの位置に印を付け、先に木ねじ4本を3分2位ねじ込んでおきます。次に電磁バルブの穴を木ねじに通して右にずらした後、木ねじを完全に締め付けてください。
- ③ 基板と電磁弁の配線を接続して、カバーを取り付け左右2本のねじを付けてください。接続の際、差し込む方向が異なりますのでご注意ください。

右給水の場合

バルブ本体を固定している6本のタッピングねじのため、締め過ぎたねじが空転しないよう注意してください。



【注意】

タッピングねじのため、締め過ぎたねじが空転しないよう注意してください。

8 水量の調節

電磁バルブの水量は200cc/回にしていますが、設置場所の水道圧で洗浄水量が変わりますので、水量の多いときや少ないときは調節してください。

時計回り：増
反時計回り：減

【注意】

ドライバで強く押ししたり、回し過ぎると調節ねじが破損しますので、軽く回してください。

9 点検

取付完了後、次の点検を行ってください。

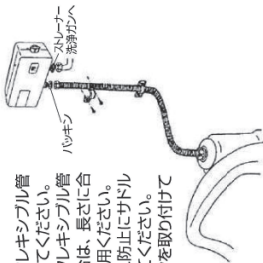
- 電磁バルブの押しボタンを押して
 - ① フラッシュの閉鎖状態
 - ② 便器への洗浄水の流れ状態
 - ③ 各部の漏水の有無
- 洗浄ガン用止水栓を開き、洗浄ガンのボタンを押して
 - ① 洗浄ガンの水の出入
 - ② 各部の漏水の有無
 ※ 点検後、洗浄ガン用止水栓を必ず閉めてください。

- ウォーターハンマーが発生する場合は、いずれかの処置を行ってください。
 - ① 水道配管の固定箇所を増してしっかり固定する。
 - ② 便器の洗浄に影響のない程度に止水栓を絞る。
 - ③ ウォーターハンマー防止器を取り付ける。

- 洗浄水が便器の外へ飛び出す場合
 - ① 止水栓を絞って飛び出さないように調整してください。

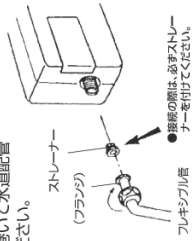
6 フレキシブル管と洗浄ガンの接続

- ① 電磁バルブと便器をフレキシブル管(長さ800mm)で接続してください。給水位置等の関係でフレキシブル管の長さが合わない場合は、長さに合った市販のものをご使用ください。
- ② フレキシブル管の振れ防止にサドルバンド2ヶを取り付けてください。
- ③ 電磁バルブに洗浄ガンを取り付けてください。その時、必ずストレーナーを入れてください。



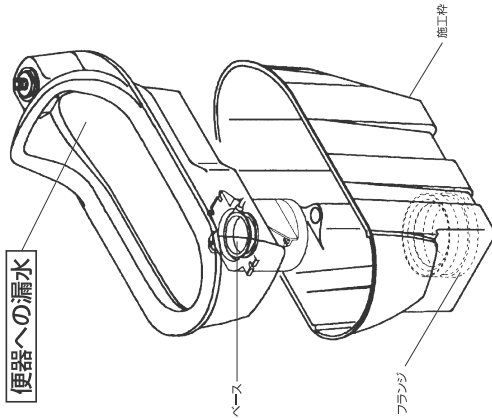
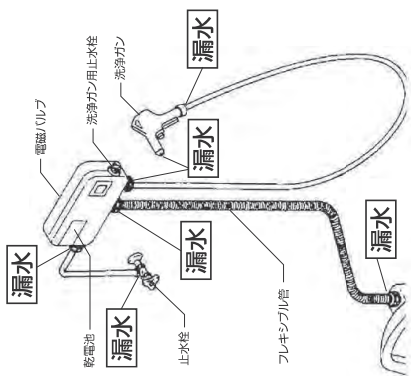
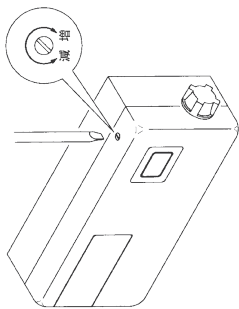
7 止水栓とフレキシブル管の接続

- ① 止水栓にシールテープを巻いて水道配管の給水口に取り付けてください。
- ② 止水栓と電磁バルブをフレキシブル管(300mm)で接続してください。給水位置等の関係でフレキシブル管の長さが合わない場合は、長さに合った市販のものをご使用ください。



【注意】

電磁バルブとフレキシブル管の間に必ずストレーナーを入れてください。



工事完了後
取扱説明書(保証書付)を必ずお客様にお渡し
ください。
保証書は必要事項を記入してお渡しください。

ダイワ化成株式会社
本社営業部 福岡市中央区白金1-13-1
TEL092-521-1800

和風簡易水洗便器 JT

お客様に事故のないよう、施工前に、必ずこの説明書をよくお読みの上、正しく施工してください。

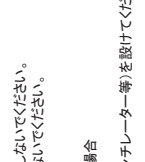
- ▲ **警告** 守らないと、重傷を負うことがあります。
- ▲ **注意** 守らないと、ケガをしたり、家財に損害を与えたりすることがあります。

- 用語および記号の説明**
- **この施工説明書以外の改造はしないでください。**
 - ① **便器の排水配管は、必ず便槽に接続してください。**
簡易水洗便器は、便槽に接続する便器です。
 - ② **施工後、便器や給排水配管からの漏水がないことを点検してください。**
また、漏水すると、床が水浸しになり家財を濡らす原因となります。
 - ③ **床に配管を埋め込まないでください。**
修理できなくなります。
 - ④ **便器は割れものです。施工前に運送経路の確認と施工時での破損がないかを点検してください。**
破損部でケガをしたり、漏水して家財を濡らす原因となります。
 - ⑤ **給水管の接続の際、ボールタップの浮玉が上下、左右に動くことを確認してください。**
給水管の接続を締め付けるとき、ボールタップが共回りして浮玉がボールタップの当り面がなくなるなど、水が出っ放しになります。万一オーバーフローしきれないとき家財を濡らす原因となります。

温水洗浄便座、暖房便座、凍結防止ヒーター等を取り付ける場合は、各々の説明書をお読みください。

施工の前に

■ 梱包内容をお確かめください。



品名	数	品名	数
① 便器本体	1	⑧ タンク取付ねじ、座金	4
② 施工枠	1	⑨ 施工枠変形防止さん木	1
③ ロータンク	1	A 手洗なし用フタ	(0)
④ 洗浄管	1	B 手洗付き用フタ	(0)
⑤ 洗浄管(差込み付)	1	C 手洗管	(0)
⑥ オーバーフローアレキ管	1	施工説明書	1
⑦ ワンデー	1	取扱説明書(保証書付)	1

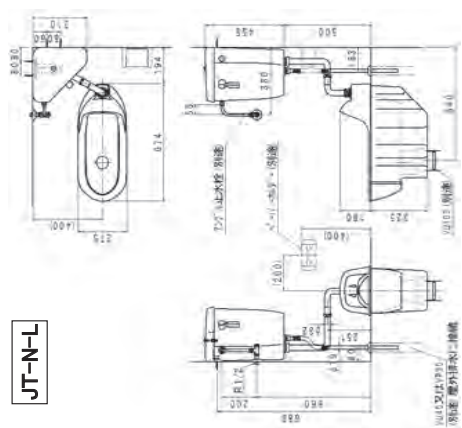
別途用意していただくもの

- ① ソールプレート
- ② コーキング材 (床フランジと導入短管のコーキング用)
- ③ カールブラグ#14 (床がタイルやコンクリートの場合に使用)

必要な工具

- ドライバー(+/-)、電動ドライバー
- スナバ(13)
- 自在スパナ(モンキーレンチ)
- パイプレンチ
- コンクリート用ドリル(φ8mm)、電気ドリル

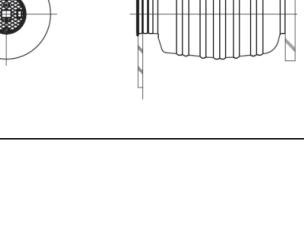
■ 寸法図



■ 標準施工図

1 給排水管の位置決め

下図に従って、導入短管・給水管の位置を決めてください。



■ 便槽の容量

1人1ヶ月で約100~150ℓで計画してください。但し、来客が家族数が増えることが考えられ少くとも500ℓ以上の容量のものをご使用ください。



システムバス

FRP浴槽

水処理システム

簡易水洗トイレ

便槽

施工説明・取扱説明 図面

索引

2 施工枠の取付

排水管の位置と高さを確認して施工枠を取り付けてください。

【採用式の場合】そのまま取り付けてください。

【土盛施工の場合】床下土盛りの場合、施工枠周囲にブロック又はレンガを置き、土圧が直接かからないようにしてください。



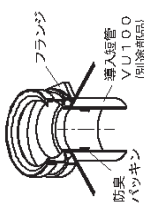
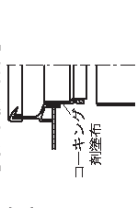
くき又は本仕上げ

同様の形状防止さん木をほめ込んで間隔を確保してください。

【注意】フランジと導入管の間は、確実にコーキングしてください。

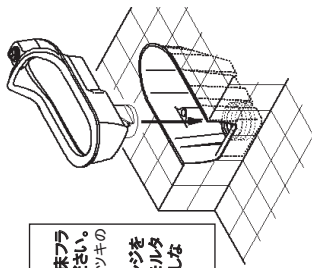
・フランジと導入管の間は、確実にコーキングしてください。
・施工枠上面のツバは、床仕上げの上のように施工してください。

【導入管接続詳細】



3 便器本体の据付

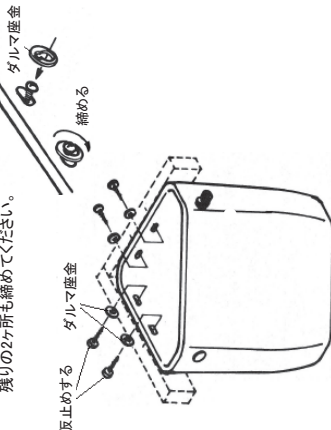
スタッドボルトを床フランジに立て、ベース本体を床フランジの中に差し込みます。便器が確実に据え付けられたことを確認してから座金を入れ、ナットを締め付け、化粧キャップをかぶせてください。



【注意】ベース本体を確実に床フランジに差し込んでください。臭気漏れや便器のガタツキの原因になります。ベース本体と床フランジを接着したり、便器をモルタル等で埋め込んだりしないでください。

4 ロータンクの取付

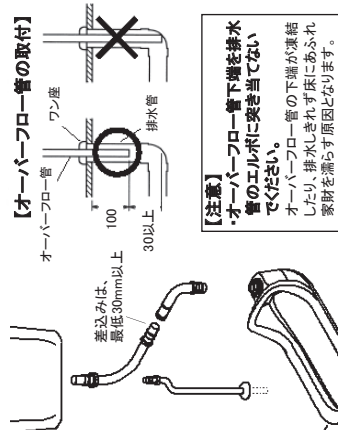
ロータンクを壁に取り付けてください。木ネジを片側2ヶ所取止めし、ロータンクをかけたからタルマを座金をはめ、木ネジを締めつけてください。残りの2ヶ所も締めつけてください。



5 洗浄管・オーバーフロー管の接続

取付寸法に合わせて洗浄管とオーバーフロー管を切断し、名袋ナットを締めつけてください。洗浄管の横引き底さは、最大460mmです。長さが足りない場合は、片アジャスタパイプAPH-17を使用してください。

【注意】洗浄管は水平・垂直に取り付け、差込みは最低30mm確保してください。管切断後の切粉が管内に残らないように水洗い等してから取り付けてください。

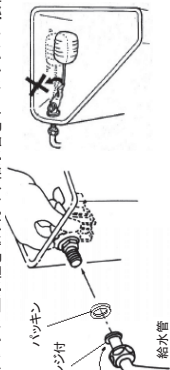


【オーバーフロー管の取付】

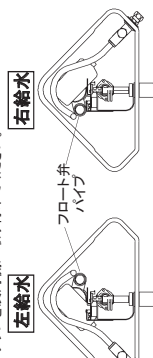
【注意】オーバーフロー管下端を排水管のエルボに突き当てないでください。オーバーフロー管の下端が凍結したり、排水しきれず圧にふれ家財を濡らす原因となります。

6 給水管・手洗の接続

アングル止水栓を取り付け、給水管をポータルタップに接続してください。

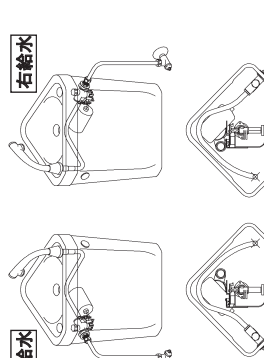


【手洗兼・右給水の場合】右給水にするときは、フロート弁とポータルタップの取付ナットを緩め、パイプの位置を反転して浮玉やフロート弁が当らないように取り付けてください。ポータルタップを反対側に取り付けてください。

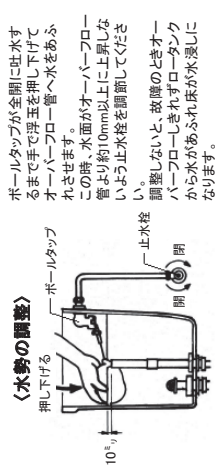


【手洗付・左給水の場合】右側は、レバー作動部分に当たらないようフロート弁パイプの外側を回して取り付けてください。右側パイプ先端を手洗器に差し込んでください。接合部分に奥まで差し込んでください。

【手洗付・右給水の場合】手洗器の取付は、ポータルタップの取付位置の反対側にしてください。ポータルタップと同じ側に手洗器は取り付けできません。フロート弁の取付ナットを緩め、パイプの位置を反転して浮玉やレバー作動部分に当たらないように取り付けてください。

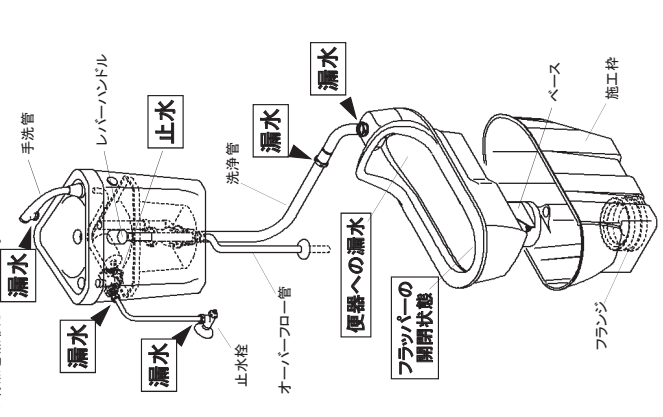


【注意】給水管の接続の際、ポータルタップの浮玉が上下、左右に動くことを確認してください。給水管の袋ナットが共回りして浮玉がタンク蓋に当り動かなくなると、水が出づらくなります。オーバーフローローしきれないとき家財を濡らす原因となります。



7 点検

レバーハンドルを操作し、洗浄水の流れの状態や各部の漏水の有無を点検してください。



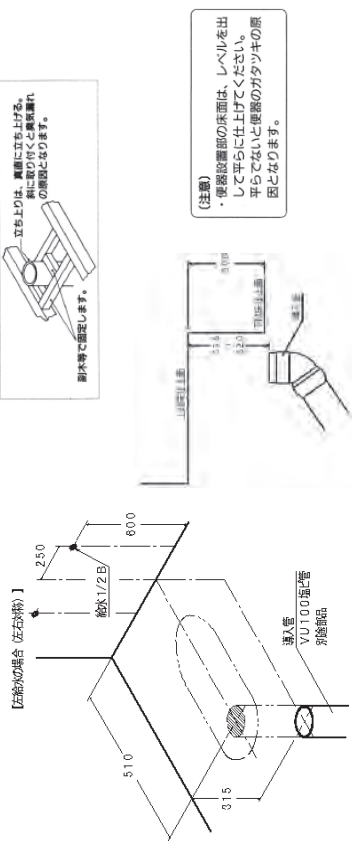
工事完了後、取扱説明書(保証書付)を必ずお添付ください。保証書に必要事項を記入してお渡ください。

Delwa Kasei
ダイワ化成株式会社
本社 東京都 目黒区 目黒 1-10-1
TEL. 03(42)11800

施工の手順

1 給排水管の位置決め

下図に従って、導入短管・給水管の位置を決めてください。



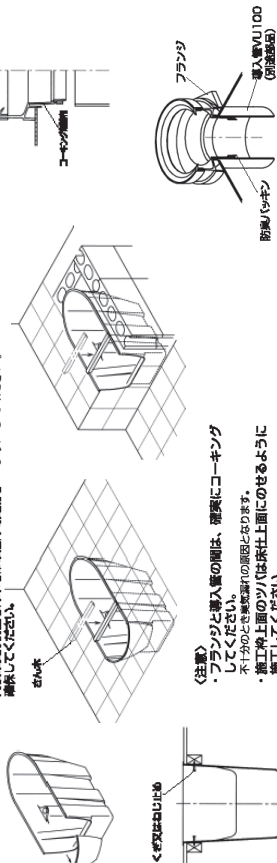
2 施工枠の取付

排水管の位置と高さを確認して施工枠を取り付けてください。

【兼用式の場合】
前方カハ一部の「兼用式切断線」よりリコ等で切断してください。

【土盛施工の場合】
床下土盛りの場合、施工枠周囲にブロック又はレンガを置き、土圧が直接かからないようにしてください。

【導入管適合詳細】
排水管の径が100mm以上ある場合は、必ず排水管の径に合った導入管を使用してください。



3 便器本体の据付

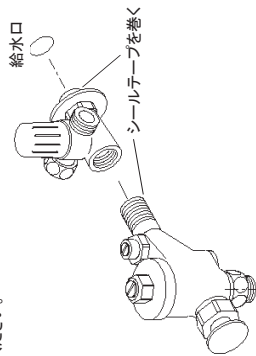
スタッドボルトを床フランジに立て、ベース本体を床フランジの中に差し込みます。
便器が確実に据え付けられたことを確認してから座金を入れ、ナットを締め付け、化粧キャップをかぶせてください。

【注意】

- ベース本体を確実に床フランジに差し込んでください。
臭気漏れや便器のガタツキの原因になります。
- ベース本体と床フランジを密着したり、便器をモルタル等で埋め込んだりしないでください。
メンテナンスができなくなります。

4 分岐栓とフラッシュバルブの取付

分岐栓とフラッシュバルブにシールテープを巻いて取り付けてください。



6 点検

取付完了後、次の点検と水量調節を行ってください。

● フラッシュバルブの押しボタンを押して

① 便器の洗浄の状態

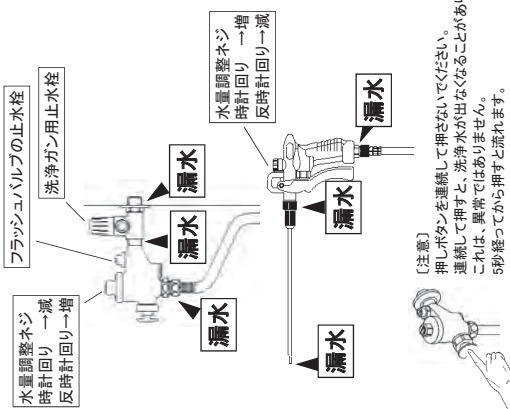
② 各部の漏水点検

● 洗浄ガン用止水栓を開き、洗浄ガンを操作して

① 洗浄ガンの水の出方

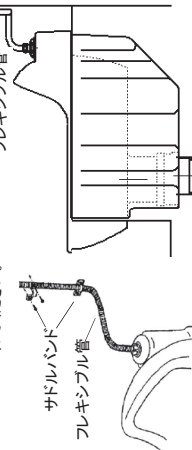
② 各部の漏水点検

※ 点検後、洗浄ガン用止水栓を閉めてください。



5 フレキシブル管と洗浄ガンの接続

フラッシュバルブと便器をフレキシブル管(800mm)で接続してください。
フラッシュバルブの取付位置の関係で長さが合わない場合、長さにあった市販のものをご用意ください。
フレキシブル管をサドルバンド2個で固定してください。
洗浄ガンを取り付けてください。
その時、必ずストレーナーとパッキンを入ってください。



ストレーナー

パッキン

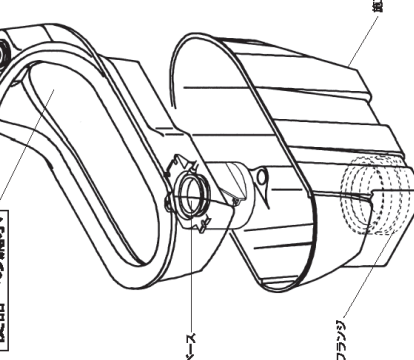
洗浄ガン

フレキシブル管

サドルバンド

フレキシブル管

便器への漏水

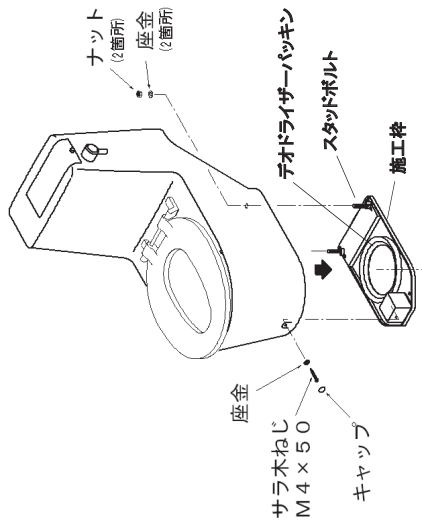


工事終了後
取扱説明書と保証書を必ずお客様にお渡しください。
保証書は必要事項を記入してお渡しください。

Daiwa Kasei
タイワ化成株式会社
本社 東京都 相模原市中央区白雲 1-18-1
TEL 062 (521) 1900

3 便器の据付

スナッドボルトと便器の穴を合わせながら、施工時に便器を差し込んでください。便器が確実に据え付けられることを確認してから座金を入れ、ナットを締め付けてください。

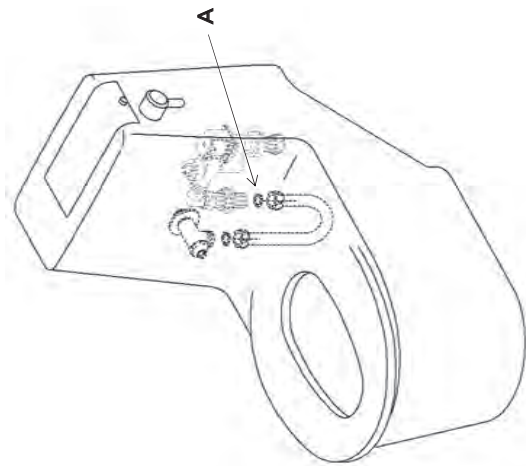


- 【注意】
- ・ベース本体を確実にテオドライザーパッキンに差し込み、必ず締め付けてください。臭気漏れや便器のガタツキの原因となります。
 - ・ベース本体とテオドライザーパッキンを接着したり、便器をモルタル等で埋め込みないでください。
 - ・メンテナスができません。
 - ・ナットの締め過ぎに注意してください。便器が割れる恐れがあります。

※A側の接続は便器の据付前に行ってください。便器据付後は袋ナットが締め難くなります。

4 給水管の接続

止水栓と便器をフレッドレキ管(L300)で接続してください。



【注意】

- ・給水管を接続する前に止水栓からの水をバケツ等で受け、十分に水道配管内の汚れやゴミを取り除いてから接続してください。
- ・汚れた水や赤サビた水が出た場合、水が止まらない状態になることがあります。
- ・これは、電磁ハルブ内部の小穴がゴミ詰りが原因です。分解して小穴の清掃が必要です。

【注意】

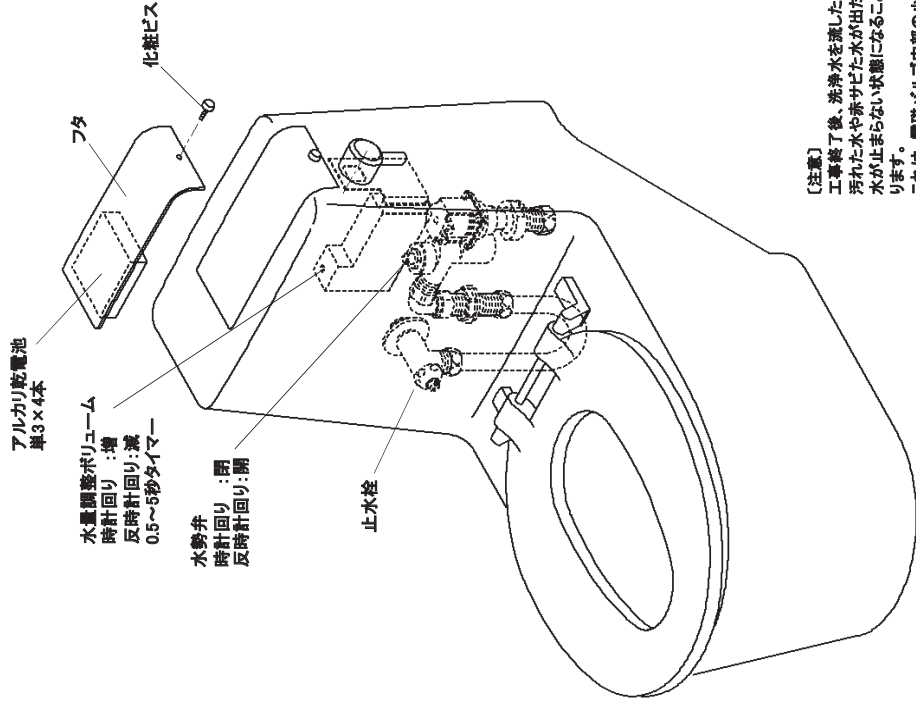
- ・フレキ管はできる限り長さの短いフレッドレキ管を使用してください。
- ・ウォーターハンマーの原因となります。
- ・水圧が0.5MPa以上の場所等ではウォーターハンマーが発生しやすいため、オペション製品の減圧弁(AP-570)を止水栓に取り付けてください。

5 水量・水勢の調節及び点検

化粧ビスを外してフタを開け、マイナスドライバーで水量と水勢の調節をしてください。レバーハンドルを約90度回転すると、電磁ハルブのボタンを押して洗浄水が流れます。

- 洗浄水を流して
- ① フラッパーの開閉状態
- ② 便器への洗浄水の流れ状態
- ③ 各部の漏水の有無

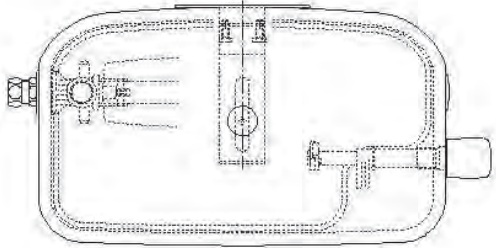
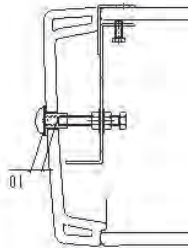
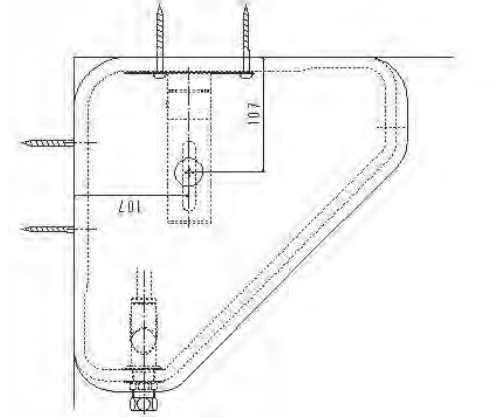
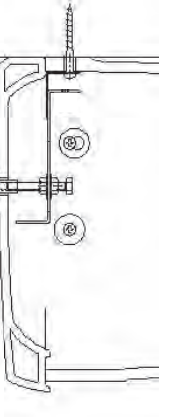
- ウォーターハンマーが発生する場合は、いずれかの処置を行ってください。
- ① 水道配管の固定を増してしっかり固定する。
- ② 便器の洗浄に影響のない程度に水勢弁を絞る。



【注意】

- ・工事終了後、洗浄水を流したとき、汚れた水や赤サビた水が出た場合、水が止まらない状態になることがあります。
- ・これは、電磁ハルブ内部の小穴がゴミ詰りが原因です。分解して小穴の

施工説明書 タンクフタ固定金具 FZ400・FZ500・JZ・JT用

FZ400・FZ500	JZ・JT
  <ol style="list-style-type: none"> フタ固定は、ロータンクの施工後に行ってください。 固定ブラケットをロータンク背面中央に置き、六角ボルト(M6)を締め付けて取り付けてください。固定ブラケットが浮き上がらないように押えながら六角ボルトを締めてください。浮き上がるとフタも浮き上がります。 六角ボルトは無理に締め過ぎないでください。固定ブラケットが手で動かない程度 固定六角ボルト(M8)がフタの穴中心にくるように、ナットで調節してください。固定六角ボルト(M8)の先端がフタ上面より約10mm下で固定してください。 固定ネジを(+ドライバー)で締め付けてフタを固定してください。 	  <ol style="list-style-type: none"> フタ固定は、ロータンクの施工後に行ってください。 ロータンク壁取付ネジの片方を外し、固定ブラケットをささんで再度締め付けてください。 固定ブラケットは、左右どちらでも取付可能なナットで調節してください。 固定六角ボルト(M8)がフタの穴中心にくるように、固定六角ボルト(M8)の先端がフタ上面より約10mm下で固定してください。 固定ネジを(+ドライバー)で締め付けてフタを固定してください。

壁掛式手洗器 HW-3・5

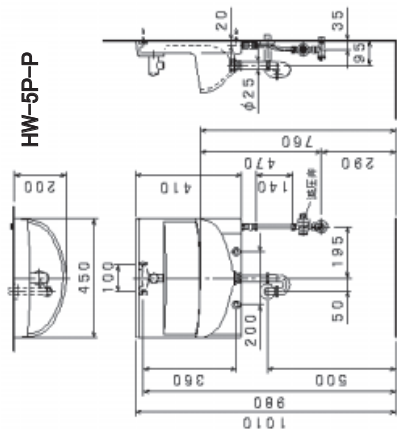
施工説明書

施工前に、この施工説明書をよくお読みのうえ正しく施工してください。

注意事項

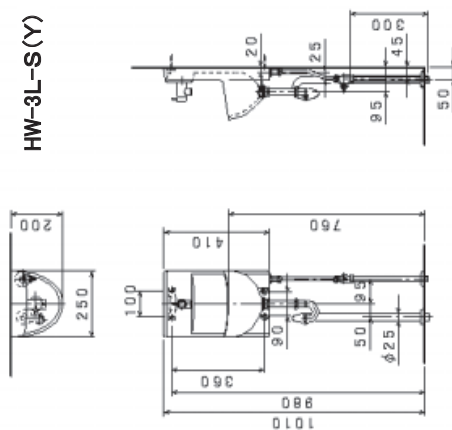
- 浴室内の水のかかる場所や表面に水滴が生じるような湿気の多い場所では、センサー式自動水栓は設置しないでください。
火災や感電の原因となり、また電磁バルブが故障したり乾電池が液漏れする恐れがあります。
- 電気配線は、必ず専門の電気工事店で行ってください。
- 簡易水洗又は非水洗の場合、排水配管を壁槽に接続しないでください。
便槽が一杯になり溢み取りが増えます。
- 隣器は割れ物です。施工前に運送破損の確認及び施工後に破損がないかを点検してください。
- 凍結や結露の恐れがあるときは、必要に応じて対策を行ってください。
- 水運配管は、しっかりと固定してください。
水撃作用(ウォーターハンマー)の原因となります。
- 施工後、漏水がないことを点検してください。

■ 寸法図

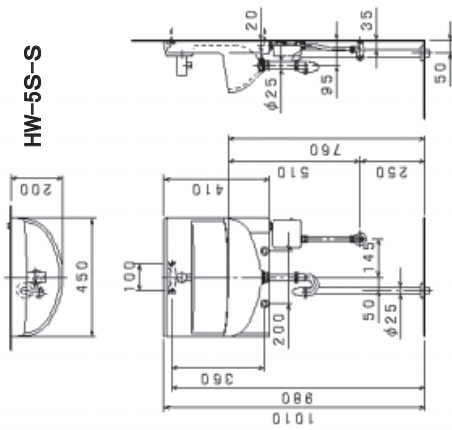


給水圧力 0.03～0.75MPa

HW-3L-S(Y)

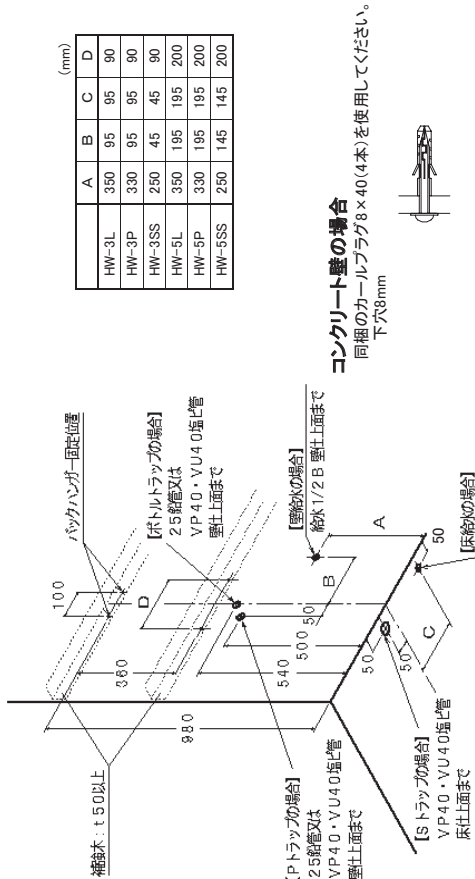


HW-5S-S

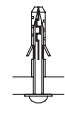


施工の手順

1 給排水管及び取付位置決め

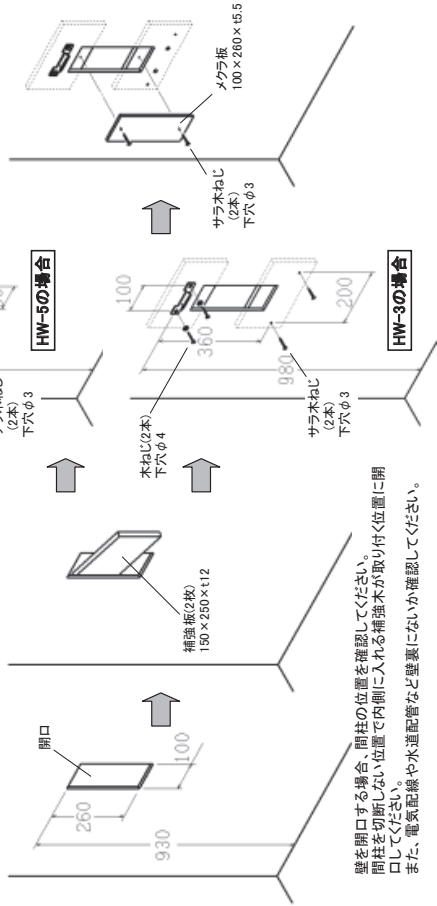


コンクリート壁の場合
 同様のカーブルブラグ8×40(4本)を使用してください。
 下穴φ8mm



改造の場合

石膏ボードなど下地壁に木ねじ固定できないときや壁に補強が必要などときは次の手順で行ってください。
 (補強板、メクラ板、サラ木ねじ: 同梱)

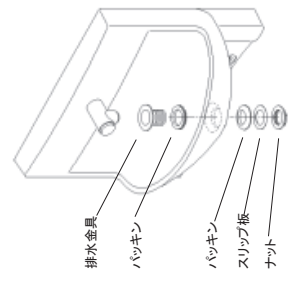


2 給水管内の掃除

手洗器を取り付ける前に水道配管内のゴミや砂等を完全に洗い流してください。手洗器裏配管の防露・凍結対策は必要に応じて現場で行ってください。

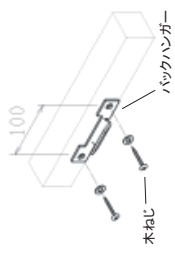
3 排水金具の取り付け

手洗器に排水金具を取り付けてください。



4 手洗器の取り付け

木ねじの下穴φ4を開け、バックハンガーを所定の位置に水平に木ねじで取り付けてください。



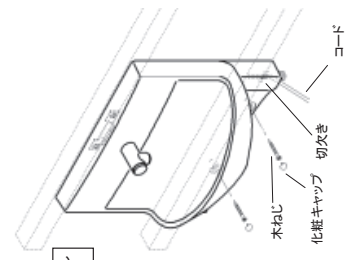
コンクリート壁の場合、カーブルブラグ8×40(OP840)を別途ご用意ください。下穴φ8

手洗器が水平になるようにバックハンガーに引掛けてください。

ここからは「止水栓の取り付け」を確認し配管の接続を確認した後に行ってください。

下部の2ヶ所取付穴の位置をけがき、手洗器を一度外して、けがき位置に下穴φ4を開けてください。

再び、手洗器を水平になるようにバックハンガーに引掛け、木ねじで固定し、化粧キャップを取り付けてください。



コンクリート壁の場合、カーブルブラグ8×40(OP840)を別途ご用意ください。下穴φ8

【センサー式の場合】

背面の配線コードを手洗器下部の切欠きから出してください。

5 排水管の取り付け

直管を必要な長さにかットし、排水トラップを仮配置してから袋ナットを締め付けてください。

【壁排水の場合】

25鉛管との接続はハンダ付けしてください。排水配管が塩ビ管の場合は市販の排水アダプターで接続してください。

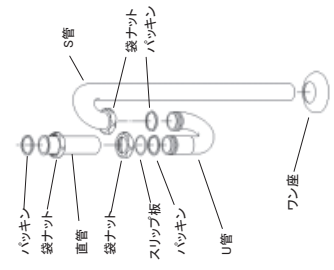
【Pトラップの場合】

直管を必要な長さにかットし、排水トラップを仮配置してから袋ナットを締め付けてください。

【ボルトトラップの場合】

直管を必要な長さにかットし、排水トラップを仮配置してから袋ナットを締め付けてください。

【床排水(ストリップ)の場合】
 排水配管が塩ビ管の場合は市販の排水アダプターで接続してください。

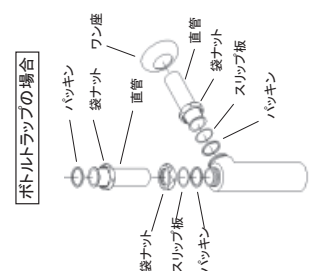


【Pトラップの場合】

直管を必要な長さにかットし、排水トラップを仮配置してから袋ナットを締め付けてください。

【ボルトトラップの場合】

直管を必要な長さにかットし、排水トラップを仮配置してから袋ナットを締め付けてください。

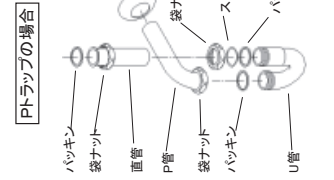


【壁排水の場合】

直管を必要な長さにかットし、排水トラップを仮配置してから袋ナットを締め付けてください。

【ボルトトラップの場合】

直管を必要な長さにかットし、排水トラップを仮配置してから袋ナットを締め付けてください。



6 止水栓の取り付け

止水栓のねじ部にシールテープ等のシール材を巻いて給水管にねじ込んでください。

レバー式の場合



曲り管を必要長さに合わせてカットしてください。ツバ付の方はカットしないでください。
曲り管のツバ付を上手洗器側にし、必ずストレーナーを付けてください。

プッシュ式の場合



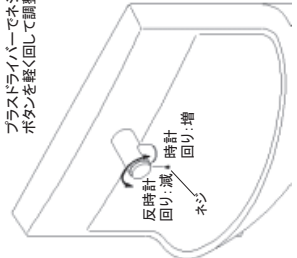
【床給水(ストレーン止水栓)の場合】
曲り管のツバは下してください。

7 調整と点検

取り付け完了後、止水栓をゆっくり開き水栓を操作して水を出してください。
水量が多いときは、止水栓を絞ってください。
止水栓、排水トラップなど各部漏水の有無やゴミ詰りを点検してください。
ゴミ詰りの場合は、ストレーナーを点検してください。

プッシュ式の吐水時間調整

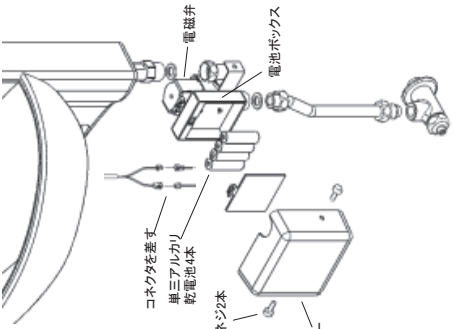
プラスチックパイプでネジを外し、ボタンを軽く回して調整してください。



(注意) 水が止まらないとき
汚れた水が流れた場合、内部のゴミ詰りを確認し水が止まらないことがあります。そのときは、分解清掃してください。
特にストレーナー、ピンと小穴をきれいにしてください。

センサー式(乾電池式)の場合

コネクタは白と黒、黒と黒を接続してください。接続後、コネクタ部を電磁弁ケースの中に入れて配線取出口からコードを出してカバーをしてください。



【センサー式(AC100Vアダプタ式)の場合】
別売のACアダプターを使ってください。
乾電池側のコネクタを外し、ACアダプターと接続してコンセントに差し込んでください。

ダイワ化成株式会社

本社営業部 福岡市中央区白金1-13-1 TEL. 092-521-1800

1307

改造フランジ13 施工説明書 ソフィアシリーズ FZ500・FZ400・FZ300用 FZ40T・FZ50T

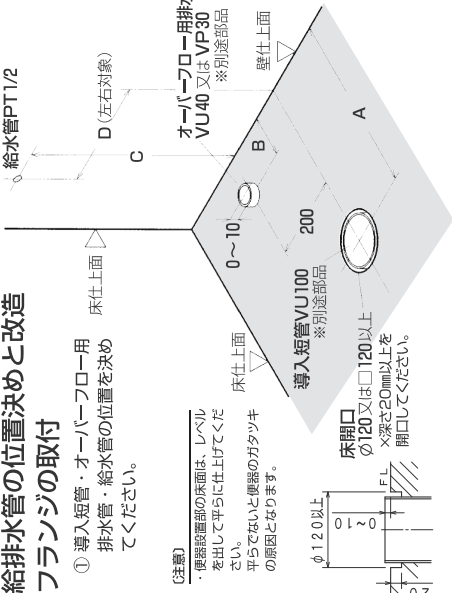
給排水管の位置決めと改造フランジの取付

選定使用時(工場出荷時)

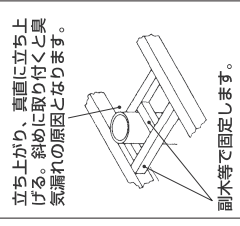
	A	B	C	D
FZ500	450	430	100	500
FZ400	420	400	100	500
FZ300	400	380	80	400

取付使用時(フランジ下を改造して取付する場合)

	A	B	C	D
FZ500	490	510	100	500
FZ400	460	480	100	500
FZ300	440	460	80	400

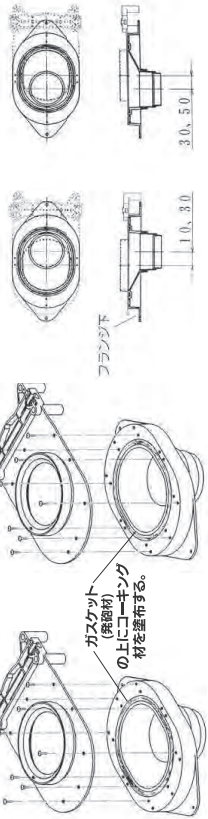


(注意)
・便器設置部の底面は、レベルを出して平らに仕上げてください。
平らでない場合、機器のガタツキの原因となります。

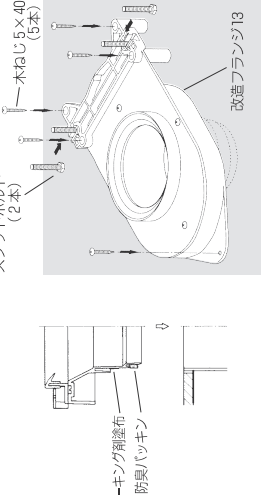


② 改造フランジの偏芯量を決めてください。
偏芯量を決め、床を防水した後、フランジ上と下の間にコーキング材(シリコーンシーラント)を充填してからネジを止めてください。
床の平面が出ていないときフランジが反って漏水する恐れがあります。

改造フランジ13は、フランジ下を反転すれば、逆方向にも偏芯できます。



③ 改造フランジを取り付けてください。



コンクリート床の場合
向側のフラグ8×40を7本挿してください。
T/F: 8mm

(注意)

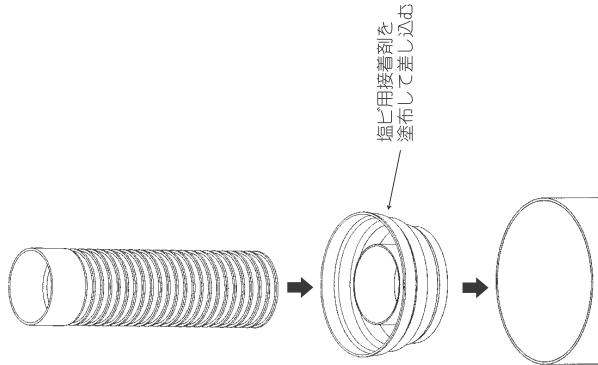
- ・フランジの取付向きにご注意ください。
 - ・フランジと導入管の間は、確実にコーキングしてください。
- 不十分ですと臭気漏れの原因となります。

施工の手順

- 1 接着せずに仮組みしてください。そのとき、便器と同梱の床フランジも使ってください。
ジャバラ管の長さ、改装用ソケットBの取付箇所(臭溜りまたは、たてパイプ)を決めてください。
※改装用ソケットBは臭い溜りの中へ入れて取り付けられます。

- 2 ジャバラ管を必要な長さで切断してください。
【注意】 ジャバラ管の抜け防止のため、改装用ソケットBに100mm程度差し込むようにしてください。

- 3 改装用ソケットBを臭溜りまたは、たてパイプに接着取付してください。

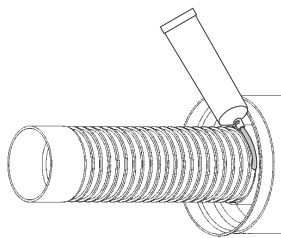


塩ビ用接着剤を塗布して差し込む

- 4 改装用ソケットBにジャバラ管を差し込んでください。

【注意】 ジャバラ管と改装用ソケットBの間を必ずコーキング剤(シリコーンシーラント)でシールしてください。行わないと、臭気の原因となります。

- 5 便器と同梱の床フランジを取り付けるとき、床フランジとソケット(ジャバラ管)の間をコーキング剤(シリコーンシーラント)でシールしてください。臭気の原因となります。



【便器のフラッパーの開閉が悪い場合】

臭突を外して配管内の空気が密閉されると、フラッパーの開閉が悪くなったり、フラッパーを開けた瞬間に下から空気が上がる可能性があります。そのときは、臭突を設けてください。臭溜りを取り付けると臭突が接続できます。

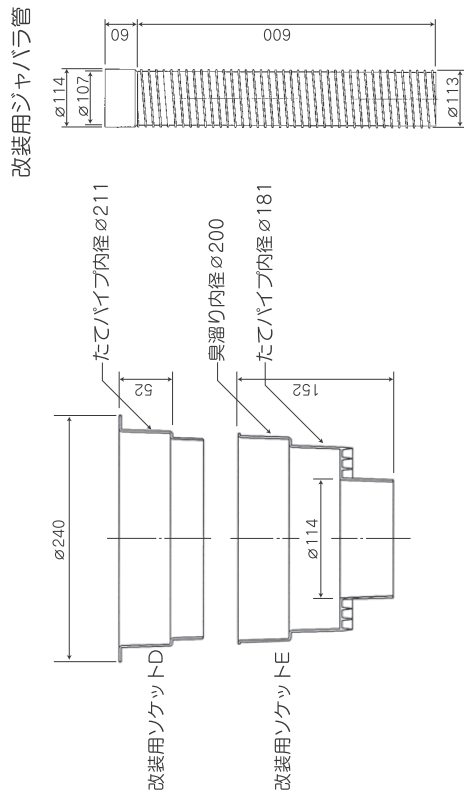
改装部品ジャバラセット BCV-25

施工説明書

このたびは、当社製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

この説明書をよく読んで正しく施工してください。

部品寸法



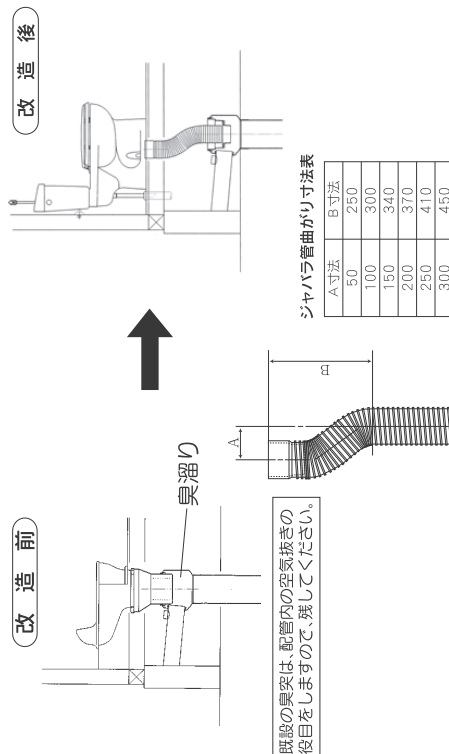
改装用ジャバラ管

改装用ソケットD たてパイプ内径ø211

改装用ソケットE 臭溜り内径ø200

たてパイプ内径ø181

施工例



既設の臭突は、配管内の空気抜き役目をしますので、残してください。

ジャバラ管曲がり寸法表

A寸法	B寸法
50	250
100	300
150	340
200	370
250	410
300	450



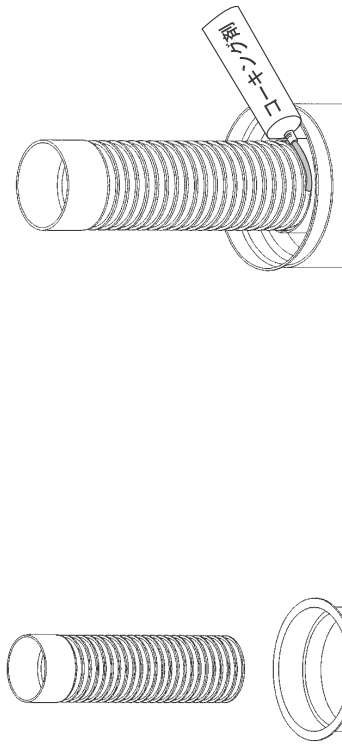
Daiwa Kasei

ダイワ化成株式会社

本社営業部 福岡市中央区白金1-13-1
〒810-0012 TEL 092(521)1800

施工の手順

- 1 接続せずに仮組みしてください。そのとき、便器に同梱の床フランジも使ってください。
 ジャバラ管の長さ、改裝用ソケットの取付箇所(臭溜りまたは、たてパイプ)を決めてください。
- 2 ジャバラ管を必要な長さに切断してください。
 【注意】 ジャバラ管の取付防止のため、改裝用ソケットに100 mm 程度差し込むようにしてください。
- 3 改裝用ソケットを臭溜りまたは、たてパイプに接着取付してください。
- 4 改裝用ソケットにジャバラ管を差し込んでください。
 【注意】 ジャバラ管と改裝用ソケットの間を必ずコーキング剤(シリコンシーラント)でシールしてください。
 行わないと、臭気の原因となります。
- 5 便器に同梱の床フランジを取り付けるとき、床フランジとソケット(ジャバラ管)の間をコーキング剤(シリコンシーラント)でシールしてください。臭気の原因となります。



【便器のフラッパーの開閉が悪い場合】
 臭突を外して配管内の空気が密閉されると、フラッパーの開閉が速くなくなり、フラッパーを開けた瞬間に下から空気が上がることがあります。
 そのときは、臭突を設けてください。臭溜りを取り付けると臭突が接続できます。

本水素切替部品セット APH-FZ40 専用

施工の前に

- 梱包内容を確認してください。

1	1
2	1
3	1
4	1
5	1
6	1
7	1
8	1
9	3
10	3
11	1

- 別途用意していただくもの
 コーキング材
- 必要な工具
 トライバー(ドライバー)、コギ
 自在スライバ(モンキーレンチ)、スパイク(1)

用度および記号の説明

- △警告
 守らないと、重傷を負うことがあります。
 (一般的に禁止記号)
- △注意
 守らないと、ケガや家財に損害を及ぼすことがあります。
 (一般的に行動指示記号)

特に注意していただきたいこと

- △警告
 浴室など湿度の高い場所に使用しないでください。
 火災や感電の原因となります。
- △注意
 配管の排水管 勾配は1/100以上とってください。
 この施工説明書以外の改裝はしないでください。
 便器の排水管 勾配は1/100以上とってください。
 流す水質や配管材などで変質を招く可能性があります。

その他のご注意

- この本水素切替部品セットは、クリーンフラッシュ(FZ40)専用で他の便器には取り付けませんのでご注意ください。
- コンクリート使用、床下型便器、無臭便器の場合、床下の配管をすべて改修する必要がありますのでご注意ください。
- 必要に応じて、床下型便器、無臭便器の位置、床下の配管をすべて改修する必要があります。
- 必要に応じて、床下型便器、無臭便器の位置、床下の配管をすべて改修する必要があります。
- 必要に応じて、床下型便器、無臭便器の位置、床下の配管をすべて改修する必要があります。
- 必要に応じて、床下型便器、無臭便器の位置、床下の配管をすべて改修する必要があります。

施工の手順

- 1 便器の取り外し
 ①止水栓を閉める。
 ②ロータックのフタを外す。
 ③給水管の給水栓を外す。
- 2 便器の取外し
 ④ロータックの水抜きをする。
 ⑤ロータックのフタを外す。
 ⑥便器をはずす。
 ⑦ロータックのフタを外してロータックを取り外す。



便器の変更

- 1 ロットを外す。
 ②フラックを外す。
 ③ベース、リブゴム、リブゴム伸縮を外す。
 ④トラップにガスケット(臭気防止ゴム)が付いていることを確認し、付属のネジは床までトラップを取り付ける。
 ⑤ガスルを取り替える。
- 2 便器の変更
 (注)ネジは床は約10mm以上に分けてトラップがベース取付板に当たるまで締め付けてください。
 (注)ベースは約10mm以上に分けてトラップがベース取付板に当たるまで締め付けてください。
 (注)ベースは約10mm以上に分けてトラップがベース取付板に当たるまで締め付けてください。



施工の手順

施工の前に

- 梱包内容を確認してください。

1	1
2	1
3	1
4	1
5	1
6	1
7	1
8	1
9	3
10	3
11	1

- 別途用意していただくもの
 コーキング材
- 必要な工具
 トライバー(ドライバー)、コギ
 自在スライバ(モンキーレンチ)、スパイク(1)

用度および記号の説明

- △警告
 守らないと、重傷を負うことがあります。
 (一般的に禁止記号)
- △注意
 守らないと、ケガや家財に損害を及ぼすことがあります。
 (一般的に行動指示記号)

特に注意していただきたいこと

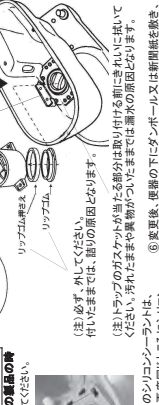
- △警告
 浴室など湿度の高い場所に使用しないでください。
 火災や感電の原因となります。
- △注意
 配管の排水管 勾配は1/100以上とってください。
 この施工説明書以外の改裝はしないでください。
 便器の排水管 勾配は1/100以上とってください。
 流す水質や配管材などで変質を招く可能性があります。

その他のご注意

- この本水素切替部品セットは、クリーンフラッシュ(FZ40)専用で他の便器には取り付けませんのでご注意ください。
- コンクリート使用、床下型便器、無臭便器の場合、床下の配管をすべて改修する必要がありますのでご注意ください。
- 必要に応じて、床下型便器、無臭便器の位置、床下の配管をすべて改修する必要があります。
- 必要に応じて、床下型便器、無臭便器の位置、床下の配管をすべて改修する必要があります。
- 必要に応じて、床下型便器、無臭便器の位置、床下の配管をすべて改修する必要があります。
- 必要に応じて、床下型便器、無臭便器の位置、床下の配管をすべて改修する必要があります。

施工の手順

- 1 便器の取り外し
 ①止水栓を閉める。
 ②ロータックのフタを外す。
 ③給水管の給水栓を外す。
- 2 便器の取外し
 ④ロータックの水抜きをする。
 ⑤ロータックのフタを外す。
 ⑥便器をはずす。
 ⑦ロータックのフタを外してロータックを取り外す。



便器の変更

- 1 ロットを外す。
 ②フラックを外す。
 ③ベース、リブゴム、リブゴム伸縮を外す。
 ④トラップにガスケット(臭気防止ゴム)が付いていることを確認し、付属のネジは床までトラップを取り付ける。
 ⑤ガスルを取り替える。
- 2 便器の変更
 (注)ネジは床は約10mm以上に分けてトラップがベース取付板に当たるまで締め付けてください。
 (注)ベースは約10mm以上に分けてトラップがベース取付板に当たるまで締め付けてください。
 (注)ベースは約10mm以上に分けてトラップがベース取付板に当たるまで締め付けてください。



便槽施工上の注意事項

施工上の注意

1. 埋設場所の確認
 - (1) 地下湧水がないか
 - (2) 重や重物物が近くないか
 - (3) 車が通る場所、駐車する場所でないか
 - (4) 基礎下にならぬか
 2. 配管の配より埋設深さの確認
 - (1) 配管の埋設深さは35cm(計入してください。弊社ブルーフラッシュとの組合せなら配管勾配20まで可能です。
 - (2) 敷地形状や土質が深い場所の場合は、排水試験による排水状態を確認し、十分な埋設深さを確保してください。
 - (3) シンクや工事取付の埋設深さを確認してください。
 - (4) 浴室には必ず打設してください。
 - (5) 埋設は落下しないように持ちも等を併用してゆくり落ろしてください。
 - (6) シンクや工事取付の埋設深さを確認してください。
- ※詳しくは施工説明書をお読みください。

使用上の注意

- タバコの灰を投げ込まないでください。
- 有機溶剤系の洗剤、殺虫剤、芳香剤はバブを浸しますので使用しないでください。
- 桶内汲み取り後は曲リパイプ内にバケツ5杯分の水をを入れてください。
- 汲み取りは月に1度行ってください。
- ご使用前に取扱説明書をご一読ください。

配管上の注意

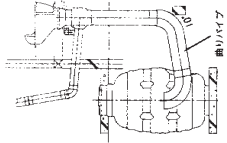
- 施工にあたっては、「施工説明書」に従ってください。
- 施工説明書の内容と異なる施工をされますと建物の建築確認がおりない場合がありますのでご注意ください。
- 配管材料は、JIS6741に準じた厚肉塩ビ管としてください。
 - 肉厚劣水管(薄入管)2ミリ以上(フロア埋設1.6ミリ以上)排気管(厚入管)1.5ミリ以上(フロア埋設1.2ミリ以上)
 - 管が長くなる場合、継手管の長さは1500ミリ以内で検討ください。
 - 下配管の場合は、必ず臭突を設置してください。
 - ①汚水パイプの長さが1.5メートル以上になる場合(2階配管等)
 - ① 小便器を取り付ける場合
 - ② 排気管の先頭には、排気トブ(排気扇、ベンチレーター)を付け、その下端は汚水取出口の直上から5600ミリ以上の高さに取り付けてください。
 - 汚水管、排気管の接続は確実な接合し、十分な耐久性と気密性を保つように施工してください。工事完了後は約10%の水を流し、配管からの漏水がないか漏水検査で確認してください。
 - 無臭トイレの曲リパイプの延長は、250ミリ以上にならないように、計画してください。(ファミリートイレ)
- ※その他、特殊な配管については、弊社までお問い合わせください。

※寒冷地対策

- 特に寒気のきびしい所で、導入管が屋外配管になる場合は、立上管上部の曲り部分が凍結することがあります。保温断熱材等での保温対策も実施してください。
- 埋管は、凍結深さ以下になるよう埋設してください。但し、深埋に際しては、埋設設置上の注意を参照してください。
- 積雪地域では、大容量の雪溜をおすすめします。
- 導入管・導入短管の管径は、呼び径100以上にしてください。
- 桶引き管の管長(管長)は、2m以内、勾配20以上にしてください。
- エルボの個数は、極力少なくしてください。
- 施工する場合は、まず各部分の埋設をおこなった後、埋設寸法を十分チェックしてから埋設作業にかかってください。
- 埋設作業が汚れてしまっていると埋設効果がうすれ漏水の原因になりますので必ず変口、差し込み口両面に均一に引き伸し作業は迅速に行ってください。

■タンク埋設上の注意

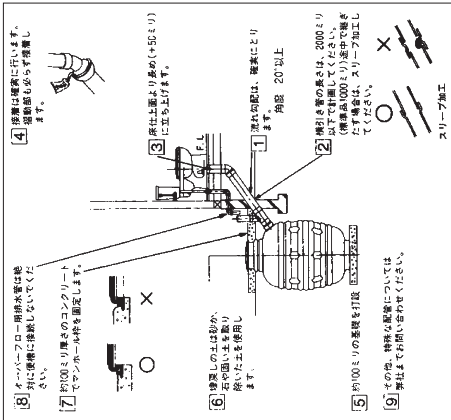
- フォアミリートイレ(無臭トイレ)の場合、曲リパイプの曲り部分で常に水を溜めておく必要がありす。その為曲リパイプの継ぎ目(曲り継ぎ目)の長さ(曲り継ぎ目)は250mm以上にしてください。
- フォアミリートイレは配管10度以上になっている。曲リパイプに250mm以上の継ぎ目を入れてください。継り水の溜まりやすさが乾燥しつづつ原因となります。



施工上の注意

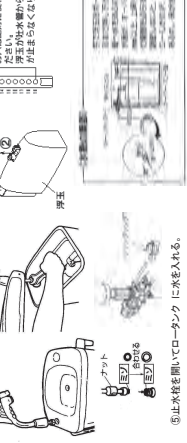
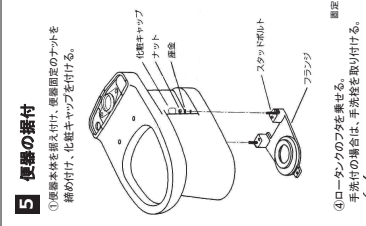
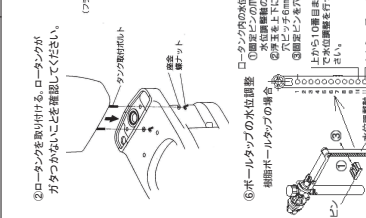
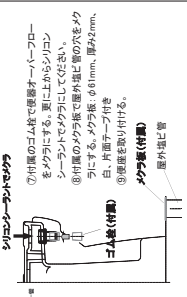
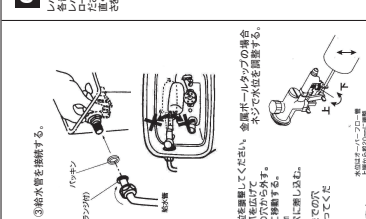
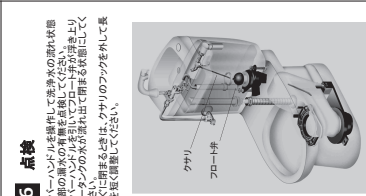
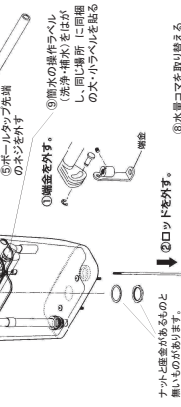
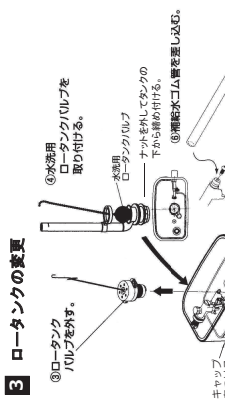
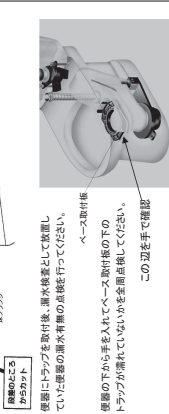
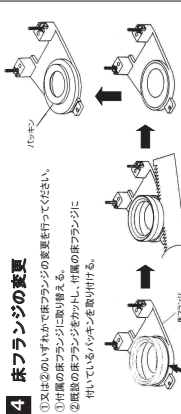
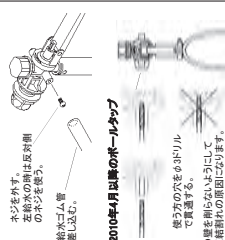
1. 埋設場所の確認
 - (1) 地下湧水がないか
 - (2) 重や重物物が近くないか
 - (3) 車が通る場所、駐車する場所でないか
 - (4) 基礎下にならぬか
 2. 配管の配より埋設深さの確認
 - (1) 配管の埋設深さは35cm(計入してください。弊社ブルーフラッシュとの組合せなら配管勾配20まで可能です。
 - (2) 敷地形状や土質が深い場所の場合は、排水試験による排水状態を確認し、十分な埋設深さを確保してください。
 - (3) シンクや工事取付の埋設深さを確認してください。
 - (4) 浴室には必ず打設してください。
 - (5) 埋設は落下しないように持ちも等を併用してゆくり落ろしてください。
 - (6) シンクや工事取付の埋設深さを確認してください。
- ※詳しくは施工説明書をお読みください。

■施工のポイント



配管組立の注意

- 組立作業の前に、槽の水平面および槽の中に異物が落ちていないことを確認してください。
- 配管を接続し、槽本体に取り付け、長さおよび取り付け角度を確認(台印)してください。
- 接続部分の汚れが残り、埋設効果がうすれ、漏水の原因になります。必ず布できれいに拭き取ってください。
- 接続後は「へリ」等必ず両面は均等に引きつけてください。硬化ビニール用接着剤は速乾性ですので、作業を迅速に行ってください。
- 導入口を使用しない箇所は、キャップを取り付け、接着剤を塗布しキャップを戻してください。
- 基礎の穴(導入パイプを通した箇所)をモルタルで補修し導入パイプを確実に固定してください。
- 埋め戻しの際は接着剤が槽壁に固着してから行ってください。
- 槽本体の上に100mmの厚さでコンクリートを敷き、マンホールの枠を確実とめてください。
- 槽の中に半分以上水を入れて、埋め戻し土砂が落ちつき固まるまで槽本体の半分上がりを確認してください。

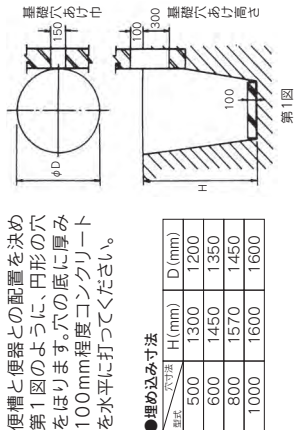


1600
 タイワ化成機株式会社
 本社 東京都 品川区中品区白根1-10-1 TEL. 03-551-1800

簡易水洗トイレ専用便槽NV-R 工事説明書

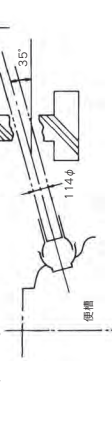
1 位置決めと穴幅り

便槽と便器との配置を決め第1図のように、円形の穴をほります。穴の底に厚み100mm程度コンクリートを水平に打ってください。



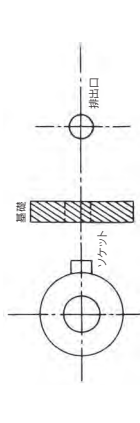
2 横引き管貫通のための基礎穴あけ

横引き管の通路に基礎がある場合、基礎に穴をあけます。その時横引き管の角度が35度になるよう穴位置を決めて下さい。



3 便槽の据えつけ

便槽本体を穴の中へおろし、ソケットの方向が便器の排出口の中心に一致するように槽を水平に保ちながら、位置を決めます。

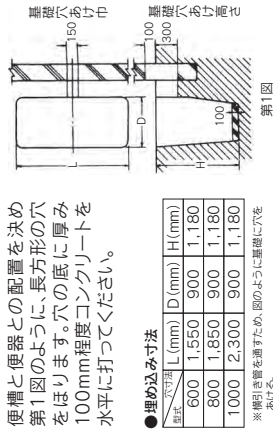


4 ワイ、横引き管、短管の接続

ワイ(220mm) S付き短管を現場で接着して下さい。横引き管(650mm)自在エルボ、短管(300mm)を自在ソケット(本体に接着済)に仮接続し、便器との位置を確認して必要な所に印をつけ切断します。短管の長さも同様にして切断します。
短管の寸法は、簡易水洗便器洋式、和式により異なりますので注意して下さい。仮接続した時よりも接着剤を塗って接続した時の方が若干深く入りやすいため寸法に注意して下さい。

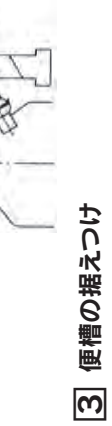
1 位置決めと穴幅り

便槽と便器との配置を決め第1図のように、長方形の穴をほります。穴の底に厚み100mm程度コンクリートを水平に打ってください。



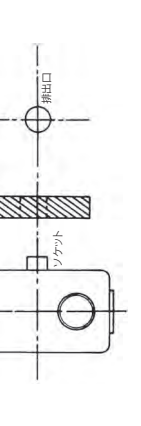
2 横引き管貫通のための基礎穴あけ

横引き管の通路に基礎がある場合、基礎に穴をあけます。その時横引き管の角度が35度になるよう穴位置を決めて下さい。



3 便槽の据えつけ

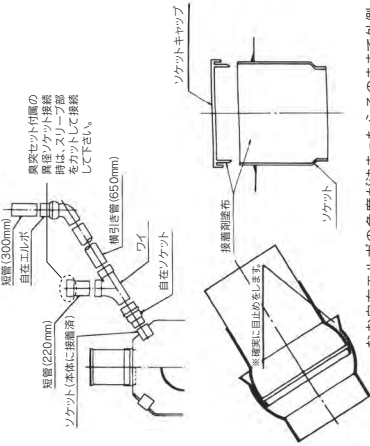
便槽本体を穴の中へおろし、ソケットの方向が便器の排出口の中心に一致するように槽を水平に保ちながら、位置を決めます。



4 ワイ、横引き管、短管の接続

自在ソケット、ワイ(220mm) S付き短管を臭気管接続方向へ現場で接着して下さい。横引き管(650mm)、自在エルボ、短管(300mm)をソケット(本体に接着済)に仮接続し、便器との位置を確認して必要な所に印をつけ切断します。短管の長さも同様にして切断します。
短管の寸法は、簡易水洗便器洋式、和式により異なりますので注意して下さい。仮接続した時よりも接着剤を塗って接続した時の方が若干深く入りやすいため寸法に注意して下さい。

簡易水洗トイレ専用便槽VE-R 工事説明書



なお自在エルボの角度が決まったらそのまま外側面にソケットに接着剤を流し込むように至るまで十分に塗ってください。
※特にA部詳細箇所には同梱の場合化ビニール用接着剤を流し込み、確実に目止めをします。また、確実に目止めをします。

5 埋めもどし

便槽及び横引き管部は、直接石等硬い異物が当たらないように注意して、軟い土で周囲を固め、掘り土をもどしてゆきます。便槽と横引き管の下側にも十分土がかかるよう注意して下さい。また横引き管には力がかからないようにして下さい。(埋めもどしは出来れば砂を使用して下さい。)

6 仕上げ

全部の部品を接続し終ると、便槽の上にマンホール蓋をはめ周囲を厚さ100mm程度にコンクリートで固めて仕上げます。地盤の軟弱な所や地下水の高いところに設置される場合は、施工が終了したら、槽の1/2程度まで水を入れて槽の浮上りを防止して下さい。短管には、簡易水洗便器を取付けるまで、セメント、モルタル、レンガなどが入らないようにカバーをかかして下さい。

7 注意事項

- 工事は専門工事店におまかせ下さい。
 - 工事説明書通り工事をして下さい。
 - 工事前に槽に割れないか、部品の不足がないか確認して下さい。
 - 接続部分はよぶきをよくふきとり接着剤を、両方に十分付けて下さい。
 - 便器取り付け前に横引き管内の異物を全部取り除いて下さい。
 - 施工する前に水張り検査を必ずして下さい。
- (注) 便室内に注意書を貼って下さい。

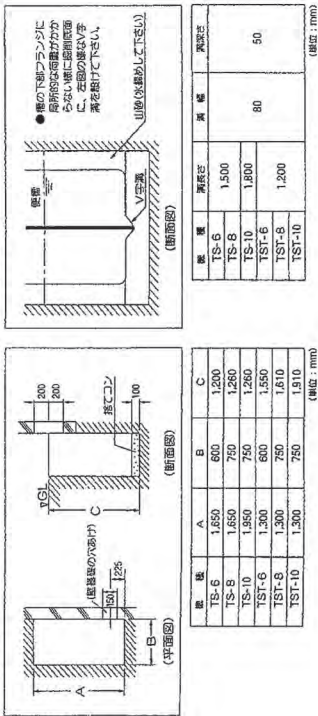
施工手順（標準施工）

1 外観検査

工事に入る前に、槽の外観に搬送中の衝撃等による亀裂等がないか充分に確認してください。

2 掘削・基礎打ち

- 便槽設置場所を選定したら、下表に示す寸法でできる限り基礎に近づけて掘削を行ってください。
- 掘削穴の底に約100mm程度の格コンクリート基礎を打設してください。



ポイント

- 掘削土は、埋戻しを考慮して石等の混った部分と良質の土の部分を区別しておいてください。
- 湧き水のある場合は、ポンプ等を用いて排水しなから作業してください。

必ず確認してください

- 導入管の傾斜角度が30°以上になるように掘削深さを決定してください。
- 掘削面に尖った石等が突き出ている場合は取り除いてください。
- 格コンクリートのレベル、水平、深さを確認してください。

3 便槽の据付

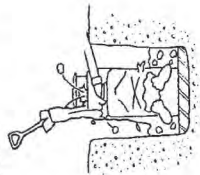
- 導入管位置を確認して、便槽をゆっくりと据え付けてください。据え付け時、槽本体に衝撃等が加わると破損等します。
- 充分注意して作業してください。
- 便槽据え付け後、水準器で便槽本体の水平を確認してください。

必ず確認してください

- コンクリート上に石や小石、木材、ゴミ等がないことを確認してから据え付けてください。

4 水張りおよび埋戻し

- 槽内を安定させるため、槽内に水張りを行ってください。また同時に、槽外への漏水検査を行ってください。
- 埋戻しは、土砂がマンホール、シケット部から便槽の中に入らないように覆い、埋戻し土は石ころなどが混入しない砂質土を使用して行ってください。埋戻し中は、水締めを行ってください。



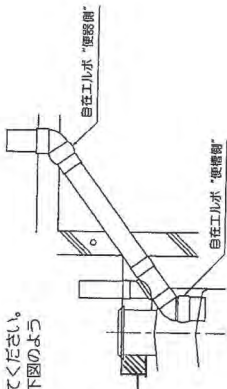
ポイント

- 特に、槽体下部の側面は隙間ができないように充分水締めを行ってください。
- 埋戻し時に重機のパワートンなどを槽に当てたり、高いところから埋戻しの土を落とさないでください。

5 配管の仮組み

配管の仮組み作業の前に、便槽の据え付けの水平および槽内に異物が落ちないかを確認してください。

配管部品を仮組みし、長さおよび、角度を確認（合マーク）してください。
※自在エルボには、「便器側」「便器側」の2種類があるので下図のように配置してください。



ポイント

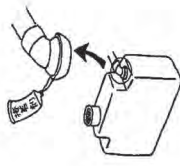
各差し込み部分が接着剤を塗布した場合は、仮組み時より深く入りませうにご注意ください。

必ず確認してください

導入管の傾斜角度が30°以上あることを確認してください。

6 配管の接着

- 接着剤を塗布する前に必ず布等で接着部分をきれいに拭き取ってください。ゴミ、土等が付いたまま接着すると漏水の原因となります。
- 接着剤はパイプ側、継手側の接着部分の両面に均等に塗布してください。また、差し込んでからしばらくは接着部分が更ならないように保持してください。



必ず確認してください

自在エルボの可動部側面にも接着剤を塗り込んで固定およびコーキングを行ってください。

7 仕上げ作業

- 接着剤が固まってから、残りの埋戻しと架台の埋戻しを行い、地盤が安定してから上版コンクリートを打ってください。
- 基礎の導入管貫通部は、モルタルで補修し、導入管を確実に固定してください。
- 便槽の上部に約100mmの厚みでコンクリートを打設してください。コンクリート上面は60.±100mmとし、雨水の便槽内に侵入しないように水切配を打って仕上げてください。
- 便槽には半分以上水を溜めた状態にし、周囲の地盤が安定するまで便槽の浮上を防止してください。

必ず確認してください

- 工事完了後は約10日の水を流し、配管からの漏水がないか漏水検査を確認してください。
- 便器取付を別の日に行う場合は、便器との接続パイプの上端に、異物が落ち込まないように袋等をかぶせておいてください。異物が落ち込むと、「配管つまり」等の原因となります。

8 竣工検査

設置工事完了後は、下記の工事竣工チェックリストで検査確認を行ってください。

チェック項目		結果
1	パイプ接続部・自在エルボ可動部は確実に接着されているか。	
2	導入管等が基礎等に当たり、配管に無理な力が加わっていないか。	
3	便槽内やパイプ内に異物が入っていないか。	
4	便器との接続パイプの上端に、袋等をかぶせる異物が入らないようにしているか。	
5	工事完了後の漏水検査で水漏れはないか。	
6	便槽内に半分以上水を溜めて浮上防止をおこなったか。	

9 引き渡し

- お客様に取扱説明書を渡して正しい使用方法や注意事項を説明して引き継ぎを行ってください。
- お客様へ便槽の組み取り業者に連絡するようお願いください。



Daiwa Kasei
ダイワ化成株式会社

本社営業部 福岡市中央区白糸 1-13-1
TEL 092(621)1800

便槽TF型 施工説明書

特に注意していただきたいこと

お客様に事故のないよう、施工前に必ずこの説明書をよくお読みの上正しく施工してください。

用語及び明記の説明

警告 守らないと、火災や重症を負うことがあります。
注意 守らないと、火災や重症を負うことがあります。怪我をしたり家財に損害を与えることがあります。
 「禁止」「してはいけません。」「遵守」「指示通りしてください。」「

注意

埋め戻し土には砂土質のものを使い、石ころや異物が混入しないようにしてください。

石や異物により槽本体に破損を生ずる恐れがあります。

槽本体に破損を生ずる恐れがあります。

水の溜まるような場所への設置は避けてください。

便槽に水が浸入して汲み取り量が増えます。

埋め戻し工事の後、槽周辺に重機等で侵入しないようにしてください。

槽本体に破損を生ずる恐れがあります。

警告・注意

工事中に必要な時以外はマンホールなどの蓋を必ず閉めてください。マンホール・点検口などのひび割れ、破損などを発見したら、直ちに修理してください。

マンホール・点検口からの転落事故の原因となります。

据付工事に際して穴を掘った周辺には防護柵を作り関係者以外立ち入らないようにしてください。

転落事故の原因となります。

警告・注意

工事の際、素手で本体に触れないでください。

思わぬ怪我をすることがあります。

槽本体の据付は基礎コンクリートが完全に固まってから行ってください。

槽が陥没したり、槽本体、接続配管に破損を生ずる恐れがあります。

槽の吊り下げ、据付作業には玉掛けを確実に実施し、槽下には立ち入らないようにしてください。

槽本体の落下による傷害・事故の生ずる恐れがあります。

据付作業後には、槽本体に直接乗らないように足場板等を使用してください。

直接乗ると滑りやすい為転落事故の生ずる恐れがあります。

施工の前に

●設置場所の選定及び放流先の確認

- ・設置場所は地盤強度・長期許容耐力5.0t以上保持していることを確認してください。
- ・設置場所はトイレとできるだけ最短距離で汲み取りの容易な場所を選定してください。
- ・屋内や床下等は避けてください。
- ・設置場所は槽本体の搬入、残土搬出及び埋設工事に必要なスペースを確保してください。

●特殊埋設工事の場合

次のような状況で設置する場合は特殊埋設工事となります。

- ・土かぶり1000mm以上の深埋めの場合
土かぶりは1000mmまでです。これより深く埋設する場合は土圧や地下水圧がかからないように防水・ビツ工を行なってください。
- その他にも
・車庫内に設置する場合
・大きな荷重のかかる場所に設置する場合(崖下、交通量の多い道路の近く、建屋基礎近く等)
・湧水及び地下水位の高い場合
・海岸より200メートル以内にあり潮の干満の影響のある場合
・積雪地、寒冷地に設置する場合 等は弊社までお問い合わせください。

●製品、部品の確認

- ・施工前に必ず梱包内容を確認してください。
- 槽本体 (1基)、(槽本体同梱部品:施工説明書)

●別途にご用意していただくもの

- ・セメント、砂、砂利、割栗石、D-13鉄筋(基礎コンクリート、上部コンクリート打設、埋戻し工事用)
- ・塩ビ配管 VU100、同継手類・塩ビ接着剤

●必要な工具

- ・スコップ、ツルハシ等の掘削工具もしくは重機
- ・スケール、水準器、トランシットレベル等の測定工具

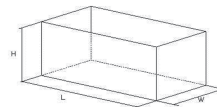
施工手順

1.外観検査

工事に入る前に槽本体の外観に、傷や亀裂等がないか十分に確認してください。工場出荷時には製品検査を十分に行っていますが搬送中の衝撃等でも亀裂が生じる可能性がありますので再度ご確認ください。

2.掘削

槽本体の設置場所を選定したら、下表に示す寸法で掘削を行ってください。下表の寸法は標準埋設深さでの寸法となります。配管の起点の管底によって可変いたしますので参照の上、決定してください。



	TF-800	TF-1000	TF-1500	TF-2000
L	1800	2200	2900	3300
W	1200	1200	1400	1400
H	1340	1340	1490	1490

ポイント

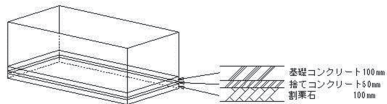
- ・埋戻し土は埋め戻しを考慮して石等の混ざった部分と良質の土の部分を区別しておいてください。
- ・湧水のある場合はポンプ等で強制排水しながら作業してください。

必ず確認してください

- ・掘削面に尖った石や異物のある場合は取り除いてください。

3.基礎打ち

- ・掘削終了後、底部に割栗石を敷き詰めて十分突き固め隙間に砂利を敷きランマ等で転圧してください。
- ・その上に捨てコンクリートを打ち、木ゴテ等で水平に仕上げてください。
- ・掘削が深すぎた場合は捨てコンクリートの厚みを調整してください。
- ・捨てコンクリートの上に墨だしし、型枠取り付け、配筋を行い、基礎コンクリートを打設してください。
- ・打ち込み前に捨てコンクリート上の異物を取り除き散水してください。



必ず確認してください

- ・コンクリートのレベル、深さは施工計画に基づき正確に確認してください。
- ・コンクリートが完全に硬化するまで養生してください(夏季:2日程度、冬季4日程度)

4.便槽の据付

基礎コンクリート上を通り、槽の据付位置等を墨だします。便槽の方向を確認して、ゆっくりと基礎コンクリート上に据え付けます。吊り下げ据え付け時には落下事故や重機の旋回範囲に十分注意してください。

必ず確認してください

- ・基礎コンクリート上に小石等の異物がないことを確認してください。
- ・槽を吊り下ろしの際、本体を引きずったり、ぶつかったり、衝撃を与えたりしないでください。

5.便槽の水平確認

便槽の水平を水準器等で十分に水平を確認してください。傾きのある場合は再度、基礎コンクリートの水平を出し直すようにしてください。砂等での調整は行わないでください。

6.水張り及び埋め戻し

槽本体の安定と、漏水検査の為、槽内に水張りを行ってください。埋め戻しは本体のマンホールやソケット部から土砂が槽内に入らないように養生して行ってください。埋め戻し土は石や異物の混入のない砂質土を使用して散水・水締めながら行ってください。

必ず確認してください

- ・埋め戻し土に異物の混入がないよう確認してください。

7.配管接続

付属の配管部品で接続図面に従い、便器と便槽の配管を接続してください。配管の勾配、横引き管の長さは図面を参考に検討してください。

自在ソケット、エルボの摺動部は配管接続後に必ず、接着剤等を流し込み固定してください。

必ず確認してください

- ・自在ソケット、エルボ等の摺動部は接着剤等で固定してください

8.上部コンクリート打ち

残りの埋め戻しと突きかためを行い、地盤が十分に安定してから上部のコンクリートを打設してください。コンクリート上面はGL+20mmとしてマンホールからの土砂の浸入がないようにしてください。

9.引渡し

- ・検査完了後、設置者に正しい使用方法や注意事項を説明してください。

便槽TRG型 施工説明書

特に注意していただきたいこと

お客様に事故のないよう、施工前に必ずこの説明書をよくお読みの上正しく施工してください。

用語及び明記の説明

警告 守らないと、火災や重症を負うことがあります。
注意 守らないと、火災や重症を負うことがあります。怪我をしたり家財に損害を与えることがあります。
 「禁止」「してはけません。」「遵守」「指示通りしてください。」

注意	
埋め戻し土には砂土質のものを使い、石ころや異物が混入しないようにしてください。	埋め戻し工事の後、槽周辺に重機等で侵入しないようにしてください。
石や異物により槽本体に破損を生ずる恐れがあります。	槽本体に破損を生ずる恐れがあります。
水の溜まるような場所への設置は避けてください。	便槽に水が浸入して汲み取り量が増えます。

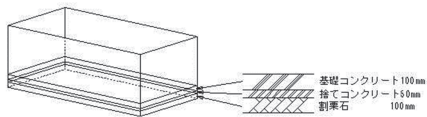
警告・注意	
工事中は必要な時以外はマンホールなどの蓋を必ず閉めてください。 マンホール・点検口などのひび割れ、破損などを発見したら、直ちに切り替えてください	据付工事に際して穴を掘った周辺には防護柵を作り関係者以外は立ち入らないようにしてください。
マンホール・点検口からの転落事故の原因となります。	転落事故の原因となります。

警告・注意	
工事の際、素手で本体に触れないでください。	槽本体の据付は基礎コンクリートが完全に出てから行ってください。
思わぬ怪我をすることがあります。	槽が陥没したり、槽本体、接続配管に破損を生ずる恐れがあります。
槽の吊り下げ、据付作業には玉掛けを確実に実施し、槽下には立ち入らないようにしてください。	据付作業時には、槽本体に直接乗らないように足場板等を使用してください。
槽本体の落下による傷害・事故の生ずる恐れがあります。	直接乗ると滑りやすい為転落事故の生ずる恐れがあります。

ポイント
・掘削土は埋め戻しを考慮して石等の混ざった部分と良質の土の部分を区別しておいてください。 ・湧水のある場合はポンプ等で強制排水しながら作業してください。
必ず確認してください
・掘削面に尖った石や異物のある場合は取り除いてください。

3.基礎打ち

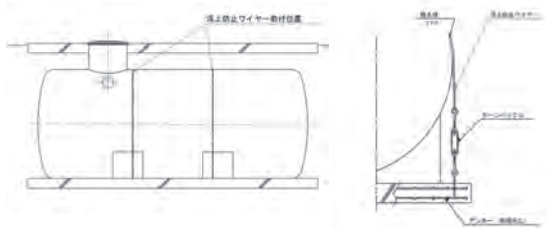
- ・掘削終了後、底部に割栗石を敷き詰めて十分突き固め隙間に砂利を敷きランマ等で転圧してください。
- ・その上に捨てコンクリートを打ち、木ゴテ等で水平に仕上げてください。
- ・掘削が深すぎた場合は捨てコンクリートの厚みを調整してください。
- ・捨てコンクリートの上に基だしし、型枠取り付け、配筋を行い、基礎コンクリートを打設してください。
- ・打ち込み前に捨てコンクリート上の異物を取り除き散水してください。



必ず確認してください
・コンクリートのレベル、深さは施工計画に基づき正確に確認してください。
・コンクリートが完全に硬化するまで養生してください(夏季:2日程度、冬季4日程度)

※掘削時に地下湧水が見られる場合は便槽の浮上防止工事を行ってください

浮上防止工事施工例



施工の前に

●設置場所の選定及び放流先の確認

- ・設置場所は地盤強度:長期許容耐力5.0t以上保持していることを確認してください。
- ・設置場所はトイレとできるだけ最短距離で汲み取りの容易な場所を選定してください。
屋内や床下等は避けてください。
- ・設置場所は槽本体の搬入、残土撤出及び埋設工事に必要なスペースを確保してください。

●特殊埋設工事の場合

次のような場所に設置する場合は特殊埋設工事となります。

- ・嵩上げソケット300mm以上使用する深埋めの場合
- ・車庫内に設置する場合
- ・大きな荷重のかかる場所に設置する場合(崖下、交通量の多い道路の近く、建屋基礎近く等)
- ・湧水及び地下水位の高い場合
- ・海岸より200メートル以内にあたり潮の干満の影響のある場合
- ・積雪地、寒冷地に設置する場合

●製品、部品の確認

- ・施工前に必ず細目内容を確認してください。
- 槽本体 (1基)、(槽本体同梱部品:施工説明書)

●別途にご用意していただくもの

- ・セメント、砂、砂利、割栗石、D-13鉄筋 基礎コンクリート、上部コンクリート打設、埋戻し工事用
- ・塩ビ配管 VU100、同継手類
- ・塩ビ接着剤

●必要な工具

- ・スコップ、ツルハン等の掘削工具もしくは重機
- ・スケール、水準器、トランシットレベル等の測定工具
- ・左官ゴテ、水掻き用ホースリール

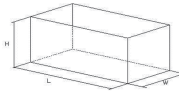
施工手順

1.外観検査

工事に入る前に槽本体の外観に、傷や亀裂等がないか十分に確認してください。
 工場出荷時には製品検査を十分に行っていますが搬送中の衝撃等で亀裂が生じる可能性がありますので再度ご確認ください。

2.掘削

槽本体の設置場所を選定したら、下表に示す寸法で掘削を行ってください。
 下表の寸法は標準埋設深さでの寸法となります。配管の起点の管底によって可変いたしますので参照の上、決定してください。



	TRG-2500		TRG-3000	
	本体	掘削寸法	本体	掘削寸法
L	2700	3300	3500	4100
W	1100	1700	1100	1700
H	1350	1600	1350	1600

4.便槽の据付

基礎コンクリート上に通り芯、槽の据付位置等を墨だしします。
 便槽の方向を確認して、ゆっくりと基礎コンクリート上に据え付けます。
 吊り下げ据え付け時には落下事故や重機の旋回範囲に十分注意してください。

必ず確認してください

- ・基礎コンクリート上に小石等の異物がないことを確認してください。
- ・槽を吊り下ろす際、本体を引きずったり、ぶついたり、衝撃を与えたりしないでください。

5.便槽の水平確認

便槽の水平を水準器等で十分に水平を確認してください。
 傾きのある場合は再度、基礎コンクリートの水平を出し直すようにしてください。
 砂等での調整は行わないでください。

6.水張り及び埋め戻し

槽本体の安定と、漏水検査の為、槽内に水張りを行ってください。
 埋め戻しは本体のマンホールやソケット部から土砂が槽内に入らないように養生して行ってください。
 埋め戻し土は石や異物の混入のない砂質土を使用して散水・水締めしながら行ってください。

必ず確認してください

- ・埋め戻し土に異物等の混入のないよう確認してください。

7.配管接続

配管部品で接続図面に従い、便器と便槽の配管を接続してください。
 配管の勾配、横引き管の長さは図面を参考に検討してください。

自在ソケット、エルボの摺動部は配管接続後に必ず、接着剤等を流し込み固定してください。

必ず確認してください

- ・自在ソケット、エルボ等の摺動部は接着剤等で固定してください。

8.上部コンクリート打ち

残りの埋め戻しと突きかためを行い、地盤が十分に安定してから上部のコンクリートを打設してください。
 コンクリート上面はGL+20mmとしてマンホールからの土砂の浸入がないようにしてください。

9.引渡し

- ・検査完了後、設置者に正しい使用方法や注意事項を説明してください。

FRP 浴槽 取扱説明書

安全にお使いいただくために

お客様に事故のないよう安全にお使いいただくための注意事項をあげております。
ご使用前に、よくお読みのうえ正しくお使いください。
この説明書は、以下のように注意事項を区分して各々意味があります。

用語および記号の説明

- ⚠ **警告** ……守らないと、重傷を負うことがあります。
- ⊘ ……「してはいけません」（一般的な禁止記号）
- ⓘ ……「指示通りにしない」（一般的な行動指示記号）

⚠ 警告

幼児の浴室内事故に注意してください。

事故防止のため、風呂フタの上に幼児が乗らないように注意してください。
また、幼児の手のとどかないところに錠を取り付け、入浴時以外では幼児がひとりで浴室に入らないように施錠する措置をつけてください。



風呂フタの上に乗ったり、手をついたりしないでください。

風呂フタの振動や外れによりケガをしたり、熱湯によりヤケドをする恐れがあります。



浴槽内のグリップやアームレストに足をかけないでください。(グリップ取付タイプのみ)

浴槽に入る時や出るとき、浴槽内のグリップに足をかけると、すべりやすく危険です。絶対にグリップには足をかけないでください。



入浴中に排水栓を抜かないでください。

排水口に指や髪の毛がすくいこまれて、思わぬケガをする恐れがあります。



1

このようなこともご注意ください

軟質塩ビ製品(柔らかいゴム状の塩ビ)の使用は避けてください。
ビニールホースなどを長時間浴槽に放置すると表面に艶がなくなったり、塩ビ製品の色が変わったりすることがあります。
風呂フタはPP(ポリプロピレン)製、ABS製を使用して下さい。



24時間バス装置は使用しないで下さい。
浴槽表面の荒れや変色の恐れがあります。



お湯の沸かし過ぎや空焚きはしないでください。
浴槽や風呂釜の寿命を短くする原因となります。



2穴式自然循環風呂釜、高温追い炊き釜、高温差し湯式給湯機、貯湯式電気温水機は使用を避けてください。



お手入れのときは酸性・アルカリ性の薬品類や漂白剤は使用しないでください。
入浴のときは硫黄分を含む入浴剤や温泉水は使用しないでください。



排水器具や浴槽表面をいためる原因となります。



浴槽に強い衝撃を与えないでください。

硬いものを落としたり、ぶつけたりすると、傷が生じることがあります。



お年寄りや身体の不自由な方が使用される場合は、握りバー取り付け等により、安全を確保してください。

浴槽やタイルは、水に濡れるとすべりやすくなりますので、十分に注意してください。



熱湯を直接入れしないでください。

冷えきった浴槽に直接熱湯を入れると浴槽の表面をいためる原因となります。(80℃以上不可)



排水栓はクサリを持って抜かないでください。

排水栓、排水栓のクサリを引いて排水すると、クサリを確め、切れることがあります。



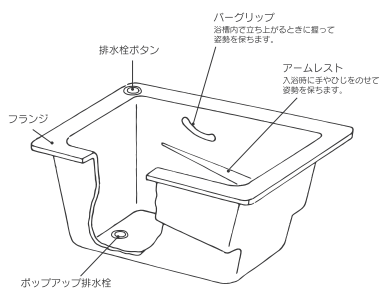
浴槽内に鉄製のものを放置したり、タバコの火等をしかに置かないでください。

浴槽表面にもらいサビを生じたり、こげあとがつく恐れがあります。



2

各部の名称とその役目



※排水栓はクサリ付ゴム栓式の場合もあります。
※ハーグリップ、アームレストが無いタイプがあります。

ご使用方法

浴槽にお湯や水を入れるとき

- 排水栓を確実にしめてください。
- 風呂釜を使用する場合。
お湯(水)は必ず上の循環口より10cm以上入れてください。
水位が足りない場合、お湯の循環が悪くなり、浴槽や風呂釜をいためる原因となります。
(風呂釜専用の説明書をお読みください)



- 給湯器を使用する場合。
予め水を少し温めてから湯を入れてください。
直接熱湯を入れると浴槽の表面をいためる原因となります。



3

お手入れのしかた

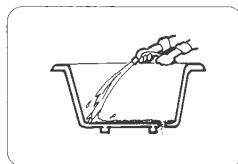
中性洗剤、または石ケンをスポンジが柔らかい布につけて洗ってください。
洗浄後は水でよく流し、水気をふきとってください。(水アカ付着防止の為)

- ⊘ 酸性・アルカリ性洗剤及び漂白剤、クレンザー・みがき粉など粒子の粗い洗剤や硬いたわしなどは使用しないでください。



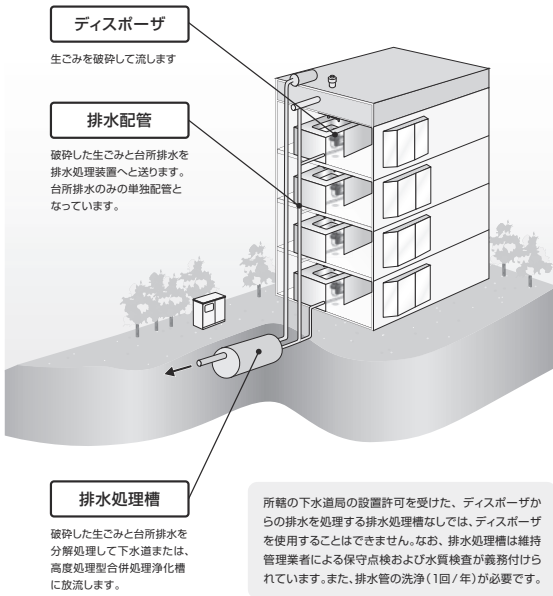
浴槽の底部にたまったゴミや鉄粉は、よく洗い流してください。

水道水・井戸水等には微量の鉄粉などが含まれ、これらが浴槽に付着するとサビが発生することがあります。
このような「もらいサビ(浴槽表面のサビ)」が生じた場合は歯みがき粉等を布につけて落してください。



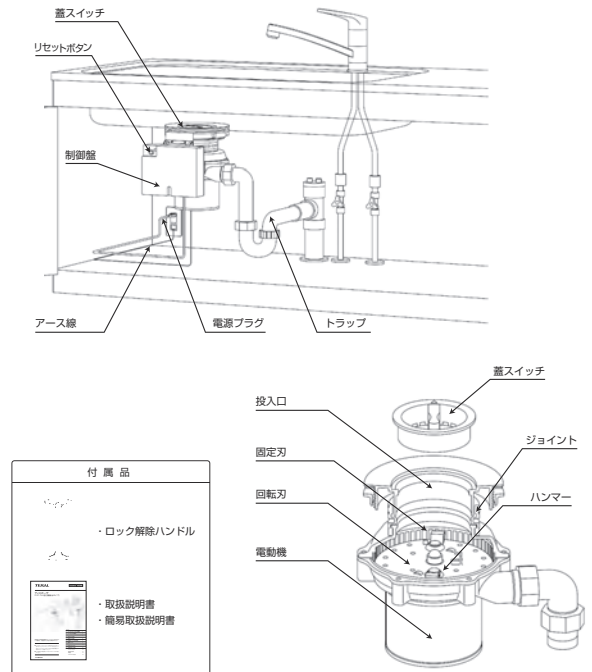
4

1. ディスポーザシステムの概要



2. ディスポーザの構成

各部の名称



3. 安全上のご注意

●安全のために必ずお守りください

この取扱説明書には、お使いになる人や他の人への危害、財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。下記の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、ご使用にあたっては記載事項をお守りください。

表示の意味

表示	意味
	警告 「取扱を誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定されること」を示します。
	注意 「取扱を誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定されること」を示します。

図記号の説明

表示	意味
	禁止 禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
	指示 指示する行為の強制(必ずすること)を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
	分解しないでください。
	電源プラグをコンセントから抜いてください。

警告

●電気工事(漏電遮断器・アース線)は

- 周囲温度を0~40℃として、設置しないよううけてください。
※要する
- 電源供給元には、必ず漏電遮断器を設置してください。
※要する
- アースを確実に取り付けてください。
アース線接続
故障や漏電のときに感電の原因になります。

※漏電遮断器・アース工事は、電気工事に依頼してください。(有料)

●電源プラグや電源コードは

- 交流100V定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。
※要する
- 電源ケーブルを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり引っ張ったりしないでください。
感電・火災・故障の原因になります。
- 電源プラグにホコリや水滴が付着していないか確認してください。
※要する
- タコ足配線は絶対にしないでください。他の器具と共用はできません。異常発熱、発火の原因になります。
- 電源プラグを濡れた手で抜き差ししないでください。
感電の原因になります。
- 電源プラグは根元まで差し込んでください。
※要する
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを握らずにプラグを持って抜いてください。
※要する

●本体は

- 分解・改造は行わないでください。
※要する
- ディスポーザ本体を濡らさないでください。
※要する

●お手入れのときは

- お手入れのときは必ず電源プラグを抜いてから行ってください。
プラグ抜き動作
- けがや感電の原因になります。

●メンテナンスは

- 部品交換の目安(〜24ページ)を超えて使用される場合は、点検・交換を行ってください。
※要する
- 電動機や制御盤は経年変化すると発火等の事故に至るおそれがあります。

3.安全上のご注意

注意

●運転前後、運転中は

禁止 運転中に蓋スイッチを外してすぐにディスポーザ内部へ手を入れないでください。

禁止 ディスポーザを運転した直後に、本体を触らないでください。連続して運転を行った場合、表面が熱くなっていることがあります。

※ディスポーザが運転を完了しても常に自動回転する場合があります。完全に停止するまで、蓋スイッチを外さないでください。けがの原因になります。

●本体・蓋スイッチは

禁止 無理な収納物の押し込みにより、ディスポーザに力を加えないでください。

禁止 シンクの蓋は乱暴に扱わないでください。

禁止 ディスポーザの投入口に磁石を近づけないでください。

水漏れや故障の原因になります。

破損する可能性があります。

蓋スイッチが投入口に収まっていない状態でディスポーザが作動し、けがの原因になります。

●温度に注意

注意 投入口・蓋スイッチの上に熱い鍋やフライパンを置かないでください。

禁止 シンクには60℃以上のお湯を継続的に流さないでください。

変形の原因になります。

配管の変形、劣化に繋がります。

●お手入れのときは

禁止 ディスポーザ内部へ手を入れるときは、厚手の手袋を着用してください。

禁止 酸性・アルカリ性・塩素系の洗剤、漂白剤は使用しないでください。

けがの原因になります。

ステンレスのサビや腐食による漏水の原因になります。

4.使用上のご注意

●運転するとき

生ごみ以外は投入しないでください。(→8ページ)

故障の原因になります。

●使用しないときは

ディスポーザを使用しないときは、蓋スイッチを「OFF」に合わせてください。(→13ページ)

●蓋スイッチを外した状態にする、スポンジなどの異物が入ってしまうことがあります。

●蓋スイッチをONのままにしておくと排水が流れにくくなります。

ディスポーザを使用しない場合でも、週に2~3回程度運転を行ってください。

長時間ディスポーザを使用しないと、破砕室内に生ごみが蓄積して、悪臭が発生したり排水が流れにくくなる場合があります。

多量の生ごみを無理に押し込まないでください。

破み込み・排水不良の原因になります。

ディスポーザの破砕室内に生ごみを貯めたまま長時間放置しないでください。

悪臭の発生や排水不良の原因になります。

旅行などで長時間使用しないときは、お出掛けの前に、洗い槽・給水などに溜めた水を一気に流してください。

長時間使用しなかった後は、生ごみを投入する前に試運転を行い、正常に運転すること、排水できることを確認してください。

●洗いのあとは

投入口部分(特にシンク接続部のすきま)に洗剤を残さないでください。

洗剤が付着したまま放置すると、金属部分が腐食され漏水の原因になります。

シンク内で砂が付着した野菜などを洗った後は、蓋スイッチや投入口に付着した砂や土をきれいに洗い流してください。

砂が溜まり込んで、蓋スイッチが作動しなくなる原因になります。

●蓋スイッチには

蓋スイッチに熱湯をかけないでください。

加熱・変形の原因になります。

蓋スイッチには磁石を内蔵していますので、磁石に包まれた(磁気カードや時計など)を近づけないでください。

5.投入物についてのご注意

投入してよいもの

食品くず 野菜くず、果物くず、米飯(炊いたもの)、魚肉、小魚の骨(いわしなど)、手羽元などの鶏の骨、肉類、鶏類、パン、揚げ物、茶葉、その他残飯など

処理にくいもの

以下の生ごみはディスポーザに投入できますが、処理されにくく破砕室内や排水配管内に残ることがあります。

大きい生ごみ キャベツ・レタスの大きな葉、グレープフルーツ・スイカ・メロン等の皮など

3cm角程度に細かく切って投入してください。

卵の殻 一度に多量の卵の殻を破砕すると、排水配管内に堆積して詰まりの原因となります。

他の生ごみと混ぜて少量ずつ(1~2個程度)

柔らかく弾力のある生ごみ 生魚の皮、鶏の皮、軟骨

他の生ごみと混ぜて少量ずつ処理してください。

少量の繊維質の生ごみ 枝豆の鞘(片手に軽く載る程度)など

他の生ごみと混ぜて少量ずつ処理してください。

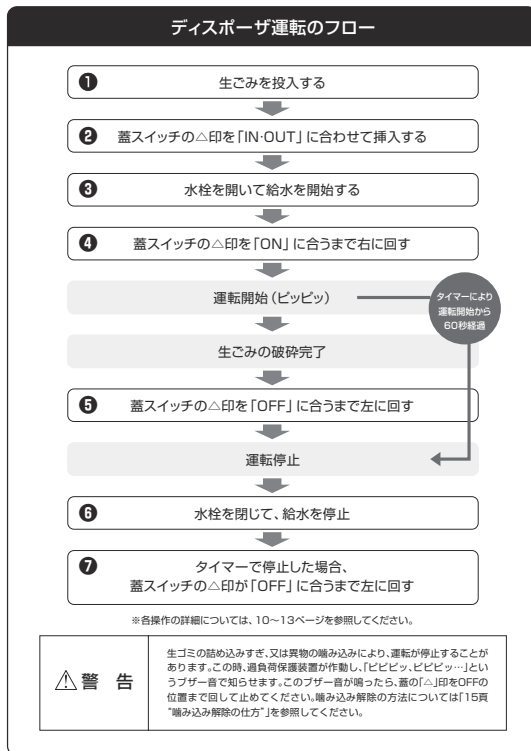
単一生ごみ(米飯のみ、枝豆のみ、卵の殻のみ、茶葉のみなど)を多量(両手一杯程度)に投入しないでください。処理できずに破砕室内に残ったり、排水配管の詰まりの原因になることがあります。

投入してはいけないもの

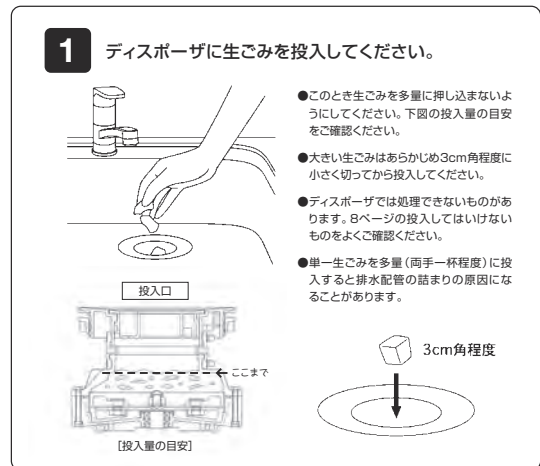
下記の物を投入すると、ディスポーザを破損したり破砕できずに内部に残ります。

種類	品名例	投入すると発生する不具合
金属類	スプーン、フォーク、王冠など	回転刃の損傷や動作不良など、ディスポーザの故障の原因となります。
ガラス類	コップ、ビン、破片など	
陶器類	お皿、茶碗、箸置きなど	
かたい生ごみ	カニ類の殻、鯛など大きな魚の骨、かぼちゃ・柿・桃などの固い種、牛・豚・鳥の大きな骨など	破砕されずディスポーザ内部に残ります。
多量の魚や鶏の生皮	生魚の皮、鶏の皮、タコ・イカ丸ごとなど	
強い繊維質のもの	竹の子の皮、パイナップルの芯・皮、とうもろこしの皮、栗の皮、玉ねぎの皮、多量(両手一杯程度)の枝豆の鞘、生花、花の萼など	ディスポーザで破砕されても、排水配管内に堆積して詰まりの原因になります。
貝殻類	カキ、サザエ、アサリ、シジミなど	
高温のもの	熱湯、油、熱いカレーなど	ディスポーザや配管を傷めます。
油、薬品類	多量のマヨネーズ、多量の油、多量の酸・アルカリ性洗剤	ディスポーザ本体や配管を劣化させ、排水処理槽での処理を妨げます。
食品くず以外	割り箸、爪楊枝、ガム、プラスチック、ゴム、紙、ビニール袋、ラップ、アルミホイル、発泡スチロール、トレイ、キッチンペーパー、キッチンタオル、ティッシュペーパー、針金、石、砂、タバコの吸い殻など	ディスポーザ内部に残ったり、排水配管内に堆積して詰まりを引き起こす原因となります。

6. 運転のしかた

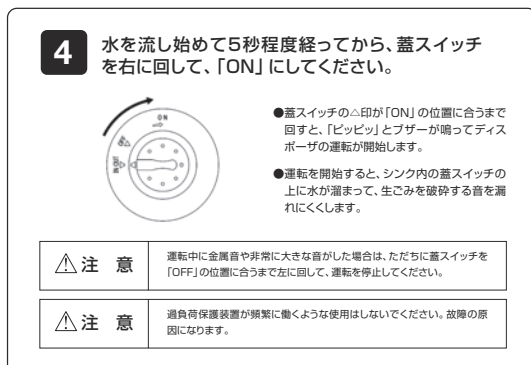
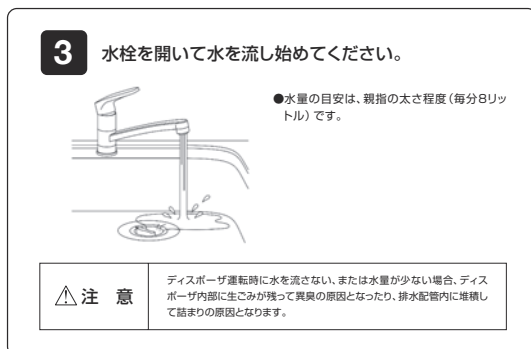


9

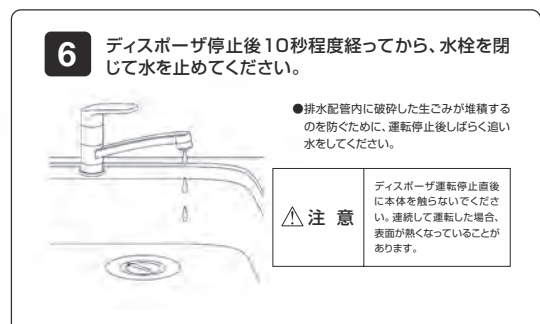
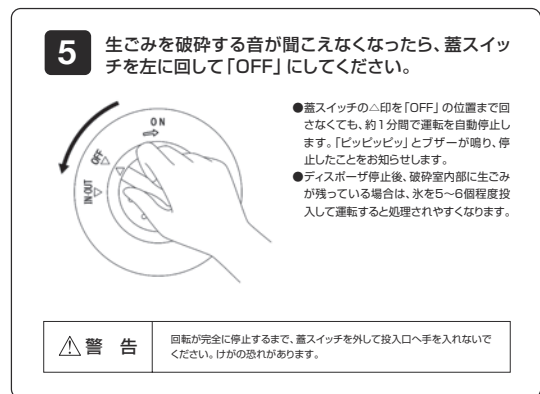


10

6. 運転のしかた



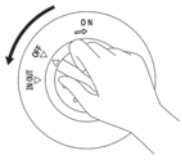
11



12

6.運転のしかた

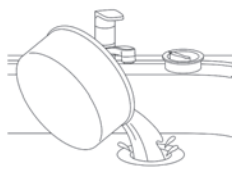
- 7** ディスポーザを使用しないときは、蓋スイッチの△印を「OFF」の位置にあわせてください。



注意

蓋スイッチを外した状態にしておくと、スプーンなど異物が落下してしまう恐れがあります。

- 8** 週に2~3回程度、洗い桶・鍋などに溜めた水を一気に流してください。排水配管を洗浄する効果があります。



- 特に卵の殻を処理した後に流すと効果的です。
- 旅行などで長期留守にされる際、お出掛けの前にも溜めた水を一気に流してください。

注意

溜め水を流す際は、ディスポーザの蓋スイッチを外してください。溜め水を流した後は、破砕室内に異物が落下していないことを確認して、蓋スイッチの△印を「OFF」の位置に合わせて挿入してください。

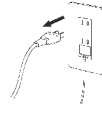
13

7.お手入れのしかた

異物の取り出し方

ディスポーザの破砕室内に異物（投入してはいけないもの→8ページ）が入ってしまった場合、必ず下記の手順で取り除いてください。そのままディスポーザを運転してしまいますと噛み込みや配管の詰まりなど、不具合の原因になります。

1



ディスポーザの電源プラグをコンセントから抜いてください。

コンセントの位置に手が届かなくて電源プラグを抜くことができないときは、分電盤のディスポーザ用分岐ブレーカーのつまみを下げて「OFF」にしてください。

警告

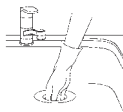
異物の取り出し作業時は、必ず電源プラグを抜いてから行ってください。けがの原因になります。

2



投入口から蓋スイッチを外してください。

3



厚手のゴム手袋などをして、投入口に手を入れて取り出してください。

注意

投入口から破砕室内部へ手を入れるときは、必ず厚手のゴム手袋などを着用してください。けがの原因になります。

4



ディスポーザの電源プラグをコンセントに差し込んでください。

ブレーカーを「OFF」にした場合は、つまみを上げて「ON」にしてください。

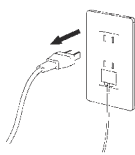
14

7.お手入れのしかた

噛み込み解除の仕方

破砕中に、生ごみの詰め込みすぎやスプーンなどの異物により噛み込みが発生した場合、過負荷保護装置が作動してディスポーザが停止します。この場合、「ビビビッ」というブザー音（電子音）でお知らせします。下記の手順で噛み込みを解除してください。

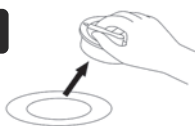
1



ディスポーザの電源プラグをコンセントから抜いてください。

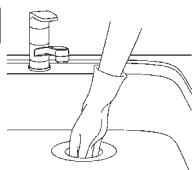
コンセントの位置に手が届かなくて電源プラグを抜くことができないときは、分電盤のディスポーザ用分岐ブレーカーのつまみを下げて「OFF」にしてください。

2



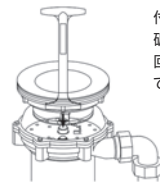
投入口から蓋スイッチを外してください。

3



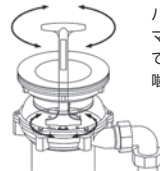
厚手のゴム手袋などをして、投入口に手を入れて破砕室内部の生ごみをできるだけ取り出してください。

4



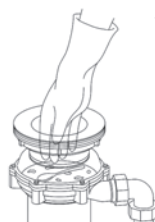
付属のロック解除ハンドルを投入口から破砕室内に差し込み、ハンドルの凹部を回転刃の中心のナットに合わせて入れてください。

5



ハンドル先端の突起部を回転刃のハンマーに引っ掛けて、左右どちらかに回してください。回転刃が回るようになると噛み込みが解除されています。

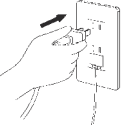
6

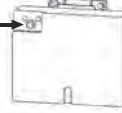


ディスポーザの破砕室内部の異物を取り除いてください。（14ページ参照）


15

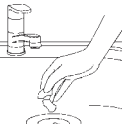
16

7  ディスポーザの電源プラグをコンセントに差し込んでください。
ブレーカーを「OFF」にした場合は、つまみを上げて「ON」にしてください。

8  ディスポーザの制御ボックスにある過負荷保護装置のリセットボタンを押してください。
※「ピー」とブザー音が鳴って過負荷保護装置が解除されます。

警告 リセットボタンを押したまま運転しないでください。電動機の焼損の原因となります。

9  投入口に蓋スイッチを挿入して右に回し、ディスポーザが運転することを確認してください。

10  再度、生ごみのみを投入し運転を行ってください。

17

ディスポーザ本体内部のお手入れ

ディスポーザは生ごみを処理する機械です。破砕室内に生ごみの破片等が残ったまま放置しますと悪臭の原因となりますので、下記の手順で定期的（週に2～3回程度）にお手入れを行ってください。

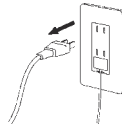
氷洗浄

1  氷（キューブアイスなど）を5～6個、投入してください。
※このとき氷と一緒に台所用中性洗剤・レモン汁・食酢などを数滴、破砕室内へ投入するとより効果的です。

2  水を流しながらディスポーザの運転を行ってください。
ディスポーザで細かく砕かれた氷がシャベット状になって、破砕室内に付着した汚れを洗い流します。

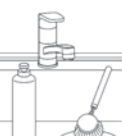
18

「氷洗浄」によるお手入れを行ってもなお、においや汚れが気になる場合は、下記の手順で内部をおそうじしてください。

1  ディスポーザの電源プラグをコンセントから抜いてください。
コンセントの位置に手が届かなくて電源プラグを抜くことができないときは、分電盤のディスポーザ用分岐ブレーカーのつまみを上げて「OFF」にしてください。

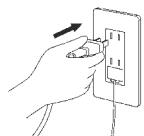
警告 内部の洗浄をする時は、必ず電源プラグを抜いてから行ってください。けがの原因になります。

2  蓋スイッチを投入口から外してください。

3  柄の付いたブラシ等に台所用中性洗剤をつけてディスポーザ内部を擦り洗いしてください。

注意 内部に手を入れるときは、必ず厚手のゴム手袋などを着用してください。けがの原因になります。

19

4  ディスポーザの電源プラグをコンセントに差し込んでください。
ブレーカーを「OFF」にした場合は、つまみを上げて「ON」にしてください。

その他

- 水濡れにより電動機や制御盤が濡れた形跡がないか、週に1回程度目視確認を行ってください。

警告 電動機や制御盤の絶縁が劣化した状態で使用されますと、発火等の事故に至るおそれがあります。

- ディスポーザ本体（外側）、制御盤の汚れは、かたく絞った布で拭いてください。

警告 電動機、制御盤は濡らさないでください。漏電・感電の原因になります。

注意 台所用中性洗剤以外は使用しないでください。

- ディスポーザを使用しないで、生ごみを可燃ごみとして出される場合も、週に1回程度ディスポーザを運転してください。破砕室内に入ったごみが堆積して通水路を塞ぎ、水が流れにくくなる場合があります。

破砕室内の回転刃や固定刃などの部品はステンレス製ですが、破砕した生ごみの破片や異物が付着したまま放置しますと、黄ばみや汚れがこびりついてしまうことがありますが、ディスポーザの性能上、全く影響はありません。

20

8.故障の原因と対策

ディスボーザをご使用中に異常が生じた際は、この章をご覧になり処置方法を試してください。それでも直らないときは、コールセンター（連絡先は23ページ参照）へご相談ください。

症状	原因	処置
ディスボーザが動かない	蓋が確実に入っていない。	蓋スイッチの△印を「IN-OUT」に合わせて入れ直し、「ON」の位置まで右に回してください。
	生ごみの詰め込みすぎ、または異物が噛み込んで、過負荷保護装置が作動している。	噛み込みを解除して、リセットボタンを押してください。（→15～17ページ）
	電源プラグが抜けている。	ディスボーザの電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	分電盤内の漏電遮断器、またはディスボーザへの分岐ブレーカーが落ちている。	漏電遮断器、またはディスボーザへの分岐ブレーカーを上げて、「入」にしてください。
	漏電している。	使用を中止して、コールセンターへご相談ください。
運転中に異常振動、異常音がある。	金属類やガラス類、プラスチックなどの異物が投入されている。	異物を取り除いてください。（→14ページ）
	生のタコやイカなど、処理しにくい生ごみが多量に投入されている。	処理しにくい生ごみは小さく切って少量ずつ、他の生ごみと混ぜて処理してください。（→7ページ）
	強固な異物の噛み込みにより、回転刃が変形している。	回転刃の交換が必要です。コールセンターへご相談ください。
生ごみが破砕室内に残る。	投入できない生ごみ、または処理しにくい生ごみが多量に投入されている。	投入できない生ごみは取り除き、処理しにくい生ごみは小さく切って少量ずつ、他の生ごみと混ぜて処理してください。

ブザーの音(ビビビッ、ビビビッ…)が鳴り止まない。	過負荷保護装置が作動しています。	蓋スイッチを「OFF」の位置に戻してブザーを止めてください。その後、噛み込んでいるものを取り除いてリセットボタンを押してください。（→15～17ページ）
ブザーの音(ビービービー)が鳴り止まない。(リセットボタンを押してもブザー音が鳴り止まない。)	電動機の焼損保護装置が作動しています。	電動機が熱くなっており、ディスボーザには触れずに30分程度放置し、その後、運転を行ってください。
ディスボーザを使用しないとき、シンク内の水が流れにくい。	ディスボーザの中に生ごみが溜まったままになっている。	ディスボーザの運転を行い、生ごみを処理してください。
	ディスボーザを長期間使用していないため、破砕室内に生ごみが溜まっている。	ディスボーザを長期間使用しない場合でも、週に1回程度運転してください。
シンク内に水が溜まって、まったく排水されない。	ディスボーザの中に生ごみが溜まったままになっている。	ディスボーザの運転を行い、生ごみを処理してください。
	強い繊維質の生ごみや貝殻類など、投入してはいけないものを破砕して、ディスボーザ内、または排水配管内に詰まっている。	コールセンターへご相談ください。
ディスボーザ側面の電動機上部から水が漏れている。	軸封部からの水漏れです。	パッキン、軸封部品などは消耗部品です。コールセンターへご相談ください。この状態で使用を続けると、本体の故障の原因になります。
シンク接続部、トラップから水が漏れている。	パッキンが劣化している。	パッキンの交換が必要です。コールセンターへご相談ください。

21

22

ディスボーザの仕様

種 類	DSP-75T
運転方式	蓋スイッチ型バッチ式
取 扱 液 質	水道水(0～40℃)
設 置 場 所	流し台シンク下
設 置 方 式	吊下式
粉 砕 方 法	ハンマーミル方式
粉 砕 室 容 積	約0.85リットル
保 護 装 置	過負荷保護装置(自動復帰式) スイッチ切り忘れ回路 マグネット式蓋スイッチ
電 動 機 型 式	コンデンサ型単相誘導電動機
使 用 電 源	単相100V、50Hz/60Hz兼用
極 数	4極
定 格 消 費 電 力	419W/430W (50Hz/60Hz)
定 格 電 流	4.9A/4.4A (50Hz/60Hz)
定 格 時 間	5分
色	本体部：黒色、電動機部：灰色
総 質 量	6.6kg

- 過負荷保護装置 異物の噛み込んだときや、生ごみを詰め込み過ぎたときに作動し、電動機の焼損を防ぎます。
- スイッチ切り忘れ回路 蓋スイッチを「OFF」にしなくても、運転開始から1分後に自動停止し、長時間運転し続けられないようになっています。

雨水槽 RT型

お客様用 取扱説明書

■ご使用前に、この説明書をよく読んで正しく使用してください。
 ■本書は、必要なときにすぐに取り出せるように大切に保管してください。また、紛失された場合は、当社までご連絡ください。
 ■松葉樹に換えられる場合は、本書を次の入庫の方に必ずお渡ししてください。

安全にお使いいただくために

お客様に事故のないよう安全にお使いいただくための注意事項を添付しております。ご使用前に、よくお読みの上正しくお使いください。この説明書は、以下のように注意事項を区分して各々意味があります。

用語および記号の説明

- 警告** 守らないと、火災や重傷を負うことがあります。
- 注意** 守らないと、ケガをしたり、家財に損害を与えることがあります。
- Ⓢ 「してはいけません」 (一般的な記号)
- Ⓜ 「指示通りにしなさい」 (一般的な指示記号)

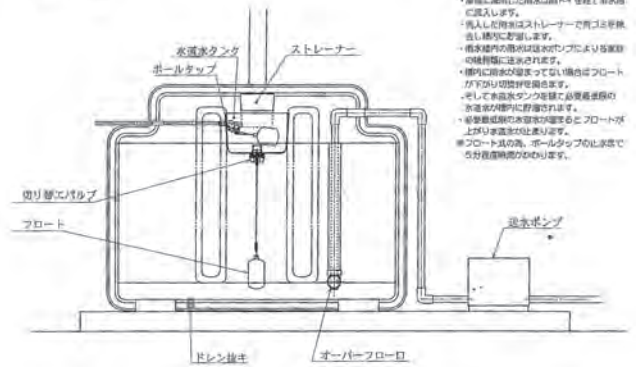
警告 本製品は腐蝕性液体を溜めておりません。取用へは用いないでください。(トイレ洗浄水、排水、洗車のみ使用) 腐食を招く恐れがあります。	河川、湖沼の水を流入させないでください。水質が悪化し、機器の故障につながります。	Ⓢ
注意 槽本体に傷ついたり、衝撃を与えたりしないでください。破損の恐れがあります。	マンホールは必要な時以外、明けないでください。破損の恐れがあります。	Ⓢ
屋根、雨トイは定期的に清掃してください。(半年1回) 汚濁が溜まると詰まり、水質悪化につながります。	流入部ストレーナーは定期的に清掃してください。(月1回) コゴミが溜まると詰まり、水質悪化につながります。	Ⓜ
洗車槽内は定期的に清掃してください。(年1回) コゴミが溜まると、配管が詰まり、水質悪化につながります。	本体ろ材は定期的に洗浄してください。(年1回) コゴミが溜まると詰まり、水質悪化につながります。	Ⓜ
ポンプの取水口は定期的に行ってください。(月1回) 葉詰まりがつかると詰まり、水質悪化につながります。	槽内にゴミ、薬品、異物を入れないでください。清掃の妨げにつながります。	Ⓢ
ポンプの電線を切らないでください。漏水が多くなります。又電線は防水加工を施してください。	電線プラグはがたつきのないよう確実に差し込み、故障は常に念のため確認してください。	Ⓢ
ポンプを分解したり改造したりしないでください。電気や水の事故につながります。	ポンプの電線は防水コンセントにしてください。電気や水の事故につながります。	Ⓜ

Daiwa Kasei

雨水槽のしくみ・名称・役割

雨水槽は各家庭の雨トイから雨水を採取し、トイレ洗浄水・取排水等に再利用するための装置です。ご使用の際は、処理能力を確保するために雨水槽のしくみをよくご理解の上、本書の注意事項にしたがって、正しく使用してください。

◆雨水槽概略図



◆雨水槽のしくみ

- ・屋根に集まった雨水は雨トイを経て雨水槽に流入します。
- ・流入した雨水はストレーナーでゴミを排除し、槽内に溜まります。
- ・雨水槽内の水位は浮力バルブにより一定の水位に保たれます。
- ・槽内に雨水が溜まると浮力バルブが下がってポンプが稼働します。
- ・ポンプは一定の水位まで水を汲み上げ、水供給槽に送ります。
- ・浮力バルブは一定の水位まで下がるとポンプが停止し、ボールタップの止水で5分程度貯水が保たれます。

◆送水ポンプ

使用上の注意事項

ご使用の際 本製品は腐蝕性液体を溜めておりません。取用、手洗等へは用いないでください。腐食を招く恐れがあります。	取排水の水質を悪化させるおそれがありますので、次のことをお守りください。 河川、湖沼の水を流入させないでください。 ※質が悪化し、機器の故障につながります。
各部の定期的なメンテナンスを行ってください。 これを怠りますと漏水を誘発することがあり、故障の原因となります。下記に該当するメンテナンスを行ってください。	

槽本体の周辺 槽本体、ポンプ周辺にものを置いたり、建物を設けたりしないでください。メンテナンスの妨げになります。	槽本体に物を立てかけないでください。破損の恐れがあります。
槽内に薬品や異物を入れないでください。腐蝕力やオーバーフロー防止効果が低下するおそれがあります。	上に置いたり、衝撃を与えたりしないでください。破損の恐れがあります。

◆雨水槽概略図

箇所	頻度	内容	箇所	頻度	内容
屋根	半年1回	清掃、ゴミ除去	水道水タンク	3月1回	清掃
雨トイ	半年1回		ボールタップ	3月1回	清掃
ストレーナー	月1回	泥ゴミ除去	送水ポンプ	3月1回	点検、呼称投入
槽本体	半年1回	清掃、ドレン抜き	各機器類	月1回	清掃
ポンプ取水部	月1回	清掃			

◆故障かなと思ったら

現象	原因
水が出ない	槽内に水が入っている ポンプ停止している 電源が入っていない 呼び水が入っていない ストレーナーが詰まっている
	槽内に水が入っていない 水道給水がない 水道元栓が閉まっている ボールタップストレーナー詰まり フロートが下がっていない(引っかかり) 切換弁シールが固着
水道水が止まらない	ボールタップ開き直し 槽本体の漏水 ボールタップゴミ詰まり 切換弁シール部ゴミ噛み フロートが上がらない(引っかかり)
雨水が入らない	雨トイ、流入ストレーナーのゴミ詰まり
水質が悪い	槽内の沈殿物溜まりすぎ

オート洗浄簡易水洗便器 FAI 取扱説明書

安全にお使いいただくために

お客様に事故のないよう安全にお使いいただくための注意事項をあげておきます。ご使用前に、この説明書をよくお読みください。

便器の中にタバコの灰が落ちているのをよくお確かめください。
灰や水垢の原因、便器の破損やゴム、プラスチック製品の変形の原因となります。

掃除には中性洗剤以外使用しないでください。
酸性、アルカリ性の洗剤、漂白剤、塩酸、クレンザー、ベンジン、シンナー類、うしろ剤、殺虫剤、その他薬品は、部品が変形や変質や故障の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

給水(水道)は所定水圧と流量でご使用ください。
水道圧0.2~0.75MPaでご使用ください。(流量は20L/分以上)
流量不足は洗浄力が弱くなり、水道圧が高いと器具の破損や故障の原因となります。

紙は、必ず市販のトイレットペーパーを使用してください。
アイロン紙や回し紙(新聞紙、雑誌紙)は水に溶けにくいいため、排水管が詰まる原因となりますので、使用しないでください。また、生理用品や破損した布を捨てないでください。

便器の中に断水をおかけしないでください。
ゴム、プラスチック製品の変形の原因となります。
ぬれた手で電源プラグやアダプターを抜き差ししないでください。
感電のおそれがあります。

電源プラグ(アダプター)は、
●コードを持って抜かないでください。
●電源がぬれ濡らしていませんか。
●電源がぬれ濡らしていませんか。定期的に水取りを取り除いてください。
火災や感電の原因となります。

水につけたり、水をかけたりしないでください。
火災や感電の原因となります。

浴室や洗面に水漏れが出るような場合、速やかに修理してください。
火災や感電、故障の原因となります。

AG100V以外で使用しないでください。
火災や感電の原因となります。

コードに重い物をかけたり、引っ張ったり、ねじったり、真鍮したりしないでください。
感電や火災の原因となります。

絶対に分解したり、修理や改造をしないでください。
特に電線等の分解修理は危険です。

火災や感電、故障の原因となります。

電源目録が当たらぬようになっています。

センサーが誤動作したり、プラスチック部が変色することがあります。

便フタや便座を閉めたり、アダプターを挿入したり、調整を加えるような開閉はしないでください。

便フタや便座が閉められず、開閉が困難になる場合があります。

簡易水洗便器は、汲み取り式です。便槽の容量を確認の上、汲み取って使用している便槽の容量と通常の汲み取り量を確かめの上、正月やお盆など使用量が多いときは、便槽が一杯にならないように点検し、便槽の容量を確認してください。汲み取り業者は、夜間等にお問合せください。

幼児、お年寄り、身体の不自由な方が使用するとき、周りの方が常に注意してください。

凍結の恐れがあるときは、室内暖房、水抜きなどを行ってください。
凍結による故障で漏水し、家財を濡らす原因となります。

長期間使用しないときは、止水栓を閉めて水抜きをしてください。
漏水したとき、家財を濡らす原因となります。

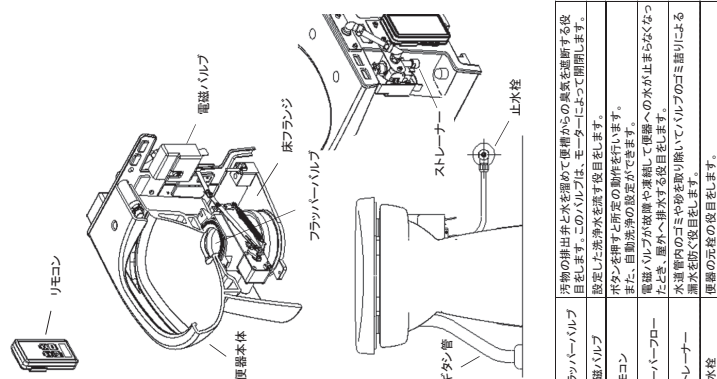
洗浄タンク使用の場合

洗浄タンク使用後は、必ず洗浄タンク止水栓を閉めてください。

洗浄タンクのホースを業間に引っ張ったり、ねじったり、曲げたり、傷つけたりしないでください。

洗浄タンクが破損したり、漏水した場合、家財を濡らす原因となります。

各部の名称とその役目



ご使用前と後に

ご使用前に
便器を取り付け後最初にご使用されるときは、次のことを確認してください。

- 止水栓が開いているか。
- 電気が通っているか。

必要以上に水を使わないでください。
便器から排出された洗浄水や汚水は、便槽に溜まります。必要以上に洗浄水を使った後、便器から排水水等を捨てるとその分のみ取り量が減りますのでご注意ください。

ご使用後に

ご使用後、便器から離れるときは洗浄水が止まることを確認してください。

便座などの使用方法
暖房便座や温水洗浄便座など、それぞれに付いている説明書をよく読んでご使用ください。

ご使用方法

便器の使い方

■ 便器自動洗浄ONの場合

① 便フタを上げてください。
② 便座に座って用を足してください ③ 使用後、便座から立ち上がると数秒 ④ 自動開閉付き便座の場合、自動開閉付き便座の場合、自動的に自動洗浄をONにして以後に自動汚物の排出と洗浄を行って便フタが自動で閉まります。
⑤ 便座に座って用を足してください ③ 使用後、便座から立ち上がると数秒 ④ 自動開閉付き便座の場合、自動開閉付き便座の場合、自動的に自動洗浄をONにして以後に自動汚物の排出と洗浄を行って便フタが自動で閉まります。



■ 便器自動洗浄OFFの場合 リモコンで操作してください。



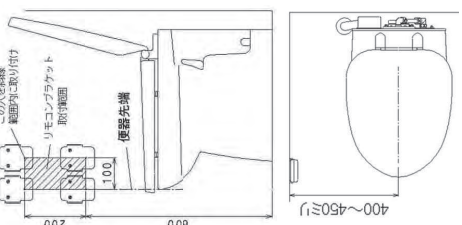
■ 停電や災害の時

① 乾電池を使用する方法
便器前面にあるメイン基板ケースに乾電池4本を入れることで停電でも使用できます。メイン基板ケースの乾電池の入れ方は7ページ参照。

② 手動操作する方法
電磁バルブの開閉 電磁バルブの手動レバーを押すことで、押している間、洗浄水が流れます。



リモコンの取付位置



- ① リモコンから本体に送るセンサーの感度が悪くなると、リモコンボタンを押しても動作しないことがあります。同梱のリモコン接続ケーブル(有線)を使用してください。
- ② 床や壁が黒っぽい又は濃い色のとき
- ③ リモコンが施工取付範囲外になると、自動洗浄も使えません。
- ④ リモコンボタンを押しても動作しないとき
- ⑤ 日光が入る窓があると誤動作(勝手に動作)することがあります。
- ⑥ そのときは、窓カバーやブラインドなどで遮光するか自動洗浄をOFFにしてください。
- ⑦ 洗浄便座KB22-21など便座側に操作部がある便座を取り付けるとき、リモコンボタンを押しても動作しないことがあるので、便座側にリモコンを取り付けてください。
- ⑧ 右側に取付けられる場合はリモコン接続ケーブル(有線)を使用してください。
- ⑨ ④ リモコンは、壁から便器中心までの距離を400~450mmで取り付けてください。
- ⑩ それ以外の寸法でセンサーが反応しないときは、同梱のリモコン接続ケーブル(有線)をお使いください。
- ⑪ ⑤ 450mmを超える寸法で自動洗浄を動作させたとき、反応しない場合があります。

注) センサー付リモコンの下にベーパーホルダーや手すり、棚などを取り付けないでください。また、掃除用真などセンサー付リモコンの下に置くかないでください。矢印方向にセンサーが出ています。それを選ると動きませんので、ご注意ください。

お手入れのしかた

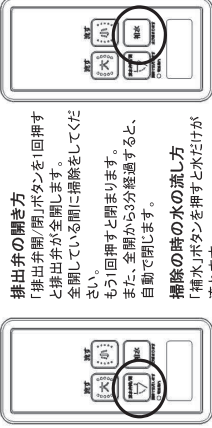
排出弁（フラッパー）のお手入れ

フラッパーは専用ブラシと中性洗剤で週1〜2回程度掃除してください。特にリップゴムの先端と裏側はよく掃除してください。汚れていると水が溜まらなくなります。



排出弁の開き方

「排出弁開/閉」ボタンを1回押すと排出弁が全開します。全開している間に掃除をしてください。もう1回押すと閉まります。また、全開から分経過すると、自動で閉じます。



掃除の時の水の流し方

「排水」ボタンを押すと水だけが流れます。



便器のお手入れ

中性洗剤で掃除をしてください。

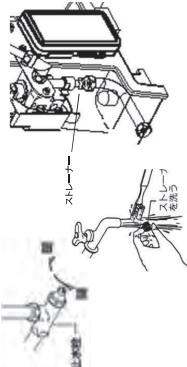
便座のお手入れ

柔らかい布で水拭きしてください。汚れがひどいときは、100倍程度に薄めた中性洗剤を柔らかい布につけぬぐって拭いてください。そのあと必ず固く絞った柔らかい布で水拭きして洗剤をふき取ってください。



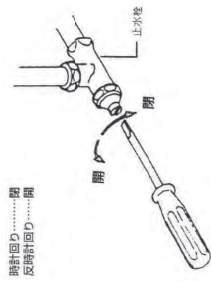
ストレーナーの掃除

ハルプのゴミ詰りによる漏水を防ぐため、給水口にストレーナーを付けています。水の出方が悪くなったときは、ゴミを取り除いてください。



部品の点検、交換のしかた

止水栓の開閉方法



乾電池の交換方法

付属の単三アルカリ乾電池4本を入れてください。



注)
 ・乾電池の(+)(-)を確認して正しく入れてください。
 ・間違えて逆に入れると乾電池が液漏れしたり、破裂したり、故障したりする恐れがあります。
 ・新しい乾電池と使用済乾電池や使いかけ乾電池、他の種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
 以上は、回路基板を壊す恐れがありますので、注意してください。

リップゴムの交換

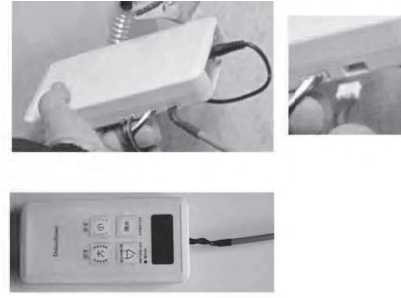
消耗品であるフラッパーのリップゴムは、便器のを外さず上から交換できます。
 ①マイナスイオンパイプでリップゴム押工を外す。
 ②リップゴムの外す。
 ③溝にはめ込むように新しいリップゴムを取り付ける。
 ④リップゴム押工を取り付ける。
 このとき、リップゴムとリップゴム押工が均等に取付かないと漏水することがあります。
 ⑤水を溜めて漏水の確認をする。
 漏水した場合は、リップゴムとリップゴム押工が均等になっていないため、リップゴム押工を均等になるように手直ししてください。



リモコン接続ケーブル(有線)の接続方法

リモコン接続ケーブル(有線)を使用すると、リモコンの乾電池が不要になります。高齢者や障害者の方など乾電池の交換ができない方や面倒な方にお勧めします。施工時にお客様に取付を確認してください。

床や壁の色が黒っぽい場合や所定の位置にリモコンを取り付けられない場合、リモコン接続ケーブル(有線)を使用してください。但し、所定の位置にリモコンを取り付けられない場合は自動洗浄の人感センサーが反応しないため、自動洗浄のFFでご使用ください。



故障・異常の見分け方と処置方法

まず、故障や異常に気付いたらすぐに止水栓を閉めてください。

現象	原因	処置方法
水が出ない	近くの蛇口で確認してください	
	止水栓が開く	
	コンセントの確認	
	ストレーナーの掃除	
	単三アルカリ乾電池4本を交換する	
	止水栓を開閉メンテナンス依頼	
	床を抜いて小便かどうかの確認	
	市販のハイブリッドセンサー等で詰まりを取り除くか、お買い上げ店又は専門業者に依頼	
	排水弁(フラッパー)の掃除	
	単三アルカリ乾電池4本を交換する	
	単三アルカリ乾電池4本を交換する	
	リモコンの位置を施工説明書の位置に移動する	
	単三アルカリ乾電池4本を交換する	
	リモコンの位置を施工説明書の位置に移動する又はリモコン接続ケーブルで有線にする	
便器に水が溜まらない	排水弁(フラッパー)に汚物、尿石が付着している	
フラッパーが開かない	リモコンの乾電池切れ	
自動洗浄がきかない	リモコンの乾電池切れ	
	人感センサーが感知していない	
リモコンのボタンが	リモコンの乾電池切れ	
きかない	リモコンセンサーが感知していない	

凍結のおそれのあるとき

トイレ内が0℃以下になると、水が凍結して器具が破損するおそれがあります。次の中から適切な処置を選んで実施してください。

- ① 室内暖房
トイレ室内を暖房してください。
- ② 水抜き
止水栓を閉め、大又は小ボタンを押して水抜きをしてください。

凍結した場合

まず、トイレ室内を暖めてください。
便器が凍結した場合
・・・40℃程度のぬるま湯を注ぎ、徐々に解凍してください。
電磁バルブが凍結した場合
・・・ドライヤー等で乾運してください。凍結破損することがあります。解凍後、漏水する場合は、止水栓を締めてアフターメンテナンスを依頼してください。

メンテナンス部品について

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。最低保有期間経過後については、当社までご相談ください。

長期間使用しないとき

旅行や長期間不在のとき、長期間使用しないときは次のことを行ってください。行わないと、不在中に漏水等が起こった場合、水浸しになり家財を濡らす原因となります。

- ① 止水栓を閉めてください。
- ② 大又は小ボタンを押して水抜きをしてください。
- ③ アダプターをコンセントから抜いてください。

暖房便座や温水洗浄便座等は、各々の説明書をお読みください。

仕様

製品寸法	幅560ミリ×奥行510ミリ×高さ370ミリ
材質	便器本体：衛生陶器
定格電源	交流100V
電源コードの長さ	ACアダプター 6V 2.8A 1.5m
給水圧力	最低水圧0.2MPa※流量20L/分以上、 最高水圧0.75MPa
周囲使用温度	0～40℃
重量	18kg

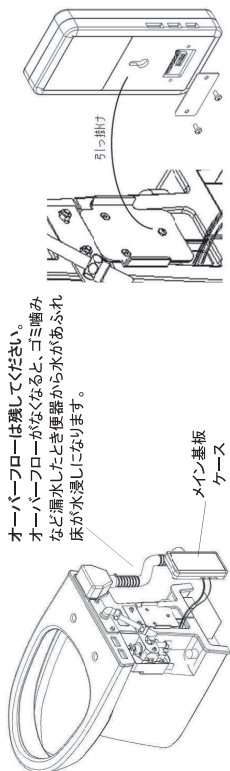
便槽についての注意事項

警告	マンホールのフタは、必ず閉めてください。 また、ロック機構のあるものは、必ずロックをしてください。 転落事故の原因となります。また、お子様にはさわらせてください。
注意	通常の埋設工事を行った便槽の上には、車などの重量物をのせないでください。 車などがのる場合は、特殊工事が必要となりますので専門の工事業者にご相談ください。 便槽に圧力がかかり破損したり、マンホールが割れて転落事故の原因となります。 便槽の中へ薬品類、殺虫剤（うじ殺し含む）、洗浄剤、芳香剤等を投入しないでください。 便槽に変形、亀裂が発生して漏水の原因となります。

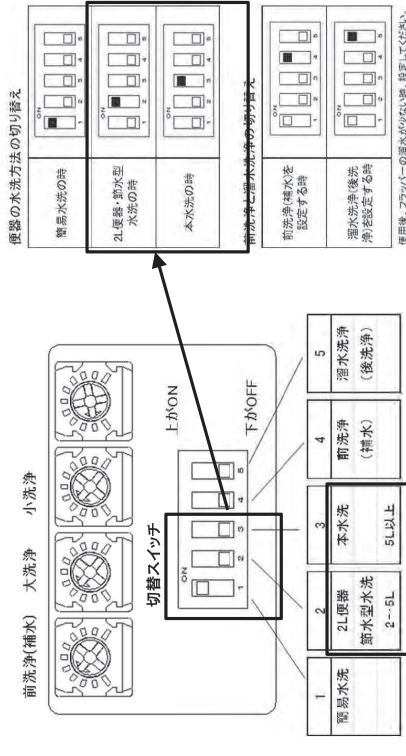
水洗便器への切り替え方法

下水道がきたとき、スイッチを切り替えると水洗便器になります。

- ① 便器背面にあるメイン基板ケースを外してください。ダラム穴に引っ掛けておくだけでいいです。少し上に持ち上げて外しゆっくと引き出してください。



- ② わしを本外して裏フタを外してください。
- ③ 切替スイッチを「切替スイッチとポリウム調整位置」を見て切り替えてください。



切替スイッチとポリウム調整位置

洗浄水量 4.4L

水圧	切替スイッチ	ポリウムの目盛
0.2 MPa	1 OFF 2 OFF 3 ON	大洗浄 小洗浄
0.3 MPa	1 OFF 2 ON 3 OFF	3.5 10
0.4 MPa	1 OFF 2 ON 3 OFF	7 10
0.4 MPa	1 OFF 2 ON 3 OFF	6 10

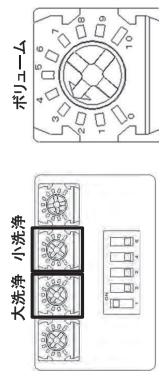
0.4MPa以上は、設定同じ

洗浄水量 6L

水圧	切替スイッチ	ポリウムの目盛
0.2 MPa	1 OFF 2 OFF 3 ON	大洗浄 小洗浄
0.3 MPa	1 OFF 2 OFF 3 ON	4.5 10
0.4 MPa	1 OFF 2 OFF 3 ON	7 10
0.4 MPa	1 OFF 2 ON 3 OFF	10 10

0.4MPa以上は、設定同じ

- ④ 切替スイッチとポリウム調整位置を見て水量調整をしてください。



- ⑤ 終了したら、②、①の順でメイン基板ケースを基に戻してください。そのとき、コードは便器の中へ穴から入れてください。

オート洗浄水洗便器 SAI 取扱説明書

安全にお使いいただくために

お客様に事故のないよう安全にお使いいただくための注意事項をあげております。ご使用前に、この説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

便器の中にタバコの吸ガラを捨てないでください。
火災や漏水の原因、便器の破損やゴム、プラスチック部品の変形の原因となります。

掃除には中性洗剤以外使用しないでください。
酸性洗剤、アルカリ性洗剤、漂白剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナー、溶剤、油汚れ落とし剤、殺菌剤などの薬剤は、部品が変形や変質して故障の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

給水(水道)は所定水圧と流量でご使用ください。

水道圧0.2~0.7MPa(2.0~7.0kgf/cm²)、流量は20L/分(以上)
流量不足は洗浄力が悪くなり、水道圧が高いと器具の破損や故障の原因となります。

紙は、必ず市販のトイレットペーパーを使用してください。
ティッシュペーパーや古い紙(新聞紙、雑誌)等は水に溶けにくいため、排水管が詰まる原因となりますので、使用しないでください。また、生理用品等も便器に捨てないでください。

便器の中に酸湯をかけないでください。
ゴム、プラスチック部品の変形の原因となります。

ぬれた手で電源プラグ(アダプター)を抜き差ししないでください。
感電のおそれがあります。

- 電源プラグ(アダプター)は、コードを持って抜かないでください。
- 根元まで健康に差し込んでください。
- 差込口とコンセントは、定期的にホコリを取り除いてください。

水につけたり、水をかけたりしないでください。
火災や感電の原因となります。

浴室や表面に水滴が出る湿気が多い場所では使用しないでください。
火災や感電、故障の原因となります。

AG100V以外は使用しないでください。
火災や故障の原因となります。

コードに重い物を載せたり、狭み込みたり、傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、おしったり、束ねたりしないでください。

絶対に分解したり、修理や改造をしないでください。
特に電気部の分解修理は危険です。

直射日光が当たらないようにしてください。
センサーが誤動作したり、プラスチック部が変色することがあります。

便フタや便座を重くもたれや踏台として使ったり、衝撃を加えるような開閉はしないでください。

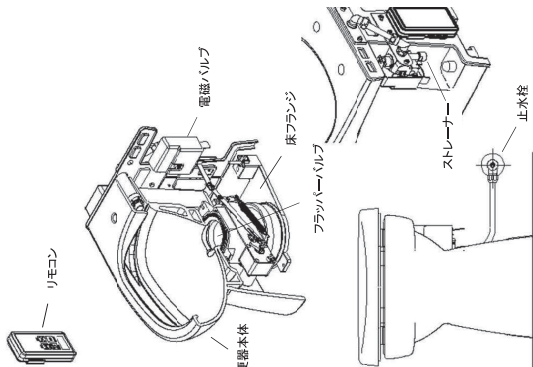
幼児、お年寄り、身体の不自由な方が使用するときは、周りの便フタや便座が動いてアガの原因となります。

凍結の恐れがあるときは、室内暖房、水抜きなどを行ってください。

凍結による破損で漏水し、家財を濡らす原因となります。
長期間使用しないときは、止水栓を閉めて水抜きをしてください。

漏水したとき、家財を濡らす原因となります。

各部の名称とその役目



フラッシュバルブ	汚物の排出弁と水を溜めて臭気を遮断する役目があります。このバルブは、モーターによって開閉します。
電磁バルブ	設定した洗浄水を流す役目があります。
リモコン	ボタンを押すと所定の動作を行います。また、自動洗浄の設定ができます。
ストレーナー	水道管内のゴミや砂を取り除いてバルブのゴミ詰りを防ぐ役目があります。
止水栓	便器の元栓の役目があります。

ご使用前と後に

ご使用前に

便器を取り付けて最初にご使用されるときは、次のことを確認してください。

- 止水栓が開いているか。
- 電氣はきいているか。

ご使用後に

ご使用後、便器から離れるときは洗浄水が止まることを確認してください。

便座などの使用方法

暖房便座や温水洗浄便座など、それぞれに付いている説明書をよく読んでご使用ください。

ご使用方法

便器の使い方

■便器自動洗浄ONの場合

①便フタを上げてください。②便座に座って用を足してください。③使用後、便座から立ち上がって洗浄するまで、この時、前洗浄をONにして、後に自動で汚物の排出と洗浄を行います。④自動開閉付き便座の場合、自動で便フタが開きます。



■便器自動洗浄OFFの場合 リモコンで操作してください。



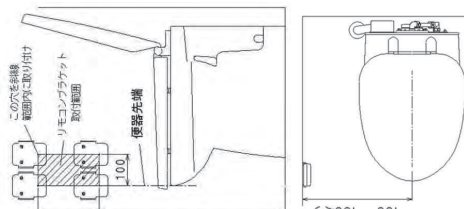
停電や災害の時

- ①乾電池を使用する方法
便器背面にあるメイン基板ケースに単三乾電池4本を入れることで停電でも使用できます。メイン基板ケースの乾電池の入れ方は7ページ参照。

- ②手動操作する方法
電磁バルブの開閉 電磁バルブの手動レバーを押すことで、押ししている間、洗浄水が流れます。



リモコンの取付位置



- ①リモコンから本体に送るセンサーの感度が悪くなると、リモコンボタンを押しても動作しないことがあります。同梱のリモコン接続ケーブル(有線)を使用してください。下記のように、同梱のリモコン接続ケーブル(有線)を使用してください。
 - 床や壁が黒っぽい又は濃い色のとき
 - リモコンボタンを押しっぱなしにすると、自動洗浄も使えません
 - リモコンボタンを押しっぱなしにすると、自動洗浄も使えません
 - リモコンボタンを押しっぱなしにすると、自動洗浄も使えません
- ②日光が入る窓がある部屋に設置すると、動作が勝手に動作することがあります。そのときは、窓をカーテンやブラインドなどで遮光するか自動洗浄をOFFにしてください。
- ③洗面便座KB22・21など便座側に操作部がある便座を取り付けたとき、リモコンボタンを押しても動作しないことがあるので、左側にリモコンを取り付けてください。
- ④リモコンは、蓋から便器中心までの距離を400~450ミリで取り付けてください。それ以外の寸法でセンサーが反応しないときは、同梱のリモコン接続ケーブル(有線)をお使いください。
- ⑤450ミリを超える寸法で自動洗浄を設定したとき、反応しない場合があります。そのときは、リモコンの開閉ボタン操作してください。

注) センサー付リモコンの下にペーパーホルダーやゴミ箱、棚などを取り付けないでください。また、掃除用具などセンサー付リモコンの下に置かないでください。矢印方向にセンサーが出ています。それを避ると動きませんので、ご注意ください。

お手入れのしかた

排出弁（フラッパー）のお手入れ

フラッパーは専用ブラシと中性洗剤で週1～2回程度掃除してください。特にリップゴムの先端と裏面はよく掃除してください。汚れていると水が溜まらなくなります。



排出弁の開き方

「排出弁開/閉」ボタンを1回押すと排出弁が全開します。全開している間に掃除をしてください。もう1回押すと閉まります。また、全開から分経過すると、自動で閉じます。

掃除の時の水の流し方

「排水」ボタンを押すと水だけが流れます。

便器のお手入れ

中性洗剤で掃除してください。



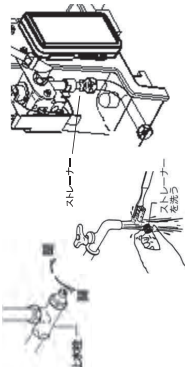
便座のお手入れ

柔らかい布で水拭きしてください。汚れがひどいときは、100倍程度に薄めた中性洗剤を柔らかい布につけ固く絞ってから拭いてください。そのあと必ず固く絞った柔らかい布で水拭きして洗剤をふき取ってください。



ストレーナーの掃除

ハルプのゴミ詰りによる漏水を防ぐため、給水口にストレーナーを付けています。水の出力が悪くなったときは、ゴミを取り除いてください。



部品の点検、交換のしかた

止水栓の開閉方法



乾電池の交換方法

付属の単三アルカリ乾電池4本を入れてください。



注)
 ・乾電池の(+)を正しく確認して正しく入れてください。
 ・間違えて逆に入れると乾電池が液漏れしたり、破裂したり、故障したりする恐れがあります。
 ・新しい乾電池と使用済乾電池や使いかけ乾電池、他の種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
 以上は、回路基板を壊す恐れがありますので、注意してください。

リップゴムの交換

消耗品であるフラッパーのリップゴムは、便座を外さず上から交換できます。
 ①マイナスイオンフラッパーのリップゴムの外蓋を外す。
 ②リップゴムの外蓋を新しいリップゴムを取り付ける。
 ③溝にはめ込むように新しいリップゴムを取り付ける。
 ④リップゴムの押工を取り付ける。
 このとき、リップゴムとリップゴムの押工が均等に取付かないと漏水することがあります。
 ⑤水を溜めて漏水の確認をする。
 漏水した場合は、リップゴムとリップゴムの押工が均等になっていないため、リップゴムの押工を均等にのり直ししてください。



故障・異常の見分け方と処置方法

まず、故障や異常に気付いたらすぐに止水栓を閉めてください。

現象	原因	処置方法
水が出ない	止水栓が閉まっている 電源が繋がっていない ストレーナーのゴミ詰まり ストレーナーの掃除 単三アルカリ乾電池4本を交換する 止水栓を閉めたままフラッパーを交換する 床を拭いて小便かどうかの確認 市販のハイブリッドフラッパー等で詰まりを取り除くか、お買い上げ店又は専門業者に依頼	近くの蛇口で確認してください 止水栓を開く コンセントの確認 ストレーナーの掃除 単三アルカリ乾電池4本を交換する 止水栓を閉めたままフラッパーを交換する 床を拭いて小便かどうかの確認 市販のハイブリッドフラッパー等で詰まりを取り除くか、お買い上げ店又は専門業者に依頼
水が止まらない	排水弁（フラッパー）に汚物、尿石が付着している フラッパーが開かない リップゴムの乾電池切れ リップゴムの乾電池4本を交換する 自動洗浄がきかない 人感センサーが感知していない リップゴムの乾電池切れ	排水弁（フラッパー）に汚物、尿石が付着している フラッパーが開かない リップゴムの乾電池切れ リップゴムの乾電池4本を交換する 自動洗浄がきかない 人感センサーが感知していない リップゴムの乾電池切れ
臭い	排水弁（フラッパー）に汚物、尿石が付着している フラッパーが開かない リップゴムの乾電池切れ リップゴムの乾電池4本を交換する 自動洗浄がきかない 人感センサーが感知していない リップゴムの乾電池切れ	排水弁（フラッパー）に汚物、尿石が付着している フラッパーが開かない リップゴムの乾電池切れ リップゴムの乾電池4本を交換する 自動洗浄がきかない 人感センサーが感知していない リップゴムの乾電池切れ

凍結のおそれのあるとき

トイレ内が0℃以下になると、水が凍結して器具が破損するおそれがあります。次の中から適切な処置を選んで実施してください。

- ① 室内暖房
トイレ室内を暖房してください。
- ② 水抜き
止水栓を閉め、大又は小ボタンを押し水抜きをしてください。

凍結した場合

まず、トイレ室内を暖めてください。

器具が凍結した場合

… 40℃程度のぬるま湯を注ぎ、徐々に解凍してください。

電磁ハルパが凍結した場合

… トライヤー等で解凍してください。凍結破損することがあります。解凍後、濡水する場合は、止水栓を締めてアフターメンテナンスを依頼してください。

長期間使用しないとき

旅行や長期間不在のとき、長期間使用しないときは次のことを行ってください。行わないと、不在中に漏水等が起こった場合、水浸しにより家財を濡らす原因となります。

- ① 止水栓を閉めてください。
- ② 大又は小ボタンを押し水抜きをしてください。
- ③ アダプターをコンセントから抜いてください。

暖房便座や温水洗浄便座等は各々の説明書をお読みください。

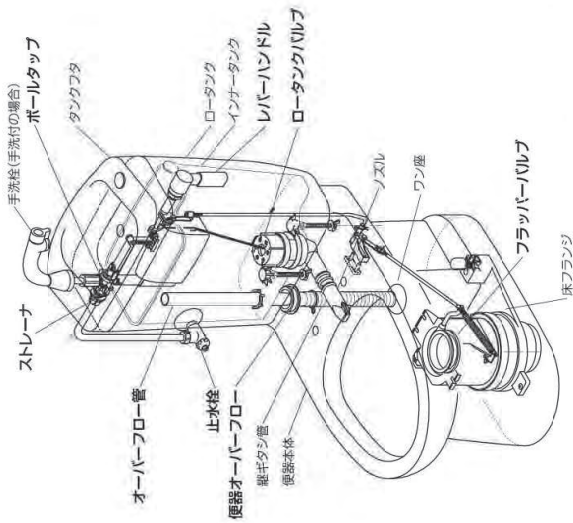
メンテナンス部品について

補修用性能部品の最低保期間は、製造打切り後6年です。最低保期間経過後については、当社までご相談ください。

仕様

製品寸法	便器
幅360ミリ×奥行510ミリ×高さ370ミリ	
材質	便器本体：衛生陶器
定格電源	交流100V
	ACアダプター 6V 2.8A
電源コードの長さ	リモコン・単3アルカリ乾電池×4本 1.5m
給水圧力	最低水压0.2MPa(流量20L/分以上)、 最高水压0.75MPa
周囲使用温度	0～40℃
重量	18kg

各部の名称とその役割



フラップバルブ	汚物の排出弁と水を溜める便槽からの臭気を遮断する役目があります。フラップバルブは、ハネによって閉じられています。	オーバーフロー管	ボールタップが故障し、水が止まらなくなったとき、ここから屋外に排出する役目とオーバーフロー管の水を抜く役目を行います。
ロータンクバルブ	レバーハンドルを操作すると、バルブが開いて便器に水を流す役目を行います。	便器	ロータンクバルブがゴゴついたり故障を起こし、便器への水が止まらなくなったとき、ここから屋外に排出する役目を行います。但し、便器オーバーフローの穴の大きさは、直径10mmです、これを超える排水量は、排水されませんのでご注意ください。
レバーハンドル	フラップバルブとロータンクバルブを開閉する役目を行います。手前に引くと、排出・洗浄をし、押すと便器に水を溜めます。	オーバーフロー	便器の元栓の役目と水勢を調整する役目を行います。ロータンクへの水を止めるときはこの止水栓を開閉してください。
ボールタップ	ロータンクに水を溜める役目を行います。一定の高さまで水が溜まるので浮子の浮力でボールタップの弁を閉じ水を止めます。	止水栓	
ストレーナー	水道管内のゴミや砂を取り除いてボールタップやロータンクに水を送る役目を行います。		

ご使用方法

1 ご使用前に

便器を取り付けて最初に使用されるときは、次のことを確認してください。
● 止水栓が開いているか。 ● ロータンクに水が溜まっているか。

必要以上に水を使わないでください。

便器から排出された洗浄水や汚水は、便槽に溜まります。必要以上に洗浄水を使ったり、便器から雑排水等を捨てるとその分汲み取り料が増えますので、ご注意ください。

2 便器の使い方

■大便の場合

- 便フタを上げてください。
- 使用前に、レバーハンドルを1~2秒間押し、便器に水を溜めてください。
(補水)
- トイレペーパーを1枚敷いて使用すると、汚物の付着が少なくなります。
- 便座に座ってご使用ください。

○ トイレペーパーを1枚敷いて使用すると、汚物の付着が少なくなります。

○ 排出・洗浄後、防臭のため便器に少し水が溜まります。

■女子小便の場合

- 便フタを上げてください。
(大便時と同じ)
- 便座に座ってご使用ください。
(大便時と同じ)
- 使用後、レバーハンドルを1~2秒間引いてください。汚水が排出し、水が流れてきます。レバーハンドルは、手を添えて戻してください。

○ 排出・洗浄後、防臭のため便器に少し水が溜まります。

引く

洗浄
排出

3 手洗の使い方

手洗の水は自動的に出て止まらませんので、吐水栓レバーを開閉してご使用ください。



4 ご使用後に

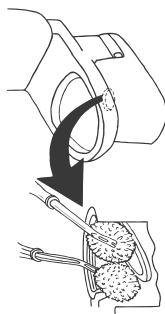
▲ 注意 レバーハンドル操作後、洗浄水が止まるのを確認してから便器を離れてください。

① 暖房便座や温水洗浄便座付の場合は、それぞれに付いている説明書をよく読んでご使用ください。

お手入れのしかた

1 フラッパーバルブのお手入れ

フラッパーバルブは専用ブラシと中性洗剤で週1～2回程度、また、リップゴムの先端もよく掃除してください。汚れていると、水が溜まらなくなります。



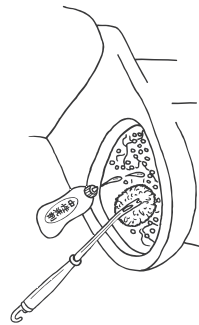
オプション



APH-527
CFお掃除ブラシ

2 便器のお手入れ

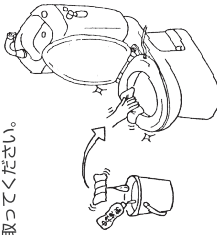
中性洗剤を使って掃除してください。



○レバーハンドルを押し、便器に水を溜めて掃除すると大変便利です。

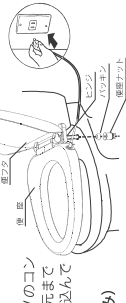
3 便座のお手入れ

柔らかい布で水拭きしてください。
汚れのひどいときは、100倍程度に薄めた中性洗剤を柔らかい布につけ、固く絞って拭いてください。
そのあと必ず固く絞った柔らかい布で水拭きして洗剤を拭き取ってください。



便座の外し方・取り付け方

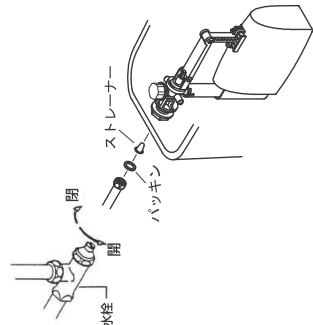
便器の便座取付穴に便座のヒンジのねじ部分を差し込み、便座をスライドさせて便器に合わせて、下からパッキンを入れ、便座ナットを締め付けてください。
ヒンジと便器の間にパッキンがあります。



交流 100V のコンセントに指五まで確実に差し込んでください。
(SW-7のみ)

4 ストレナーの掃除

器具にゴミや異物が入らないように、給水口にストレーナーを付けています。ストレーナーが詰まるとロータンクへの給水状態が悪くなりますので、ロータンクへの給水が少ないときは、次の要領でストレーナーを掃除してください。



故障・異常の見分け方と処置方法

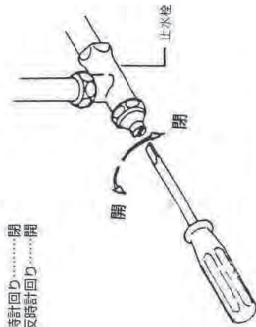
まず、故障・異常に気付いたらすぐに止水栓を閉めてください。

現象	原因	処置方法
便器に水が出ない、またはロータンクに水が溜まらない。	<ul style="list-style-type: none"> 断水している。 止水栓が閉まっている。 ストレーナーが目詰まりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ロータンクのフタを開けて水が溜まっているかを確認してください。 止水栓を開いてください。(7頁参照) ストレーナーを掃除してください。(5頁参照)
便器に水が溜まらぬい。	フラッパーバルブに汚物、尿石が付着している。	フラッパーバルブの掃除をする。(5頁参照)
便器への水が止まらない。	ロータンクバルブのバルブシートパッキンのゴミがまみりまたは傷。	<ul style="list-style-type: none"> ①すぐに、止水栓を閉めてください。 ②4～5回排水操作してみてください。 ③直れば、止水栓を開いてそのまま使用し、様子を見てください。 ④直らない場合は、「ロータンクバルブの点検」を行ってください。(8頁参照)
ロータンク内の水が止まらぬい、またはボールタップからの水が止まらぬい。	ロータンクバルブのバルブシートパッキンが交換時期になっている。	<ul style="list-style-type: none"> ①すぐに、止水栓を閉めてください。 ②「ボールタップの点検」を行ってください。(7頁参照) ③ご自分で修理される場合は、弊社まで連絡して部品を調達し、「ロータンクバルブの点検、部品交換」を参照して交換してください。(8頁参照)
床に水漏れしている。	ボールタップのパッキンのゴミがまみりまたは傷。 ボールタップのパッキンが交換時期になっている。	<ul style="list-style-type: none"> ①すぐに、止水栓を閉めてください。 ②「ボールタップの点検」を行ってください。(7頁参照) ③ご自分で修理される場合は、弊社まで連絡して部品を調達し、「ボールタップの点検、部品交換」を参照して交換してください。(7頁参照)
床に水漏れしている。	小便が飛び散っている。	床を乾いた雑巾等で拭き取り、小便かごを確かめてください。
フラッパーバルブを開いても汚物を排出しない。	便槽が一杯になっている。 便器と便槽の間の配管詰まり。	便槽のマンホールをあげて確認し、汲取り業者に依頼してください。
フラッパーバルブが開かない。	レバーハンドル側ロータンク下の作動部(床)に物を置いている。	市販のワイプクリナーやトイレ洗浄機等で詰まりを取り除くか、お買い上げ店又は専門業者に連絡してください。
手洗の水が止まらぬい。	ロッドの接続ヒンジが付いていない。 ゴムのゴミ詰まり、傷、または、交換時期になっている。	<ul style="list-style-type: none"> 接続ピンを付けてください。7頁の「ロッドの接続」を参照してください。 ①すぐに、止水栓を閉めてください。 ②ゴミを取り除くか、市販のゴムと交換してください。「手洗栓ゴム交換」を参照してください。(8頁参照)

○上記処置で直らない場合は、**止水栓を閉めたまま**にお買い上げ店または当社アフターサービスまでご連絡ください。アフターサービスに修理を依頼される場合は、11頁をお読みください。
○処置や修理が終わるまでの間は、**止水栓を閉めたまま**にして、ご使用をひかえてください。やむを得ず使用する場合は、バケツ等で便器に直接流してください。

部品の点検、交換のしかた

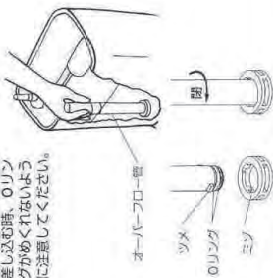
止水栓の開閉方法



時計回り……閉
反時計回り……開

ロータングの水抜き

- ①止水栓を開めてください。(7頁参照)
 - ②手洗栓付の場合は、フタをずらしてください。
 - ③ロータングのフタをあけてください。(7頁参照)
 - ④オーバーフロー管を回し、引き抜いてください。水が屋外に排出されます。
 - ⑤オーバーフロー管の取付は、ツメの位置を合せ差し込み、回してください。そのままだに持ち上げて外れないことを確認してください。
- (注)差し込む時、Oリングがめくれぬように注意してください。

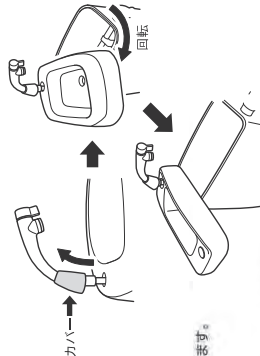


フタのずらし方(手洗ありの場合)

- ①カバーを上に戻します。
- ②フタを少し持ち上げるように回転させながら手前にずらします。
- ③フタが安定して乗る場所に置いてください。

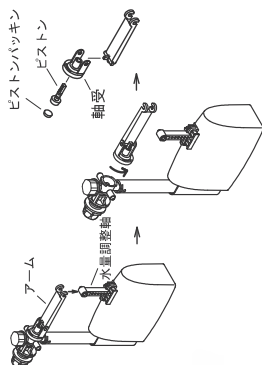
注意

- フタを開けたまま長時間放置しないでください。
- フタに物を置いたり、荷重をかけないでください。



ボールタップの部品交換

- ①止水栓を開めてください。
- ②手洗栓付の場合は、手洗栓を外してください。
- ③ロータングの水を抜いてください。
- ④ボールタップの水を少し抜いてください。
- ⑤アームと水量調整軸を外してください。
- ⑥軸差を反時計回りに90度回転して抜いてください。
- ⑦ピストンパッキンの交換の場合は、このままで交換してください。



リップゴムの交換

消耗品であるフラッパーのリップゴムは、便座を外さず上から交換できます。

- ①マイナストライパーでリップゴム押工を外す。
 - ②リップゴムを外す。
 - ③溝にはめ込むように新しいリップゴムを取り付ける。
 - ④リップゴム押工を取り付ける。
- このとき、リップゴムとリップゴムの押工が均等に取付かないと漏水することがあります。
- ⑤水を溜めて漏水の確認をする。
- 漏水した場合は、リップゴムとリップゴムの押工が均等になっていないため、リップゴムの押工を均等になるように手直ししてください。



部品の点検、交換のしかた

ロータングバルブの点検、部品交換

- ①止水栓を開めてください。(7頁参照)
- ②ロータングのフタをあけてください。
- ③ロータングの水抜きをしてください。(7頁参照)
- ④パネ押工を反時計回りに回し持ち上げて外してください。その時、ボールタップの浮玉が邪魔な場合は、浮玉を外してから行ってください。
- ⑤クサリを持って引き上げてください。
- ⑥＋ドライバーでネジを外して、バルブガイドを外してください。
- ⑦バルブシートパッキンに傷やいたみ、ゴミかみがないかを点検してください。
- ⑧傷やゴミかみがある場合は、裏返しにして使用してください。
- ⑨いたんでいる場合は、部品交換してください。

組立は、逆の手順で行ってください。

手洗栓コマの交換

- ①止水栓を開めてください。(7頁参照)
- ②ツマミを開いて水を抜いてください。
- ③キャップを外し、＋ドライバーでネジを外して、吐水レバーを外してください。
- ④自在スパナでスピンドルボックスを回して外してください。
- ⑤コマを取り出してください。
- ⑥傷やいたみ、ゴミかみがないかを点検してください。
- ⑦ゴミかみがある場合は、ゴミを取り除いてください。
- ⑧傷やいたみがある場合は、市販のコマと交換してください。

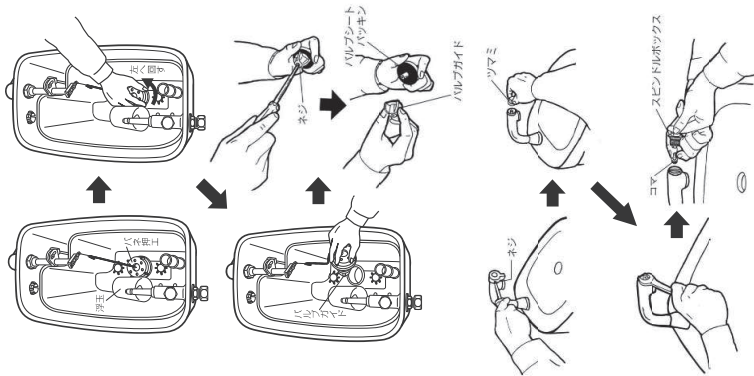
組立は、逆の手順で行ってください。

ロッドの接続

レバーハンドル側のロータング下部にロッドを割りピンで接続するところがあります。

もし、割りピンが付いていない場合は、代りに針金を使って接続してください。

接続しないと、レバーハンドルを操作してもフラッパーバルブが開きません。



(注意) ・必ず、ロッドが抜けないことを確認してください。抜けると、作動不良となります。

注意 上記の部品交換以外の修理、分解、改造は、修理技術者以外絶対に行わないでください。

凍結のおそれのあるとき

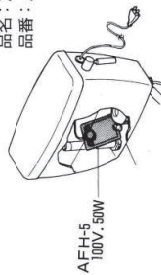
▲注意 トイレレグが0°C以下になると、水が凍結して器具が破損する恐れがあります。

次の中から適切な処置を選んで実施してください。

1 凍結防止ヒーターの利用

○別途凍結防止ヒーターをご利用いただき、ロータンク内に入れて凍結防止してください。

品名：凍結防止ヒーター
品番：AFH-5



! 説明書をよく読んでご使用ください。
・ヒーター部をロータンクの水に加めてから電源プラグをコンセントに差し込んでください。
・使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。ロータンク内の水が暖まり、タンクフタの裏側から水滴が落ちることがあります。

○給水管や手洗栓には、市販の水道凍結防止ヒーター（テープヒーター）を巻きつけてご使用ください。

2 水抜き

水抜き又は水抜き止水栓を取り付けてください。

- (1) 水抜き又は水抜き止水栓を閉めてください。
- (2) 手洗付の場合は、手洗栓のハンドルを回して全開にしてください。
- (3) ロータンクの水抜きを行うのであれば、7頁参照
手洗付の場合は、7頁のフタのずらし方を参照
- (4) 水抜き止水栓の場合、止水栓から水を抜いてください。
- (5) 便器内に溜っている水もレバーハンドル操作をして排出してください。

解除方法

- (1) 水抜き止水栓の場合、水抜きコックを閉めてください。
- (2) 手洗付の場合は、手洗栓のハンドルを閉めてください。
- (3) ロータンクの中のオーバーフロー管を差し込んでください。7頁参照
- (4) 水抜き又は水抜き止水栓を開けてください。

3 室内暖房

トイレ室内を暖房してください。

☆凍結した場合

まず、トイレ室内を暖めてください。

- 便器、ロータンクが凍結した場合……40°C程度のぬるま湯を注ぎ、徐々に解凍してください。
熱湯を注いで急激に暖めると陶器が破損したり、プラスチックが破損、変形しますので、ご注意ください。
- 給水管、手洗栓等が凍結した場合……お湯に浸した雑巾等をあてて解凍してください。

長期間使用しないとき

▲注意 旅行など長期不在のときや長期使用しないときは、次のことを行ってください。

行かないと、不在中に漏水等が起こった場合、水浸しになり家財を濡らす原因となります。

- ① 止水栓を閉めてください。
 - ② ロータンクの水抜きを元に戻してください。(7頁参照)
 - ③ ロータンクの水抜きを元に戻してください。(7頁参照)
 - ④ 止水栓を開いてください。
 - ⑤ ロータンクの中に水が溜まったことを確認してください。
- 暖房便座、温水洗浄便座、凍結防止ヒーター等の電気製品をご使用の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

仕様

外観寸法	FZ500	FZ50T	FZ400	FZ40T	FZ300
幅	360 ^{mm}	360 ^{mm}	360 ^{mm}	360 ^{mm}	380 ^{mm}
高さ	760 ^{mm}	760 ^{mm}	730 ^{mm}	730 ^{mm}	712 ^{mm}
重量	約40kg	約875 ^g	約875 ^g	約875 ^g	約795 ^g
総重量	約24kg	約38kg	約38kg	約38kg	約24kg
材質	ロータンク 陶器	ロータンク 陶器	ロータンク 陶器	ロータンク 陶器	ロータンク 陶器
便座	PP樹脂	PP樹脂	PP樹脂	PP樹脂	PP樹脂
洗面水量	約350cc	約350cc	約350cc	約350cc	約350cc
ロータンク容量	約10ℓ	約10ℓ	約10ℓ	約10ℓ	約7ℓ

消耗部品の取り替え、修理

長年のご使用やお手入れが不十分な場合、部品の取り替え、修理が必要となります。

主な取替、修理部品	材質	使用箇所
リップゴム	ゴム	フラッパーバルブの水溜め部のパッキン
フラッパーティースク	プラスチック	フラッパーバルブの水溜め部の弁
バルブシートパッキン	ゴム	ロータンクバルブのパッキン
スピンドルパッキン	ゴム	ボールタップのパッキン

※保証期間経過後、および注意事項をお守りいただいただけなかった場合の修理は有料となります。

- 部品の保有期間
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。
最低保有期間経過後については、当社までご相談ください。

水洗便器としての注意事項(本水洗に切り替えた場合)

FZ500・FZ400・FZ50T・FZ40Tは別売の本水洗切替部品セットAPH-Z71を使用することで水洗便器に改造できます。

排水のためにロータンク内にベレットポトルやビンなどの異物を入れないでください。

内部金具に干渉して故障の原因となります。また、洗浄水量不足により、便器詰まり、汚水配管詰まりなどを起こし、排水しきれずに便器からあふれ家財を濡らす原因となります。

便器に新聞紙・紙おむつ・ティッシュペーパー・生用品等を流さないでください。必ずトイレトベーパーをご使用ください。

便器詰まり、汚水配管詰まりなどを起こし、排水しきれずに便器からあふれ家財を濡らす原因となります。

トイレトベーパーの使いすぎにご注意ください。

大量のトイレトベーパーを一度に流すと詰まる場合があります。特に、ダルのトイレトベーパーを使用すると詰まる場合があります。また、その際はトイレトベーパーの使用量を少なくしてください。

便器が詰まった場合、市販の吸引器(ラバーカップ)を使って取り除いてください。また、詰まったままレバー操作して洗浄水を流さないでください。

便器が詰まったまま洗浄水を流すと、便器から汚水があふれ家財を濡らします。

凍結のおそれがある場合、室内暖房、水抜きなどを行ってください。

トラップが凍結すると家財を濡らす原因となります。また、トラップ内が部分的に凍結した場合、便器が詰まり便器からあふれ家財を濡らす原因となります。

便槽についての注意事項

▲警告 マンホールのフタは、必ず閉めてください。
また、ロック機構のあるものは、必ずロックをしてください。
転落事故の原因となります。また、お子様にさわらせないでください。

▲注意 通常の埋設工事を行った便槽の上には、車などの重量物をのせないでください。車などがかかる場合は、特殊工事が必要となりますので専門の工事業者にご相談ください。
便槽に圧力がかかり破損したり、マンホールが割れて転落事故の原因となります。
便槽の中へ葉品類、殺虫剤(うじ殺し含む)、洗剤等を投入しないでください。
便槽に変形、亀裂が発生して漏水して漏水の原因となります。

安全にお使いいただくために

お客様に事故のないよう安全にお使いいただくための注意事項をあげております。ご使用前に、よくお読みの上正しくお使いください。
この説明書は、以下のように注意事項を区分して各々意味があります。

用語および記号の説明

- 警告** 守らないと、火災や重傷を負うことがあります。
- 注意** 守らないと、ケガをしたり、家財に損傷を与えることがあります。
- 「してはいけません」 (一般的な禁止記号)
- 「指示通りにしなさい」 (一般的な行動指示記号)

警告
便器の中にタバコの吸ガラを捨てないでください。
火災や漏水の原因、便器の破損やゴム、プラスチックの変形の原因となります。

注意

洗浄ガン使用後は、必ず元栓（洗浄ガン用止水栓）を閉めてください。洗浄ガン付の場合、洗浄ガンが破損したり、漏水した場合、家財を濡らす原因となります。

レバーハンドルは、手で静かに操作してください。レバーハンドルに無理な力を加えたり、衝撃を与えたり、足で操作したりするとケガや故障の原因になります。手で静かに操作してください。

また、レバーハンドル操作後、洗浄水が止まるのを確認してから便器を離れてください。

便フタや便座、ロータングを背もたれや踏台として使ったり、衝撃を加えないでください。便フタや便座が割れてケガの原因となります。ロータングへの給水管から漏水して家財を濡らす原因となります。

手洗栓の金具を持って無理に動かさないでください。手洗栓の根元が折れ、漏水の原因となります。

注意

市販の洗剤、薬品で便座やプラスチック製のロータングなどのプラスチック部品が割れることがあります。掃除の時に市販の洗剤や薬品を使用すると、便座やプラスチック製のロータングなどのプラスチック部品が割れて傷んだり、また繰り返しの応力がかかるため割れることがあります。洗剤や薬品は、必ずラベルの注意事項をよく読んでください。また、洗剤や薬品は、必ずラベルの注意事項をよく読んでください。また、洗剤や薬品は、必ずラベルの注意事項をよく読んでください。また、洗剤や薬品は、必ずラベルの注意事項をよく読んでください。

掃除には、中性洗剤以外使用しないでください。トイレ用または業務用の中性洗剤を使用してください。次の様な洗剤、薬品はプラスチック、ゴム部品が変形・変質して破損や変色の原因となります。必ずラベルの注意事項をよく読んでください。

- ・漂白剤
- ・酸性、アルカリ性の洗剤
- ・塩酸、リン酸系
- ・ワックス、研磨剤
- ・その他薬品

便器やロータングなど陶器にヒビが入ったり、割れた場合、破損部は絶対に触らないでください。破損部でケガをするおそれがありますので、早めに交換してください。

止水栓を閉めた後、再び開く場合は必ず最初の位置に戻してください。最初の状態に戻さない、ボールタップの外部が凍ってオーバーフローし、まれに場合、漏水により家財等を濡らす恐れがあります。

長期使用しないときは、止水栓を閉めて、水抜きをしてください。漏水したとき、家財を濡らす原因となります。詳しくは、9頁の「長期使用しないとき」を参照してください。

凍結の恐れがあるときは、室内暖房を考慮してください。凍結による破損で漏水し、家財を濡らす原因となります。詳しくは、9頁の「凍結のおそれのあるとき」を参照してください。

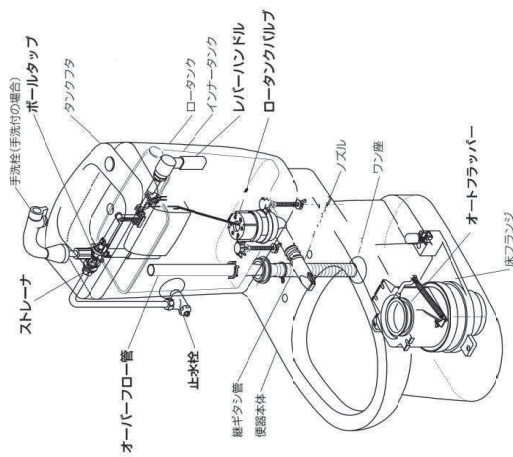
直射日光が当たらないようにしてください。プラスチック部が変色することがあります。

便器に歯ブラシやボールペンなど物を突きたり、破損部は必ず排出する前に取り出してください。配置が狂ったり、故障や漏水が原因となります。

紙は、必ず市販のトイレットペーパーを使用してください。ティッシュペーパーや新聞紙、雑巾等、等に水に濡らした紙は、便器内に残ると詰まりの原因となります。また、生ゴミも詰まりの原因となります。

本水洗切替をされる時は、本水洗切替製品のセットの説明書をよく読んで行ってください。本水洗切替の動作は、本水洗切替製品の説明書をよく読んで行ってください。本水洗切替の動作は、本水洗切替製品の説明書をよく読んで行ってください。本水洗切替の動作は、本水洗切替製品の説明書をよく読んで行ってください。

各部の名称とその役割



オートフラッパー	汚物の排出弁、オモリによるハラン スで閉閉します。	オートフラッパー管	ポールタップが故障し、水が止ま らなくなったりとき、ここから屋外 に排出する役目とオーバーフロー 管を引き抜くことによりロータン クの水を抜く役目をします。
ロータンクバルブ	レバーハンドルを操作すると、バ ルブが開いて便器に水を流す役目 をします。	止水栓	便器の元栓の役目と水勢を調整す る役目をします。 ロータンクへの水を止めるときは この止水栓を脚めてください。
レバーハンドル	ロータンクバルブを開閉する役目を します。	ストレーナー	水道管内のゴミや砂を取り除いて ポールタップやロータンクに水を 送る役目をします。

3

ご使用方法

1 ご使用前に

便器を取り付けて最初に使用されるときは、次のことを確認してください。
●止水栓が開いているか。 ●ロータンクに水が溜まっているか。

⊖ 必要以上に水を使わないでください。

便器から排出された洗浄水や汚水は、便槽に溜まります。必要以上に洗浄水を使ったり、便器から雑排水等
を捨てるとその分汲み取り料が増えますので、ご注意ください。

2 便器の使い方

■大便の場合

便フタを上げてください。

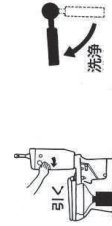


便座に座ってご使用ください。

便座に座ってご使用ください。



使用後、レバーハンドルを1~2秒間引いてください。
水が流れてきます。



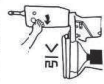
洗浄

■女子小便の場合

便フタを上げてください。

便座に座ってご使用ください。

使用後、レバーハンドルを1~2秒間引いてください。
水が流れてきます。



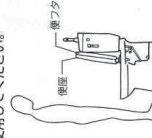
引く

洗浄

■男子小便の場合

便フタ、便座を両方共上げて使用してください。

使用後、レバーハンドルを
1~2秒間引いてください。
水が流れてきます。



3 手洗の使い方

手洗の水は自動的に出て止まりませんので、止水栓レバーを
閉閉しくご使用ください。



4 ご使用後に

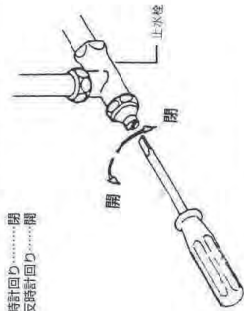
▲注意 レバーハンドル操作後、洗浄水が止まるのを確認してから便器を離れてください。

① 暖房便座や温水洗浄便座付の場合は、それぞれに付いている説明書をよく読んでご使用ください。

4

部品の点検、交換のしかた

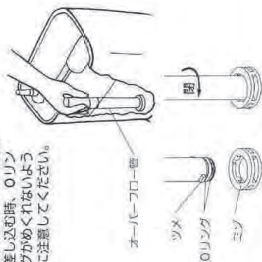
止水栓の開閉方法



時計回り……閉
反時計回り……開

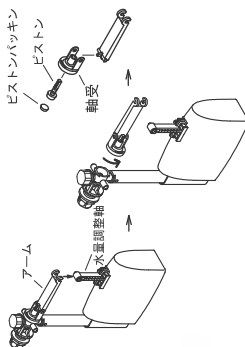
ロータンクの水抜き

- ① 止水栓を開めてください。
 - ② 手洗栓付の場合は、フタをすらしてください。
 - ③ ロータンクのフタをあけてください。
 - ④ オーバーフロー管をあけてください。水が屋外に排出されます。
 - ⑤ オーバーフロー管の取付は、ツメの位置を合せて差し込み、回してください。そのままに持ち上げて外れないことを確認してください。
- (注) 変換機構、オリングがめくれぬように注意してください。



ボールタップの部品交換

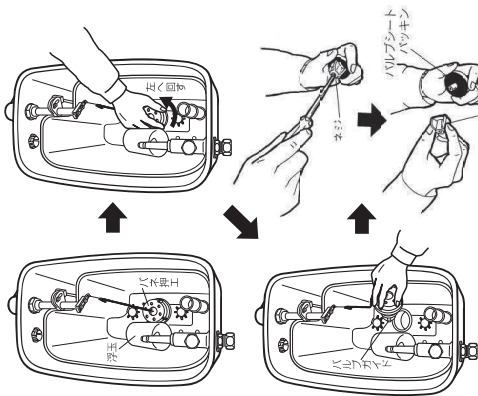
- ① 止水栓を開めてください。
- ② 手洗栓付の場合は、手洗栓を外してください。
- ③ ロータンクのフタをあけてください。
- ④ ロータンクの水を少し抜いてください。
- ⑤ アームと水量調整軸を外してください。
- ⑥ 軸受を反時計回りに90度回転して抜いてください。
- ⑦ ピストンパッキンの交換の場合は、このままで交換してください。



部品の点検、交換のしかた

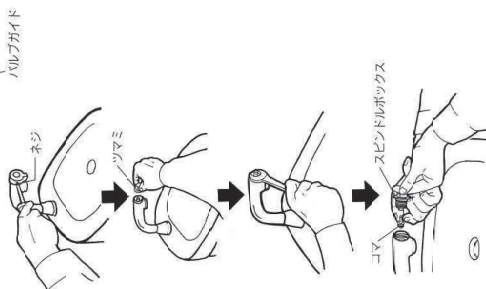
ロータンクバルブの点検、部品交換

- ① 止水栓を開めてください。(7頁参照)
 - ② ロータンクのフタをあけてください。
 - ③ ロータンクの水抜きをしてください。(7頁参照)
 - ④ ハネ押工を反時計回りに回し持ち上げて外してください。その際、ボールタップの浮玉が邪魔な場合は、浮玉を外してから行ってください。
 - ⑤ クサリを持って引き上げてください。
 - ⑥ ナドライバーでネジを外して、バルブガイドを外してください。
 - ⑦ バルブシートパッキンに傷やいたみ、ゴミかみがないかを点検してください。
 - ⑧ 傷やゴミかみがある場合は、裏返しにして使用してください。
 - ⑨ いたんでいいる場合は、部品交換してください。
- 組立は、逆の手順で行ってください。



手洗栓コマの交換

- ① 止水栓を開めてください。(7頁参照)
 - ② ツマミを開いて水を抜いてください。
 - ③ キャップを外し、ナドライバーでネジを外して、吐水栓レバーを外してください。
 - ④ 自在スバサでスピンドルボックスを回して外してください。
 - ⑤ コマを取り出してください。
 - ⑥ 傷やいたみ、ゴミかみがないかを点検してください。
 - ⑦ ゴミかみがある場合は、ゴミを取り除いてください。
 - ⑧ 傷やいたみがある場合は、市販のコマと交換してください。
- 組立は、逆の手順で行ってください。



⚠️ 注意 上記の部品交換以外の修理、分解、改造は、修理技術者以外絶対に行わないでください。

凍結のおそれのあるとき

⚠️ 注意 トイレ内が0℃以下になると、水が凍結して器具が破損する恐れがあります。次の中から適切な処置を選んで実施してください。

1 室内暖房

トイレ室内を暖房してください。

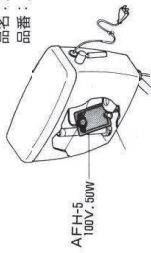
2 ロータンクの水抜き

7頁の「ロータンの水抜き」を参照して、ロータンの水を抜いてください。また、便器内に溜まっている水もレバーハンドルを操作して排出してください。

3 凍結防止ヒーターの利用

○別途凍結防止ヒーターをご利用いただき、ロータンの内に入れて凍結防止してください。

品名：凍結防止ヒーター
品番：AFH-5



AFH-5
100V 50W

○給水管や手洗栓には、市販の水連凍結防止ヒーター（クーヒーター）を巻きつけてご使用ください。

☆凍結した場合

まず、トイレ室内を暖めてください。

○便器、ロータングが凍結した場合………40℃程度のぬるま湯を注ぎ、徐々に解凍してください。熱湯をまいて急激に暖めると配管が破損したり、プラスチックが破損、変形しますので、ご注意ください。

○給水管、手洗栓等が凍結した場合………お湯に浸した雑巾等をあてて解凍してください。

長期間使用しないとき

⚠️ 注意 旅行など長期間不在のときや長期間使用しないときは、次のことを行ってください。行わないと、不在中に漏水等が起った場合、水浸しになり家財を濡らす原因となります。

① 止水栓を閉めてください。(7頁参照)

② ロータンの水抜きをしてください。(7頁参照)

再び使用する場合

① ロータンの水抜きを元に戻してください。(7頁参照)

② 止水栓を開いてください。(7頁参照)

③ ロータンクの中に水が溜まったことを確認してください。

🔧 暖房便座、温水洗浄便座、凍結防止ヒーター等の電気製品をご使用の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

仕様

外 寸	幅360 [㊦] ・奥行760 [㊦] ・高さ875 [㊦]	FA-5 FA-5T	幅380 [㊦] ・奥行730 [㊦] ・高さ875 [㊦]	FA-4 FA-4T	幅380 [㊦] ・奥行712 [㊦] ・高さ795 [㊦]
重 量	約40kg		約38kg		約24kg
材 質	陶器		陶器		PP樹脂
ロータング	陶器		陶器		PP樹脂
便 座	PP樹脂		PP樹脂		PP樹脂
洗 浄 水 量	約350 [㊦] cc		約350 [㊦] cc		約7 [㊦] ℓ
ロータング容量	約10 [㊦] ℓ				約7 [㊦] ℓ

消耗部品の取り替え、修理

長年のご使用やお手入れが不十分な場合、部品の取り替え、修理が必要となります。

主な取替、修理部品	材 質	使 用 箇 所
フラッシュディスク	プラスチック	フラッシュバルブ
バルブシートパッキン	ゴム	ロータングバルブのパッキン
スピンドルパッキン	ゴム	ボールタップのパッキン

■保証期間経過後、および注意事項をお守りいただけなかった場合の修理は有料となります。

●部品の保有期間
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。
※保証期間経過後については、当社までご相談ください。

水洗便器としての注意事項(本水洗に切り替えた場合)

FA-5 FA-4は別売の本水洗切替部品セットAPHZ71を使用することで水洗便器に改造できます。

節水のためにロータング内にベクトルポットやピンなどの異物を入れないでください。内部金具に干渉して故障の原因となります。また、洗浄水量不足により、便器詰まり、汚水配管詰まりなどを起こし、排水しきれず便器からあふれ溢れを招く原因となります。

便器に新聞紙・紙おむつ・ティッシュペーパー・生理用品等を流さないでください。必ずトイレトベラーをご使用ください。

便器詰まり・汚水配管詰まりなどを起こし、排水しきれずに便器からあふれ溢れを招く原因となります。

便器が詰まった場合、市販の吸引器(ラバーカップ)を使って取り除いてください。また、詰まったままレバー操作して洗浄水を流さないでください。

便槽についての注意事項

⚠️ 警告 マンホールのフタは、必ず閉めてください。また、ロック機構のあるものは、必ずロックをしてください。転落事故の原因となります。また、お子様にさわらせないでください。

⚠️ 注意 通常の埋設工事を行った便槽の上には、車などの重層物をせないでください。車などかかると、特殊工事が必要になりますので専門の工事業者にご相談ください。便槽に圧力がかかり破損したり、マンホールが割れて転落事故の原因となります。

便槽の中へ薬品類、殺虫剤(うじ殺し含む)、洗浄剤等を投入しないでください。便槽に変形、亀裂が発生して漏水して漏水の原因となります。

簡易水洗便器 F8-DG 取扱説明書

電磁バルブ式・洗浄ガン付

安全にお使いいただくために

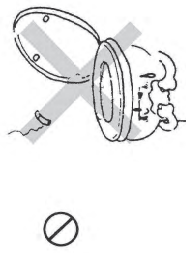
お客様に事故のないよう安全にお使いいただくための注意事項をあげております。ご使用前に、よくお読みのうえ正しくお使いください。この説明書は、以下のように注意事項を区分して各々意味があります。

用語および記号の説明

- 警告** 守らないと、火災や重傷を負うことがあります。
- 注意** 守らないと、ケガをしたり、家財に損害を与えることがあります。
- 「してはいけません」 (一般的な禁止記号)
- 「指示通りにしなさい」 (一般的な行動指示記号)
- 「風呂、シャワーなどの水場で使用してはいけません」

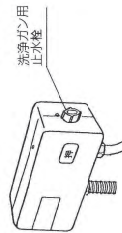
警告

便器の中にタバコの吸ガラを捨てないでください。火災や漏水の原因、便器の破損やゴム、プラスチックの変形の原因となります。

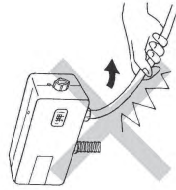


注意

洗浄ガン使用後は、必ず元栓（洗浄ガン用止水栓）を閉めてください。洗浄ガンが破損したり、漏水した場合、家財を濡らす原因となります。



洗浄ガンのホースを無理に引っばったり、ねじったり、曲げたり、傷つけたりしないでください。



掃除には、中性洗剤以外使用しないでください。トイレ用または食器用の中性洗剤を使用してください。次の様な洗剤、薬品はプラスチック・ゴム部品が変形・変質して便器や便槽の故障の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

- ・ 塩酸、クレンザー、ベンジン、シンナー類
- ・ ウォン殺し、殺虫剤、その他薬品

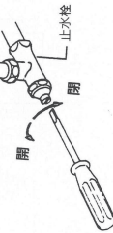
注意



注意

長期間使用しないときは、止水栓を開めて、水を放さしてください。

漏水したとき、家財を濡らす原因となります。詳しくは、9頁の「長期間使用しないとき」を参照してください。



凍結の恐れがあるときは、室内暖房を考慮してください。

凍結による破損で漏水し、家財を濡らす原因となります。詳しくは、9頁の「凍結のおそれのあるとき」を参照してください。



このようなこともご注意ください。

電磁バルブに水をかけないでください。浴室内の水のかかる所や表面に水滴が生じよつた湿気の多い場所では使用しないでください。また、乾電池が水に濡れると液漏れの原因になります。



電磁バルブの押しボタンは、軽く押しして操作してください。無理に強く押すと、故障の原因となります。



また、押しボタン操作後、洗浄水が止まるのを確認してから便器を離れてください。

簡易水洗便器は、汲み取り式です。便槽の容量をお確かめの上、汲み取ってください。

使用している便槽の容量と通常の汲み取り量をお確かめの上、正月やお祭など来客が多く使用量が多かったときは、便槽が一杯になっていないかを点検し、早めに汲み取ってください。汲み取り業者は、役場等に問い合わせてください。



この便器には、使用水道圧があります。使用水道圧範囲：1.5~7.0kGf / 0.1

水道圧0.4~1.5kGf / 0.1でも使用できますが、便器の洗浄力が多少弱くなります。特に家庭用ポンプを使用されている、ポンプから便器までの距離が遠かったり、他の配管を開いたりした場合に水道圧が低くなります。そのときは、洗浄ガンを使用してください。また、水道圧7.0kGf / 0.1以上では器具の破損や故障の原因となります。



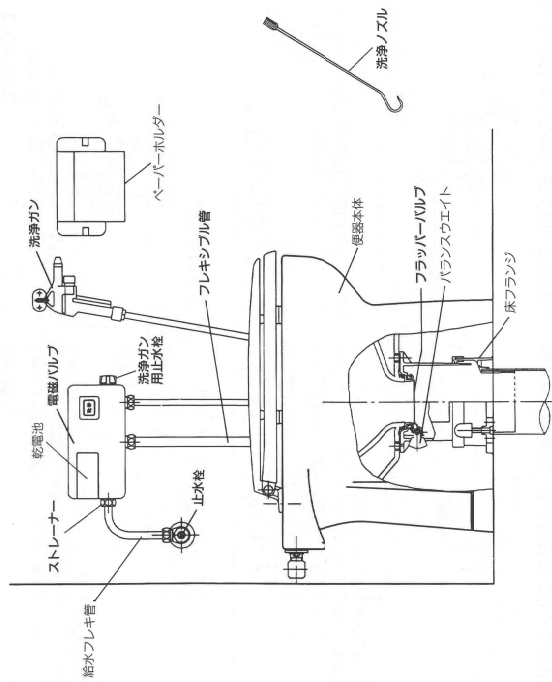
紙は、必ず市販のトイレットペーパーを使用してください。

ティッシュペーパーや回し紙（新聞紙、雑誌等）等は水に溶けにくいいため、排水管が詰まる原因となりますので使用しないでください。また、生理用品等も便器へ捨てないでください。

幼児、老人、身体のご不自由な方が使用するとき、周囲の方が常に注意をしておいてください。

便器の中に熱湯をかけないでください。プラスチックやゴムが変形して故障の原因となります。

各部の名称とその役割



フラップバルブ	汚物の排出弁と便槽からの臭気を遮断する役目をします。フラップバルブは、オモリのバランサーで開閉します。	洗淨ガン用止水栓	洗淨ガンの元栓の役目をします。時計回り：閉、反時計回り：開。洗淨ガン使用後は必ず開けてください。
電磁バルブ	押しボタンを押すと、電磁弁が開いて洗淨水が流す役目をします。また、これは基板を内蔵していて乾電池で動作します。	止水栓	便器の元栓の水勢を調整する役目をします。水を止めるときは、この止水栓を閉めてください。
洗淨ガン	洗淨水だけでは流れにくい汚物やトイレトイレットペーパーをこれで流す役目と掃除の時、洗淨ノズルを取り付けて使用する役目をします。	乾電池	基板で制御して電磁弁を動作させる役目をします。単3アルカリ乾電池×4本を使用しています。
洗淨ノズル	洗淨ガンの先端に取り付けてフラップバルブの裏等を掃除する役目をします。	フレキシブル管	電磁バルブから出た水はここを通過して便器に流れます。
ストレーナー	水道管内のゴミや砂を取り除いて電磁バルブに水を送る役目をします。		

ご使用方法

1 ご使用前に

便器を取り付けて最初に「ご使用される」ときは、「止水栓が開いている」ことを確認してください。

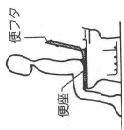
必要以上に水を使わないでください。

便器から排出された洗淨水や汚水は、便槽に溜まります。必要以上に洗淨水を使ったり、便器から雑排水等を捨てるとその分汲み取り料が増えますので、ご注意ください。

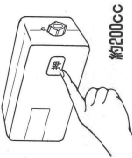
2 便器の使い方

■大便・女子小便の場合

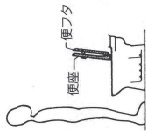
①便フタを上げ、便座に座って使用してください。



②使用後、電磁バルブの押しボタンを軽く押してください。洗淨水が流れてきます。洗淨水だけでは汚物やトイレトイレットペーパーが流れないときは、洗淨ガンを使用してください。



①男子小便の場合
①便フタ・便座を両方共上げて使用してください。

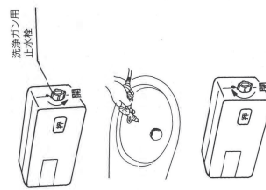


②使用後、電磁バルブの押しボタンを軽く押してください。洗淨水が流れてきます。



3 洗淨ガンの使い方

- ①洗淨ガン用止水栓を反時計回りに回して開けてください。
- ②洗淨ガンを持ってください。
- ③洗淨面をぬがけ、押しボタンを押して洗淨してください。
- ④洗淨ガン使用後は、必ず洗淨ガン用止水栓を閉めてください。
- ⑤洗淨ガンを一度打ちして水を抜いた後、元に戻してください。



4 ご使用後に

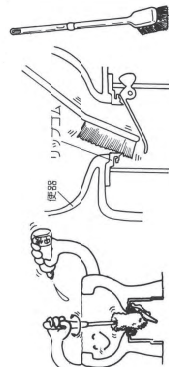
△注意 押しボタン操作後、洗淨水が止まるのを確認してから便器を離れてください。

① 脱脂便座や温水洗淨便座付の場合は、それぞれに付いている説明書をよく読んでご使用ください。

お手入れのしかた

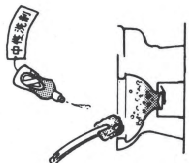
1 フラッパーバルブのお手入れ

特に、フラッパーバルブの弁とゴム部分は、汚物が付着しやすいため、市販のトイレ用ブラシ（ナイロン製毛ブラシ）で、1週間に1～2回程度は掃除してください。



2 便器のお手入れ

中性洗剤を使ってスポンジが柔らかい布で掃除してください。



4 電磁バルブのお手入れ

柔らかい布で拭き取ってください。汚れのひどいときは、柔らかい布を100倍程度に薄めた中性洗剤につけ、固く絞ってから拭いてください。そのあと必ず固く絞った柔らかい布で水拭きして洗剤を拭き取ってください。



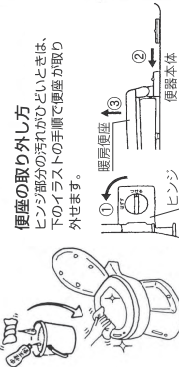
5 金具のお手入れ

金具はステンレスやメッキをしていますが、放っておくとサビが生じます。柔らかい布で拭いてください。



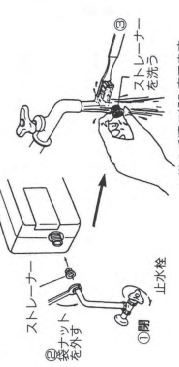
3 便座のお手入れ

柔らかい布で水拭きしてください。汚れのひどいときは、100倍程度に薄めた中性洗剤を柔らかい布につけ、固く絞ってから拭いてください。そのあと必ず固く絞った柔らかい布で水拭きして洗剤を拭き取ってください。



6 ストレナーの掃除

電磁バルブにゴミや異物が入らないように、給水口にストレーナーを付けています。電磁バルブの押しボタンを押しても洗浄水の出が悪いときは、次の要領でストレーナーを掃除してください。



お手入れのしかた

7 洗浄ガン、洗浄ノズルでのお手入れ

フラッパーの裏面や回転部分に汚物が付着すると、フラッパーのバランスが悪くなり、フラッパーの開き放しや開かなくなる原因となります。洗浄ガンと洗浄ノズルを使って週に1～2回程度掃除してください。

① 洗浄ノズルを洗浄ガンの先端にねじ込んでください。



② 洗浄ガン止水栓を反時計回りに回して開いてください。



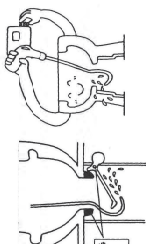
③ 洗浄ノズルの先端でフラッパーを半分程度開いてください。



④ フラッパーの裏面や根元、リップゴムの裏をきれいに洗浄してください。



⑤ 掃除が終わったら、洗浄ガン止水栓を開けてから洗浄ノズルを外し、洗浄ガンを一度空打ちして水を抜いて元に戻してください。



この部分も洗浄してください

(注意)

洗浄ガンのボタンを押すとノズルの先端から水が出ますので、水がかからないようにご注意ください。

⚠ 注意

洗浄ガン使用後は、必ず元栓(洗浄ガン止水栓)を開めてください。

洗浄ガンが破損したり、漏水した場合、取付を繰り返す原因となります。



故障・異常の見分け方と処置方法

まず、故障・異常に気付いたらすぐに止水栓を閉めてください。

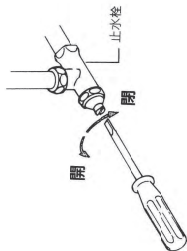
現象	原因	処置方法
便器に水が出ない。	<p>断水している。</p> <p>止水栓が閉まっている。</p> <p>ストレーナーが目詰まりしている。</p> <p>乾電池が切れている。</p> <p>電磁バルブ内の配線が接続されていない。</p>	<p>近くの蛇口の水を確認してください。</p> <p>止水栓を開いてください。(8頁参照)</p> <p>ストレーナーを掃除してください。(5頁参照)</p> <p>単3アルカリ乾電池を交換してください。(8頁参照)</p> <p>配線を接続してください。(8頁参照)</p>
便器への水が止まらない。	乾電池が+-逆向きに付いている。	<p>①すぐに、止水栓を閉めてください。</p> <p>②8頁を参照して正しく乾電池を取り付けてください。</p>
床に水漏れしている。	小便が飛び散っている。	床を乾いた雑巾等で拭き取り、小便がどろかを確認してください。
フラッパーバルブを開いても汚物を排出しない。	便槽が一杯になっている。	便槽のマンホールをあげて確認し、汲取り業者に依頼してください。
フラッパーが開き放しになっている。	便器と便槽の間の配管詰まり。	市販のバイブレーターやトイレ洗浄機等で詰まりを取り除くか、お買い上げ店又は専門業者に連絡してください。
フラッパーが閉じ放しになっている。	フラッパーの裏面や回転部分に汚物が付着している。	洗浄ガンと洗浄ノズルで掃除をしてください。(6頁参照)
フラッパーが開かない。	風量の大きい排気扇(臭突ファン)を取り付けている。	排気扇の電源プラグをコンセントから抜いて使用しないか、または、排気扇を風量70m ³ /h以下(当社排気扇のものに取り替えてください)。
洗浄した後に大きな音がする。	フラッパーの裏面や回転部分に汚物が付着している。	洗浄ガンと洗浄ノズルで掃除をしてください。(6頁参照)
	ウォーターハンマー	<p>便器の洗浄に影響のない程度に止水栓を軟めてください。</p> <p>①まず、止水栓を完全に閉めてください。</p> <p>②次に、止水栓を1/4回転づつ開いては電磁バルブの押しボタンを押し、便器の洗浄を確認しながら開閉してください。</p> <p>または、別途ウォーターハンマー防止器(品番:APH-23)をご利用ください。</p>

- 上記処置で直らない場合は、**止水栓を開けたまま**にしてお買い上げ店または当社アフターサービスまでご連絡ください。アフターサービスに修理を依頼される場合は、1頁をお読みください。
- 処置や修理が終わるまでの間は、**止水栓を開けたまま**にして、ご使用をひかえてください。やむを得ず使用する場合は、バケツ等で便器に直接流してください。

部品の点検、交換のしかた

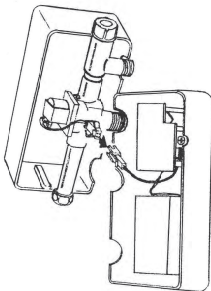
止水栓の開閉方法

時計回り……………開
反時計回り……………閉



電磁バルブ内の配線の接続

電磁バルブ内の基板と電磁弁の配線を接続します。接続しないと、押しボタンを押しても水が出ません。

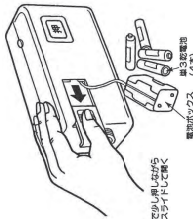


乾電池の交換

付属の単3アルカリ乾電池×4本をセットしていますので、確認してください。

- ①左にスライドして電池フタを開けてください。
- ②電池ボックスを手前に引き出してください。
- ③単3アルカリ乾電池が4本とも(+)と(-)が間違っていないかを確認してください。

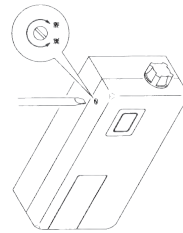
(注意)
・新しい乾電池と使用済乾電池を使い分け乾電池を混ぜて使用しないでください。
・乾電池の(+)と(-)を確認して正しく入れてください。間違えて逆に入れると、乾電池が液漏れしたり、はれつする恐れがあります。
また、便器への水が放出しないようになります。



洗浄水量の調節

電磁バルブの水量は200cc/回していますが、設置場所の水圧で洗浄水量が変わりますので、水量の多いときや少ないときは調節してください。

時計回り : 増
反時計回り : 減



(注意)
ダイヤルで強く押ししたり、回し過ぎると調節ねじが破損しますので、軽く回してください。

⚠️注意 上記の部品交換以外の修理、分解、改造は、修理技術者以外絶対に行わないでください。

凍結のおそれのあるとき

⚠️ 注意 トイレ内が0℃以下になると、水が凍結して器具が破損する恐れがあります。次の中から適切な処置を選んで実施してください。

1 室内暖房

トイレ室内を暖房してください。

2 電磁バルブの水抜き

電磁バルブの水抜きを次の手順で行ってください。

- ① 止水栓を閉めてください。
- ② 電磁バルブの押しボタンを2～3回押して水抜きしてください。
- ③ 洗浄ガンのボタンを2～3回押して水抜きしてください。

3 凍結防止ヒーターの利用

給水管等は、巾着の水凍結防止ヒーター(ケーブルヒーター)を巻きつけてご使用ください。

☆凍結した場合

- まず、トイレ室内を暖めてください。
- 便器が凍結した場合………40℃程度のぬるま湯を注ぎ、徐々に解凍してください。
熱湯を注いで急激に暖めると陶器が破損したり、プラスチックが破損、変形しますので、ご注意ください。
- 電磁バルブが凍結した場合………トイレ室内を暖めて解凍してください。
- 洗浄ガンが凍結した場合………お湯に浸した雑巾等をあてて解凍してください。
- 給水管が凍結した場合………お湯に浸した雑巾等をあてて解凍してください。

長期間使用しないとき

⚠️ 注意 旅行など長期間不在のときや長期間使用しないときは、次のことを行ってください。行わないと、不在中に漏水等が起こった場合、水浸しになり家財を濡らす原因となります。

- ① 止水栓を閉めてください。(8頁参照)
 - ② 電磁バルブの押しボタンを押して水抜きをしてください。
 - ③ 洗浄ガンのボタンを押して水抜きをしてください。
 - ④ 洗浄ガン用止水栓を閉めてください。
- 再び使用する場合
- ① 止水栓を開いてください。(8頁参照)

⚠️ 暖房便座、湯水洗浄便座、凍結防止ヒーター等の電気製品をご使用の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

仕様

外觀寸法	幅：365 ^{mm} 、奥行：520 ^{mm} 、高さ：425 ^{mm}
重量	約24kg
材質	便器本体：陶器 便座：ABS樹脂 電磁バルブ：ABS樹脂、青銅鋳物、他
洗浄水量	約200cc～300cc
水量調整	水量調整ねじ付 0.5～5秒タイマー調整
使用水道圧	1.5～7.0kgf/cm ²
電源	単3アルカリ乾電池×4本

消耗部品の取り替え、修理

長年のご使用やお手入れが不十分な場合、部品の取り替え、修理が必要となります。単3アルカリ乾電池×4本………乾電池は1年を目安に交換してください。(8頁参照)

※保証期間経過後、および注意事項をお守りいただけなかった場合の修理は有料となります。

■部品の保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。最低保有期間経過後については、当社までご相談ください。

便槽についての注意事項

⚠️警告

マンホールのフタは、必ず閉めてください。また、ロック機構のあるものは、必ずロックをしてください。転落事故の原因となります。また、お子様にさわらせてください。

⚠️注意

通常の埋設工事を行った便槽の上には、車などの重量物をのせないでください。車などがのる場合は、特殊工事が必要となりますので専門の工事業者にご相談ください。

便槽に圧力がかかり破損したり、マンホールが割れて転落事故の原因となります。

便槽の中へ薬品類、殺虫剤(うじ殺し含む)、洗剤、芳香剤等を投入しないでください。

便槽に変形、亀裂が発生して漏水の原因となります。

暖房便座 SW-7 普通便座 S-7

お客様用 取扱説明書

このたびは、当社便座をお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。

- ご使用前に、この説明書をよく読んで正しく使用してください。
- 本書は、必要なときにすぐに取り出せるように大切に保管してください。
- また、紛失された場合は、当社までご請求ください。
- 転居時に残される場合は、本書を次の入居の方に必ずお渡しください。

安全にお使いいただくために

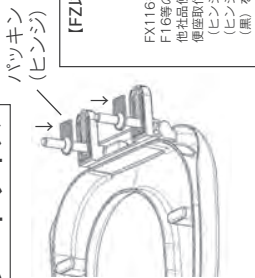
お客様に事故のないよう安全にお使いいただくための注意事項をあげておきます。ご使用前に、よくお読みのうえ正しくお使いください。この説明書は、以下のように注意事項を区分して各々意味があります。

用紙および記号の説明	① …… 「指示通り」にしてください
▲ 警告 …… 怪我や火災、感電の原因となることがあります。	⊘ …… 「分解してはいけません」
▲ 注意 …… 劣化や故障の原因となることがあります。	⊙ …… 「電源プラグをコンセントから抜きなさい」
⊘ …… 「決してはいけません」	⊙ …… 「風呂、シャワーなどの水場で使用してはいけません」

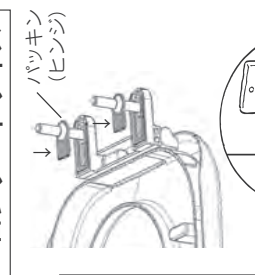
▲ 警告	絶対に行わないでください。 発火して火災や感電の原因となります。(SW-7のみ)
⊘	水につけたり、水をかけないでください。 火災や感電の原因となります。(SW-7のみ)
⊙	次のような方がお使いのときは、ポリウレタンを「低め」または「切」にしてください。 長時間使用して、便座やけい(水ぶくれ等)を起す恐れがありますので、周りの方が常に注意を払ってください。
①	特に注意していただきたい方 ● 幼児、お子様、お年寄り ● 便座の新しい方 ● ご購入や身体のご不自由な方 ● 高齢や視覚が衰えた方 ● 聴力の弱い方 (SW-7のみ)
⊘	電源プラグ(差込プラグ)は、コードを持って抜かないでください。 ● ガツガツしないよう極まで丁寧に差し込んでください。 ● ほこりは、常に拭き取ってください。 火災や感電の原因となります。必ず電源プラグを持って抜いてください。(SW-7のみ)
⊘	便座や便座を損なえたり、破損したりして使ったり、衝撃を加えるような期間はしないでください。また、便座の上に乗らないでください。 便座が破損して火災や感電の原因となります。便座が割れてケガの原因となります。
⊘	濡れた手で電源プラグを持って、操作したりしないでください。 (SW-7のみ)
▲ 注意	雷が近くで発生しているときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。 長期間不在のときや長期間使用しないとき、季節ごとの事故が起きた場合、火災の原因となります。(SW-7のみ)
⊘	掃除には、薄めた中性洗剤以外を使用しないでください。また、絶対に水をかけて洗わないでください。それ以外100倍程度に薄めた中性洗剤を使用してください。それ以外の洗剤、薬品を使用すると電子部品が火災や感電、故障の原因となりますので、絶対に使用しないでください。
⊘	このようにすることもご注意ください。 直射日光が当たらないようにしてください。 変色することがあります。

取付方法

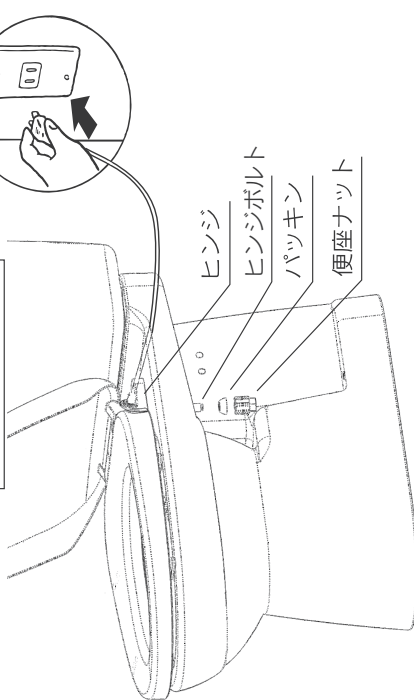
スタンダードサイズ



エロンゲートサイズ



[FZ以外の機種の場合]
FX116等のFX**タイプ、F16等のF**タイプ、他社品便座のときは、便座取付穴径が小さくバックキン(ヒンジ)が浮くため、バックキン(ヒンジ)の穴に取付バックキン(脚)をご使用ください。



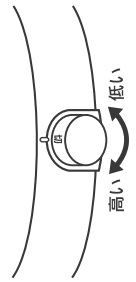
1 便座の取り付け

- ① エロンゲートサイズのときはバックキン(ヒンジ)の向きを180度変えてください。
- ② バックキン(ヒンジ)とヒンジの凹凸を合わせてください。
- ③ 便器の便座取付穴にボルト部を差し込んでください。
- ④ 下からバックキンを入れ、便座ナットで締め付けてください。
※ 締め付けは、スパンナ(19)でヒンジが動かない程度に締めてください。
スタンダードサイズ (FZ300・FZ400・FZ40T・F8DG・F8CFG)
エロンゲートサイズ (FZ500・FZ50T)

2 電源プラグを差し込む

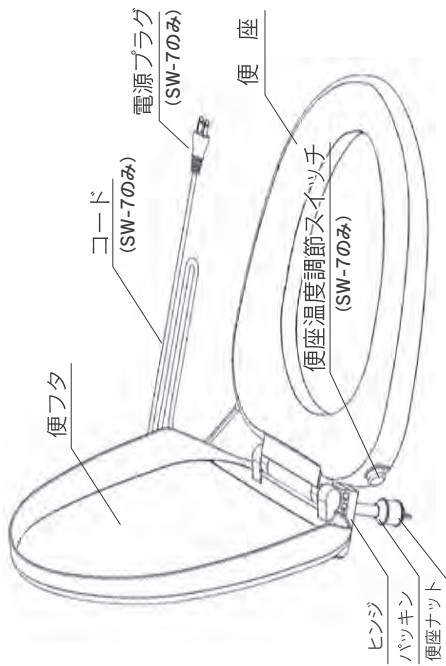
▲ 警告 (SW-7のみ) 交流100Vのコンセントに根元まで確実に差し込んでください。

ご使用方法 (SW-7のみ)



- 1 使用前にご使用前に、電源プラグがコンセントに根元まで確実に差し込まれていることを確認してください。
- 2 温度調節の方法
温度調節は、温度調節ポリウレタンを回して適温になるよう調節してください。

各部の名称



仕様 (SW-7のみ)

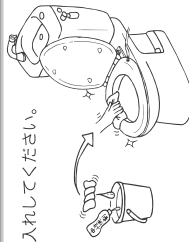
定格	交流100V-50W	50Hz/60Hz	本体材質	PP樹脂
表面温度	調整範囲	切、約25℃～45℃	周囲使用温度	0℃～40℃
安全装置	温度ヒューズ	76℃	寸法 (mm)	幅388×奥行515×高さ65
電源コード長さ	1m	断線保護機能	重量	2kg

お手入れのしかた

最初に、必ずスイッチを「切」にして電源プラグをコンセントから抜いてお手入れしてください。

便座、便フタのお手入れ

固く絞った柔らかい布で水拭きしてください。
汚れのひどいときは、柔らかい布を100倍程度に薄めた食器用中性洗剤につけ、強く絞ってから拭いてください。
そのあと必ず強く絞った柔らかい布で水拭きして洗剤を拭き取ってください。



故障・異常の見分け方と処置方法 (SW-7のみ)

まず、故障・異常に気がいたら次の事をお確かめのうえに電源を「切」にして電源プラグをコンセントから抜いてください。

現象	原因	処置方法
便座が暖まらない。	電源プラグが差し込まれていない。	電源プラグを差し込む。
	スイッチが「切」になっていない。	スイッチを入れる。
	ブレーカーが落ちていない。	ブレーカーを入れる。
	停電している。	他の電気器具で確認する。

⚠️ こんな時は特に注意

- 便座が破損(割れ等)しているとき
- コードや電源プラグが傷んでいるとき
- ショートして焦げた様な跡があるとき
- 便座が異常に熱いとき
- 便座が暖まらないとき

⚠️ 警告

上記処置でも直らない場合やこれ以外の故障・異常のときは、スイッチを「切」にして電源プラグをコンセントから抜いて、直ちにお買い上げ店または当社アフターサービスまで修理を依頼してください。そのまま使用すると感電やけがの原因となります。

長期間使用しないとき (SW-7のみ)

⚠️ 注意

旅行など長期間不在のときや長期間使用しないときはスイッチを「切」にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
予期せぬ事故が起きた場合、火災の原因となります。

ストローレ小便器 GT-5 (中型)・3 (小型)・2 (幼児用) 取扱説明書

安全にお使いいただくために

※本機には車載のないお住まいにお使いいただくための注意事項を付けておきます。ご使用前に、この説明書をよくお読みください。

小便槽中にタンクにのびがたを溜めたり、乾燥をかけないでください。
小便器が詰まって汚水があふれ床を濡らしたり、小便器の破損やゴムのプラスチック部品の変形の原因となります。

掃除には中性洗剤以外を使用しないでください。
酸性、アルカリ性の洗剤、漂白剤、塩素系、アンモニア系、ベンジン、シンナー、アクリル系の洗剤、その他薬品は、部品が変形や変質して破損の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

長期使用しないときは、止水栓を閉めてください。
凍結の恐れがあるときは、室内暖房、水抜きなどを行ってください。
凍結による破損で漏水し、家財を濡らす原因となります。

電磁ハルプ式の場合、押しボタンは強く押ししないでください。
また、操作後、洗浄水が止まることを確認してください。

電磁ハルプ式とセンサー式の場合、ハルプに水をかけないでください。
ハルプが故障したり乾電池が液漏れする恐れがあります。

センサー式の場合、センサー類にタンクを押し付けたり、汚したセンサーが故障したり乾電池が液漏れする恐れがあります。
誤動作して水が放出しなくなります。

簡易水洗として使用する場合は、便槽の容量を超過の上、汲み取ってください。
使用量が多いときは、便槽が一杯にならないうちに水を点検し始めに汲み取ってください。汲み取り業者は、便槽等にお問合せください。

所定の使用水量を超過範囲内でご利用ください。
器具の故障や水の放出の原因となります。

ご使用方法

フラッシュバルプ式



止水栓
水量調整
時計回り・逆
反時計回り
押しボタンを連続して押さず、約1~2秒押し止めます。

【注意】
押しボタンを連続して押さず、約1~2秒押し止めます。
連続して押すと、洗浄水が出なくなることがあります。これは、異常ではありません。
5秒経ってから押すと流れます。

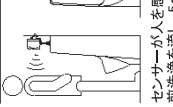
電磁ハルプ式



止水栓
水量調整
時計回り・逆
反時計回り
押しボタンを軽く押し、5~7秒後に本洗浄を自動で流します。
その前に離れると洗浄水は流れません。

【注意】
押しボタンを軽く押し、5~7秒後に本洗浄を自動で流します。
その前に離れると洗浄水は流れません。

センサー式



止水栓
水量調整
時計回り・逆
反時計回り
センサーが人を感知してから2秒以内に本洗浄を流し、5~7秒後に本洗浄を自動で流します。
その前に離れると洗浄水は流れません。

【注意】
センサーが人を感知してから2秒以内に本洗浄を流し、5~7秒後に本洗浄を自動で流します。
その前に離れると洗浄水は流れません。

お手入れ

便槽のお手入れ

中性洗剤を使って掃除してください。

金具のお手入れ

金具は、放っておくとサビで汚れたりします。柔らかい布で拭いてください。金具の表面をキズつけるものは使用しないでください。

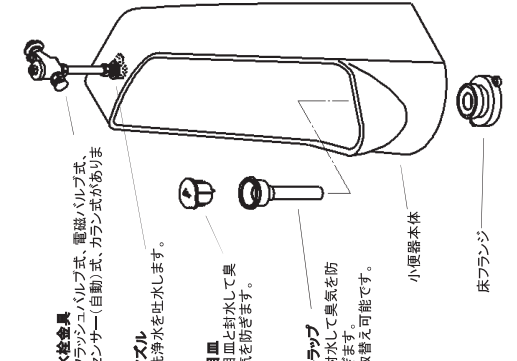
プラスチックのお手入れ

電磁ハルプ式、センサー式、自動水栓などのプラスチック部のお手入れには、柔らかい布で拭いてください。洗剤は、中性洗剤を使用してください。強くこすると、表面が傷つき、汚れが付きやすくなります。

センサーのお手入れ

センサーは、柔らかい布で乾拭きしてください。

各部の名称とその役目



水栓金具
フラッシュバルプ式、センサー(自動)式、カラん式
ノズル
目皿
トラップ
小便器本体
床フランジ

故障・異常の見分け方と処置方法

まず、故障や異常に気付いたらすぐに止水栓を閉めてください。

現象	原因	処置方法
水が出ない	止水栓が閉まっている ホタンを連続して押し続けている ストレーナーの掃除 乾電池切れ(電磁ハルプ・センサー式の場合) センサー式はLEDランプ点滅します。乾電池を交換 配線を接続 センサー式の前に7秒以上立ってください。	止水栓を開く 5秒以上開閉を空けて押すようにする ストレーナーの掃除 乾電池が切れると、電磁ハルプ式はLEDランプ点滅、センサー式はLEDランプ点滅します。乾電池を交換 配線を接続 センサー式の前に7秒以上立ってください。
水が止まらない	水圧が低い(フラッシュバルプ式の場合) 小穴詰り 乾電池が+-逆についている(電磁ハルプ式の場合) ハルプのハンギングのゴミ詰り 排水トラップの詰り、汚れ	0.04MPa以下の場合、カラん式にしてください。 分辯掃除が必要。止水栓を閉めメンテナンスを依頼 正しく乾電池を取り付ける 分辯掃除が必要。止水栓を閉めメンテナンスを依頼 目皿を外して、トラップを掃除 目皿とトラップの交換 床を拭いて小便がどうなるかを確認 洗浄に影響のない程度に止水栓を絞る 水道配管の固定が少なくないで養生しやすいため点検する
臭いがする	臭気を排水しない 臭気がする	
洗浄後に大きな音がする	小便の飛び散り 水撃作用(ウォーターハンマー)	

部品の点検、交換のしかた

乾電池の交換方法 電磁ハルプ式

左右のネジを外してハルプケースを開け、新しい単3アルカリ乾電池×4本と交換してください。



乾電池の交換方法 センサー式

(+)のドライバーでネジを外してください。
裏カバーを手前側に開き中の電池ボックスを取り出してください。新しい単3アルカリ乾電池×4本と交換してください。



【注意】
・新しい乾電池、使用済乾電池、使いかけ乾電池、他の種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
・乾電池の(+)(-)を逆形して正しく入れてください。間違えて逆に入ると、乾電池が液漏れしたり破裂する恐れがあります。
・マンガン乾電池でも使用できますが、寿命が短くなりますので使用しないでください。
・交換の目安は1~2年

洗浄時間、感知距離の変え方 センサー式

工場出荷時は、洗浄時間を下記の時間に設定しています。必要に応じて変更してください。



1~3 本洗浄の時間
下表より時間設定
4 前洗浄のON/OFF 出荷時:ON
5 前洗浄の時間
感知距離調整ポリユーム
出高時:最大(A4白紙にて60~70cm)
時計回り:長くなる
反時計回り:短くなる
黒い印は、感知距離が半分以下に短くなる可能性があります。

洗浄時間(秒)	0.5	1	1.5	2	3	4	6	8
水圧2.0MPa時	105	200	280	350	500	600	1000	1350
水圧0.4MPa時	190	300	420	540	780	1000	1500	2000

前洗浄の洗浄時間(秒)	0.5	1
前洗浄スイッチの番号	On	Off

仕様

品名	ストローレ小便器/中型	ストローレ小便器/小型	ストローレ小便器/幼児用
品番	GT-5FS	GT-5SS	GT-2SS
水栓のタイプ	GT-5F	GT-5S	GT-2F
本体の材質	プラスチック	プラスチック	プラスチック
本体の大きさ	幅380×奥行380×高さ920	幅380×奥行380×高さ850	幅380×奥行340×高さ700
排水構造	トラップ着脱式	トラップ着脱式	トラップ着脱式
電源	-	単3アルカリ乾電池	-

和風簡易水洗便器 J8-DG 取扱説明書

安全にお使いいただくために

お客様に事故のないよう安全にお使いいただくための注意事項をあげております。ご使用前に、よくお読みのうえ正しくお使いください。この説明書は、以下のように注意事項を区分して各々意味があります。

用語および記号の説明

- △ **警告** …… 守らないと、火災や重傷を負うことがあります。
- △ **注意** …… 守らないと、ケガをしたり、器物に損害を与えることがあります。
- ⊘ …… 「してはいけません」(一般的な禁止記号)
- ⊕ …… 「指示通りにしないで」(一般的な行動指示記号)

警告

⊕ 便器の中にタバコの灰ガラを捨てないでください。火災や漏水の原因、便器の破損やゴム、プラスチックの変形の原因となります。



注意

⊕ 洗浄ガン使用後は、必ず元栓(洗浄ガン用止水栓)を開けてください。[洗浄ガン用]の場合、洗浄ガンが破損したり、漏水した場合、糞材を濡らす原因となります。



⊕ ハンドルは、手で静かに操作してください。ハンドルに無理な力を加えたり、衝撃を与えたり、足で操作したりするとケガや故障の原因になりますので、手で静かに操作してください。



⊕ 掃除には、中性洗剤以外使用しないでください。トイレ用または食器用の中性洗剤を使用してください。次の順に洗剤、薬品はプラスチック・ゴム部品が変形、変質して便器や便槽の破損の原因となりますので、絶対に使用しないでください。



⊘ 酸は、アルカリ性の洗剤、漂白剤、塩酸、クレンザー、ペンキ、シンナー類、ワックス、殺菌剤、その他薬品

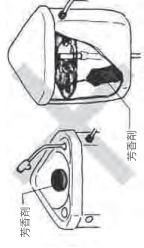
⊕ 洗浄管に垂ったり、つかまったりしないでください。接続部から漏水の場合、糞材を濡らす原因となります。



⊕ 手洗管の金具を持って無理に動かさないでください。手洗管の根元が折れ、漏水の原因となります。

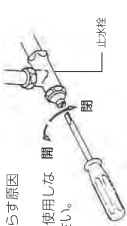


⊕ 投げ込み式、置くだけ等の洗剤、芳香剤は使用しないでください。便器やロータングのプラスチック・ゴム部品が変形・変質して、故障の原因となります。



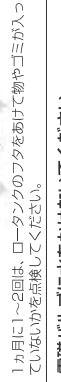
注意

⊕ 長期間使用しないときは、止水栓を閉めて、水抜きをしてください。

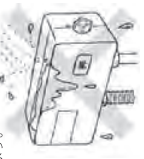


⊕ 漏水したとき、糞材を濡らす原因となります。詳しくは、9頁の「長期使用しないとき」を参照してください。

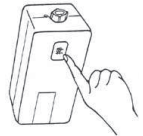
⊕ ロータング内に物やゴミを入れないでください。ロータングの中に物やゴミが入るとそれが給水バルブにかみ込み便器へ水が流れ抜け、便器オーバーフローで排水しきれない場合は便器から水があふれて床が水浸しになります。1か月に1〜2回は、ロータングのフタをあけて物やゴミが入っていないかを確認してください。



⊕ 電磁バルブに水をかけないでください。浴室内の水のかかる所や表面に水滴が生じるような湿度の多い場所では使用しないでください。



⊕ 電磁バルブの押しボタンは、軽く押し操作してください。無理に強く押すと、故障の原因となります。(J8-DG)



⊕ 紙は、必ず市販のトイレットペーパーを使用してください。ティッシュペーパーや薄い紙(新聞紙、雑誌等)等は水に溶けにくいため、排水管が詰まる原因となりますので使用しないでください。また、生理用品等も便器へ捨てないでください。



⊕ 幼児、老人、身体のご不自由な方が使用するとき、周りの方が常に注意をしておいてください。

⊕ 凍結の恐れがあるときは、室内暖房を考慮してください。凍結による破損で漏水し、糞材を濡らす原因となります。詳しくは、9頁の「凍結のおそれのあるとき」を参照してください。

⊕ 手洗器で雑巾等を洗ったり、泥まみれの手を洗わないでください。給水バルブにゴミや砂がこみ込み、漏水の原因となります。また、排水等でロータングに水が補給するときは、きれいな水を入れてください。



⊕ 長年使用して水が出なくなったら、電磁バルブのアルカリ乾電池を交換してください。電磁バルブは、アルカリ乾電池で動作します。乾電池が消耗したら水が出なくなりますが8頁を参照して交換してください。(J8-DG)



⊕ 簡易水洗便器は、汲み取り式です。便槽の容量をお確かめの上、汲み取ってください。使用している便槽の容量と通常の汲み取り量をお確かめの上、正月やお盆など来客が多く使用量が多かったときは、便槽が一杯になっていないかを点検し、早めに汲み取ってください。



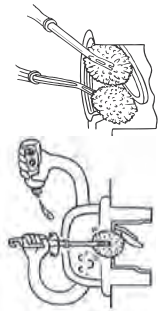
⊕ この便器には、使用水道圧があります。使用水道圧範囲：1.5〜7.0kgf/cm²。水洗圧0.4〜1.5kgf/cm²でも使用できますが、便器の水洗圧が多少弱くなります。特に家庭用ポンプを使用している場合、ポンプから便器までの距離が遠かったり、他の配管を開いたりした場合に水洗圧が低くなります。そのときは、洗浄ガンを使用してください。また、水洗圧7.0kgf/cm²以上では器具の破損や故障の原因となります。(J8-DG)

⊕ 便器の中に熱湯をかけないでください。プラスチックやゴムが変形して故障の原因となります。

お手入れのしかた

1 フラッパーバルブのお手入れ

特に、フラッパーバルブの弁とゴム部分は、汚物が付着しやすいため、掃除をしないと漏水の原因となります。市販のトイレ用ブラシ（ナイロン製毛ブラシ）で、1週間に1～2回程度は掃除をしてください。



2 便器のお手入れ

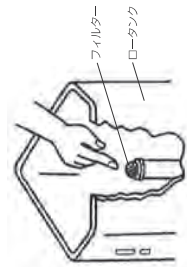
中性洗剤を使ってスポンジが柔らかい布で掃除してください。



○ハンドルを引き上げて、便器に水を溜めて掃除すると大変便利です。

3 タンクフィルターの掃除

JZ
便器への水の出方が悪いときは、フィルターの掃除をしてください。



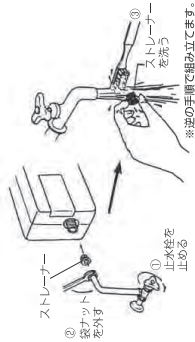
4 電磁バルブのお手入れ

J8-DG
柔らかい布で水拭きしてください。汚物のひどいときは、柔らかい布を100倍程度に薄めた中性洗剤につけ、固く絞ってから拭いてください。そのあと必ず固く絞った柔らかい布で水拭きして洗剤を拭き取ってください。



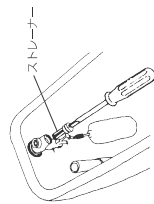
5 ストレーナーの掃除

J8-DG
器具にゴミや異物が入らないように、給水口にストレーナーを付けています。洗剤が悪いときは、次の要領でストレーナーを掃除してください。



6 ストレーナーの掃除

JZ
器具にゴミや異物が入らないように、ボールタップにストレーナーを付けています。ストレーナーが詰まるとロータンクへの給水状態が悪くなりますので、ロータンクへの給水が少ないときは、次の要領でストレーナーを掃除してください。

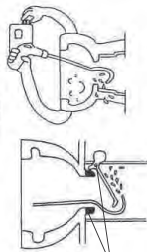


お手入れのしかた

J8-DG

7 洗浄ガン、洗浄ノズルでのお手入れ

フラッパーの裏面や作動部分に汚物が付着すると、フラッパーのバランスが悪くなり、フラッパーの開き放しや開かなくなる原因となります。洗浄ガンと洗浄ノズルを使って週に1～2回程度掃除してください。



- ① 洗浄ノズルを洗浄ガンの先端にねじ込んでください。
- ② 洗浄ガン用止水栓を反時計回りに回して開いてください。
- ③ 洗浄ノズルの先端でフラッパーを半分程度開いてください。
- ④ フラッパーの裏面や根元、リップゴムの裏をきれいに洗浄してください。
- ⑤ 掃除が終わったら、洗浄ガン用止水栓を閉めてから洗浄ノズルを外し、洗浄ガンを一度空打ちして水を抜いて元に戻してください。

この部分も洗浄してください。

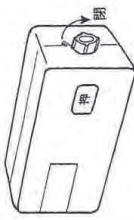
(注意)

洗浄ガンのボタンを押すとノズルの先端から水が出ますので、水がかからないように注意してください。

⚠ 注意

洗浄ガン使用後は、必ず元栓(洗浄ガン用止水栓)を閉めてください。

洗浄ガンが破損したり、漏水した場合、家財を濡らす原因となります。



①

故障・異常の見分け方と処置方法

まず、故障・異常に気付いたらすぐに止水栓を閉めてください。

現象	原因	処置方法
便器に水が出ない、またはロータックに水の溜まらない。	止水栓が閉まっている。 ストレーナーが目詰まりしている。 フィルターが目詰まりしている。	ロータックのフタを明け、近くの蛇口の水を確認してください。 止水栓を開いているかを確認してください。 ストレーナーを掃除してください。(8頁参照) フィルターを掃除してください。(5頁参照)
便器に水が溜まらない。	フラットバルブに汚物、尿石、がけ溜まっている。	フラットバルブの掃除をする。(5頁参照)
便器への水が止まらない。	給水バルブのバルブシフトパッキンが止まらぬまたは、給水バルブのバルブシフトパッキンが変形している。	①すぐに、止水栓を閉めてください。 ②4～5回排水操作してみてください。 ③面が変形している場合は、アフターサービスを依頼してください。
ロータック内の水が止まらない、または、ボールタップからの水が止まらない、手洗の水が止まらない。	ボールタップのパッキンのゴミつまりまたは、ボールタップの時期になっている。	①すぐに、止水栓を閉めてください。 ②「ボールタップの点検」を行ってください。(8頁参照)
床に水漏れしている。	床を覗いた後巾着で拭き取り、小便かどうかを確認してください。	便槽のマンホールをあげて確認し、汲取り業者に依頼してください。
フラットバルブを開いても汚物を排出しない。	便槽が一杯になっている。 便器と便槽の間の配管詰まり。	市販のハイフレクローナーやトイレ洗浄機等で詰まりを取り除くか、お買い上げ店又は専門業者に連絡してください。

現象	原因	処置方法
便器に水が出ない。	排水している。 止水栓が閉まっている。 ストレーナーが目詰まりしている。 乾燥剤が切れている。	近くの蛇口の水を確認してください。 止水栓を開いてください。(8頁参照) ストレーナーを掃除してください。(5頁参照) 単3アルカリ乾電池を交換してください。(8頁参照)
便器への水が止まらない。	電磁バルブ内の配線が接続されていない。	配線を接続してください。
便器への水が止まらない。	乾燥剤が1方向向きに付いている。 乾燥剤が一杯になっている。 便器が一杯になっている。 便器と便槽の間の配管詰まり。	①すぐに、止水栓を閉めてください。 ②8頁を参照して正しく乾燥剤を取り付けてください。 床を覗いた後巾着で拭き取り、小便かどうかを確認してください。 市販のハイフレクローナーやトイレ洗浄機等で詰まりを取り除くか、お買い上げ店又は専門業者に連絡してください。
フラットバルブを開き放しになっている。	フラットバルブの裏面や作動部分に汚物が付着している。	洗浄ガンと洗浄ノズルを掃除してください。(6頁参照)
フラットバルブが開かない。	風呂の排水パイプ器具(臭突フアン)を取り除く。 フラットバルブの裏面や作動部分に汚物が付着している。	排水器具を重量450g以下(当社推奨)のものに取り替えてください。 洗浄ガンと洗浄ノズルを掃除してください。(6頁参照)
洗浄した後に大きな音がする。	ウォーターハンマー	便器の洗浄に影響のない程度に止水栓を絞ってください。 ①まず、止水栓を完全に閉めてください。 ②次に、止水栓を1回転づつ開いては電磁バルブの押しボタンを押し、便器の洗浄を確認しながら調整してください。または、別途ウォーターハンマー防止器をご利用ください。

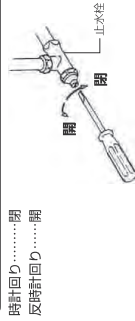
○上記処置で直らない場合は、**止水栓を開いたまま**にしてお買い上げ店または当社アフターサービスまでご連絡ください。アフターサービスに修理を依頼される場合は、11頁をお読みください。

○処置や修理が終わるまでの間は、**止水栓を閉めたまま**にして、ご使用をください。

やむを得ず使用する場合は、水は、バケツ等で便器に直接流してください。

部品の点検、交換のしかた

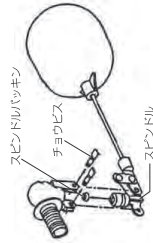
止水栓の開閉方法



時計回り………閉
反時計回り………開

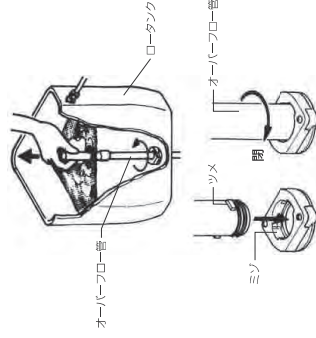
ボールタップの点検、部品交換 JZ

- ①止水栓を閉めてください。
- ②ロータックの水を少し抜いてください。
- ③ラジオペンチでジョロビス(2本)を外してください。
- ④スピンドルを抜き取ってください。
- ⑤スピンドルパッキンに傷やいたみがないかを点検してください。
- ⑥スピンドルパッキンに傷やいたみがある場合は、部品交換してください。



ロータックの水抜き JZ

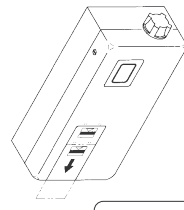
- ①止水栓を閉めてください。
- ②ロータックのフタをあけてください。
- ③オーバーフロー管を反時計回りに一杯回し、引き抜いてください。水が屋外に排出されます。
- ④オーバーフロー管の取付は、ツメの位置を合わせて差し込み、時計回りに一杯回してください。そのまます上に持ち上げ、外れないことを確認してください。
- (注)差し込む際、Oリングがめくれぬように注意してください。



乾電池の交換 J8-DG

- 付属の単3アルカリ乾電池×4本をセットしますので、確認してください。
- ①底にスライドして電池フタを開けてください。
 - ②電池ボックスを事前に引き出してください。
 - ③単3アルカリ乾電池が4本とも(+)(-)が間違っていないかを確認してください。

(注意)
・新しい乾電池と使用済乾電池を混在して使用しないでください。
・乾電池の(+)(-)を正確に正しく入れてください。間違えて型に入ると、乾電池が液漏れしたり、はれつまる恐れがあります。
また、便器への水が放出しになることがあります。

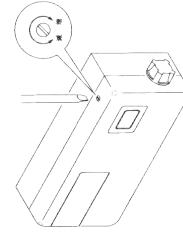


洗浄水量の調節 J8-DG

電磁バルブの水量は200cc/回にしていますが、設置場所の水圧などで洗浄水量が変わりますので、水量の多いときや少ないときは調節してください。

時計回り : 増
反時計回り : 減

(注意)
ドライバーで強く押ししたり、回し過ぎると調節向しが破損しますので、軽く回してください。



△注意 上記の部品交換以外の修理、分解、改造は、修理技術者以外絶対に行わないでください。

凍結のおそれのあるとき

△注意 トイレ内が0℃以下になると、水が凍結して器具が破損する恐れがあります。
次の中から適切な処置を選んで実施してください。

1 室内暖房

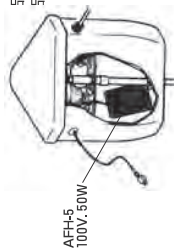
トイレ室内を暖房してください。

2 ロータンクの水抜き (JZ)

8頁の「ロータンの水抜き」を参照して、ロータンの水を抜いてください。
また、便器内に溜まっている水もハンドルを操作して排出してください。

3 凍結防止ヒーターの利用

○別途凍結防止ヒーターをご利用いただき、ロータン内に入れて凍結防止してください。(JZ)



- 品名：凍結防止ヒーター
型番：AFH-5
- !** 説明書をよく読んでご使用ください。
- ・ヒーター部をロータンの水に沈めてから電源プラグをコンセントに差し込んでください。
 - ・使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。ロータン内の水が暖まり、タンクフタの裏側から水滴が落ちることがあります。

○給水管、洗浄管や手洗管には、市販の水道凍結防止ヒーター(テープヒーター)を巻きつけてご使用ください。

☆凍結した場合

まず、トイレ室内を暖めてください。

- 便器、ロータンが凍結した場合………40℃程度のぬるま湯を注ぎ、徐々に解凍してください。
熱湯を注いで急激に暖めると便器が破損したり、プラスチックが破損、変形しますので、ご注意ください。
- 給水バルブ、洗浄管、給水管、手洗管等が凍結した場合 (JZ)
お湯に浸した雑巾等をあてて解凍してください。
- 電磁バルブが凍結した場合………トイレ室内を暖めて解凍してください。(J8-DG)
- 洗浄ガンが凍結した場合………お湯に浸した雑巾等をあてて解凍してください。(J8-DG)

長期使用しないとき

- △注意** 旅行など長期間不在のときや長期使用しないときは、次のことを行ってください。
- 行わないと、不在中に漏水等が起こった場合、水浸しになり家財を濡らす原因となります。
 - ①止水栓を閉めてください。(8頁参照)
 - ②ロータンの水抜きをしてください。(8頁参照)
- 再び使用する場合
- ①ロータンの水抜きを元に戻してください。(8頁参照)
 - ②止水栓を開いてください。(8頁参照)
 - ③ロータンの中に水が溜まったことを確認してください。



凍結防止ヒーター等の電気製品をご使用の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

仕様

JZ

外観寸法	便器本体：幅275×奥行174×高さ177 ^{h)} ロータンク：幅300×奥行300×高さ480 ^{h)} (455 ^{h)})
重量	約35kg
材質	便器本体：陶器 ロータンク：陶器
洗浄水量	小便時：約200cc/大便時：約500cc
ロータンク容量	約50

仕様

J8-DG

外観寸法	幅：275 ^{h)} 、奥行：177 ^{h)}
重量	約22kg
材質	便器本体、陶器、電磁バルブ、ABS樹脂、亜鉛鍍金、他
洗浄水量	約200cc～300cc
水量調整	水量調整ボリューム付 0.5～5秒タイマー調整
使用水道圧	1.5～7.0kgf/cm ²
電源	単3アルカリ乾電池×4本

消耗部品の取り替え、修理

消耗部品の取り替え、修理 J8-DG

長年のご使用やお手入れが不十分な場合、部品の取り替え、修理が必要となります。

長年のご使用やお手入れが不十分な場合、部品の取り替え、修理が必要となります。

主な故障、修理部品	材質	使用箇所
リップゴム	ゴム	フラッシュバルブの水漏れ部のパッキン
フラッシュディスク	プラスチック	フラッシュバルブの水漏れ部の弁
バルブシートパッキン	ゴム	給水バルブのパッキン
スピンドルパッキン	ゴム	ボールタップのパッキン

単3アルカリ乾電池×4本………乾電池は1年を目安に交換してください。(8頁参照)

※保証期間経過後、および注意事項をお守りいただけなかった場合の修理は有料となります。

■部品の保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。最低保有期間経過後については、当社までご相談ください。

便槽についての注意事項

△警告	マンホールのフタは、必ず閉めてください。 また、ロック機構のあるものは、必ずロックしてください。 転落事故の原因となります。また、お子様にさわらせないでください。
△注意	通常の埋設工事を行った便槽の上には、車などの重量物をのせないでください。 車などがのる場合は、特殊工事が必要となりますので専門の工事業者にご相談ください。 便槽に圧力がかり破損したり、マンホールが割れて転落事故の原因となります。 便槽の中へ薬品類、殺虫剤(うじ殺し含む)、洗浄剤、芳香剤等を投入しないでください。 便槽に変形、亀裂が発生して漏水の原因となります。

和風簡易水洗便器 JT 取扱説明書

安全にお使いいただくために

お客様に事故のないよう安全にお使いいただくための注意事項をあげておきます。ご使用前に、この説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

便槽の中にタンクの腐ガスを構ってないでください。
レバーハンドルは、手で動かす操作にしてください。レバーハンドルに無断にかかると、衝撃を与えたり、足で操作したりするとケガや故障の原因となります。

掃除には中性洗剤以外使用しないでください。
酸性、アルカリ性の洗剤、漂白剤、塩素、クレンザー、ベンジン、シンナー類、うし薬、殺虫剤、その他薬品は、部品が変形や変質して故障の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

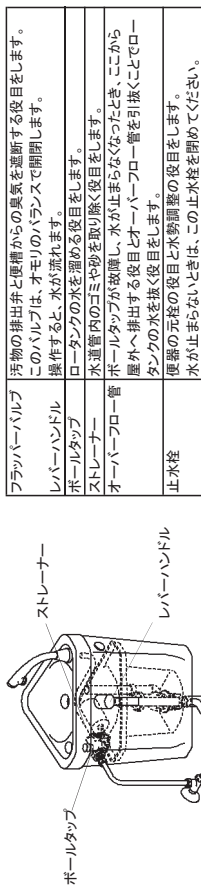
ロータータップ内に物やゴミを入れないでください。
ロータータップの中に物やゴミを入るとハンドルにかみ込み水が止まらなくなり、便槽が溢れることがあります。

投げ込み式、重くだけ等の洗剤、芳香剤は使用しないでください。
便器やロータータップのプラスチック、ゴム部品が変形、変質して故障の原因となります。

簡易水洗便器は、汲み取り式です。便槽の容量を超過の上、汲み取ってください。
使用している便槽の容量と通常の汲み取り量を余裕のうえ、正月やお盆など使用量が多いときは、便槽が一杯にならないか点検し早めに汲み取ってください。汲み取り業者は、役場等にお問合せください。

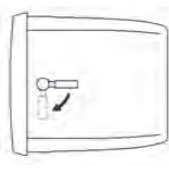
凍結の恐れがあるときは、室内暖房、水抜き、凍結防止ヒーターの利用などを行ってください。
凍結による故障で漏水し、家財を濡らす原因となります。

各部の名称とその役割



フラットバルブ	汚物の排出弁と便槽からの臭気を遮断する役目をします。このバルブは、オモリのバランスで開閉します。
レバーハンドル	操作すると、水が流れます。
ボールタップ	ロータータップの水を遮断する役目をします。
ストレーナー	水道管内のゴミや砂を取り除く役目をします。
オーバーフロー管	ボールタップが故障し、水が止まらなくなると、ここから屋外へ排出する役目とオーバーフロー管を引抜くことでロータータップの水を抜く役目があります。
止水栓	便器の元栓の役目と水勢調整の役目をします。水が止まらないときは、この止水栓を閉めてください。

ご使用方法



レバーハンドルを時計回りに回してください。
洗浄水が流れて止まります。

【注意】
必要以上に水を使わないでください。便槽の汲み取り量が増えます。

洗浄水量調整方法




クサリ(ポリチエーン)の長さを変えることで洗浄水量を調整します。フックとクサリの引っ掛け位置を下げることで水量が増えます。


【注意】
洗浄水量を濡らすと引掛位置を上にする。便器の洗浄が悪くなります。

お手入れ


便器、フラットバルブのお手入れ
フラットバルブはトイレブラシと中性洗剤で週1〜2回程度、またはリップゴム先端もよく掃除してください。




便器のお手入れ
中性洗剤を使用したスポンジか柔らかい布で掃除してください。



金具のお手入れ
金具は、放つおとせたり汚れが付きます。柔らかい布で拭いたり、洗剤水の出が悪いときは、止水栓を閉めてからストレーナーを掃除してください。



ストレーナーの掃除
ボールタップ(フロートバルブ)のストレーナーは、放つおとせたり汚れが付きます。柔らかい布で拭いたり、洗剤水の出が悪いときは、止水栓を閉めてからストレーナーを掃除してください。



故障・異常の見分け方と処置方法

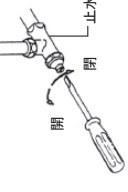
まず、故障や異常に気が付いたらまず止水栓を閉めてください。

現象	原因	処置方法
便器に水が出ない	断水している。	近くの蛇口を確認してください。
ロータータップの水が溜らない	止水栓が閉まっている	止水栓を開く
便器への水が止まらない	ストレーナーのゴミ詰り	ストレーナーの掃除
ロータータップの水又はボールタップの水が止まらない	ボールタップのスピンドルハットキンのゴミ詰り	止水栓を締め、ボールタップの点検を行ってください
手洗の水が止まらない	又はキズ、交換時期になっている	直らないときはアフターサービスを依頼してください
床に漏水	小便の飛び散り	床を拭いて小便かどうかの確認
汚物が排出しない	便槽が一杯になっている	便槽のマンホールを開けて確認し汲み取り業者に依頼
フラットバルブが開きっぱなし	便槽と便槽の配管詰まり	市販のハイブリッドリナー等、詰まりを取り除くか、お買い上げ店又は専門業者に依頼
フラットバルブが開かない	フラットバルブの裏や回転部分に汚れが付着している	フラットバルブの裏や回転部分に汚れが付着しているのを取り除く
フラットバルブが閉まらない	水だけでは閉まらな	オモリを調整してください

○上記処理で直らない場合は、止水栓を閉めてお買い上げ店または当社アフターサービスまでご連絡ください。○直るまでは、止水栓を閉めたままにし、ご使用をひかえてください。やむを得ず使用する場合は、バケツ等で水を流してください。

部品の点検、交換のしかた

止水栓の開閉方法

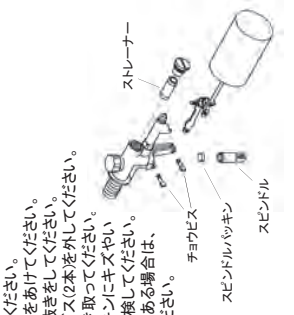
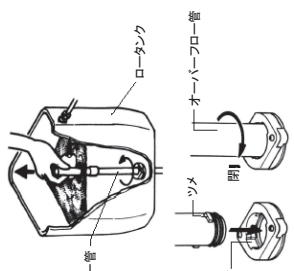


ロータータップの水抜き

- 止水栓を閉めてください。
- ロータータップのフタをあげてください。
- オーバーフロー管を反時計回りに回し、ツメの位置を合わせて引き抜いてください。水が屋外に排出されます。
- オーバーフロー管を取り付けは、ツメの位置を合わせて差し込み、時計回りに回してください。そのままに持ち上げて外れないことを確認してください。

ボールタップの点検、部品交換

- 止水栓を閉めてください。
- ロータータップのフタをあげてください。
- ロータータップの水抜きをしてください。
- ベントチでオモリビス(2本)を外してください。
- スピンドルを抜き取ってください。
- スピンドルハットキンをキズやいたみがないか点検してください。
- キズやいたみがある場合は、部品交換してください。

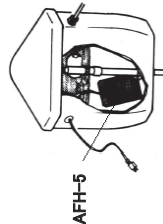


凍結のおそれのあるとき

トイレ内が0℃以下になると、水が凍結して器具が破損するおそれがあります。

次の中から適切な処置を選んで実施してください。

1. 室内暖房
トイレ室内を暖房してください。
2. ロータンクの水抜き
止水栓を閉め、ロータンク内のオーバーフロー管を引き抜いて水を抜いてください。
3. 凍結防止ヒーターの利用
○ ロータンクは、オプションのロータンク用凍結防止ヒーターを使用してください。



凍結防止ヒーターの説明書をよく読んで使用してください。

ヒーター部を水に浸めてから電源プラグをコンセントに差し込んでください。使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 給水管は、水道凍結防止ヒーターを巻き付けてください。

凍結した場合

- まず、トイレ室内を暖めてください。
- 便器、ロータンクが凍結した場合
…40℃程度のぬるま湯を注ぎ、徐々に解凍してください。熱湯を注いで急激に温めると陶器が破損したり、プラスチックが破損、変形しますので注意してください。
- 給水管が凍結した場合
…お湯に浸した雑巾等を当て解凍してください。凍結破損することがありますので、解凍後、漏水する場合はアフターメンテナンスを依頼してください。

長期間使用しないとき

旅行や長期間不在のとき、長期間使用しないときは次のことを行ってください。行わないと、不在中に漏水等が起こった場合、水浸しになり家財を濡らす原因となります。

- ① フラッシュバルブ用止水栓を閉めてください。
- ② 洗浄ガン用止水栓を閉めてください。
- ③ フラッシュバルブと洗浄ガンの水抜きをしてください。

再び使用するときは、フラッシュバルブ用止水栓を開いてください。暖房便座や温水洗浄便座、凍結防止ヒーター等は各々の説明書をお読みください。

仕様

外觀寸法	便器本体 幅:275 ^h 、奥行:874 ^h 、高さ:177 ^h 、 ロータンク 幅:300 ^h 、奥行:300 ^h 、高さ:480 ^h (455 ^h)
重量	約35kg
材質	便器本体、ロータンク:衛生陶器
洗浄水量	約350cc
ロータンク容量	インナータンク付:約5 ^l 、無:約15 ^l

メンテナンス部品について

補修用性能部品の最低保用期間は、製造打ち切り後6年です。最低保用期間経過後については、当社までご相談ください。

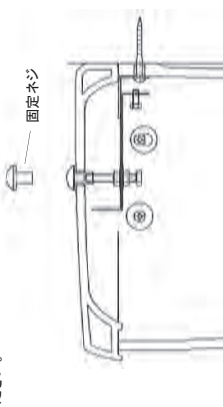
主な取替、修理部品	材質	使用箇所
フロート弁	ゴム	ロータンクバルブのバッキン
スピンバルブ	ゴム	ボールタップのバッキン

便槽についての注意事項

警告	マンホールのフタは、必ず閉めてください。また、ロック機構のあるものは必ずロックしてください。転落事故の原因となります。また、お子様にさわらせないでください。
注意	通常の埋設工事を行った便槽の上には、重などの重物をのせないでください。車などがのる場合は特殊工事が必要となりますので、専門の工事業者に相談してください。便槽に圧力がかり破損したり、マンホールが割れるの転落事故の原因となります。便槽の中へ薬品類、殺虫剤(匂い殺し含む)、洗剤、芳香剤等を入れないでください。便槽に変形、電線が発生して漏水の原因となります。

タンク固定式の外し方

プラスチックで固定ネジを外してからタンクフタを外してください。



ダイワ化成株式会社

本社営業部 福岡市中央区白金1-13-1 TEL 092-521-1800

2012

和風簡易水洗便器 J8-CFG (洗浄ガン付) 取扱説明書

フラッシュバルブ式 J8-CF (洗浄ガン無)

安全にお使いいただくために

お客様に事故のないよう安全にお使いいただくための注意事項をあげておきます。ご使用前に、この説明書をよくお読みの上正しくお使いください。
便器の中にタケノコの殻がらを捨てないでください。
 洗浄ガンが破損したり、漏水した場合は、家財を濡らす原因となります。

洗浄ガンのホースを無理に引っ張ったり、ねじったり、曲げたり、傷つけたりしないでください。
 漏水して家財を濡らす原因となります。

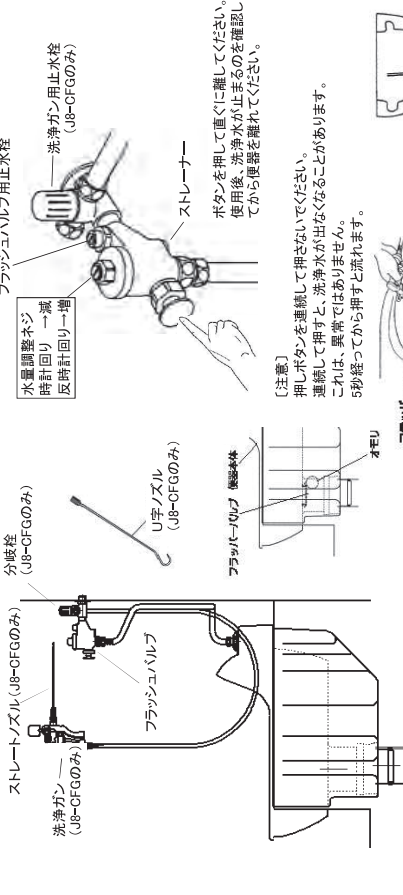
簡易水洗便器は、汲み取り式です。便槽の容量を便槽の上、汲み取りでください。
 便槽の容量と通常の汲み取り量をお確かめのうえ、正月やお盆など使用量が多いときは、便槽が一杯になっていないかを点検し、便に汲み取ってください。汲み取り業者は、役場等にお問合せください。

初原、お年寄り、身体のご不自由な方が使用するときは、周りの凍結の恐れがあるときは、室内暖房、水抜きなどを行ってください。
 凍結による破損で漏水し、家財を濡らす原因となります。

長期間使用しないときは、止水栓を閉めて水抜きをしてください。
 漏水したとき、家財を濡らす原因となります。

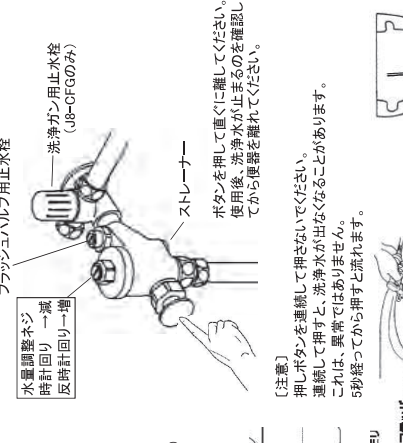
便器の中に熱湯をかけないでください。
 ゴム、プラスチック製品の变形の原因となります。

各部の名称とその役目



フラッシュバルブ	汚物の排出弁と便槽からの臭気を遮断する役目します。このバルブは、オモリで閉鎖します。
フラッシュバルブ	洗浄水だけを流す役目と掃除のとき使えます。
U字ノズル	洗浄ガンの先端のストレートノズルを交換してフラッシュバルブの裏の掃除をします。
ストローナー	水遣管内のゴミや砂を取り除いてフラッシュバルブの漏水を防ぐ役目します。
洗浄ガン用止水栓	洗浄ガンの元栓の役目します。洗浄ガン使用後は必ず閉めてください。

ご使用方法



外観寸法	幅:275 ^{mm} , 奥行:674 ^{mm} , 高さ:177 ^{mm}
重量	約22kg
材質	便器本体 プラスチック ステンレス

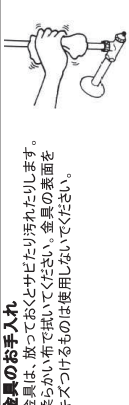
仕立て

(洗浄ガンの使い方)
 ① 洗浄ガン用止水栓を開いてください。
 ② 洗浄ガンで洗浄してください。
 ③ 使用後は、必ず洗浄ガン用止水栓を閉めてください。
 ④ 洗浄ガンを一度空打ちして水を抜いてください。

お手入れ

便器、フラッシュバルブのお手入れ
 フラッシュバルブは、トイレブラシと中性洗剤で週1〜2回程度、またはリッゴムの先端もよく掃除してください。

便器のお手入れ
 中性洗剤を使ってスポンジが柔らかい布で掃除してください。



ストローナーの掃除
 フラッシュバルブにゴミや異物が入らないようストローナーを付けています。洗浄水の出しが悪いときは、止水栓を開いてからストローナーを掃除してください。

故障・異常の見分け方と処置方法

まず、故障や異常に気付いたらすぐに止水栓を閉めてください。

現象	原因	処置方法
水が出ない	断水している。	近くの蛇口で確認してください。
止水栓が閉まっている	止水栓が閉まっている	止水栓を開く
ストローナーの掃除	ストローナーの掃除	ストローナーの掃除
5秒以上間隔を空けて押すようにする	止水栓を閉めたままフラッシュバルブを操作している	止水栓を開いてフラッシュバルブを操作してください。
床に漏水	小便の漏れ	便槽の裏面を確認
便槽が一杯にならないうち	便槽が一杯にならないうち	市販のハイポナーナー等で詰まりを取り除くか、お買い上げ店又は専門業者に依頼
フラッシュバルブが開きっぱなし	フラッシュバルブの裏や回転部分に汚れが付着している	フラッシュバルブの裏や回転部分に汚れが付着している
フラッシュバルブが開かない	風量の大きい排気扇(実用ファン)が付いている	排気扇の電源を抜いて使用しないか、風量を70m ³ /h以下のものに切り替える
洗浄後に大きな音がする	水だけが流れている	止水栓を閉めてフラッシュバルブを操作してください。
止水栓が閉まらない	止水栓の固定が緩んでいる	止水栓の固定が緩んでいると発生しやすい点検する

凍結のおそれのあるとき

トイレ内が0℃以下になると、水が凍結して器具が破損するおそれがあります。次の中から適切な処置を選んで実施してください。
 1. 室内暖房
 トイレ室内を暖房してください。

凍結のおそれのないとき

旅行や長期間不在のとき、長期間使用しないときは次のことを行ってください。行わないと、不在中に漏水等が起こった場合、水浸しになり家財を濡らす原因となります。
 ① フラッシュバルブ用止水栓を閉めてください。
 ② 洗浄ガン用止水栓を閉めてください。
 ③ フラッシュバルブと洗浄ガンの水抜きを、ハウズ等水を流してください。

凍結のおそれのないとき

暖房便座や温水洗浄便座等は各々の説明書をお読みください。

メンテナンス部品について

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。最低保有期間経過後については、当社までご相談ください。

便槽についての注意事項

△警告	マンホールのフタは、必ず閉めてください。 また、ロケットエンジン等の火気、おタバコをしないでください。
△注意	便槽の清掃を行う際は、便槽の蓋を閉めてください。 また、便槽の蓋を開いたまま、作業を行うと、便槽の蓋が落下するおそれがあります。 また、便槽の蓋を開いたまま、作業を行うと、便槽の蓋が落下するおそれがあります。

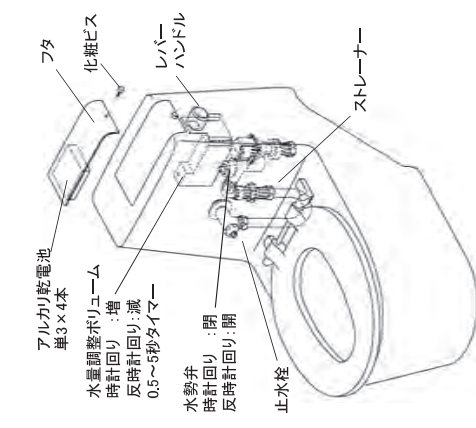
幼児用簡易水洗便器 FC7 取扱説明書

安全にお使いいただくために

お客様に事故のないよう安全にお使いいただくための注意事項を挙げております。ご使用前に、この説明書をよくお読みの上正しくお使いください。

- 掃除には中性洗剤以外使用しないでください。**
酸性、アルカリ性の洗剤、漂白剤、塩酸、アルコール、ベンジン、シンナー、ワックス、殺菌剤、その他薬品は、部品が変形や変質して故障の原因となりますので、絶対に使用しないでください。
- 柔らかい掃除ブラシを使用してください。**
便器の中を掃除するブラシは、柔らかい柔らかいブラシを使用してください。APH-927のお掃除ブラシをご利用ください。
- 長期間使用しないときは、止水栓を閉めてください。**
漏水したとき、濡らす原因となります。
- 凍結の恐れがあるときは、室内暖房、水抜きなどを行ってください。**
凍結による破損で漏水し、濡らす原因となります。
- レバーハンドルは軽く回してください。**
無理に回すと、故障の原因となります。
- レバーハンドル操作後、洗浄水が止まることを確認してください。**
水が出つ放しになると、便槽が溢れます。
- 電磁バルブに水をかけないでください。**
バルブが破損したり乾電池が液漏れする恐れがあります。
- 水が出なくなったらアルカリ乾電池を交換してください。**
この便器は、電磁バルブをアルカリ乾電池で作動します。

各部の名称



仕様

外 観	寸 法	幅380×奥行380×高さ920
洗 浄 水	量	約200cc
材 質	本体	強化プラスチック

故障・異常の見分け方と処置方法

まず、故障や異常に気付いたらすぐに止水栓を閉めてください。

現象	原因	処置方法
水が出ない	止水栓が閉まっている	止水栓を開く
水が出る	ストローナーの掃除 アルカリ乾電池(単3×4本)の交換 配線が外れている	ストローナーの掃除 アルカリ乾電池(単3×4本)の交換 配線を確認
水が止まらない	乾電池が+-逆についている 小バネが外れている バルブのゴムが詰まっている	正しく乾電池を取り付ける 分解掃除が必要。止水栓を閉めメンテナンスを依頼 便槽のマンホールを開けて確認し、液み取り業者に依頼してください
汚水を排水しない	便槽が一杯になっている	市販のハイパワーナーやトイレ洗浄機等で詰りを取り除くか、お買い上げ店又は専門業者に連絡してください
床に漏水	便器と便槽の間の配管詰り	便器と便槽の間の配管詰り
フロッパーが回らない	フロッパーが回らない	フロッパーが回らない
フロッパーが閉つ放し	フロッパーの裏面や回転部分に汚物が付着している	フロッパーの裏面や回転部分に汚物が付着している
風量の大きい音がする	風量の大きい排気扇(臭気ファン)が取り付いている	風量の大きい排気扇(臭気ファン)が取り付いている
洗浄後に大きな音がする	水圧の高い場所ではウォーターハンマー(水撃作用)が発生することがあります	水圧の高い場所ではウォーターハンマー(水撃作用)が発生することがあります

ご使用方法

- ご使用前に**
便器を取り付けて最初にご使用される際は、止水栓が開いているかを確認してください。
- 便器の使い方**
使用後、レバーハンドルを手前に約90度引いてフタが閉まり、洗浄水が流れ、設定した水時間で止まります。

お手入れ

- 便器のお手入れ**
便器の中は、中性洗剤を使ってキズの入らない柔らかいブラシを使用してください。
- ストローナーの掃除**
電磁バルブゴミや異物が入らないようストローナーを付けています。洗浄水の出口が詰まると、止水栓を開けてからストローナーを掃除してください。

清掃部品の取り替え、修理

長年のご使用やお手入れが不十分な場合、部品の取り替え、修理が必要となります。

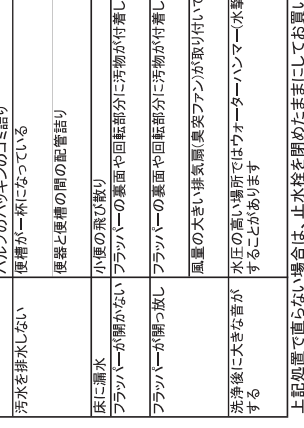
ダイヤフラムパッキン	電磁バルブの閉鎖パッキン
アルカリ乾電池	単3×4本

■新品の到着期間
消耗部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。
最低保有期間経過後については、当社までご相談ください。

部品のお点検、交換のしかた

乾電池の交換方法

化糞ピストンを外してフタを開け、フタの裏にある電池ボックスを開け、アルカリ乾電池を交換してください。(交換の目安：1年)



止水栓の開閉方法

止水栓の開閉方法は、止水栓を閉めたままにしてお買い上げ店までご連絡ください。処置や修理が終わるまでは、止水栓を閉めたままにしてご使用をひかえてください。やむを得ず使用する場合は、ハネツ等便器に直接流してください。

- 新しい乾電池、使用済乾電池、使いかけ乾電池、他の種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池の(+)(-)を確認して正しく入れてください。間違えて逆に入れると、乾電池が液漏れしたり破裂する恐れがあります。
- マンガン乾電池でも使用できますが、寿命が短くなりますので使用しないでください。

凍結のおそれのあるとき

トイレ室内が0℃以下になると、凍結して器具が破損する恐れがあります。室内暖房をしてください。

凍結した場合

- トイレ室内を暖房して徐々に融凍してください。
- 凍結部に直接熱湯をかけないでください。

長期間使用しないとき

- 長期不活のときや長期間使用しないときは、次のことを行ってください。
 - 止水栓を開けてください。
 - レバーハンドル操作を1回行い、水が出ることを確認してください。

壁掛式手洗器 HW-3・5

L レバー式
P プッシュ式
SS センサー式

お客様用 取扱説明書

このたびは、当社商品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、この説明書をよく読んで正しく使用してください。
- 本書は、必要なときにすぐに取り出せるところに大切に保管してください。
- 転居時に残される場合は、本書を次の入居の方に必ずお渡しください。

目次

安全にお使いいただくために
各部の名称とその役目

ご使用方法
お手入れ
故障・異常の見分け方と処置方法
水量調整方法(プッシュ式の場合)
部品の点検、交換のしかた
仕様
アフターサービスと保証

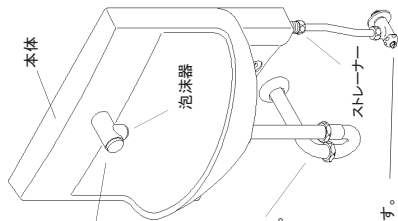
ページ	
1
1
2
2
3
3
3
4

安全にお使いいただくために

お客様に事故のないよう安全にお使いいただくための注意事項をあげておきます。
ご使用前に、この説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

- 掃除には中性洗剤以外使用しないでください。**
酸性、アルカリ性の洗剤、漂白剤、塩酸、クレンザー、ベンジン、シンナー類、うし殺し、殺虫剤、その他薬品は、部品が変形や変質して故障の原因となりますので、絶対に使用しないでください。
- 長期使用しないときは、止水栓を閉めてください。**
漏水したとき、家財を濡らす原因となります。
- 凍結の恐れがあるときは、室内暖房、水抜きなどを行ってください。**
凍結による破損で漏水し、家財を濡らす原因となります。
- センサー式の場合、電磁弁・乾電池部に水をかけないでください。**
火災や感電の原因となり、また電磁バルブが故障したり乾電池が液漏れする恐れがあります。
- センサー式の場合、センサー部にタバコを押し付けたら、汚したりしないでください。**
誤動作して水が出放しになります。

各部の名称とその役目



水栓金具
プッシュ(自動)式、レバー(手動)式、センサー(自動)式があります。

トランプ

封水して臭気を防ぎます。壁排水と排水水があります。

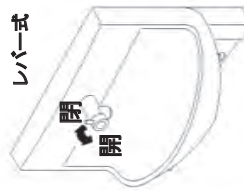
止水栓

手洗器の元栓の役目します。ストレーナーや泡沫器の掃除をするとき閉めて行ってください。壁給水と排水水があります。

ご使用方法



ボタンを押すと、吐水し自動で止水します。



反時計回りに約90度レバーを回すと吐水し、手で時計回りに回して止水してください。



水栓の下に手をかざすと吐水し手を離すと止水します。

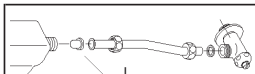
お手入れ

陶器のお手入れ
熱湯をかけないでください。破損の恐れがあります。

金具(水栓・止水栓・排水管)のお手入れ
金具はメッキしていますが、放っておくとサビたり汚れたりします。柔らかい布で拭いてください。落ちないときは水拭きしてください。金具の表面をキズつけるものは使用しないでください。

泡沫器の掃除
泡沫器の水を作る泡沫器にはアミが入っています。ゴミが詰まりやすいので水の出方が悪くなったときは外して掃除をしてください。

ストレーナーの掃除
水栓にゴミや異物が入らないように止水栓の上にストレーナーを付けています。ストレーナーが詰まると水の出が悪くなりますので、そのときはストレーナーを掃除してください。

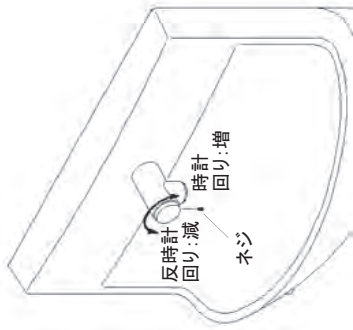


故障・異常の見分け方と処置方法

まず、故障や異常に気付いたらすぐに止水栓を閉めてください。

現象	原因	処置方法
水が出ない	止水栓が開まっている ストレーナーのゴミ詰り 泡沫器のゴミ詰り 乾電池切れ(センサー式の場合) 断水 停電(センサー式AC100V電源の場合)	止水栓を開く ストレーナーの掃除 泡沫器の掃除 電池切れになるとLED点滅、乾電池の交換 — —
水が止まらない	小穴のゴミ詰り(プッシュ式の場合) 止水栓が開まっている	止水栓を閉めてお置上げ店又は当社アフターサービスへ修理を依頼してください。 止水栓を開く
吐水量が少ない	ストレーナーのゴミ詰り 泡沫器のゴミ詰り 水圧が低い(プッシュ式の場合)	ストレーナーの掃除 泡沫器の掃除 数回操作してお使いいただくか水量調整をしてください。 止水栓を絞る。
吐水量が多い	—	止水栓を絞る。
音が出る	ウォーターハンマー	水道配管の固定を増してしっかりと固定する。 止水栓を絞る。

吐水時間調整方法(プッシュ式の場合)

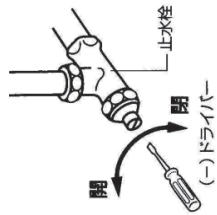


プラスチックライバーでネジを外し、押しボタンを軽く回して調整してください。

(注) 吐水時間を短くするとき、止水栓を絞ると吐水時間が長くなる場合があります。吐水時間が長くなるよう止水栓を調整してください。

部品の点検、交換のしかた

止水栓の開閉方法

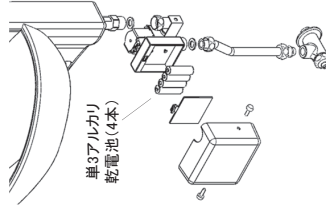


LEDが点滅すると、電池切れです。乾電池を交換してください。

<注意>

- ・新しい乾電池、使用済乾電池、使いかけ乾電池、他の種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ・乾電池の(+) (-)を確認して正しく入れてください。間違えて逆に入れると、乾電池が液漏れしたり破裂する恐れがあります。
- ・マンガン乾電池でも使用できますが、寿命が短くなりますので使用しないでください。

使用頻度が多く乾電池の交換が頻繁な場合、別売のACアダプタをご利用ください。但しAC100Vのコンセントが必要です。



仕様

品番	壁付手洗器/スタンダードタイプ(中型)	壁付手洗器/コンパクトタイプ(小型)
HW-5L	HW-5P	HW-5SS
HW-5L	HW-5P	HW-3SS
レバー式	プッシュ式	センサー式
	センサー式	レバー式
	プッシュ式	壁掛け式
		陶器
本体の大きさ	幅450×奥行200×高さ410	幅250×奥行200×高さ410
本体の重量	9.5kg	8kg
排水金具	PTラップ(壁排水)	STラップ(床排水)
止水栓	壁給水	床給水
電源	-	乾電池タイプ
	-	-
	-	乾電池タイプ

手洗器 HW-5SS HW-3SS センサー感知距離の調整方法

日光を受けたりすると、センサーが誤作動を起こしたり、感知しにくくなります。水が勝手に出たり、手をかざしても水が出ない場合があります。そのようなときは、下記の手順に従ってセンサー感知距離の調整を行ってください。

① キャップを時計回りに手回して外す。外れないときは、キズが付かないように布等でキャップを覆ってブライヤーで回す。

② カバーを外す。レンズも外れます。

③ 白紙を当てて吐水させながら、小さなドライバーで感知距離調整ボリュームを回して調整してください。

④ 逆の手順で組み立ててください。

(注) キャップを回して組み付けるとき、ねじを合わせて回してください。ねじを斜めに組み付けると、漏水します。

感知距離調整ボリューム	
時計回り	長くなる
反時計回り	短くなる

洗浄ガン

取扱説明書

このたびは、洗浄ガンをお買い上げいただき
まことにありがとうございます。
本製品は便器の洗浄用として使用するものです。



APH-19
洗浄ガン (U字ノズル付)



APH-19-2
洗浄ガン (ガンのみ)



APH-19-1
洗浄ガン (U字ノズル無)



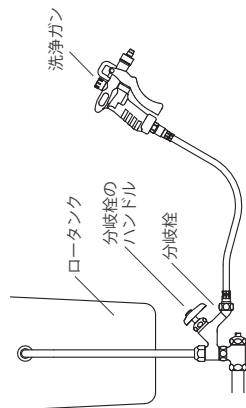
A26008
洗浄ガン



APH-19-3
洗浄ガン
(ストレーtronグノズル付)

□ 安全にお使いいただくために

洗浄ガン使用後は、必ず分岐栓のハンドルを閉めてください。
洗浄ガンが破損し漏水した場合、家財を濡らす原因となります。
分岐栓が確実に止水していることを確認してください。ゴミ噛みなどで分岐栓から漏水があると、洗浄ガンに水圧がかかり、凍結破損する恐れがあります。



使用上の注意

洗浄ガンのホースを無理に引っ張ったりねじったり、曲げたり、傷つけたりしないでください。漏水して家財を濡らす原因となります。

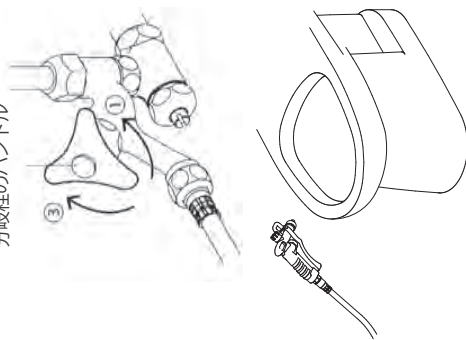


水道圧 0.7MPa 以上の場所では使用しないでください。
漏水して家財を濡らす原因となります。

凍結の恐れのあるときは、破損防止のため分岐栓のハンドルを閉めてトリガーを押して洗浄ガン内の水抜きをしてください。

□ トイレ使用後の洗浄に使用するとき

分岐栓のハンドル

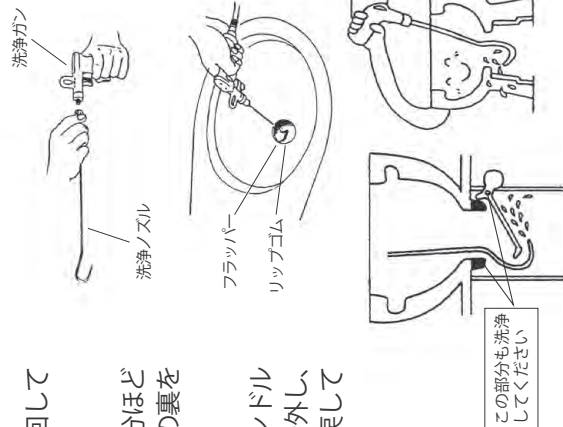


- ① 分岐栓のハンドルを反時計回りに回して開いてください。
- ② 洗浄ガンのトリガーを押して洗浄してください。
- ③ 使用後は、必ず分岐栓のハンドルを閉めてください。
- ④ 洗浄ガンを一度空打ちして水抜きをしたあと、もとに戻してください。

□ 便器の掃除に使用するとき

ご使用方法

- ① 洗浄ノズルを洗浄ガンの先端にねじ込んでください。
- ② 分岐栓のハンドルを反時計回りに回して開いてください。
- ③ 洗浄ノズル先端でフラッパーを半分ほど開いて、裏面や根本、リップゴムの裏をきれいに洗浄してください。
- ④ 掃除が終わったら、必ず分岐栓のハンドルを閉め、洗浄ガンから洗浄ノズルを外し、洗浄ガンを水抜きしてからもとに戻してください。



〔注意〕 洗浄ガンのトリガーを押すとノズルの先端から水が出ますので、水がかからないように注意してください。

この部分も洗浄してください

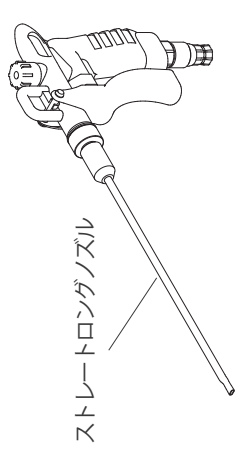
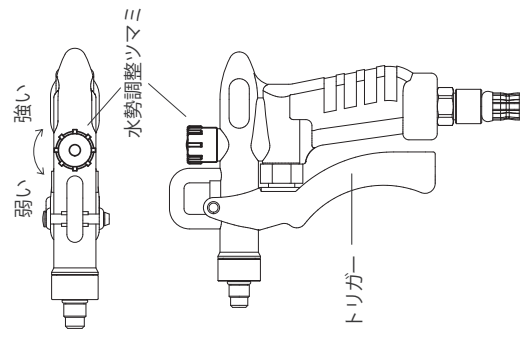
□ 使い方とオプションについて

ご使用方法

□ 特に注意していただくこと

取付上の注意

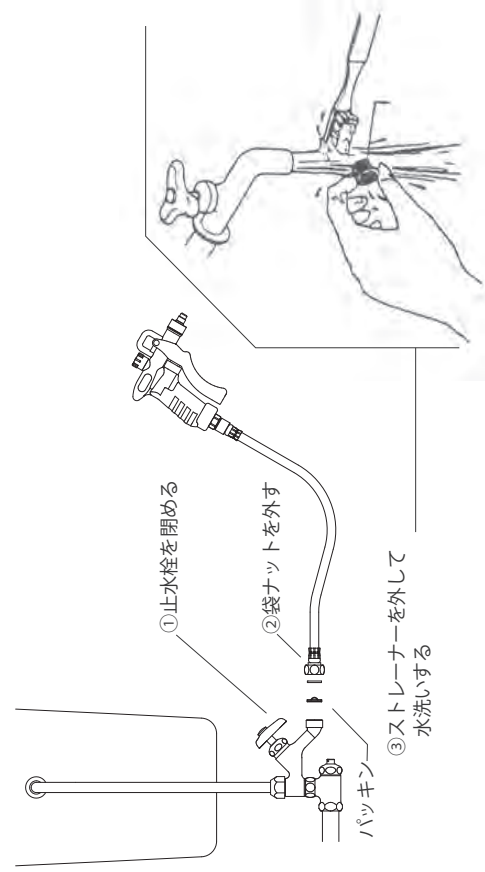
ご使用されるところの水圧に合わせて、水勢の調節を行ってください。
水勢は、時計回りに回すと強く、反時計回りに回すと弱く調節することができます。



□ お手入れ方法

洗浄ガンの中にゴミや異物が入らないように、ストレーナーを付属しています。洗浄ガンの水の出が悪いときは、次の要領で掃除してください。

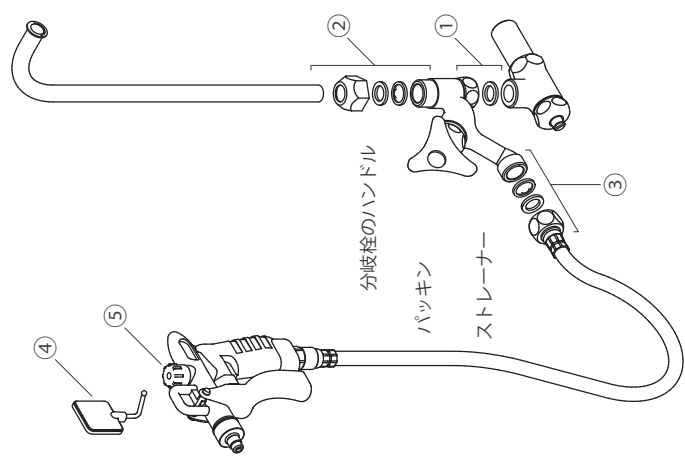
ご使用方法



接続部からの漏水がないことを確認してください。
漏水すると、床が水浸しとなります。

□ 取付方法

- ① 止水栓に分岐栓を取り付ける。
- ② 給水し管を必要な長さに切って分岐栓とボールタップに接続する。
- ③ 洗浄ガンに分岐栓に接続する。
- ④ 洗浄ガンを引っかけるフックを適切な場所に取り付ける。
- ⑤ 止水栓と分岐栓のハンドルを開き、漏水の有無や洗浄ガンのトリガーを押して異常の有無を点検する。
洗浄ガンの水の出方が強いときは、水勢調節ツマミを絞って調節する。



※水栓が電磁バルブ式の場合は、電磁バルブの説明書をお読みください。

本書は、必要ときにすぐに取り出せるところに大切に保管してください。
また、紛失された場合は、当社までご請求ください。

販売

ダイワ化成株式会社

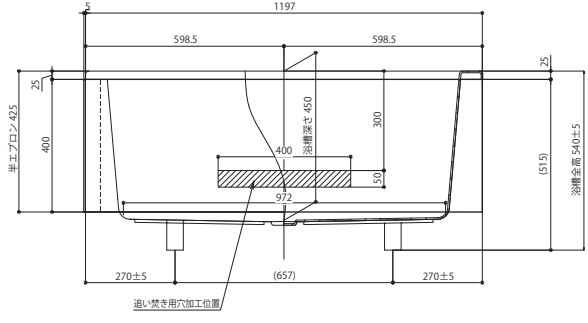
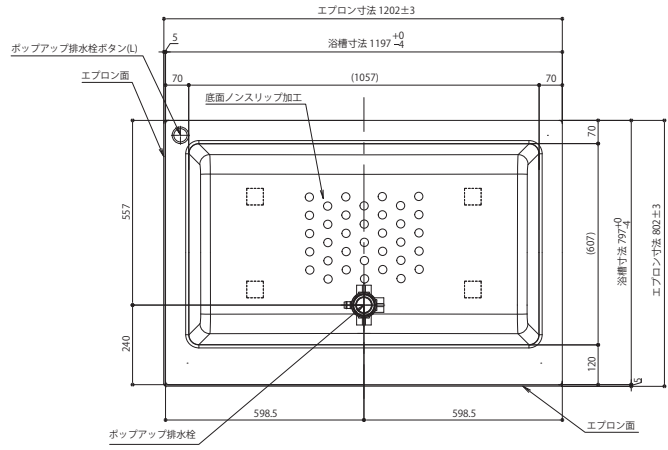
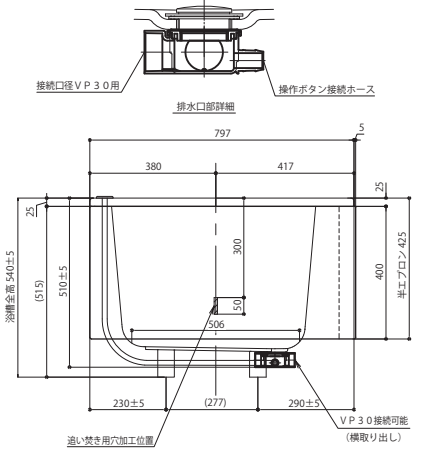
本社営業部 福岡市中央区白金 1-13-1
TEL 092 (521) 1800

1502 A66142

FP-1280W ポップアップ栓L パーグリップなし 2方半エプロンR

浴槽	
品番	FP-1280W-L
材質	FRP ホワイト (W)
本体寸法	全幅1,197mm×奥行797mm×全高540mm
満水容量	260L
重量	25kg
排水仕様	ポップアップ排水栓 (間接・VP30直接排水対応共通金具)
エプロン	
品番	MEZ-2HR
材質	ABSまたはFRP ホワイト
本体寸法	全幅1,202mm×奥行802mm×高さ425mm

- ※エプロン固定、点検口無し
- ※24時間風呂対応不可
- ※ゴム栓排水は直接排水不可
- ※追い焚きは一口循環金具のみ取付可能 (別途オプション対応)

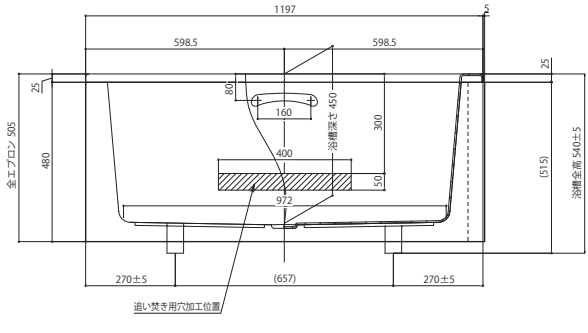
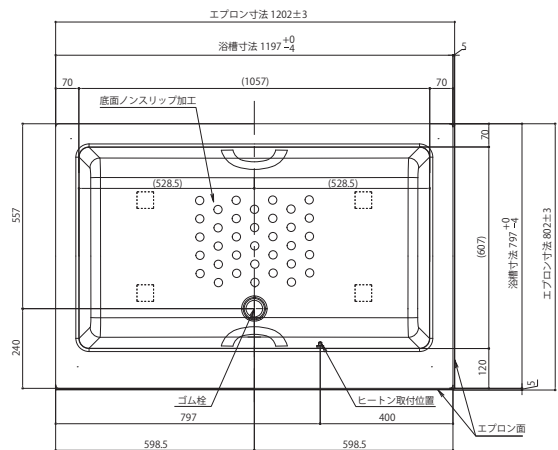
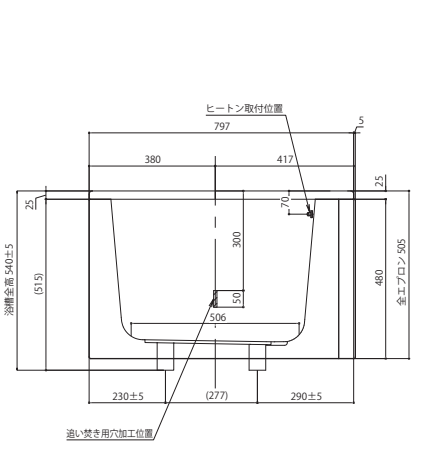


一口循環金具のみ対応可能 ※別途オプション対応
 ※は追い焚き用穴あけ (穴芯) 許容範囲を示す

FP-1280W ゴム栓 パーグリップ付 2方全エプロンL

浴槽	
品番	FP-1280WB
材質	FRP ホワイト (W)
本体寸法	全幅1,197mm×奥行797mm×全高540mm
満水容量	260L
重量	25kg
排水仕様	ゴム栓
エプロン	
品番	MEZ-2L
材質	ABSまたはFRP ホワイト
本体寸法	全幅1,202mm×奥行802mm×高さ505mm

- ※エプロン固定、点検口無し
- ※24時間風呂対応不可
- ※ゴム栓排水は直接排水不可
- ※追い焚きは一口循環金具のみ取付可能 (別途オプション対応)

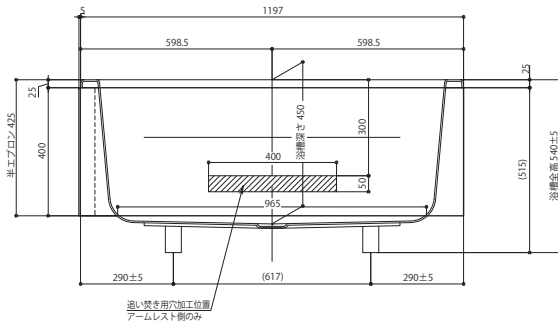
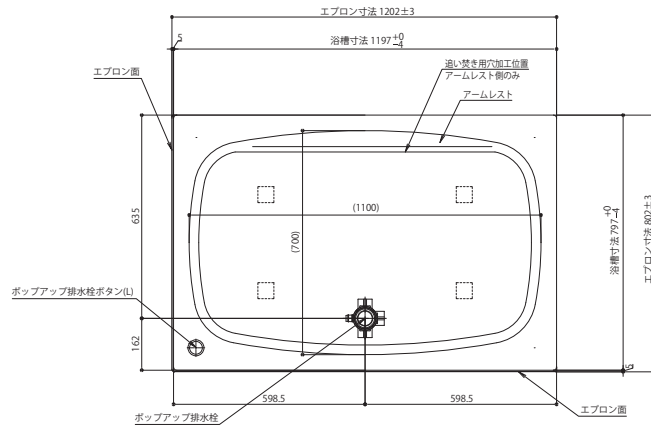
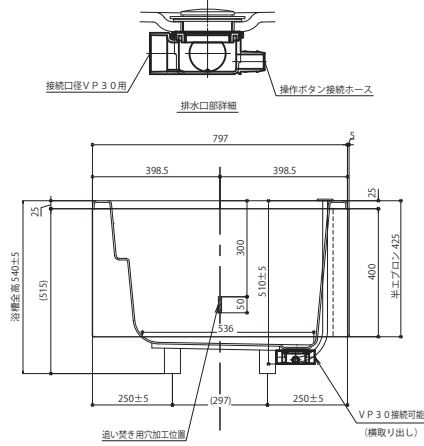


一口循環金具のみ対応可能 ※別途オプション対応
 ※は追い焚き用穴あけ (穴芯) 許容範囲を示す

FP-1280 ポップアップ栓L パーグリッパなし 2方半エプロンR

浴槽	
品番	FP-1280-L
材質	FRP ホワイト(W)
本体寸法	全幅1,197mm×奥行797mm×全高540mm
満水容量	240L
重量	24kg
排水仕様	ポップアップ排水栓(間接・VP30直接排水対応共通金具)
エプロン	
品番	MEZ-2HR
材質	ABSまたはFRP ホワイト
本体寸法	全幅1,202mm×奥行802mm×高さ425mm

- ※エプロン固定、点検口無し
- ※24時間風呂対応不可
- ※ゴム栓排水は直接排水不可
- ※追い焚きは一口循環金具のみ取付可能(別途オプション対応)



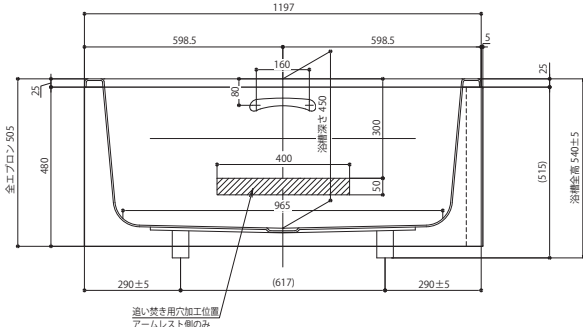
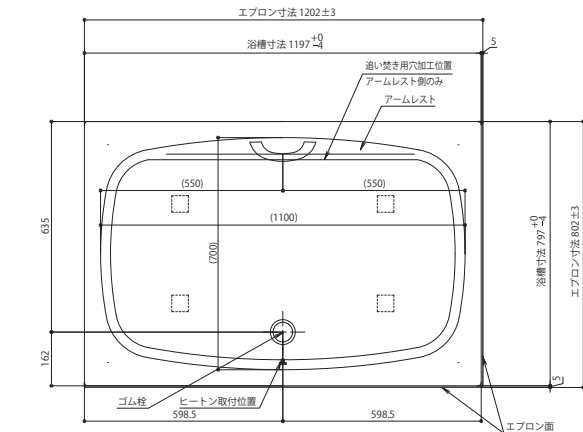
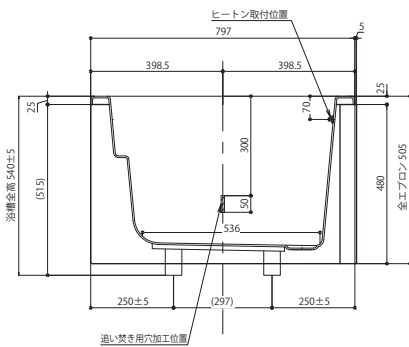
一口循環金具のみ対応可能 ※別途オプション対応

※ は追い焚き用穴あけ(穴芯)許容範囲を示す

FP-1280 ゴム栓 パーグリッパ付 2方全エプロン

浴槽	
品番	FP-1280B
材質	FRP ホワイト(W)
本体寸法	全幅1,197mm×奥行797mm×全高540mm
満水容量	240L
重量	24kg
排水仕様	ゴム栓
エプロン	
品番	MEZ-2L
材質	ABSまたはFRP ホワイト
本体寸法	全幅1,202mm×奥行802mm×高さ505mm

- ※エプロン固定、点検口無し
- ※24時間風呂対応不可
- ※ゴム栓排水は直接排水不可
- ※追い焚きは一口循環金具のみ取付可能(別途オプション対応)



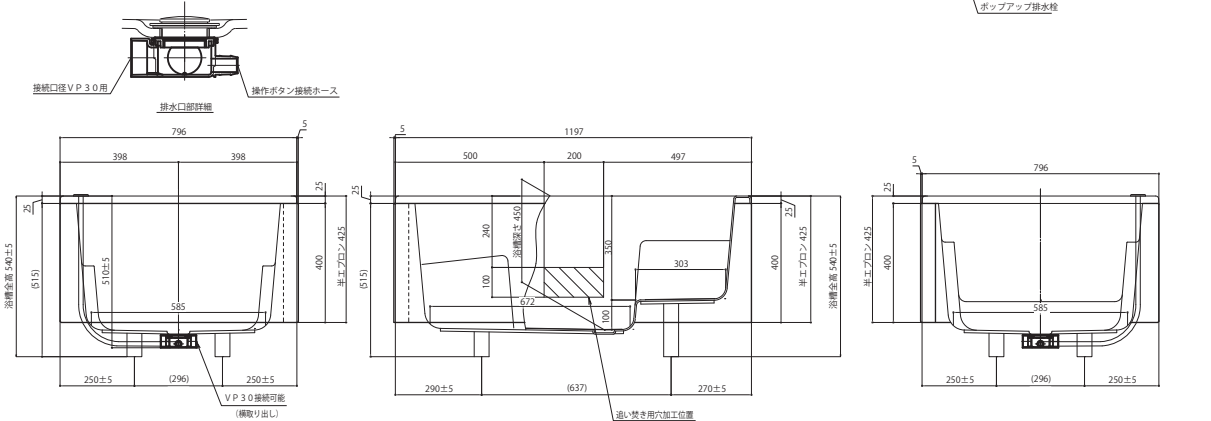
一口循環金具のみ対応可能 ※別途オプション対応

※ は追い焚き用穴あけ(穴芯)許容範囲を示す

FP-1280Y ポップアップ栓L パーグリップなし 2方半エプロンR

浴槽	
品番	FP-1280Y-L
材質	FRP ホワイト(W)
本体寸法	全幅1,197mm×奥行796mm×全高540mm
満水容量	230L
重量	23kg
排水仕様	ポップアップ排水栓(間接・VP30直接排水対応共通金具)
エプロン	
品番	MEZ-2HR
材質	ABSまたはFRP ホワイト
本体寸法	全幅1,202mm×奥行801mm×高さ425mm

- ※エプロン固定、点検口無し
- ※24時間風呂対応不可
- ※ゴム栓排水は直接排水不可
- ※追い焚きは一口循環金具のみ取付可能(別途オプション対応)

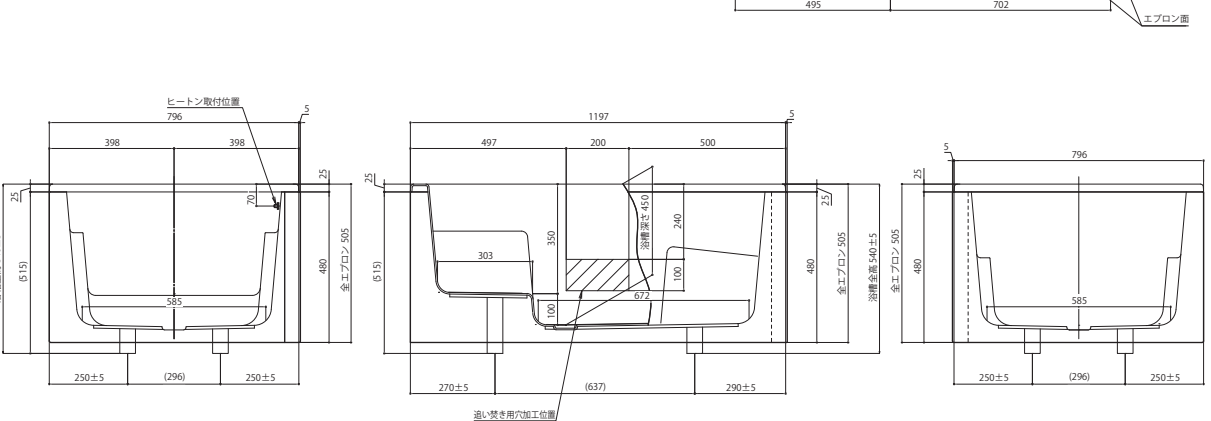


一口循環金具のみ対応可能 ※別途オプション対応
 ※ は追い焚き用穴あけ(穴芯)許容範囲を示す

FP-1280Y ゴム栓 パーグリップ付 2方全エプロンL

浴槽	
品番	FP-1280YB
材質	FRP ホワイト(W)
本体寸法	全幅1,197mm×奥行796mm×全高540mm
満水容量	230L
重量	23kg
排水仕様	ゴム栓
エプロン	
品番	MEZ-2L
材質	ABSまたはFRP ホワイト
本体寸法	全幅1,202mm×奥行801mm×高さ505mm

- ※エプロン固定、点検口無し
- ※24時間風呂対応不可
- ※ゴム栓排水は直接排水不可
- ※追い焚きは一口循環金具のみ取付可能(別途オプション対応)

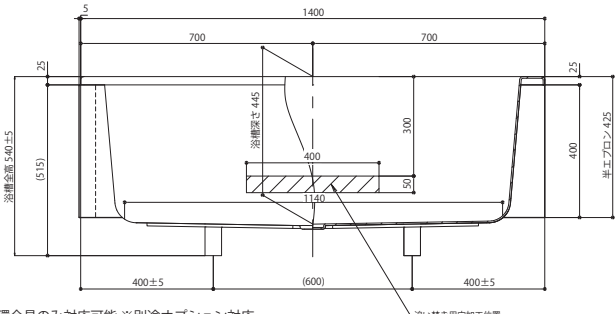
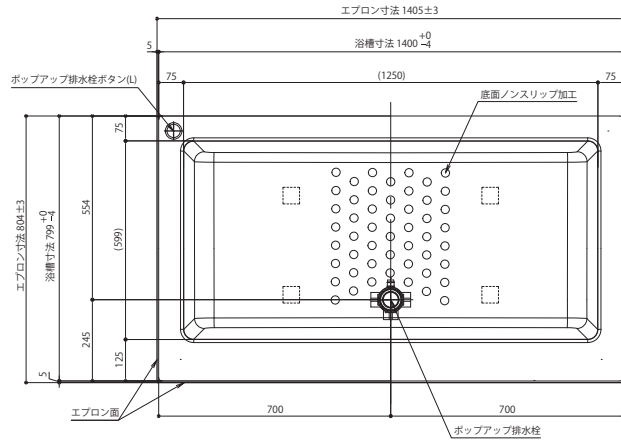
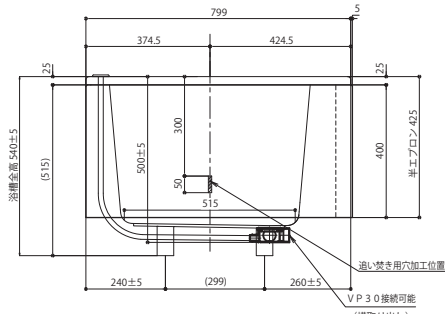
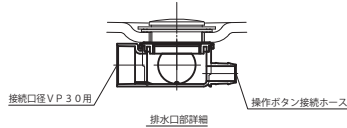


一口循環金具のみ対応可能 ※別途オプション対応
 ※ は追い焚き用穴あけ(穴芯)許容範囲を示す

FP-1480W ポップアップ栓L パーグリップなし 2方半エプロンR

浴槽	
品番	FP-1480W-L
材質	FRP ホワイト(W)
本体寸法	全幅1,400mm×奥行799mm×全高540mm
満水容量	310L
重量	32kg
排水仕様	ポップアップ排水栓(間接・VP30直接排水対応共通金具)
エプロン	
品番	MEZ-2-1HR
材質	ABSまたはFRP ホワイト
本体寸法	全幅1,405mm×奥行804mm×高さ425mm

- ※エプロン固定、点検口無し
- ※24時間風呂対応不可
- ※ゴム栓排水は直接排水不可
- ※追い焚きは一口循環金具のみ取付可能(別途オプション対応)

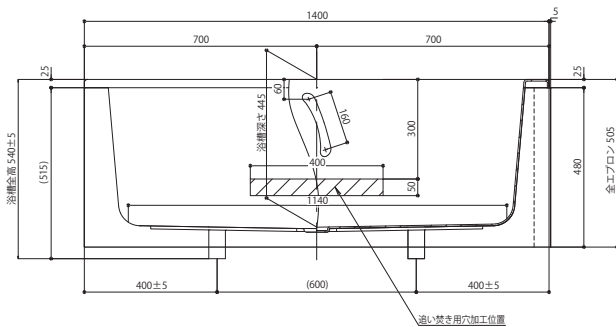
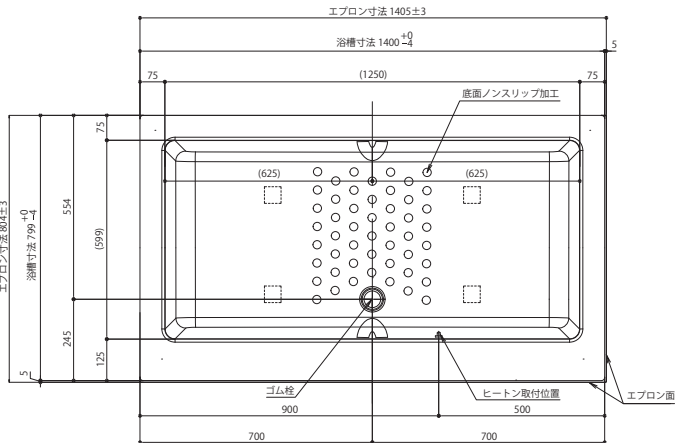
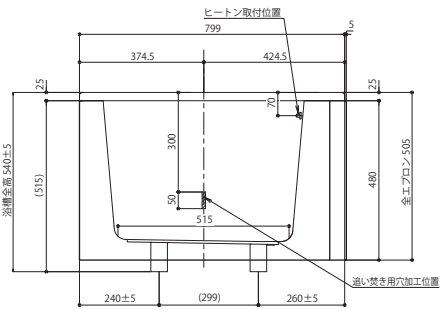


一口循環金具のみ対応可能 ※別途オプション対応
*は追い焚き用穴あけ(穴芯)許容範囲を示す

FP-1480W ゴム栓 パーグリップ付 2方全エプロン

浴槽	
品番	FP-1480WB
材質	FRP ホワイト(W)
本体寸法	全幅1,400mm×奥行799mm×全高540mm
満水容量	310L
重量	32kg
排水仕様	ゴム栓
エプロン	
品番	MEZ-2-1L
材質	ABSまたはFRP ホワイト
本体寸法	全幅1,405mm×奥行804mm×高さ505mm

- ※エプロン固定、点検口無し
- ※24時間風呂対応不可
- ※ゴム栓排水は直接排水不可
- ※追い焚きは一口循環金具のみ取付可能(別途オプション対応)

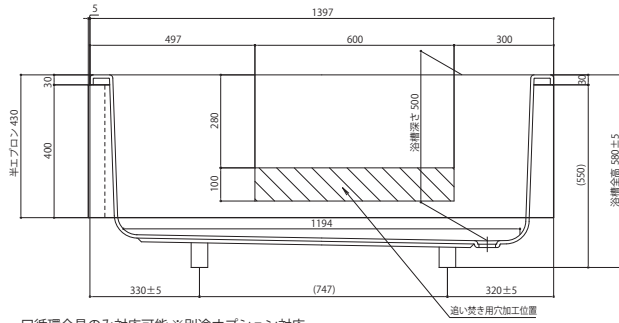
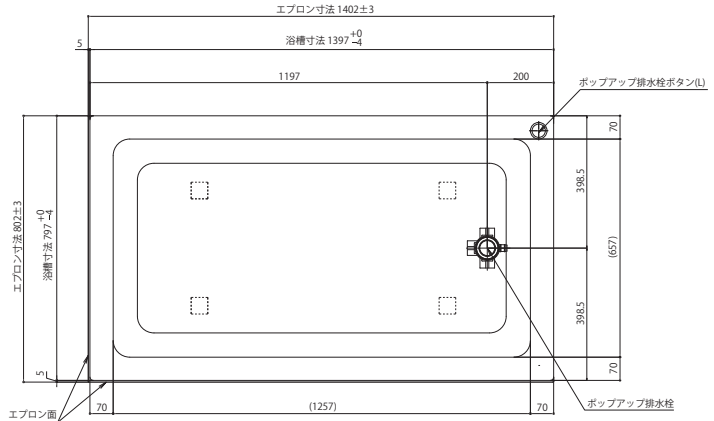
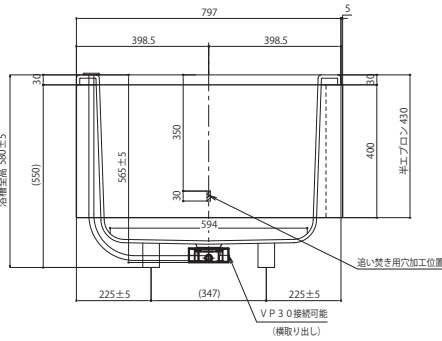
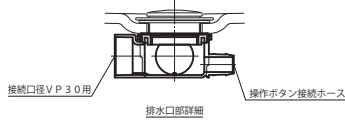


一口循環金具のみ対応可能 ※別途オプション対応
*は追い焚き用穴あけ(穴芯)許容範囲を示す

FP-1480 ポップアップ栓L パーグリッパなし 2方半エプロンR

浴槽	
品番	FP-1480-L
材質	FRP ホワイト (W)
本体寸法	全幅1,397mm×奥行797mm×全高580mm
満水容量	350L
重量	34kg
排水仕様	ポップアップ排水栓 (間接・VP30直接排水対応共通金具)
エプロン	
品番	MEZ-2-1HR
材質	ABSまたはFRP ホワイト
本体寸法	全幅1,402mm×奥行802mm×高さ430mm

- ※エプロン固定、点検口無し
- ※24時間風呂対応不可
- ※ゴム栓排水は直接排水不可
- ※追い焚きは一口循環金具のみ取付可能 (別途オプション対応)

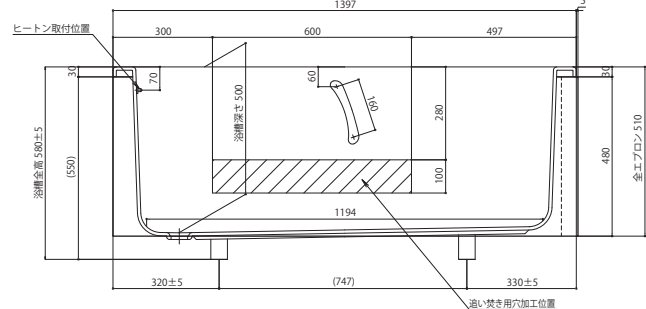
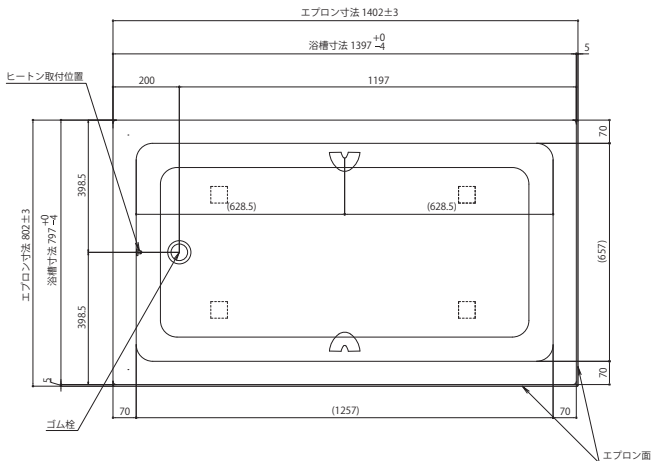
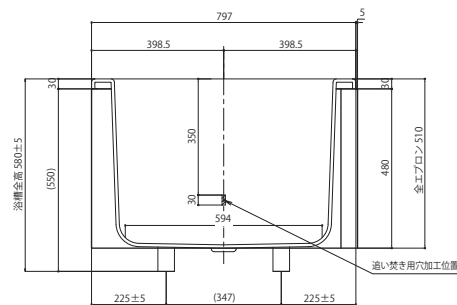


一口循環金具のみ対応可能 ※別途オプション対応
 * は追い焚き用穴あけ (穴芯) 許容範囲を示す

FP-1480 ゴム栓 パーグリッパ付 2方全エプロン

浴槽	
品番	FP-1480B
材質	FRP ホワイト (W)
本体寸法	全幅1,397mm×奥行797mm×全高580mm
満水容量	350L
重量	34kg
排水仕様	ゴム栓
エプロン	
品番	MEZ-2-1L
材質	ABSまたはFRP ホワイト
本体寸法	全幅1,402mm×奥行802mm×高さ510mm

- ※エプロン固定、点検口無し
- ※24時間風呂対応不可
- ※ゴム栓排水は直接排水不可
- ※追い焚きは一口循環金具のみ取付可能 (別途オプション対応)

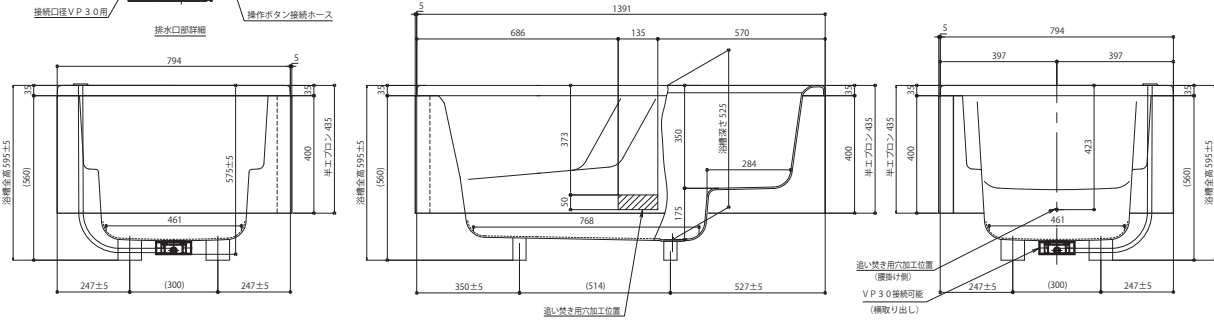
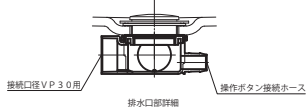


一口循環金具のみ対応可能 ※別途オプション対応
 * は追い焚き用穴あけ (穴芯) 許容範囲を示す

FP-1482 ポップアップ栓L バーグリップなし 2方半エプロン

浴槽	
品番	FP-1482-L
材質	FRP ホワイト(W)
本体寸法	全幅1,391mm×奥行794mm×全高595mm
満水容量	310L
重量	32kg
排水仕様	ポップアップ排水栓(間接・VP30直接排水対応共通金具)
エプロン	
品番	MEZ-2-2HR
材質	ABSまたはFRP ホワイト
本体寸法	全幅1,396mm×奥行799mm×高さ435mm

- ※エプロン固定、点検口無し
- ※24時間風呂対応不可
- ※ゴム栓排水は直接排水不可
- ※追い焚きは一口循環金具のみ取付可能(別途オプション対応)

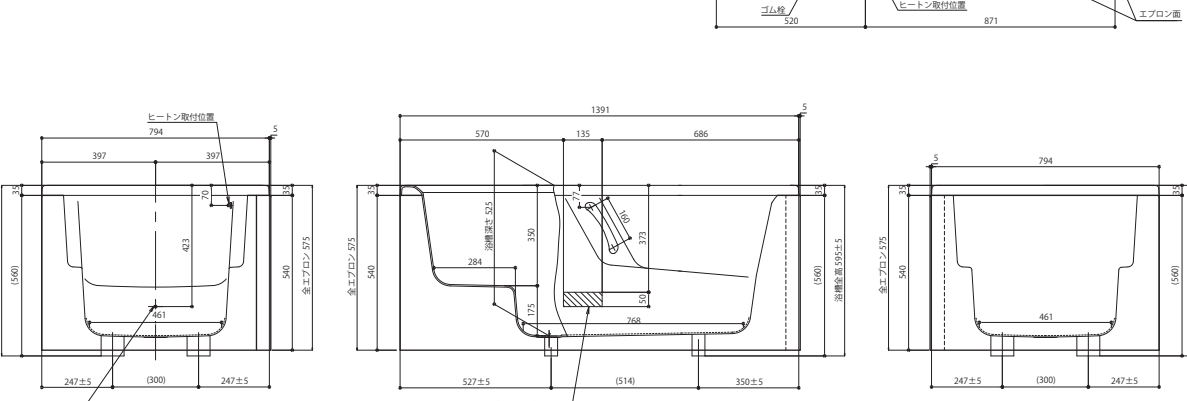


一口循環金具のみ対応可能 ※別途オプション対応
 *は追い焚き用穴あけ(穴芯)許容範囲を示す

FP-1482 ゴム栓 バーグリップ付 2方全エプロン

浴槽	
品番	FP-1482B
材質	FRP ホワイト(W)
本体寸法	全幅1,391mm×奥行794mm×全高595mm
満水容量	310L
重量	32kg
排水仕様	ゴム栓
エプロン	
品番	MEZ-2-2L
材質	ABSまたはFRP ホワイト
本体寸法	全幅1,396mm×奥行799mm×高さ575mm

- ※エプロン固定、点検口無し
- ※24時間風呂対応不可
- ※ゴム栓排水は直接排水不可
- ※追い焚きは一口循環金具のみ取付可能(別途オプション対応)

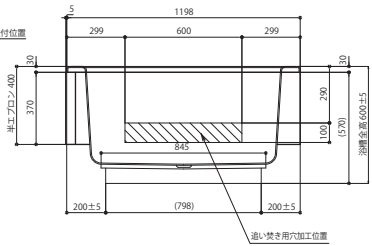
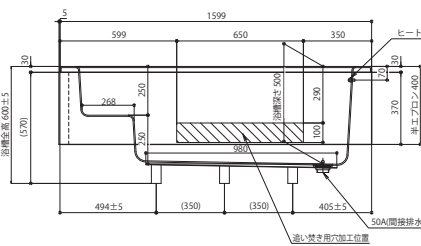
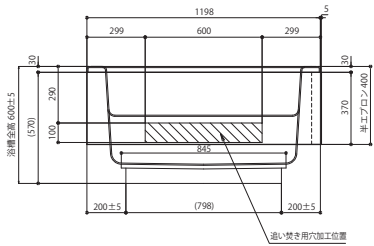
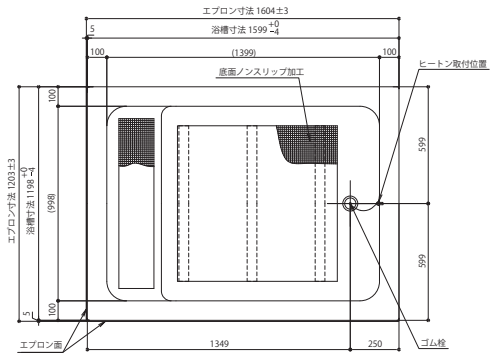


一口循環金具のみ対応可能 ※別途オプション対応
 *は追い焚き用穴あけ(穴芯)許容範囲を示す

FP-1612 ゴム栓 パーグリップなし 2方半エプロン

浴槽	
品番	FP-1612
材質	FRP ホワイト(W)
本体寸法	全幅1,599mm×奥行1,198mm×全高600mm
満水容量	620L
重量	60kg
排水仕様	ゴム栓
エプロン	
品番	MEZ-2-4HR
材質	FRP ホワイト
本体寸法	全幅1,604mm×奥行1,203mm×高さ400mm

- ※エプロン固定、点検口無し
- ※24時間風呂対応不可
- ※ゴム栓排水は直接排水不可
- ※追い焚きは一口循環金具のみ取付可能（別途オプション対応）

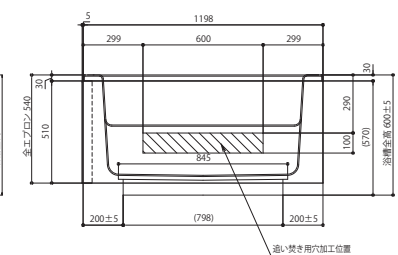
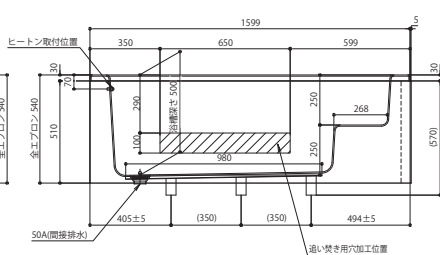
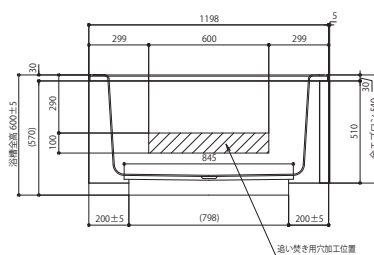
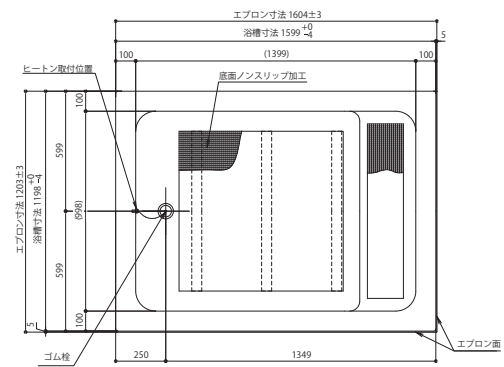


一口循環金具のみ対応可能 ※別途オプション対応
 * 〰️ は追い焚き用穴あけ（穴芯）許容範囲を示す

FP-1612 ゴム栓 パーグリップなし 2方全エプロン

浴槽	
品番	FP-1612
材質	FRP ホワイト(W)
本体寸法	全幅1,599mm×奥行1,198mm×全高600mm
満水容量	620L
重量	60kg
排水仕様	ゴム栓
エプロン	
品番	MEZ-2-4L
材質	FRP ホワイト
本体寸法	全幅1,604mm×奥行1,203mm×高さ540mm

- ※エプロン固定、点検口無し
- ※24時間風呂対応不可
- ※ゴム栓排水は直接排水不可
- ※追い焚きは一口循環金具のみ取付可能（別途オプション対応）

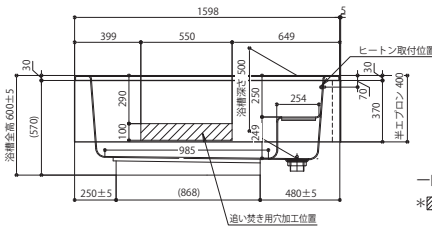


一口循環金具のみ対応可能 ※別途オプション対応
 * 〰️ は追い焚き用穴あけ（穴芯）許容範囲を示す

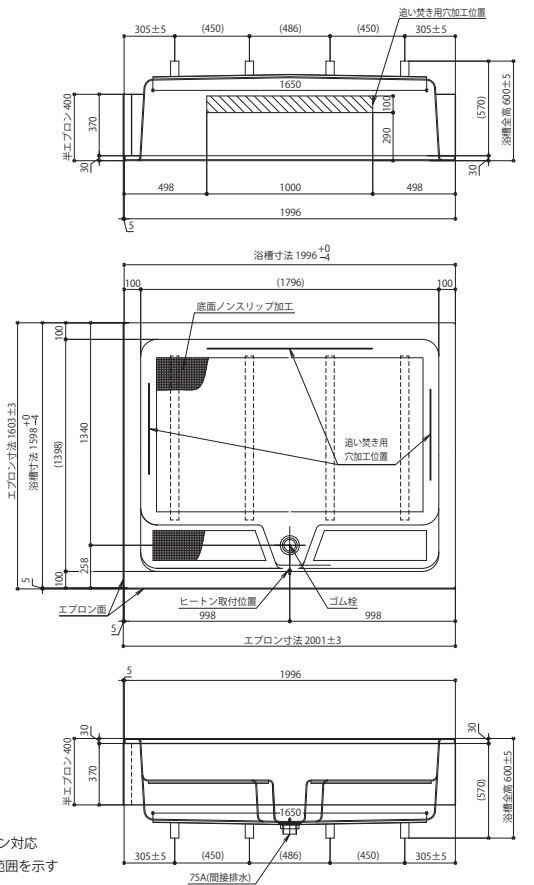
FP-2016 ゴム全 パーグリップなし 2方半エプロンR

浴槽	
品番	FP-2016
材質	FRP ホワイト(W)
本体寸法	全幅1,996mm×奥行1,598mm×全高600mm
満水容量	1,130L
重量	80kg
排水仕様	ゴム栓
エプロン	
品番	MEZ-2-5HR
材質	FRP ホワイト
本体寸法	全幅2,001mm×奥行1,603mm×高さ400mm

- ※エプロン固定、点検口無し
- ※24時間風呂対応不可
- ※ゴム栓排水は直接排水不可
- ※追い焚きは一口循環金具のみ取付可能 (別途オプション対応)



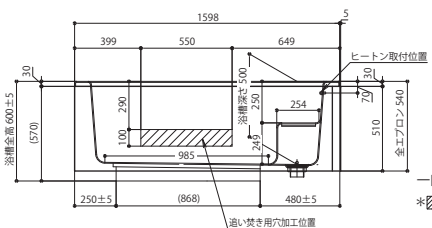
一口循環金具のみ対応可能 ※別途オプション対応
 ※は追い焚き用穴あけ (穴芯) 許容範囲を示す



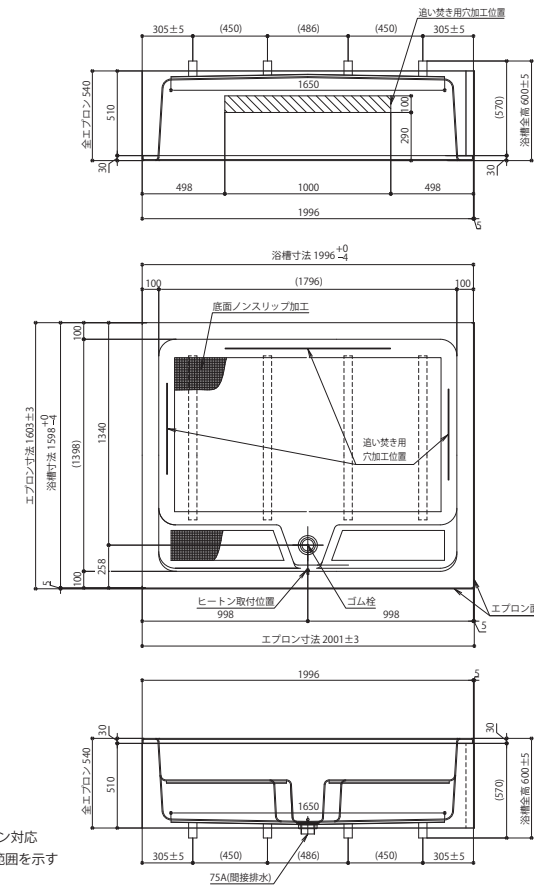
FP-2016 ゴム栓 パーグリップなし 2方全エプロン

浴槽	
品番	FP-2016
材質	FRP ホワイト(W)
本体寸法	全幅1,996mm×奥行1,598mm×全高600mm
満水容量	1,130L
重量	80kg
排水仕様	ゴム栓
エプロン	
品番	MEZ-2-5L
材質	FRP ホワイト
本体寸法	全幅2,001mm×奥行1,603mm×高さ540mm

- ※エプロン固定、点検口無し
- ※24時間風呂対応不可
- ※ゴム栓排水は直接排水不可
- ※追い焚きは一口循環金具のみ取付可能 (別途オプション対応)



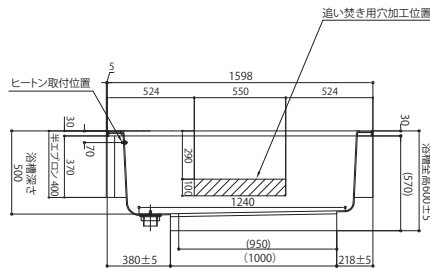
一口循環金具のみ対応可能 ※別途オプション対応
 ※は追い焚き用穴あけ (穴芯) 許容範囲を示す



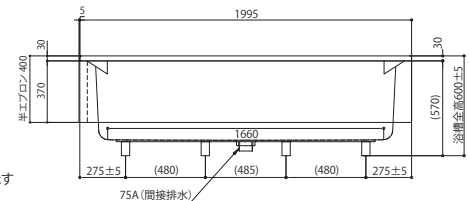
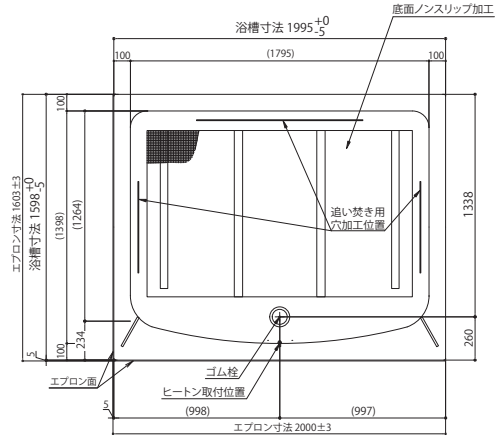
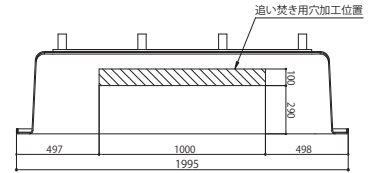
FP-2016N ゴム全 パーグリッパなし 2方半エプロンR

浴槽	
品番	FP-2016N
材質	FRP ホワイト(W)
本体寸法	全幅1,995mm×奥行1,598mm×全高600mm
満水容量	1,200L
重量	80kg
排水仕様	ゴム栓(間接排水仕様)
エプロン	
品番	MEZ-2-5HR
材質	FRP ホワイト
本体寸法	全幅2,000mm×奥行1,603mm×高さ400mm

- ※エプロン固定、点検口無し
- ※24時間風呂対応不可
- ※ゴム栓排水は直接排水不可
- ※追い焚きは一口循環金具のみ取付可能(別途オプション対応)



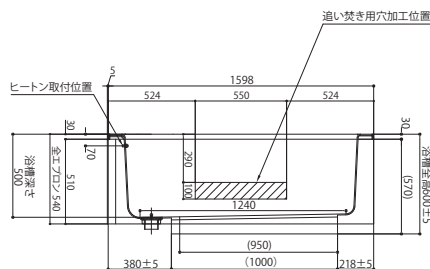
一口循環金具のみ対応可能※別途オプション対応
 ※ は追い焚き用穴あけ(穴芯)許容範囲を示す



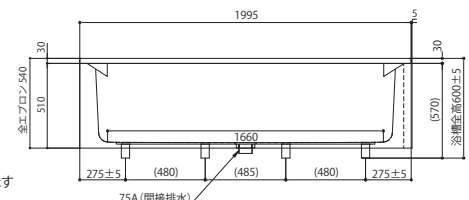
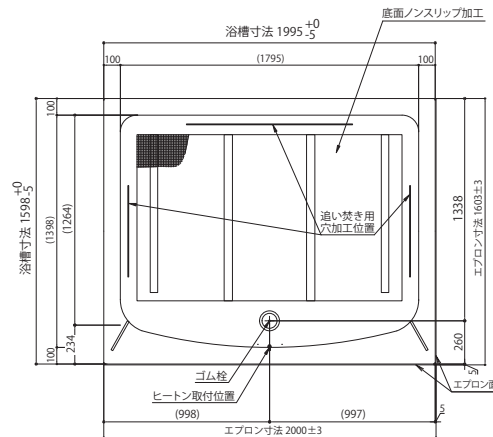
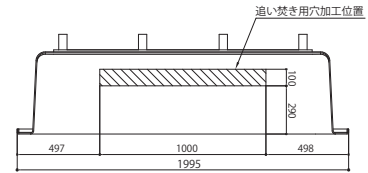
FP-2016N ゴム栓 パーグリッパなし 2方全エプロンL

浴槽	
品番	FP-2016N
材質	FRP ホワイト(W)
本体寸法	全幅1,995mm×奥行1,598mm×全高600mm
満水容量	1,200L
重量	80kg
排水仕様	ゴム栓(間接排水仕様)
エプロン	
品番	MEZ-2-5L
材質	FRP ホワイト
本体寸法	全幅2,000mm×奥行1,603mm×高さ540mm

- ※エプロン固定、点検口無し
- ※24時間風呂対応不可
- ※ゴム栓排水は直接排水不可
- ※追い焚きは一口循環金具のみ取付可能(別途オプション対応)



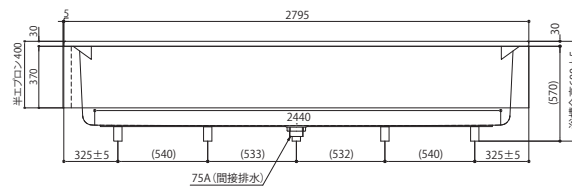
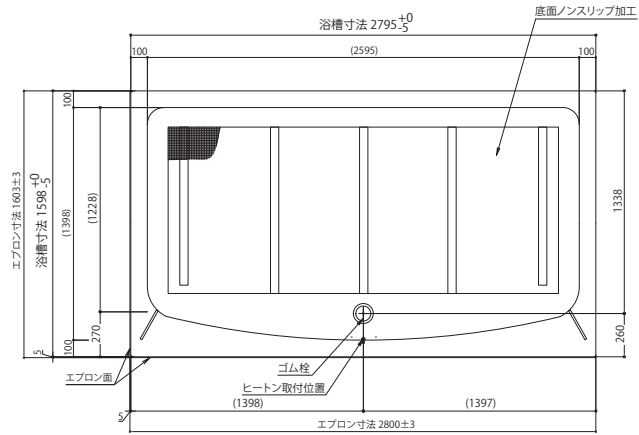
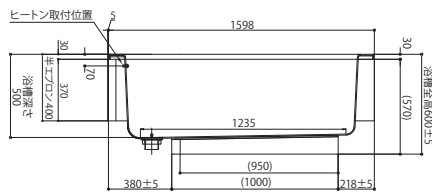
一口循環金具のみ対応可能※別途オプション対応
 ※ は追い焚き用穴あけ(穴芯)許容範囲を示す



GFP-2816 ゴム全 パーグリップなし 2方半エプロンR

浴槽	
品番	GFP-2816
材質	FRP ホワイト(W)
本体寸法	全幅2,795mm×奥行1,598mm×全高600mm
満水容量	1,750L
重量	105kg
排水仕様	ゴム栓(間接排水仕様)
エプロン	
品番	MEZ-2-6HR
材質	FRP ホワイト
本体寸法	全幅2,800mm×奥行1,603mm×高さ400mm

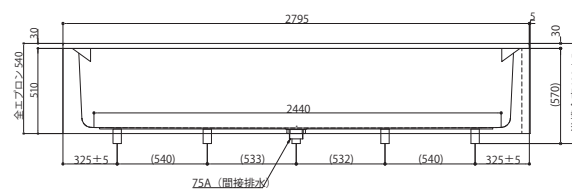
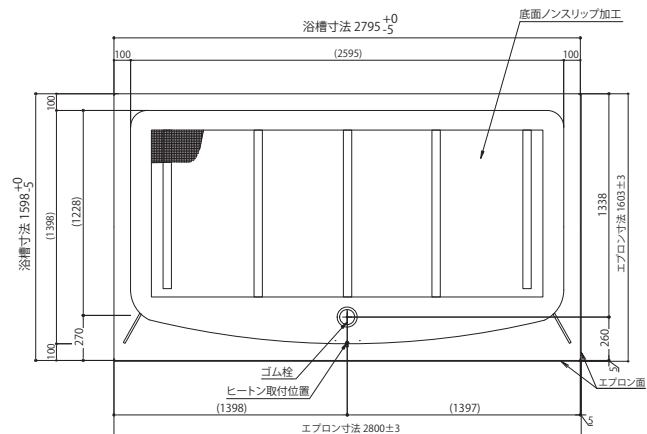
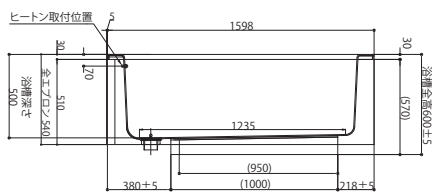
- ※エプロン固定、点検口無し
- ※24時間風呂対応不可
- ※ゴム栓排水は直接排水不可
- ※追い焚きは一口循環金具のみ取付可能(別途オプション対応)



GFP-2816 ゴム栓 パーグリップなし 2方全エプロンL

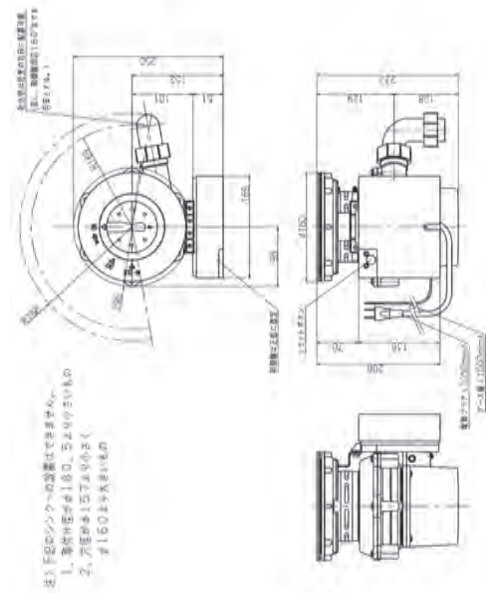
浴槽	
品番	GFP-2816
材質	FRP ホワイト(W)
本体寸法	全幅2,795mm×奥行1,598mm×全高600mm
満水容量	1,750L
重量	105kg
排水仕様	ゴム栓(間接排水仕様)
エプロン	
品番	MEZ-2-6L
材質	FRP ホワイト
本体寸法	全幅2,800mm×奥行1,603mm×高さ540mm

- ※エプロン固定、点検口無し
- ※24時間風呂対応不可
- ※ゴム栓排水は直接排水不可
- ※追い焚きは一口循環金具のみ取付可能(別途オプション対応)



DSP-75T

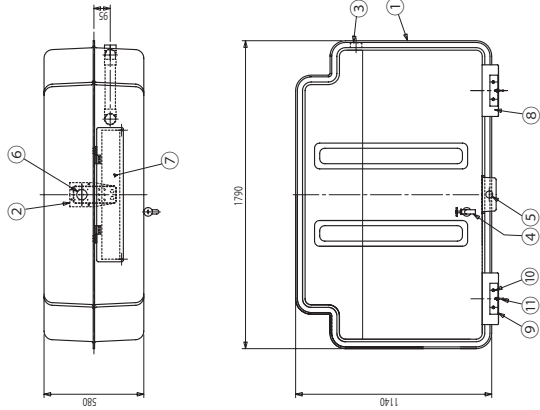
ディスボサー



機種	DSP-75T
運転方式	蒸スイッチ型/バッチ式
取扱液質	水道水 (0~40℃)
設置場所	流し台シンク下
設置方式	吊下型
粉砕方式	ハンマーミル方式
粉砕室容積	約0.85リットル
保護装置	過負荷保護装置 (手動復帰式) スイッチ切込防止回路 マグネット式蒸スイッチ
電動機形式	コンデンサ型单相誘導電動機
使用電源	单相100V、50Hz/60Hz兼用
電源容量	900VA
極数	4極
定格消費電力	419W/430W (50Hz/60Hz)
定格電流	4.9A/4.4A (50Hz/60Hz)
定格	5分
色	本体部：黒色、電動機部：灰色
概算質量	6.6kg

RTN-8B

雨水槽 地上設置型 8.20ℓ
本体のみ 蛇口付

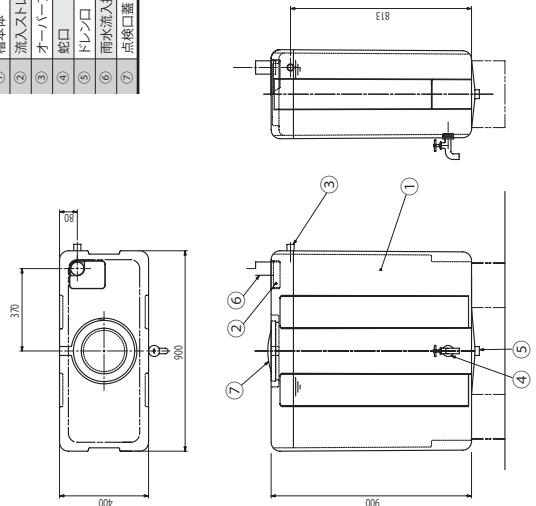


■部品仕様

番号	品名	材質・備考	数量
①	槽本体	GFRP	1
②	流入ストレーナー	FRP	1
③	オーバーフロー接続口	PVC 20A	1
④	蛇口		1
⑤	ドレン口	20A	1
⑥	雨水流入接続口	50A	1
⑦	点検口蓋	FRP	1
⑧	転倒防止脚	FRP	2
⑨	固定アングル	鉄製錆止塗装	4
⑩	ボルトM8*30		8
⑪	アンカーボルトM8*50		4

RTN-3B

雨水槽 地上設置型 300ℓ
本体のみ 蛇口付



■部品仕様

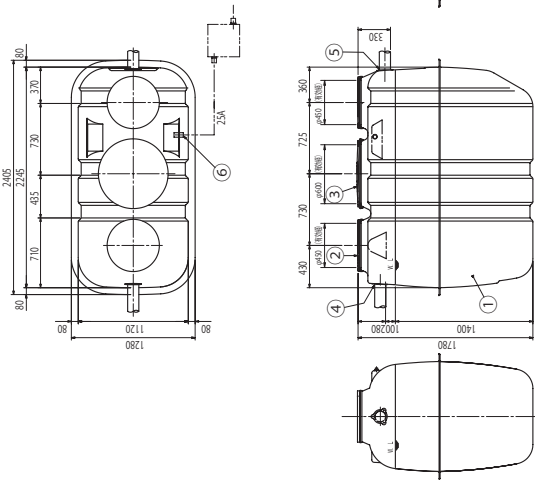
番号	品名	材質・備考	数量
①	槽本体	PE	1
②	流入ストレーナー	PE	1
③	オーバーフロー接続口	PVC 20A	1
④	蛇口		1
⑤	ドレン口		1
⑥	雨水流入接続口	PE 50A	1
⑦	点検口蓋	PE	1

RTN-20B

雨水槽 地下埋設型 2400ℓ
本体のみ

■部品仕様

番号	品名	材質・備考	数量
①	槽本体	FRP製	1
②	マンホールφ450	樹脂製 ロック式	2
③	マンホールφ600	樹脂製 ロック式	1
④	流入口	PVC 100A	1
⑤	オーバーフロー接続口	PVC 100A	1
⑥	ポンプ給水取出口	PVC 25A	1



ソケット25A

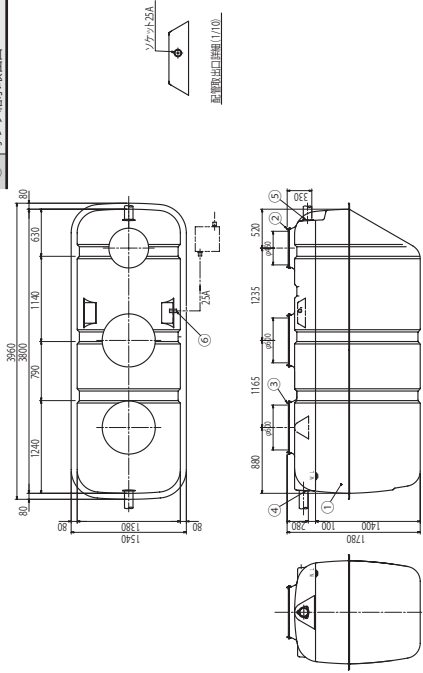
配管取出口直径(110)

RTN-60B

雨水槽 地下埋設型 5600ℓ
本体のみ

■部品仕様

番号	品名	材質・備考	数量
①	槽本体	FRP製	1
②	マンホールφ450	樹脂製 ロック式	1
③	マンホールφ600	樹脂製 ロック式	2
④	流入口	PVC 100A	1
⑤	オーバーフロー接続口	PVC 100A	1
⑥	ポンプ給水取出口	PVC 25A	1



ソケット25A

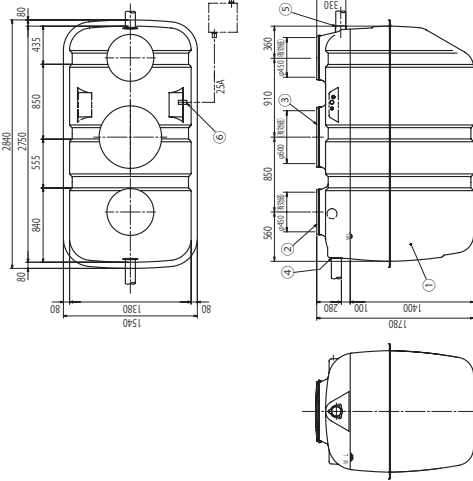
配管取出口直径(110)

RTN-40B

雨水槽 地下埋設型 4000ℓ
本体のみ

■部品仕様

番号	品名	材質・備考	数量
①	槽本体	FRP製	1
②	マンホールφ450	樹脂製 ロック式	2
③	マンホールφ600	樹脂製 ロック式	1
④	流入口	PVC 100A	1
⑤	オーバーフロー接続口	PVC 100A	1
⑥	ポンプ給水取出口	PVC 25A	1



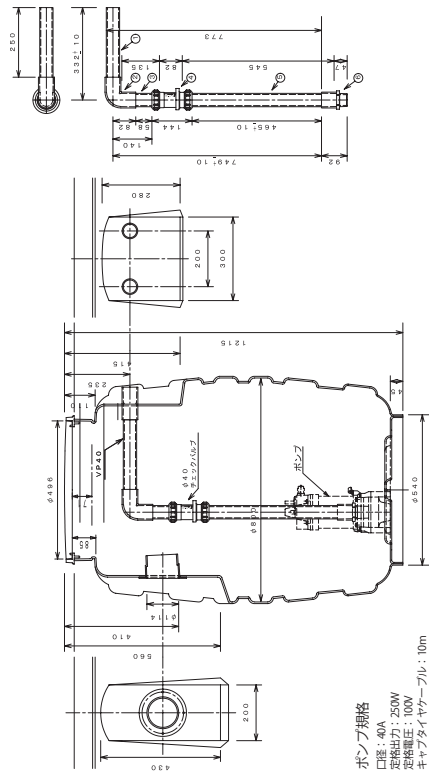
ソケット25A

配管取出口直径(110)

DP-5S

放流ポンプ槽 500ℓ

No	部品名	切断寸法	数量	備考
1	VP40	310mm	2	横管
2	TS40L		2	
3	VP40	135mm	2	縦管S
4	φ40チャッキバルブ		2	
5	VP40	570mm	2	縦管L
6	TS40VS		2	

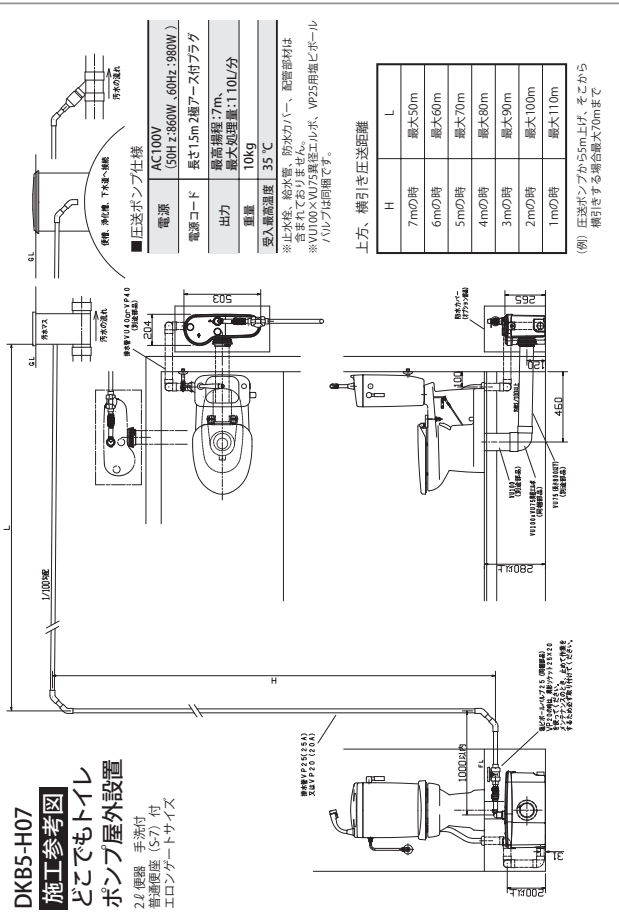


ポンプ規格
口径: 40A
型番出力: 250W
定格電圧: 100V
キャブタイプケーブル: 10m

DKB5-H07

どこでもトイレ
ポンプ屋外設置

2.8 便器 手洗い
普通便座 (S7) 付
エロンゲートサイズ

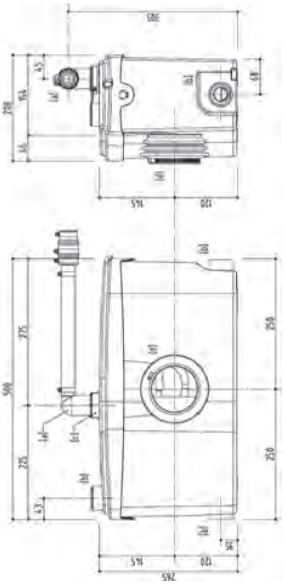
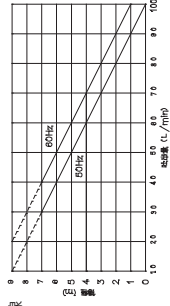


DAP-B

どこでも圧送ポンプ (トイレ用)

■仕様

定格電圧	単相100V 50/60Hz
定格消費電力	860/980W
電源コード	長さ1.5m 2階アース付プラグ
能力	最大全揚程 7m 最大吐出量 30L/min 質量 10kg
最高排水温度	35℃

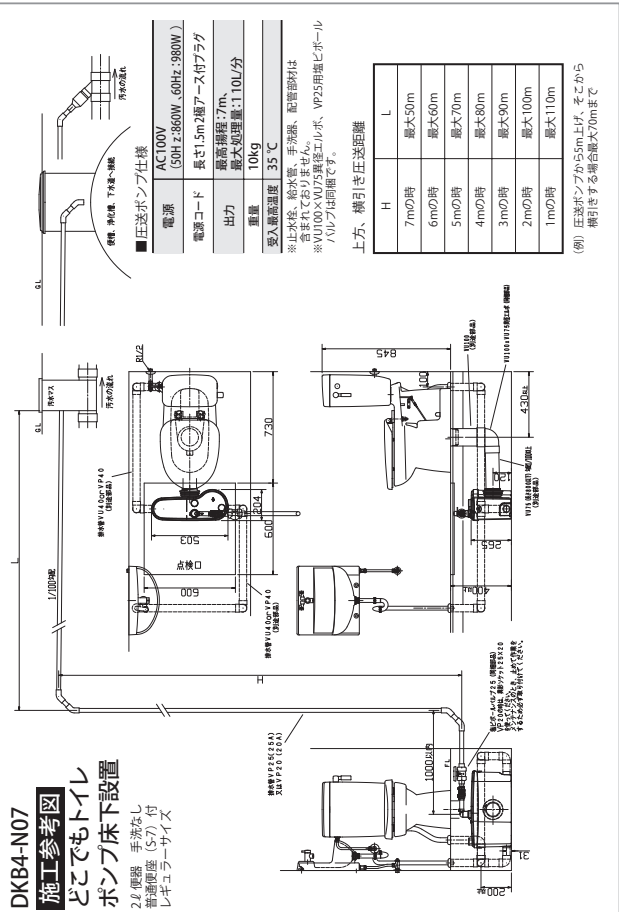


- [a] 吐出管接続口 (20A (25A))
- [b] 雑排水管接続口 (40A)
- EPDMエチレンプロピレンゴム
- [c] 給気口 (内径15A)
- [d] 汚水管接続口 (75A)

DKB4-N07

どこでもトイレ
ポンプ床下設置

2.8 便器 手洗いなし
普通便座 (S7) 付
レギュラーサイズ

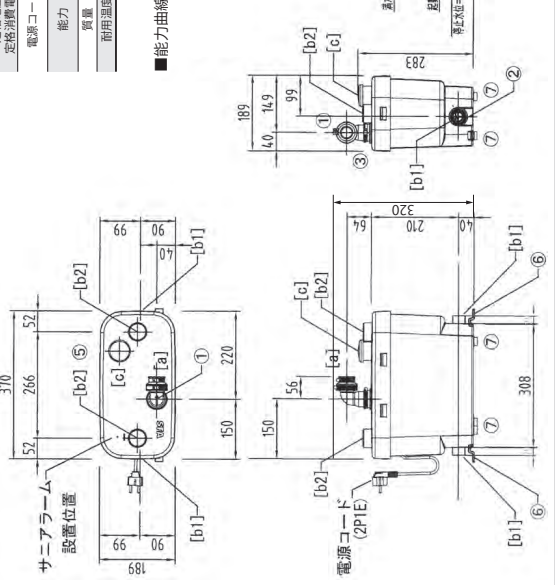
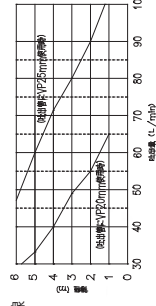


DAP-SP

どこでも圧送ポンプ (雑排水用)

■仕様

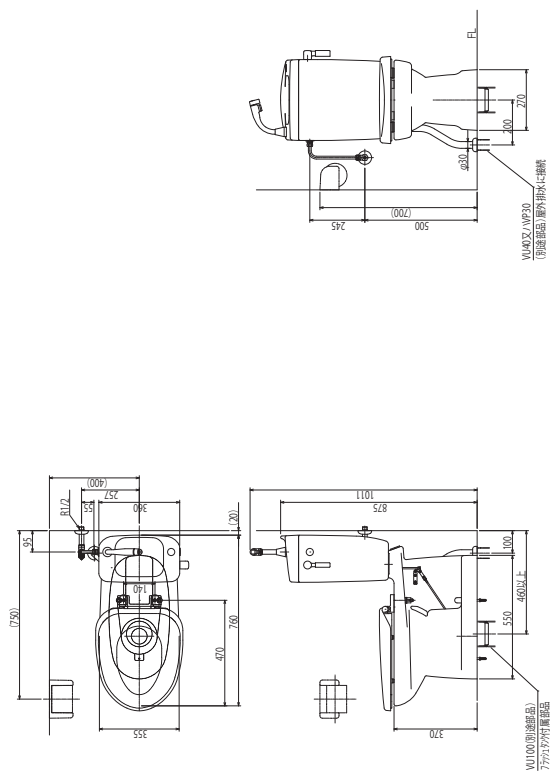
定格電圧	単相100V 50/60Hz
定格消費電力	360/460W
電源コード	長さ1.5m 2階アース付プラグ
能力	最大全揚程 6m 最大水平圧送距離 70m 質量 5.8kg
前置温度	75℃で5分以上連続流入の取心事



- (a) 吐出管接続口 (20 (25mm))
- (b) 雑排水管接続口 (40mm)
- (c) 給気口 (内径15mm)
- (d) 汚水管接続口 (75mm)
- (e) 給気口 (15mmカーボンフィルタ付)

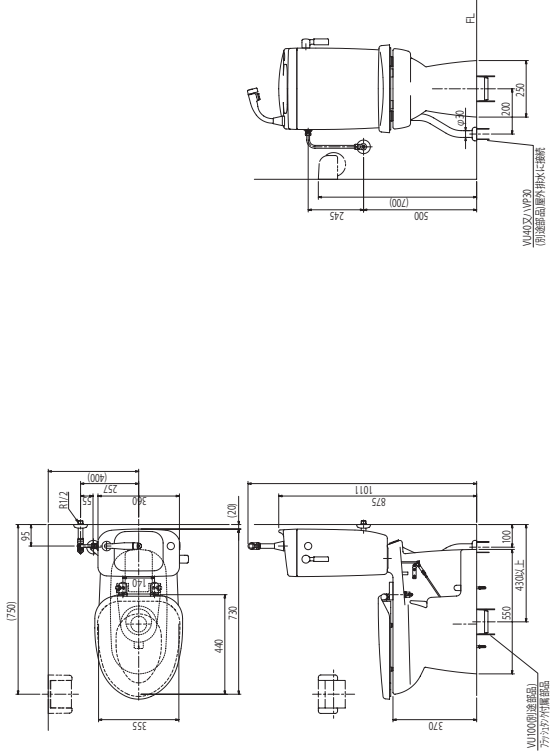
FZ500-H07

手洗付 普通便座(S7)付 陶器製ロータンク エロンゲートサイズ 水溜み機構
※ペーパーホルダー、止水栓、給水管、配管部材は含まれておりません。



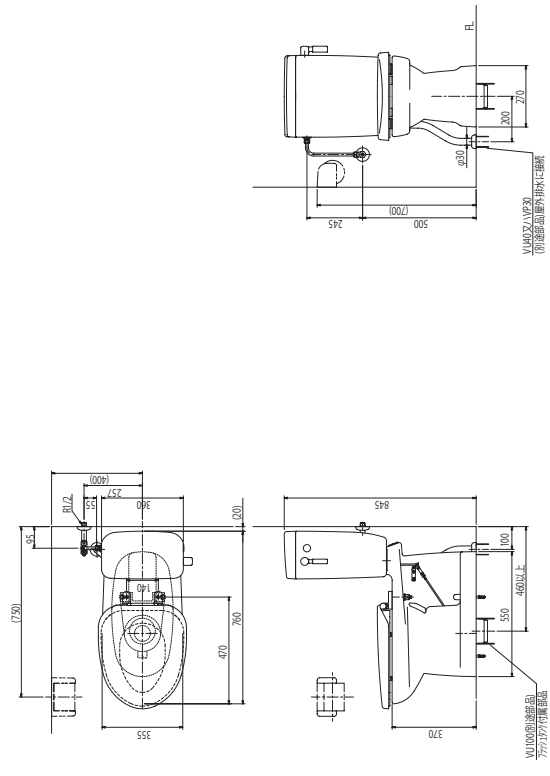
FZ400-H07

手洗付 普通便座(S7)付 陶器製ロータンク レギュラーサイズ 水溜み機構
※ペーパーホルダー、止水栓、給水管、配管部材は含まれておりません。



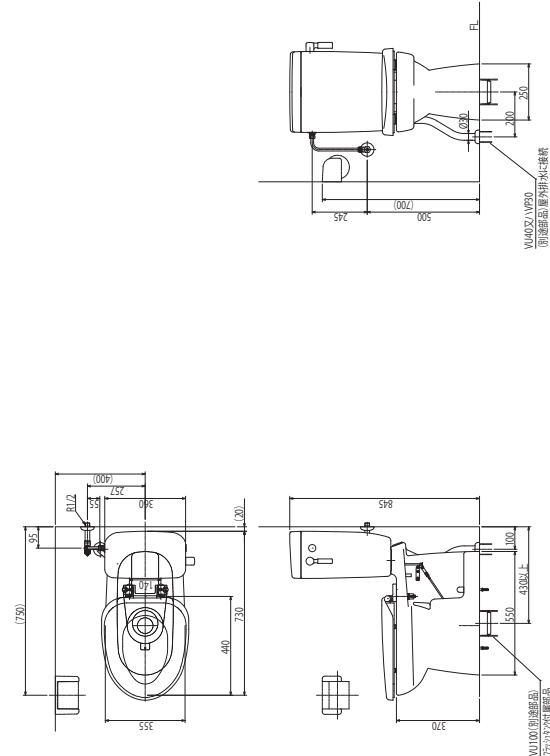
FZ500-N07

手洗なし 普通便座(S7)付 陶器製ロータンク エロンゲートサイズ 水溜み機構
※ペーパーホルダー、止水栓、給水管、配管部材は含まれておりません。



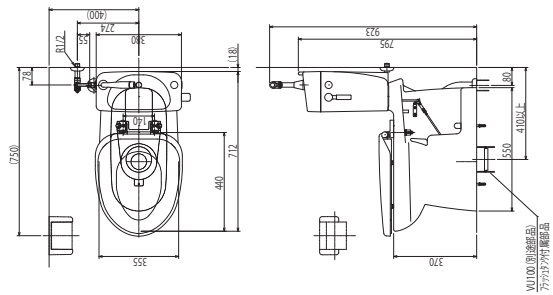
FZ400-N07

手洗なし 普通便座(S7)付 陶器製ロータンク レギュラーサイズ 水溜み機構
※ペーパーホルダー、止水栓、給水管、配管部材は含まれておりません。



FZ300-H07

手洗付 普通便座(57付) 樹脂製ロータンク レギュラーサイズ 水溜め機構
 ※ベーパーホルダー、止水栓、給水管、配管部材は含まれておりません。

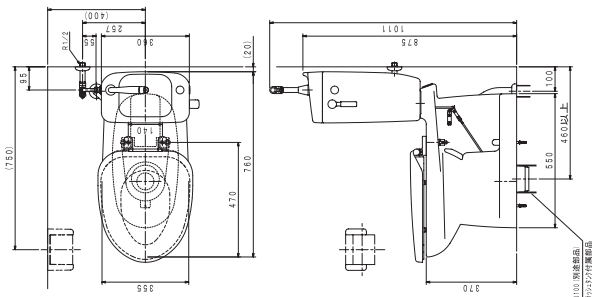


V1000標準品
 方向付付属品

V1002AMP20
 側面品外排水仕様

FZ50T-H07

定置洗浄 手洗付 普通便座(57付) 陶器製ロータンク エロンゲートサイズ 水溜め機構
 ※ベーパーホルダー、止水栓、給水管、配管部材は含まれておりません。

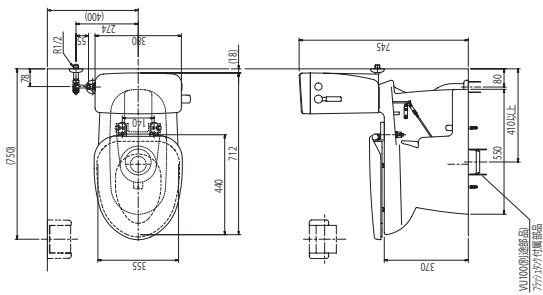


V1000標準品
 方向付付属品

V1002AMP20
 側面品外排水仕様

FZ300-N07

手洗なし 普通便座(57付) 樹脂製ロータンク レギュラーサイズ 水溜め機構
 ※ベーパーホルダー、止水栓、給水管、配管部材は含まれておりません。

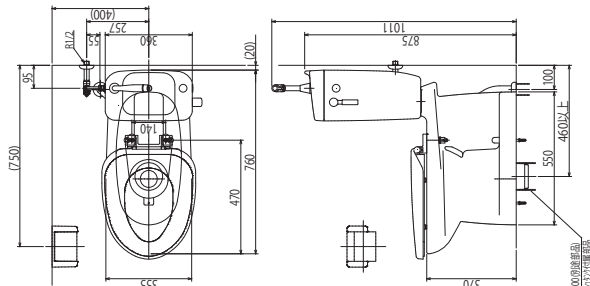


V1000標準品
 方向付付属品

V1002AMP20
 側面品外排水仕様

FA-5T-H07

定置洗浄 手洗付 普通便座(57付) 陶器製ロータンク
 エロンゲートサイズ バランス式閉閉弁
 ※ベーパーホルダー、止水栓、給水管、配管部材は含まれておりません。



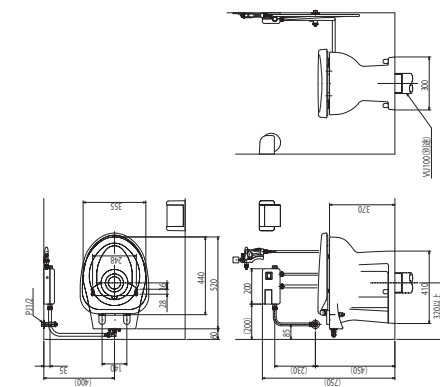
V1000標準品
 方向付付属品

V1002AMP20
 側面品外排水仕様

F8-DG07

電磁バルブ式 洗浄ガン付 普通便座(S-7付)
バランス式開閉弁

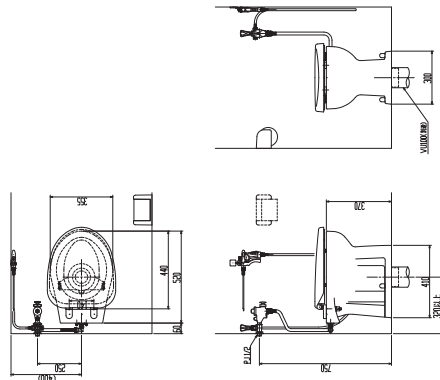
※設置部材は含まれておりません。
※ペーパーホルダー、アンクル止水栓、フレキ管は別個です。



F8-CF07

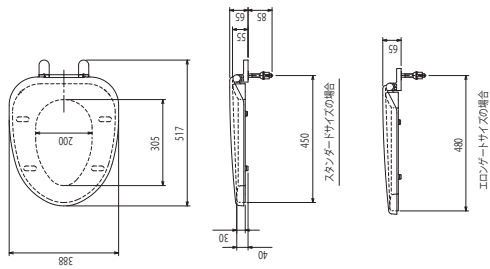
フラッシュバルブ式 洗浄ガン付 普通便座(S-7付)
バランス式開閉弁

※設置部材は含まれておりません。
※ペーパーホルダーは別個です。



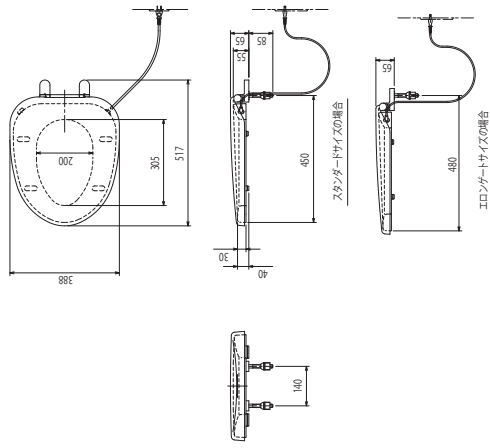
S-7

普通便座



SW-7

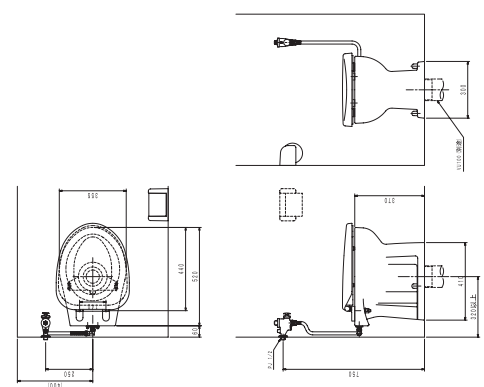
暖房便座



F8-CF07

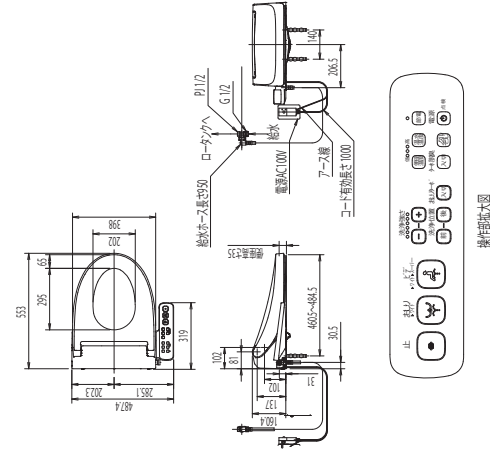
フラッシュバルブ式 洗浄ガンなし 普通便座(S-7付)
バランス式開閉弁

※設置部材は含まれておりません。
※ペーパーホルダーは別個です。



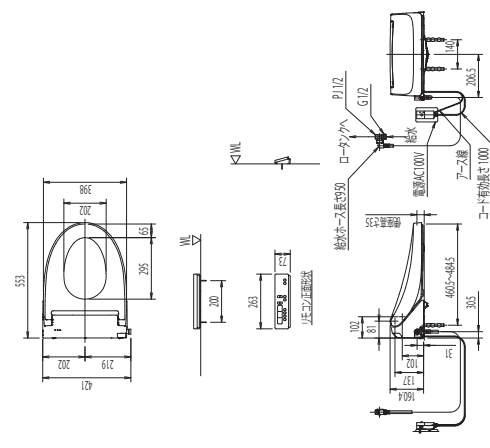
DCW-KB31

温水洗浄便座



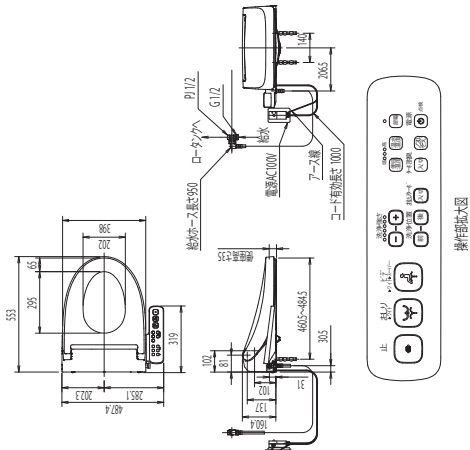
DCW-KA31

温水洗浄便座



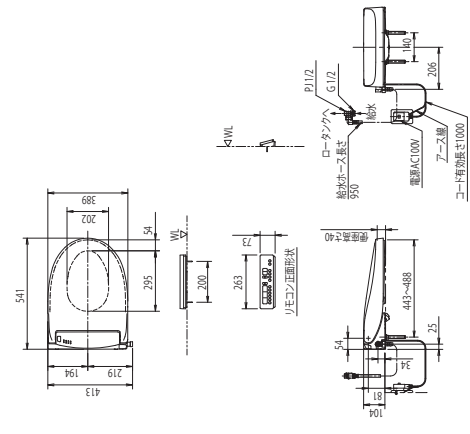
DCW-KB32

湯水洗浄便座



DCW-EA24

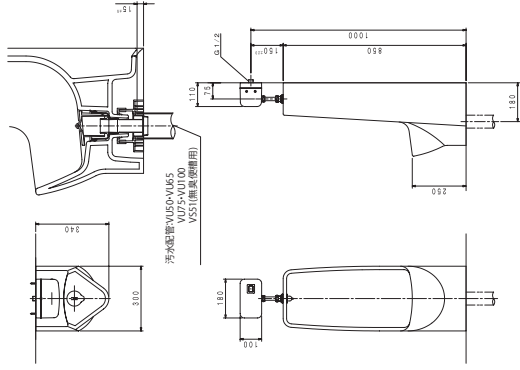
湯水洗浄便座



GT-3DS

ストール小便器 (小型) 電磁バルブ式

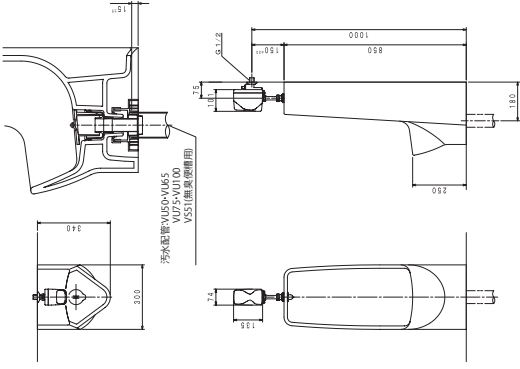
※配管部材は含まれておりません。



GT-3SS

ストール小便器 (小型) センサー式自動水栓

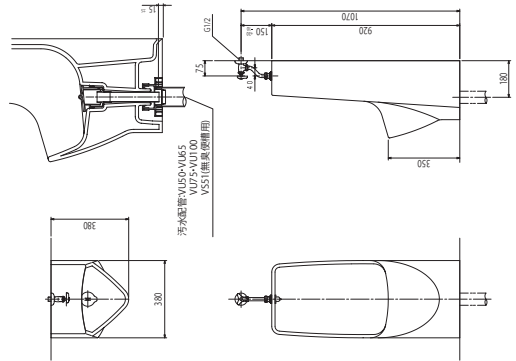
※配管部材は含まれておりません。



GT-5K

ストール小便器 (中型) カウン式

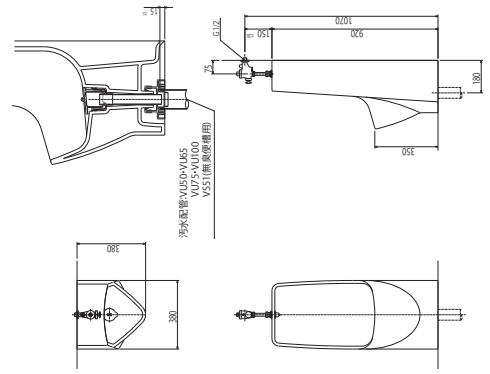
※配管部材は含まれておりません。



GT-5F

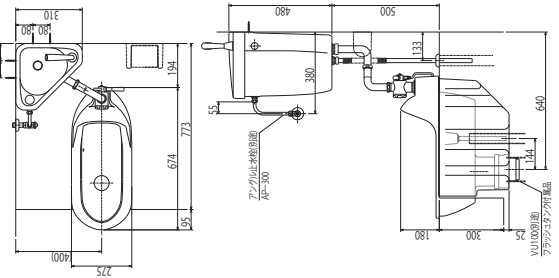
ストール小便器 (中型) フラッシュバルブ式

※配管部材は含まれておりません。

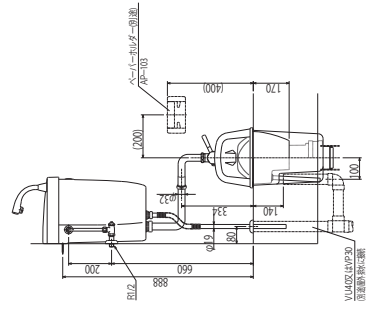


JZ-K

手洗付 陶器製附付ロータック 水溜め機構

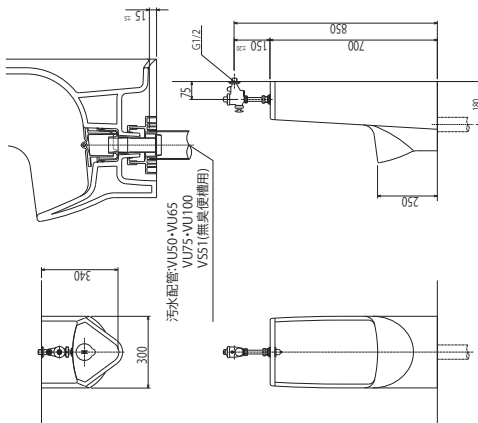


※図は兼用式です。 ※ペーパーホルダー、止水栓、給水栓、配管部材は含まれておりません。



GT-2F

幼児用ストローバル小便器
フラッシュバルブ式

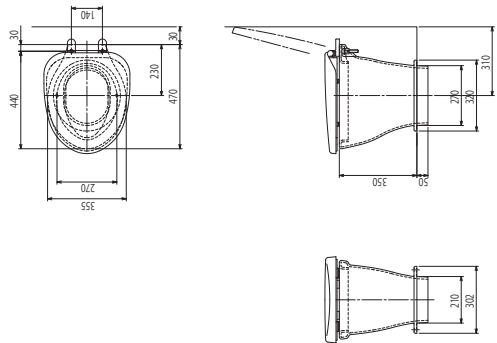


※配管部材は含まれておりません。

DC-166-07

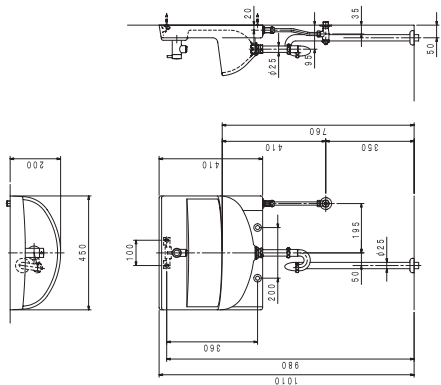
非水洗トイレ(腰掛式)
普通便座(S7)付

※配管部材は含まれておりません。



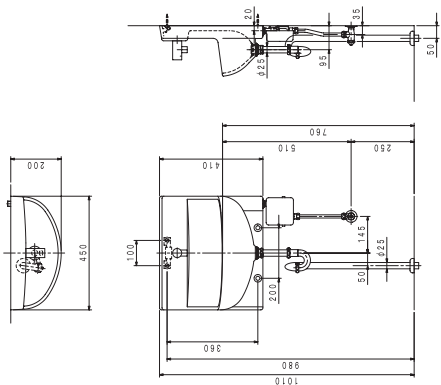
HW-5L-S

壁掛手洗器(中型)
レバー式 Sトラップ



HW-5SS-S

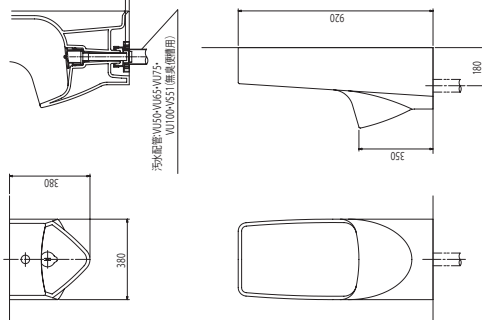
壁掛手洗器(中型)
センサー自動水栓 Sトラップ



GU-5

非水洗小便器(中型)

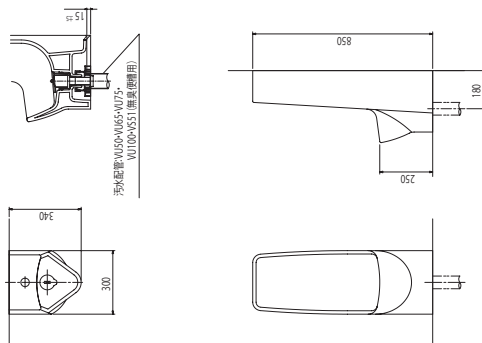
※配管部材は含まれておりません。



GU-3

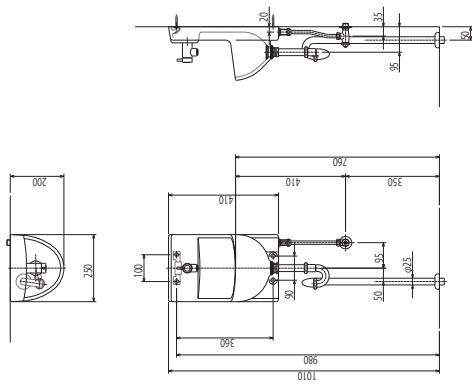
非水洗小便器(小型)

※配管部材は含まれておりません。



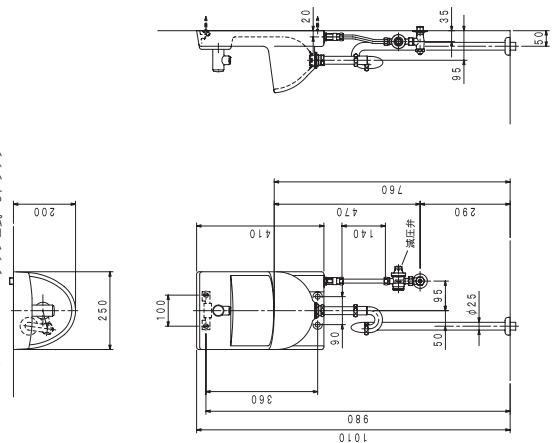
HW-3L-S

壁掛手洗器(小型)
レバー式 Sトラップ



HW-3P-S

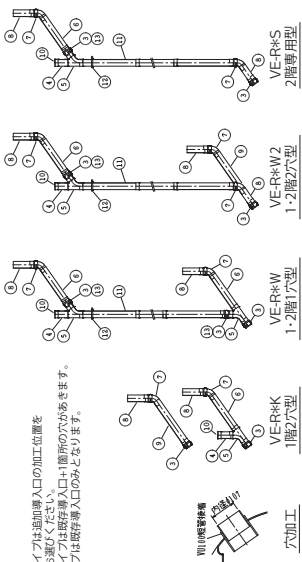
壁掛手洗器(小型)
プッシュ式 Sトラップ



VE-R100

塩ビ機型便槽 970ℓ

※Kタイプ・W2タイプは追加導入口の加工位置をA～Gから1箇所お選びください。
 ※Kタイプ・W2タイプは既存導入口+1箇所のみとなります。
 それ以外のタイプは既存導入口のみとなります。



■タイプ別 同梱部品一覧表

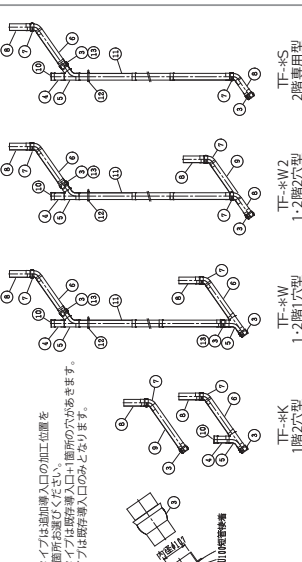
番号	品名	同梱部品	階数	1階	2階	3階	4階	5階
①	機本体	BM440R	1	1	1	1	1	1
②	マホー(電動)排水パイプ	B3140R	1	2	3	2	2	2
③	排水パイプ(電動)排水パイプ	B15100*22	1	1	1	1	1	1
④	排水パイプ(電動)排水パイプ	B3110R	1	1	2	1	1	1
⑤	排水パイプ(電動)排水パイプ	B1000*65	1	2	2	3	2	2
⑥	排水パイプ(電動)排水パイプ	B3130R	1	2	2	3	2	2
⑦	排水パイプ(電動)排水パイプ	B1000*50	1	1	1	1	1	1
⑧	排水パイプ(電動)排水パイプ	B1000*100	1	1	1	1	1	1
⑨	排水パイプ(電動)排水パイプ	B32106	1	1	1	1	1	1
⑩	排水パイプ(電動)排水パイプ	B3100*100	1	3	3	3	3	3
⑪	排水パイプ(電動)排水パイプ	B3100*100	1	1	1	1	1	1
⑫	排水パイプ(電動)排水パイプ	B1000*5	2	1	1	1	1	1

※導入口等角度20°は水漏れ補修タイプの場合に限り、別部品「10°フックング100」が20°にする場合は、別部品「10°フックング100」が175タイプには2個、275タイプには4個必要です。

TF-800・1000

FRP機型便槽

※Kタイプ・W2タイプは追加導入口の加工位置をA～Gから1箇所お選びください。
 ※Kタイプ・W2タイプは既存導入口+1箇所のみとなります。
 それ以外のタイプは既存導入口のみとなります。



■タイプ別 同梱部品一覧表

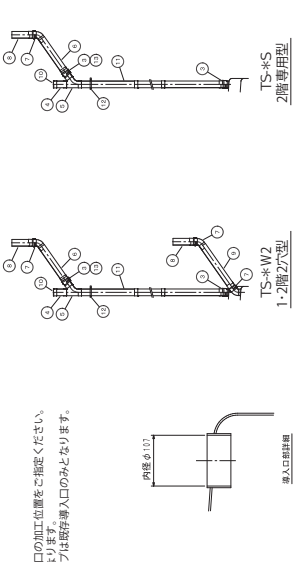
番号	品名	同梱部品	階数	1階	2階	3階	4階	5階
①	機本体	BM440R	1	1	1	1	1	1
②	マホー(電動)排水パイプ	B3140R	1	2	3	2	2	2
③	排水パイプ(電動)排水パイプ	B15100*22	1	1	1	1	1	1
④	排水パイプ(電動)排水パイプ	B3110R	1	1	2	1	1	1
⑤	排水パイプ(電動)排水パイプ	B1000*65	1	2	2	3	2	2
⑥	排水パイプ(電動)排水パイプ	B3130R	1	2	2	3	2	2
⑦	排水パイプ(電動)排水パイプ	B1000*50	1	1	1	1	1	1
⑧	排水パイプ(電動)排水パイプ	B1000*100	1	1	1	1	1	1
⑨	排水パイプ(電動)排水パイプ	B32106	1	1	1	1	1	1
⑩	排水パイプ(電動)排水パイプ	B3100*100	1	3	3	3	3	3
⑪	排水パイプ(電動)排水パイプ	B3100*100	1	1	1	1	1	1
⑫	排水パイプ(電動)排水パイプ	B1000*5	2	1	1	1	1	1

※導入口等角度20°は水漏れ補修タイプの場合に限り、別部品「10°フックング100」が20°にする場合は、別部品「10°フックング100」が175タイプには2個、275タイプには4個必要です。

TS-*・TS-*G

FRP機型便槽

※W2タイプは追加導入口の加工位置をA～Gから1箇所お選びください。
 ※W2タイプ以外のタイプは既存導入口のみとなります。



■タイプ別 同梱部品一覧表

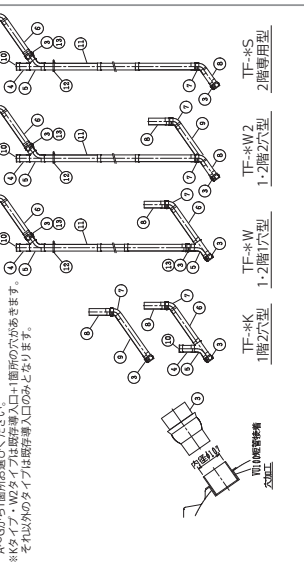
番号	品名	同梱部品	階数	1階	2階	3階	4階	5階
①	機本体	BM440R	1	1	1	1	1	1
②	マホー(電動)排水パイプ	B3140R	1	2	3	2	2	2
③	排水パイプ(電動)排水パイプ	B15100*22	1	1	1	1	1	1
④	排水パイプ(電動)排水パイプ	B3110R	1	1	2	1	1	1
⑤	排水パイプ(電動)排水パイプ	B1000*65	1	2	2	3	2	2
⑥	排水パイプ(電動)排水パイプ	B3130R	1	2	2	3	2	2
⑦	排水パイプ(電動)排水パイプ	B1000*50	1	1	1	1	1	1
⑧	排水パイプ(電動)排水パイプ	B1000*100	1	1	1	1	1	1
⑨	排水パイプ(電動)排水パイプ	B32106	1	1	1	1	1	1
⑩	排水パイプ(電動)排水パイプ	B3100*100	1	3	3	3	3	3
⑪	排水パイプ(電動)排水パイプ	B3100*100	1	1	1	1	1	1
⑫	排水パイプ(電動)排水パイプ	B1000*5	2	1	1	1	1	1

※導入口等角度20°は水漏れ補修タイプの場合に限り、別部品「10°フックング100」が20°にする場合は、別部品「10°フックング100」が175タイプには2個、275タイプには4個必要です。

TF-1500・2000

FRP機型便槽

※Kタイプ・W2タイプは追加導入口の加工位置をA～Gから1箇所お選びください。
 ※Kタイプ・W2タイプは既存導入口+1箇所のみとなります。
 それ以外のタイプは既存導入口のみとなります。

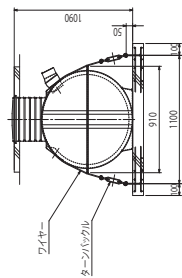
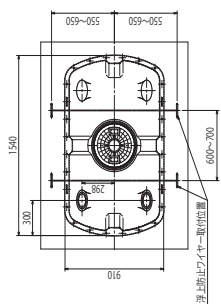


■タイプ別 同梱部品一覧表

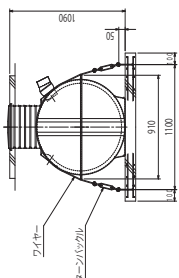
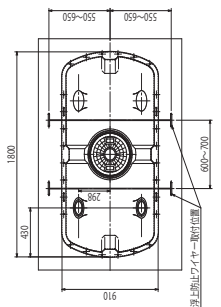
番号	品名	同梱部品	階数	1階	2階	3階	4階	5階
①	機本体	BM440R	1	1	1	1	1	1
②	マホー(電動)排水パイプ	B3140R	1	2	3	2	2	2
③	排水パイプ(電動)排水パイプ	B15100*22	1	1	1	1	1	1
④	排水パイプ(電動)排水パイプ	B3110R	1	1	2	1	1	1
⑤	排水パイプ(電動)排水パイプ	B1000*65	1	2	2	3	2	2
⑥	排水パイプ(電動)排水パイプ	B3130R	1	2	2	3	2	2
⑦	排水パイプ(電動)排水パイプ	B1000*50	1	1	1	1	1	1
⑧	排水パイプ(電動)排水パイプ	B1000*100	1	1	1	1	1	1
⑨	排水パイプ(電動)排水パイプ	B32106	1	1	1	1	1	1
⑩	排水パイプ(電動)排水パイプ	B3100*100	1	3	3	3	3	3
⑪	排水パイプ(電動)排水パイプ	B3100*100	1	1	1	1	1	1
⑫	排水パイプ(電動)排水パイプ	B1000*5	2	1	1	1	1	1

※導入口等角度20°は水漏れ補修タイプの場合に限り、別部品「10°フックング100」が20°にする場合は、別部品「10°フックング100」が175タイプには2個、275タイプには4個必要です。

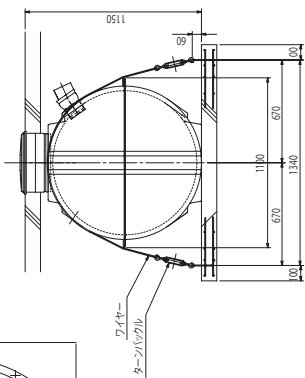
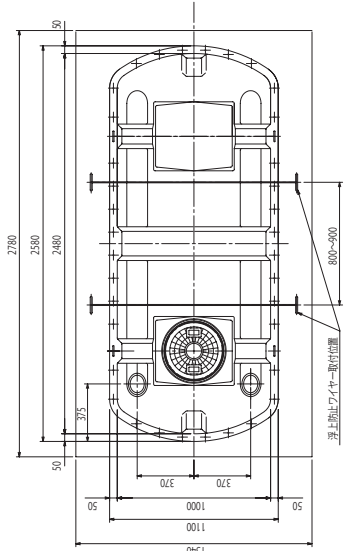
TF-800 施工参考図 浮上防止ワイヤー推奨位置



TF-1000 施工参考図 浮上防止ワイヤー推奨位置



TF-1500 施工参考図 浮上防止ワイヤー推奨位置



TF-2000 施工参考図 浮上防止ワイヤー推奨位置

